

Scientific Achievement
of Kobe University
Graduate School of Medicine /
School of Medicine

神戸大学
大学院医学研究科・医学部研究業績集

平成27年度

はじめに

神戸大学大学院医学研究科は、平成 13 年度の大学院部局化を機にした大幅な組織再編を始めとして、研究教育組織・体制の不断の点検・強化を行ってきました。その結果、故西塚泰美教授を始めとする先達の功績により「細胞内シグナル伝達研究の神戸大学医学部」として名を馳せてきた伝統をさらに発展させ、医学系分野 21 世紀 COE プログラム（平成 15～19 年度）や生命科学分野（平成 19～23 年度）及び医学系分野（平成 20～24 年度）の 2 つのグローバル COE プログラムへの採択等を通じて、膜生物学と細胞内シグナル伝達及びその異常であるシグナル伝達病（糖尿病や癌など）の世界最高水準の研究教育拠点として活動を続けてきました。さらに、平成 25 年度には、グローバル COE プログラムの後継である「卓越した大学院拠点形成支援補助金」に採択され、上記研究教育活動を継続・発展させることができました。それと並行して、新興・再興感染症研究拠点形成プログラム（平成 17～21 年度、平成 22 年度～26 年度、平成 27 年度～）への三期にわたる採択等を通じて、インドネシアを始めとする ASEAN 諸国における感染症研究も活発に進めてきました。

平成 24 年度には、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「7 大学連携先端的がん教育基盤創造プラン」、基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成事業「基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成」、大学の世界展開力事業「ASEAN 諸国との連携・協働による次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成」及び地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）「関西ライフイノベーション戦略推進地域」に採択され、平成 27 年度も引き続き教育・研究の両面で発展を続けています。これもひとえに、当医学研究科・医学部の構成員のたゆまぬ努力の賜物であり、その果実である出版物の平成 27 年度中に公表されたものを本医学研究科・医学部研究業績集としてまとめ、ここに公開させていただきます。これらの研究に必要な経費の多くは国民の税金によって賄われていることから、その成果をこのような形で公開する意義は大きいと思われまます。

近年、日本の医学・医療ならびに国立大学法人を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。そのようななかで、当医学研究科・医学部の構成員が医学・生命科学や医療にかかる「研究」「教育」および「診療」に真摯に取り組んでいることを、本業績集の内容から少しでも感じただけでしたら幸甚に存じます。最近の国立大学・学部のミッション再定義を通じた機能強化に向けた大学改革プラン等により「選択と集中」の圧力は増すばかりですが、当医学研究科・医学部は、平成 28 年度、メディカルイノベーション創出をより加速、効率化するため、シグナル伝達医学研究を展開する学内センターを設立いたしました。さらに、新興・再興感染症の研究を進めることなどにより世界最高水準の研究拠点の形成やさまざまな領域において社会に貢献する優れた人材の養成を進めていく所存です。また、全国に先駆けて導入した基礎医学と臨床医学の実質的融合に基づく教育・研究体制をさらに発展させ、clinician-scientist を始めとした医学・生命科学研究者を養成しつつ、基礎研究成果を臨床に応用して社会に貢献する成果を挙げることを目指しています。末筆ながら、本業績集の編纂にあたり、多大のご協力を頂きました医学部情報センターの皆様にご心から感謝申し上げます。

神戸大学大学院医学研究科長・医学部長
的崎 尚

目 次

学術研究成果一覧

—英文著書，英文論文，邦文著書，邦文論文—

医学研究科 医科学専攻

生理学・細胞生物学講座	1
膜動態学	1
細胞生理学	2
細胞分子医学	4
神経生理学	5
神経情報伝達学	6
神経発生学	7
神経分化・再生	8
疾患モデル動物病態生理学	9
生化学・分子生物学講座	10
生化学	10
分子生物学	11
分子細胞生物学	12
膜生物学	13
シグナル統合学	14
シグナル伝達学	16
ゲノム生理学	17
薬理学	18
薬物動態学	20
微生物感染症学講座（医学研究科附属施設 感染症センター 参照）	
微生物学	
臨床ウイルス学	
ワクチン学	
感染制御学	
感染病理学	
感染治療学	

病理学講座	22
病理学	22
病理診断学	23
病理病態学	25
地域社会医学・健康科学講座	27
医学教育学	27
地域医療教育学	30
地域医療ネットワーク学	31
衛生学	33
医薬食品評価科学	34
疫学	35
法医学	38
内科学講座	40
循環器内科学	40
消化器内科学	50
消化器先端医療開発	56
呼吸器内科学	57
糖尿病・内分泌内科学	58
総合内科学	63
腎臓内科学（医学部附属病院 腎・血液浄化センター 参照）	
免疫内科学	65
神経内科学/分子脳科学	67
腫瘍・血液内科学	70
血液内科学	76
内科系講座	78
放射線医学	78
放射線腫瘍学	83
機能・画像診断学	86
血管内治療学	89
小児科学	90
皮膚科学	100
精神医学	104
病因病態解析学	107
医療情報学	108
先端緩和医療学	110
病態情報学	114
薬剤学	115
バイオロジクス探索研究	118
iPS 細胞応用医学	119

外科学講座.....	121
食道胃腸外科学	121
肝胆膵外科学	125
乳腺内分泌外科学	129
心臓血管外科学	130
呼吸器外科学	131
小児外科学	134
外科系講座.....	134
整形外科学	134
脳神経外科学	143
眼科学	146
耳鼻咽喉科頭頸部外科学.....	150
腎泌尿器科学	153
産科婦人科学	160
形成外科学	165
麻酔科学	168
口腔外科学	171
寄附講座.....	176
細胞生理学 分子代謝医学.....	176
シグナル統合学 病態シグナル学	178
病理診断学 病理ネットワーク学	179
医学教育学 地域医療支援学.....	183
地域連携病理学	186
小児科学 こども急性疾患学	189
小児科学 こども総合療育学	194
立証検査医学	196
リハビリテーション機能回復学.....	197
腎泌尿器科学 泌尿器先端医療開発学.....	199
医学研究科附属施設.....	201
附属動物実験施設	201
附属感染症センター	203
微生物学	203
臨床ウイルス学	204
ワクチン学	206
感染制御学	207
感染病理学	209
感染治療学大分野	
感染治療学	211
質量分析総合センター	213
先端生体医用画像研究センター.....	214

医学部附属病院	217
検査部	217
放射線部	222
輸血・細胞治療部	225
総合周産期母子医療センター	227
救急部	231
集中治療部	232
手術部	233
リハビリテーション部	235
腎・血液浄化センター	237
冠動脈疾患治療部	241
光学医療診療部	241
遺伝子診療部	243
感染制御部	246
親と子の心療部	248
腫瘍センター	250
血管内治療センター	253
栄養管理部	255
認知症センター	257

註：論文等左欄の印について

- ※ : 学内での共同研究
- § : 学外との共同研究
- ※§ : 学内・学外共同研究
- §§ : 学外のみ
- ¶ : 26年度業績集掲載済(再掲)

【生理学・細胞生物学講座 Department of Physiology and Cell Biology】

膜動態学 Division of Membrane Dynamics

英 文

書 籍

分担執筆

- (1) Yasunori Yamamoto, Toshiaki Sakisaka: Roles of tomosyn in neurotransmitter release. Sumiko Mochida ed., Presynaptic Terminals, Springer, 2015: 129-140.

論 文

総 説

- (1) Yamamoto Y, Sakisaka T: The emerging role of calcium-modulating cyclophilin ligand in posttranslational insertion of tail-anchored proteins into the endoplasmic reticulum membrane. J Biochem, 2015; 157: 419-429. (PMID: 25869254)

細胞生理学 Division of Cell Physiology

英 文

書 籍

分担執筆

- (1) Endo, M., Nishita, M., Doi, R., Hayashi, M., and Minami, Y.: The Ror Receptor Family.. Wheeler, D. L. and Yarden, Y. eds., Receptor Tyrosine Kinases: Family and Subfamilies, Springer, 2015: 593-640.

論 文

原 著

- (1) Qi X, Okinaka Y, Nishita M, Minami Y: Essential role of Wnt5a-Ror1/Ror2 signaling in metanephric mesenchyme and ureteric bud formation. *Genes Cells*, 2016. (PMID: 26840931)
- ※(2) Takiguchi G, Nishita M, Kurita K, Kakeji Y, Minami Y: Wnt5a-Ror2 signaling in mesenchymal stem cells promotes proliferation of gastric cancer cells by activating CXCL16-CXCR6 axis. *Cancer Sci*, 2015. (PMID: 26708384)
- § (3) Sato A, Kayama H, Shojima K, Matsumoto S, Koyama H, Minami Y, Nojima S, Morii E, Honda H, Takeda K, Kikuchi A: The Wnt5a-Ror2 axis promotes the signaling circuit between interleukin-12 and interferon- γ in colitis. *Sci Rep*, 2015: 5: 10536. (PMID: 26030277)

総 説

- ¶ (1) Endo M, Nishita M, Fujii M, Minami Y: Insight into the role of Wnt5a-induced signaling in normal and cancer cells. *Int Rev Cell Mol Biol*, 2015: 314: 117-148. (PMID: 25619716)

邦 文

書 籍

共 訳

- §(1) 依田成玄, 西田満, 南康博 (訳): 遺伝情報の維持と発現. 石崎泰樹, 丸山敬 編, イラストレイテッド生化学, 丸善, 2015: 503-621 頁

共同編集

- (1) 南康博: 知る・見る・活かす! シグナリング研究 2015 概論 シグナリング研究の流れとめざすところ. 一條秀憲, 南康博 編, 知る・見る・活かす! シグナリング研究 2015, 羊土社, 2015: 1-213 頁

分担執筆

- (1) 遠藤 光晴, 南 康博: Ror1/2. 宮園 浩平, 秋山 徹, 宮島 篤, 宮澤 恵二 編, 膨大なデータを徹底整理するサイトカイン・増殖因子キーワード辞典, 羊土社, 2015: 363-365 頁

論 文

総 説

- (1) 西田満, 西尾忠, 南康博: 【知る・見る・活かす! シグナリング研究 2015 シグナル伝達の要素発見から時空間ダイナミクスへ】 (第 2 章) シグナリングから見た生命現象 その破綻と疾患の理解 Wnt5a-Ror2 シグナルによるがんの浸潤制御, 実験医学, 2015; 33 巻, 1612-1616 頁 (医中誌 ID: 2015287566)

細胞分子医学 Division of Cellular and Molecular Medicine

英 文

書 籍

分担執筆

- (1) Seino S, Shibasaki T, Minami K: Beta-cell biology of insulin secretion.. Ele Ferrannini, Paul Zimmet, Ralph DeFronzo, George Alberti eds., International Textbook of Diabetes Mellitus (ITDM), 4th edition, Wiley-Blackwell, 2015: 96-107.

論 文

原 著

- ※(1) Nukaya D, Minami K, Hoshikawa R, Yokoi N, Seino S: Preferential gene expression and epigenetic memory of induced pluripotent stem cells derived from mouse pancreas. *Genes Cells*, 2015; 20: 367-381. (PMID: 25727848)
- (2) Takahashi H, Shibasaki T, Park JH, Hidaka S, Takahashi T, Ono A, Song DK, Seino S: Role of Epac2A/Rap1 Signaling in Interplay Between Incretin and Sulfonylurea in Insulin Secretion. *Diabetes*, 2015; 64: 1262-1272. (PMID: 25315008)

邦 文

論 文

原 著

- ※ § (1) 松本卓也, 田畑直紀, 玉置久, 柴崎忠雄, 清野進, 須永泰弘, 横田秀夫, 福島光夫: 膵臓β細胞内インスリン顆粒動態シミュレーション・モデル, 電気学会論文誌 C, 2015; 135 巻, 963-970 頁

総 説

- ¶(1) 高橋晴美, 高橋利匡, 柴崎忠雄, 清野進: cAMP とスルホニル尿素薬の相互作用による Epac2A の活性化とそのインスリン分泌における役割, *Annual Review 糖尿病・代謝・内分泌*, 2015; 5 巻, 5-11 頁
- ¶(2) 柴崎忠雄, 高橋晴美, 清野進: インクレチンとスルホニル尿素薬の併用によるインスリン分泌増強における Epac2A シグナルの役割, *糖尿病と合併症 (前篇) 糖尿病*, 2015

神経生理学 Division of Neurophysiology

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Maruo T, Mandai K, Takai Y, Mori M: Activity-dependent alteration of the morphology of a hippocampal giant synapse. *Mol Cell Neurosci*, 2016: 71: 25-33. (PMID: 26687760)
- ※(2) Eguchi N, Hishimoto A, Sora I, Mori M: Slow synaptic transmission mediated by TRPV1 channels in CA3 interneurons of the hippocampus. *Neurosci Lett*, 2016: 616: 170-176. (PMID: 26836139)
- ※ § (3) Geng X, Mandai K, Maruo T, Wang S, Fujiwara T, Mizoguchi A, Takai Y, Mori M: Regulatory role of the cell adhesion molecule nectin-1 in GABAergic inhibitory synaptic transmission in the CA3 region of mouse hippocampus. *Genes Cells*, 2016: 21: 88-98. (PMID: 26663531)
- ※ § (4) Fujiwara T, Inoue T, Maruo T, Rikitake Y, Ieki N, Mandai K, Kimura K, Kayahara T, Wang S, Itoh Y, Sai K, Mori M, Mori K, Takai Y, Mizoguchi A: Nectin-1 spots regulate the branching of olfactory mitral cell dendrites. *Mol Cell Neurosci*, 2015: 68: 143-150. (PMID: 26169026)
- (5) Geng X, Mori M: Monosynaptic excitatory transmission from the hippocampal CA1 region to the subiculum. *Neurosci Lett*, 2015: 604: 42-46. (PMID: 26232683)

- ※ § (6) Inoue T, Fujiwara T, Rikitake Y, Maruo T, Mandai K, Kimura K, Kayahara T, Wang S, Itoh Y, Sai K, Mori M, Mori K, Mizoguchi A, Takai Y: Nectin-1 spots as a novel adhesion apparatus that tethers mitral cell lateral dendrites in a dendritic meshwork structure of the developing mouse olfactory bulb. *J Comp Neurol*, 2015; 523: 1824-1839. (PMID: 25967681)

総 説

- ※(1) Mandai K, Rikitake Y, Mori M, Takai Y: Nectins and nectin-like molecules in development and disease. *Curr Top Dev Biol*, 2015; 112: 197-231. (PMID: 25733141)

神経情報伝達学 Division of Neuronal Signaling

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Ueda S, Kokaji Y, Simizu S, Honda K, Yoshino K, Kamisoyama H, Shirai Y, Yamanoue M: Chicken heat shock protein HSPB1 increases and interacts with α B-crystallin in aged skeletal muscle. *Biosci Biotechnol Biochem*, 2015; 79: 1867-1875. (PMID: 26139560)

神経発生学 Division of Developmental Neurobiology

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Watanabe Y, Arakawa T, Kageyama I, Aizawa Y, Kumaki K, Miki A, Terashima T: Gross anatomical study on the human myocardial bridges with special reference to the spatial relationship among coronary arteries, cardiac veins, and autonomic nerves. *Clin Anat*, 2016; 29: 333-341. (PMID: 26506515)
- § (2) Imai H, Shoji H, Ogata M, Kagawa Y, Owada Y, Miyakawa T, Sakimura K, Terashima T, Katsuyama Y: Dorsal Forebrain-Specific Deficiency of Reelin-Dab1 Signal Causes Behavioral Abnormalities Related to Psychiatric Disorders. *Cereb Cortex*, 2016. (PMID: 26762856)
- ※(3) Fujita T, Yamashita D, Irino Y, Kitamoto J, Fukuda Y, Inokuchi G, Hasegawa S, Otsuki N, Yoshida M, Nibu K: Metabolomic profiling in inner ear fluid by gas chromatography/mass spectrometry in guinea pig cochlea. *Neurosci Lett*, 2015; 606: 188-193. (PMID: 26343935)
- ※ § (4) Seno S, Kitajima K, Inokuchi G, Nibu K, Itoh T, Ejima Y, Sasaki R, Sugimoto K, Sugimura K: FDG-PET findings of Ameloblastoma: a case report. *Springerplus*, 2015; 4: 250. (PMID: 26101729)
- § (5) Jusuf AA, Sakagami H, Kikkawa S, Terashima T: Expression of Beta Subunit 2 of Ca²⁺/Calmodulin-Dependent Protein Kinase I in the Developing Rat Retina. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E115-E123.
- (6) Namikawa T, Kikkawa S, Inokuchi G, Terashima T: Postnatal Development of the Corticospinal Tract in the Reeler Mouse. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E71-E81.

邦 文

論 文

総 説

- (1) 井之口豪, 高原慎一, 藤尾久美, 丹生健一: 【これだけは知っておこう-鼻出血への対応法】《疾患》 遺伝性出血性毛細血管拡張症関連鼻出血, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2015; 87 巻, 996-1002 頁 (医中誌 ID: 2016071786)
- (2) 丹生健一, 井之口豪, 四宮弘隆: 【頭蓋底外科の進歩-オープンサージェリーと内視鏡下手術】 頭蓋底外科の歴史 オープンサージェリーから内視鏡手術まで, JOHNS, 2015; 31 巻, 827-830 頁 (医中誌 ID: 2015274216)

神経分化・再生 Divison of Neural Differentiation and Regeneration

英 文

論 文

原 著

- ※ §(1) Uesaka T, Nagashimada M, Enomoto H: Neuronal Differentiation in Schwann Cell Lineage Underlies Postnatal Neurogenesis in the Enteric Nervous System. J Neurosci, 2015; 35: 9879-9888. (PMID: 26156989)

疾患モデル動物病態生理学 Division of Comparative Pathophysiology

英 文

論 文

原 著

- § (1) Haruta H, Hiro T, Mitsumata M, Takayama T, Sudo M, Li Y, Takahashi R, Taniguchi Y, Shiomi M, Hirayama A: Stabilization of atherosclerotic plaque by pitavastatin in Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits: A serial tissue-characterizing intravascular ultrasound study. *J Cardiol*, 2016; 67: 205-211. (PMID: 26194868)
- § (2) Takeda H, Koike T, Izumi Y, Yamada T, Yoshida M, Shiomi M, Fukusaki E, Bamba T: Lipidomic analysis of plasma lipoprotein fractions in myocardial infarction-prone rabbits. *J Biosci Bioeng*, 2015; 120: 476-482. (PMID: 26162515)
- § (3) Kaneko C, Nitta N, Tsuchiya K, Watanabe S, Nitta-Seko A, Ohta S, Otani H, Sonoda A, Murata K, Shiomi M: MRI study of atherosclerotic plaque progression using ultrasmall superparamagnetic iron oxide in Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits. *Br J Radiol*, 2015; 88: 20150167. (PMID: 26083261)
- § (4) Ning B, Wang X, Yu Y, Waqar AB, Yu Q, Koike T, Shiomi M, Liu E, Wang Y, Fan J: High-fructose and high-fat diet-induced insulin resistance enhances atherosclerosis in Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits. *Nutr Metab (Lond)*, 2015; 12: 30. (PMID: 26265929)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 塩見雅志, 小池智也: 第 7 章 ウサギを用いた脂質代謝異常モデル 第 1 節 WHHL MI ウサギ. 尾池雄一, 佐々木雄彦, 村上誠, 矢作直也 編, 疾患モデル動物の作製と利用、脂質代謝異常と関連疾患《下巻》, エル・アイ・シー, 2015: 389-400 頁

- (2) 塩見 雅志, 小池 智也: WHHLMI ウサギ. 尾池 雄一, 佐々木 雄彦, 村上 誠, 矢作 直也 編, 疾患モデル動物の作製と利用、脂質代謝異常と関連疾患, 株式会社エル・アイ・シー, 2015: 389-400 頁

【生化学・分子生物学講座

Department of Biochemistry and Molecular Biology】

生化学 Division of Biochemistry

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Ijuin T, Hatano N, Takenawa T: Glucose-regulated protein 78 (GRP78) binds directly to PIP3 phosphatase SKIP and determines its localization. *Genes Cells*, 2016: 21: 457-465. (PMID: 26940976)
- ※ § (2) Fukumoto T, Iwasaki T, Okada T, Hashimoto T, Moon Y, Sakaguchi M, Fukami Y, Nishigori C, Oka M: High expression of Mcl-1L via the MEK-ERK-phospho-STAT3 (Ser727) pathway protects melanocytes and melanoma from UVB-induced apoptosis. *Genes Cells*, 2016: 21: 185-199. (PMID: 26791143)
- ※(3) Tamori Y, Tateya S, Ijuin T, Nishimoto Y, Nakajima S, Ogawa W: Negative-charged residues in the polar carboxy-terminal region in FSP27 are indispensable for expanding lipid droplets. *FEBS Lett*, 2016. (PMID: 26921608)
- ※(4) Ijuin T, Hatano N, Hosooka T, Takenawa T: Regulation of insulin signaling in skeletal muscle by PIP3 phosphatase, SKIP, and endoplasmic reticulum molecular chaperone glucose-regulated protein 78. *Biochim Biophys Acta*, 2015: 1853: 3192-3201. (PMID: 26376412)
- ※(5) Ijuin T, Hosooka T, Takenawa T: Phosphatidylinositol 3,4,5-Trisphosphate Phosphatase SKIP Links Endoplasmic Reticulum Stress in Skeletal Muscle to Insulin Resistance. *Mol Cell Biol*, 2015: 36: 108-118. (PMID: 26483413)

- ※ § (6) Ando H, Hirose M, Gainche L, Kawaai K, Bonneau B, Ijuin T, Itoh T, Takenawa T, Mikoshiba K: IRBIT Interacts with the Catalytic Core of Phosphatidylinositol Phosphate Kinase Type I α and II α through Conserved Catalytic Aspartate Residues. PLoS One, 2015: 10: e0141569. (PMID: 26509711)

総 説

- ※(1) Shimono Y, Mukohyama J, Nakamura S, Minami H: MicroRNA Regulation of Human Breast Cancer Stem Cells. J Clin Med, 2015: 5: 2. (PMID: 26712794)

分子生物学 Division of Molecular Biology

英 文

論 文

原 著

- § (1) Levy RJ, Kvajo M, Li Y, Tsvetkov E, Dong W, Yoshikawa Y, Kataoka T, Bolshakov VY, Karayiorgou M, Gogos JA: Deletion of Rapgef6, a candidate schizophrenia susceptibility gene, disrupts amygdala function in mice. Transl Psychiatry, 2015: 5: e577. (PMID: 26057047)

総 説

- (1) Shima F, Matsumoto S, Yoshikawa Y, Kawamura T, Isa M, Kataoka T: Current status of the development of Ras inhibitors. J Biochem, 2015: 158: 91-99. (PMID: 26100833)

邦 文

論 文

総 説

- (1) 島扶美, 吉川陽子, 松本篤幸, 片岡徹: ras がん遺伝子産物 Ras を分子標的としたがん治療薬開発の現状, がん分子標的治療, 2015; 13 巻, 92-98 頁 (医中誌 ID: 2015159112)

分子細胞生物学 Division of Molecular and Cellular Biology

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Kitayama M, Mizutani K, Maruoka M, Mandai K, Sakakibara S, Ueda Y, Komori T, Shimono Y, Takai Y: A Novel Nectin-mediated Cell Adhesion Apparatus That Is Implicated in Prolactin Receptor Signaling for Mammary Gland Development. *J Biol Chem*, 2016; 291: 5817-5831. (PMID: 26757815)
- ※ § (2) Katsunuma S, Honda H, Shinoda T, Ishimoto Y, Miyata T, Kiyonari H, Abe T, Nibu K, Takai Y, Togashi H: Synergistic action of nectins and cadherins generates the mosaic cellular pattern of the olfactory epithelium. *J Cell Biol*, 2016; 212: 561-575. (PMID: 26929452)
- § (3) Sakaguchi M, Hisamori S, Oshima N, Sato F, Shimono Y, Sakai Y: miR-137 Regulates the Tumorigenicity of Colon Cancer Stem Cells Through the Inhibition of DCLK1. *Mol Cancer Res*, 2016; 14: 354-362. (PMID: 26747706)
- ※ § (4) Nobutani K, Shimono Y, Mizutani K, Ueda Y, Suzuki T, Kitayama M, Minami A, Momose K, Miyawaki K, Akashi K, Azuma T, Takai Y: Downregulation of CXCR4 in Metastasized Breast Cancer Cells and Implication in Their Dormancy. *PLoS One*, 2015; 10: e0130032. (PMID: 26083776)
- ※ § ¶ (5) Imamura Y, Mukohara T, Shimono Y, Funakoshi Y, Chayahara N, Toyoda M, Kiyota N, Takao S, Kono S, Nakatsura T, Minami H: Comparison of 2D- and 3D-culture models as drug-testing platforms in breast cancer. *Oncol Rep*, 2015; 33: 1837-1843. (PMID: 25634491)

総 説

- ※(1) Shimono Y, Mukohyama J, Nakamura S, Minami H: MicroRNA Regulation of Human Breast Cancer Stem Cells. *J Clin Med*, 2015; 5: 2. (PMID: 26712794)

邦 文

論 文

原 著

- ※(1) 向山順子, 下野洋平, 船越洋平, 河野誠之, 山下公大, 向原徹, 高尾信太郎, 南博信, 掛地吉弘: NK 細胞浸潤がヒト乳がん異種移植マウスの腫瘍増殖に与える影響, 癌と化学療法, 2015; 42 巻, 1252-1255 頁 (医中誌 ID: PA27380028)
- (2) 富樫英: 【内耳研究最前線 2】 内耳聴覚上皮における市松模様の細胞パターンを制御する分子機構, *Otology Japan*, 2015; 25 巻, 129-133 頁 (医中誌 ID: 2015285070)

総 説

- ※(1) 向山順子, 下野洋平: 【がん幹細胞-新しい医療を求めて-】 臨床研究動向 臨床検体を活用した乳がん幹細胞研究, *日本臨床*, 2015; 73 巻, 831-835 頁 (医中誌 ID: 2015224319)
- (2) 下野洋平: 【生体バリアと生体防御・免疫系】 細胞間接着 E カドヘリンとネクチンのバリア機能への関与, *臨床免疫・アレルギー科*, 2015; 64 巻, 15-19 頁 (医中誌 ID: 2015373981)
- (3) 下野洋平: 乳がん幹細胞の潜在性臓器転移に関わる分子機構, *BIO Clinica*, 2015; 30 巻, 1007-1009 頁 (医中誌 ID: 2015375156)

膜生物学 Division of Membrane Biology

英 文

論 文

原 著

- § (1) Mukai H, Muramatsu A, Mashud R, Kubouchi K, Tsujimoto S, Hongu T, Kanaho Y, Tsubaki M, Nishida S, Shioi G, Danno S, Mehruba M, Satoh R, Sugiura R: PKN3 is the major regulator of angiogenesis and tumor metastasis in mice. *Sci Rep*, 2016; 6: 18979. (PMID: 26742562)

- ※ § (2) Sonoda Y, Tooyama I, Mukai H, Maeda K, Akiyama H, Kawamata T: S6 kinase phosphorylated at T229 is involved in tau and actin pathologies in Alzheimer's disease. *Neuropathology*, 2015. (PMID: 26582459)
- ※ § (3) Ando H, Hirose M, Gainche L, Kawaai K, Bonneau B, Ijuin T, Itoh T, Takenawa T, Mikoshiba K: IRBIT Interacts with the Catalytic Core of Phosphatidylinositol Phosphate Kinase Type I α and II α through Conserved Catalytic Aspartate Residues. *PLoS One*, 2015: 10: e0141569. (PMID: 26509711)
- (4) Tsujita K, Takenawa T, Itoh T: Feedback regulation between plasma membrane tension and membrane-bending proteins organizes cell polarity during leading edge formation. *Nat Cell Biol*, 2015: 17: 749-758. (PMID: 25938814)
- § ¶ (5) Yasuda H, Mukai H: Turning off of GluN2B subunits and on of CICR in hippocampal LTD induction after developmental GluN2 subunit switch. *Hippocampus*, 2015. (PMID: 25727316)

総 説

- ¶ (1) Tsujita K, Itoh T: Phosphoinositides in the regulation of actin cortex and cell migration. *Biochim Biophys Acta*, 2015: 1851: 824-831. (PMID: 25449647)

シグナル統合学 Division of Molecular and Cellular Signaling

英 文

論 文

原 著

- § (1) Saito Y, Ellegast JM, Manz MG: Generation of Humanized Mice for Analysis of Human Dendritic Cells. *Methods Mol Biol*, 2016: 1423: 309-320. (PMID: 27142026)
- § § (2) Konno T, Pinho Melo E, Lopes C, Mehmeti I, Lenzen S, Ron D, Avezov E: ERO1-independent production of H₂O₂ within the endoplasmic reticulum fuels Prdx4-mediated oxidative protein folding. *J Cell Biol*, 2015: 211: 253-259. (PMID: 26504166)

- ※ § (3) Murata Y, Kotani T, Supriatna Y, Kitamura Y, Imada S, Kawahara K, Nishio M, Daniwijaya EW, Sadakata H, Kusakari S, Mori M, Kanazawa Y, Saito Y, Okawa K, Takeda-Morishita M, Okazawa H, Ohnishi H, Azuma T, Suzuki A, Matozaki T: Protein tyrosine phosphatase SAP-1 protects against colitis through regulation of CEACAM20 in the intestinal epithelium. *Proc Natl Acad Sci U S A*, 2015; 112: E4264-E4271. (PMID: 26195794)
- § (4) Kolan SS, Lejon K, Koskinen Holm C, Sulniute R, Lundberg P, Matozaki T, Oldenborg PA: Non-Hematopoietic and Hematopoietic SIRP α Signaling Differently Regulates Murine B Cell Maturation in Bone Marrow and Spleen. *PLoS One*, 2015; 10: e0134113. (PMID: 26222253)
- § (5) Alvarez-Zarate J, Matlung HL, Matozaki T, Kuijpers TW, Maridonneau-Parini I, van den Berg TK: Regulation of Phagocyte Migration by Signal Regulatory Protein-Alpha Signaling. *PLoS One*, 2015; 10: e0127178. (PMID: 26057870)
- § (6) Kolan SS, Boman A, Matozaki T, Lejon K, Oldenborg PA: Lack of non-hematopoietic SIRP α signaling disturbs the splenic marginal zone architecture resulting in accumulation and displacement of marginal zone B cells. *Biochem Biophys Res Commun*, 2015; 460: 645-650. (PMID: 25817792)
- ※(7) Kitamura Y, Murata Y, Park JH, Kotani T, Imada S, Saito Y, Okazawa H, Azuma T, Matozaki T: Regulation by gut commensal bacteria of carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule expression in the intestinal epithelium. *Genes Cells*, 2015. (PMID: 25908210)
- ※ § ¶ (8) Washio K, Kotani T, Saito Y, Respatika D, Murata Y, Kaneko Y, Okazawa H, Ohnishi H, Fukunaga A, Nishigori C, Matozaki T: Dendritic cell SIRP α regulates homeostasis of dendritic cells in lymphoid organs. *Genes Cells*, 2015. (PMID: 25818708)
- § § (9) Avezov E, Konno T, Zyryanova A, Chen W, Laine R, Crespillo-Casado A, Melo EP, Ushioda R, Nagata K, Kaminski CF, Harding HP, Ron D: Retarded PDI diffusion and a reductive shift in poise of the calcium depleted endoplasmic reticulum. *BMC Biol*, 2015; 13: 2. (PMID: 25575667)

総 説

- § § (1) Fujii J, Kurahashi T, Konno T, Homma T, Iuchi Y: Oxidative stress as a potential causal factor for autoimmune hemolytic anemia and systemic lupus erythematosus. *World J Nephrol*, 2015; 4: 213-222. (PMID: 25949934)

邦 文

論 文

総 説

- (1) 小谷武徳, 村田陽二, 的崎尚: 【細胞シグナル操作法】分子からみたシグナル操作法 キナーゼ プロテインホスファターゼ, 生体の科学, 2015; 66 巻, 432-433 頁 (医中誌 ID: PA05150024)
- (2) 村田陽二, 小谷武徳, 的崎尚: 【プロテインホスファターゼの最先端:制御機構から医療まで】 受容体型チロシンホスファターゼの機能と病態 R3 サブタイプチロシンホスファターゼを中心に, 生化学, 2015; 87 巻, 547-553 頁 (医中誌 ID: 2016055244)

シグナル伝達学 Division of Signal Transduction

英 文

論 文

原 著

- ※ ㊦(1) Mori S, Takaya T, Kinugasa M, Ito T, Takamine S, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Inoue T, Satomi-Kobayashi S, Rikitake Y, Okita Y, Hirata K: Three-dimensional quantification and visualization of aortic calcification by multidetector-row computed tomography: A simple approach using a volume-rendering method. *Atherosclerosis*, 2015; 239: 622-628. (PMID: 25554696)

総 説

- ※ ㊦(1) Mandai K, Rikitake Y, Mori M, Takai Y: Nectins and nectin-like molecules in development and disease. *Curr Top Dev Biol*, 2015; 112: 197-231. (PMID: 25733141)

ゲノム生理学 Division of Genomic Physiology

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Horikoshi N, Tachiwana H, Kagawa W, Osakabe A, Matsumoto S, Iwai S, Sugasawa K, Kurumizaka H: Crystal structure of the nucleosome containing ultraviolet light-induced cyclobutane pyrimidine dimer. *Biochem Biophys Res Commun*, 2016: 471: 117-122. (PMID: 26837048)

- § (2) Kino K, Sugasawa K, Miyazawa H, Hanaoka F : 2,2,4-Triamino-5(2H)-oxazolone is a weak substrate for nucleotide excision repair. *J Pharm Negative Results*, 2016: 7: 42-45.

- ※ § (3) Cavadini S, Fischer ES, Bunker RD, Potenza A, Lingaraju GM, Goldie KN, Mohamed WI, Faty M, Petzold G, Beckwith RE, Tichkule RB, Hassiepen U, Abdulrahman W, Pantelic RS, Matsumoto S, Sugasawa K, Stahlberg H5, Thoma NH.: Cullin-RING ubiquitin E3 ligase regulation by the COP9 signalosome. *Nature*, 2016: 531: 598-603. (PMID: 27029275)

- ※ § (4) Osakabe A, Tachiwana H, Kagawa W, Horikoshi N, Matsumoto S, Hasegawa M, Matsumoto N, Toga T, Yamamoto J, Hanaoka F, Thoma; NH, Sugasawa K, Iwai S, Kurumizaka H: Structural basis of pyrimidine-pyrimidone (6-4) photoproduct recognition by UV-DDB in the nucleosome. *Sci Rep*, 2015: 5: 16330. (PMID: 26573481)

- ※ § (5) Okuda M, Kinoshita M, Kakumu E, Sugasawa K, Nishimura Y: Structural insight into the mechanism of TFIIH recognition by the acidic string of the nucleotide excision repair factor XPC. *Structure*, 2015: 23: 1827-1837. (PMID: 26278177)

- ※ § (6) Li CL, Golebiowski FM, Onishi Y, Samara NL, Sugasawa K, Yang W: Tripartite DNA lesion recognition and verification by XPC, TFIIH, and XPA in nucleotide excision repair. *Mol Cell*, 2015: 59: 1025-1034. (PMID: 26384665)

- ※ § (7) Akita M, Tak YS, Shimura T, Matsumoto S, Okuda-Shimizu Y, Shimizu Y, Nishi R, Saitoh H, Iwai S, Mori T, Ikura T, Sakai W, Hanaoka F, Sugasawa K: SUMOylation of xeroderma pigmentosum group C protein regulates DNA damage recognition during nucleotide excision repair. *Sci Rep*, 2015: 5: 10984. (PMID: 26042670)

薬理学 Division of Pharmacology

英 文

書 籍

分担執筆

- (1) Tomoyuki Furuyashiki, Shiho Kitaoka: Part III Lipid Mediators and Diseases, 22. Roles and actions of arachidonic acid-derived bioactive lipids in stress-related behaviors. Takehiko Yokomizo, Makoto Murakami eds., Bioactive Lipid Mediators Current Reviews and Protocols, Springer, 2015: 315-328.

論 文

原 著

- § (1) Ma Y, Ma N, Liu Q, Qi Y, Manabe R, Furuyashiki T: Tor Signaling Regulates Transcription of Amino Acid Permeases through a GATA Transcription Factor Gaf1 in Fission Yeast. PLoS One, 2015: 10: e0144677. (PMID: 26689777)
- ※ § (2) Zhang X, Fang Y, Jaiseng W, Hu L, Lu Y, Ma Y, Furuyashiki T: Characterization of Tamoxifen as an Antifungal Agent Using the Yeast Schizosaccharomyces Pombe Model Organism. Kobe J Med Sci, 2015: 61: E54-E63. (PMID: 26628015)
- § (3) Liu Q, Ma Y, Zhou X, Furuyashiki T: Constitutive Tor2 Activity Promotes Retention of the Amino Acid Transporter Agp3 at Trans-Golgi/Endosomes in Fission Yeast. PLoS One, 2015: 10: e0139045. (PMID: 26447710)
- § (4) Hu L, Fang Y, Hayafuji T, Ma Y, Furuyashiki T: Azoles activate Atf1-mediated transcription through MAP kinase pathway for antifungal effects in fission yeast. Genes Cells, 2015: 20: 695-705. (PMID: 26108447)
- ※ § (5) Hirano T, Yanai S, Omotehara T, Hashimoto R, Umemura Y, Kubota N, Minami K, Nagahara D, Matsuo E, Aihara Y, Shinohara R, Furuyashiki T, Mantani Y, Yokoyama T, Kitagawa H, Hoshi N: The combined effect of clothianidin and environmental stress on the behavioral and reproductive function in male mice. J Vet Med Sci, 2015. (PMID: 25960033)

- § § ¶(6) Yoshida M, Kitaoka S, Egawa N, Yamane M, Ikeda R, Tsukita K, Amano N, Watanabe A, Morimoto M, Takahashi J, Hosoi H, Nakahata T, Inoue H, Saito MK: Modeling the Early Phenotype at the Neuromuscular Junction of Spinal Muscular Atrophy Using Patient-Derived iPSCs. Stem Cell Reports, 2015; 4: 561-568. (PMID: 25801509)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 北岡志保, 古屋敷智之: ドパミン依存的な情動行動における PGE₂-EP1 経路の役割と精神疾患との関連. 村上誠, 横溝岳彦 編, 脂質疾患学, 羊土社, 2015: 1-221 頁

論 文

総 説

- (1) 北岡志保, 古屋敷智之: 【脂質疾患学 なぜあぶらの異常が病気を引き起こすのか?その質的量的変化と肥満、がん、不妊症、免疫・皮膚・神経疾患】 (第2章)多彩な疾患における脂質の量的・質的変化 神経疾患 ドパミン依存的な情動行動における PGE₂-EP1 経路の役割と精神疾患との関連, 実験医学, 2015; 33 巻, 2468-2473 頁 (医中誌 ID: 2016046744)
- (2) 古屋敷智之: 【プロスタグランジンと炎症】 ストレスによる情動制御における PGE₂-EP1 系の役割, 医学のあゆみ, 2015; 254 巻, 1115-1120 頁 (医中誌 ID: 2015342751)
- (3) 古屋敷智之: 痛みと情動 ストレスによる情動変化と脳内の自然免疫系, PAIN RESEARCH, 2015; 30 巻, 70 頁 (医中誌 ID: 2015335350)
- (4) 古屋敷智之: 【プロスタグランジンによる病態制御の最前線】 ストレス関連行動における COX-1-PGE₂-EP1 系の役割, 細胞, 2015; 47 巻, 270-273 頁 (医中誌 ID: 2015258022)
- (5) 古屋敷智之: 反復社会挫折ストレスにおけるプロスタグランジン E₂ による前頭前皮質ドパミン系制御の役割, 生化学, 2015; 87 巻, 122-124 頁 (医中誌 ID: 2015157703)

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Yamamoto K, Ioroi T, Kanaya K, Shinomiya K, Komoto S, Hirata S, Harada K, Watanabe A, Suno M, Nishioka T, Kume M, Makimoto H, Nakagawa T, Hirano T, Miyake H, Fujisawa M, Hirai M: STAT3 polymorphism rs4796793 may be a predictive factor of tumor response to multiple tyrosine kinase inhibitors in metastatic renal cell carcinoma in Japanese population. *Med Oncol*, 2016; 33: 24. (PMID: 26833481)
- ※ § (2) Yamamoto K, Shinomiya K, Ioroi T, Hirata S, Harada K, Suno M, Nishioka T, Kume M, Makimoto H, Nakagawa T, Hirano T, Bito T, Nishigori C, Miyake H, Fujisawa M, Hirai M: Association of Single Nucleotide Polymorphisms in STAT3 with Hand-Foot Skin Reactions in Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma Treated with Multiple Tyrosine Kinase Inhibitors: A Retrospective Analysis in Japanese Patients. *Target Oncol*, 2016; 11: 93-99. (PMID: 26300443)
- ※ § (3) Mizumoto A, Yamamoto K, Nakayama Y, Takara K, Nakagawa T, Hirano T, Hirai M: Induction of epithelial-mesenchymal transition via activation of epidermal growth factor receptor contributes to sunitinib resistance in human renal cell carcinoma cell lines. *J Pharmacol Exp Ther*, 2015; 355: 152-158. (PMID: 26306766)
- (4) Yamamoto K, Shichiri H, Uda A, Yamashita K, Nishioka T, Kume M, Makimoto H, Nakagawa T, Hirano T, Hirai M: Apoptotic Effects of the Extracts of *Cordyceps militaris* via Erk Phosphorylation in a Renal Cell Carcinoma Cell Line. *Phytother Res*, 2015; 29: 707-713. (PMID: 25644678)
- ※ § (5) Ioroi T, Kakuma T, Sakashita A, Miki Y, Ohtagaki K, Fujiwara Y, Utsubo Y, Nishimura Y, Hirai M: Data analysis methods for assessing palliative care interventions in one-group pre?post studies. *SAGE Open Med*, 2015; 3.

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 平井 みどり: 医薬品と健康食品・サプリメントの相互作用. 医学のあゆみ, 2015: 1075-1082 頁
- (2) 岡本 千明, 平井 みどり: 小児の薬用量と与薬の注意点. Medical Practice, 2015: 1275-1281 頁
- (3) 志田有里: 第 2 章非オピオイド鎮痛薬. 木澤義之 編, カラービジュアルで見てわかる! はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 44-45 頁
- (4) 志田有里: 第 3 章オピオイド. 木澤義之 編, カラービジュアルで見てわかる! はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 65-69, 84-85 頁
- (5) 志田有里: 第 4 章鎮痛補助薬. 木澤義之 編, カラービジュアルで見てわかる! はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 101-105 頁
- (6) 志田有里: 第 7 章薬剤の管理と患者指導. 木澤義之 編, カラービジュアルで見てわかる! はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 129-135 頁
- (7) 藤原尚子, 志田有里: 第 3 章チームで取り組む 頭頸部がんの治療と有害反応のケア—神戸大学医学部附属病院の取り組み. 丹生健一, 佐々木良平, 大月直樹, 大田史江 編, カラーアトラス多職種チームで実践する頭頸部がんの放射線化学療法, 日本看護協会出版会, 2015: 138-149 頁
- (8) 山下和彦: オチる前に読む! 感染症治療のピットフォール, 重症皮膚軟部組織感染症のピットフォール. 月刊薬事 Vol.57 No.11, じほう, 2015: 1885-1893 頁
- (9) 丹田雅明, 水田直美, 丸上奈穂: 第 2 章がん化学療法の基礎知識 2 抗がん薬の種類と作用メカニズム. 小澤桂子, 菅野かおり, 足利幸乃 編, 理解が実践につながるステップアップがん化学療法看護<第 2 版>, 学研メディカル秀潤社, 2016: 26-44 頁
- (10) 山本和宏, 渡邊愛未: 第 2 章口内炎の要因と口腔ケアについて. 谷口泰造 編, 口から始める健康と美容, 星雲社, 2016: 55-64 頁

論文

原著

- (1) 小倉史愛, 木村丈司, 宇田篤史, 戸田飛鳥, 赤澤由子, 山本和宏, 五百蔵武士, 西岡達也, 久米学, 槇本博雄, 平井みどり: STOPP Criteria を用いた高齢者のポリファーマシーに対する薬剤師による介入, 医療薬学, 2016; 42 巻, 78-86 頁

【病理学講座 Department of Pathology】

病理学 Division of Pathology

英文

論文

原著

- (1) Nishio M, Urakawa N, Shigeoka M, Takase N, Ichihara Y, Arai N, Koma Y, Yokozaki H: Software-assisted morphometric and phenotype analyses of human peripheral blood monocyte-derived macrophages induced by a microenvironment model of human esophageal squamous cell carcinoma. *Pathol Int*, 2016; 66: 83-93. (PMID: 26778807)
- ※(2) Nakagawa T, Arisaka Y, Ajiki T, Fujikura K, Masuda A, Takenaka M, Shiomi H, Okabe Y, Fukumoto T, Ku Y, Azuma T, Zen Y: Intraductal tubulopapillary neoplasm of the bile duct: A case report and review of the published work. *Hepatol Res*, 2015. (PMID: 26459784)
- ※¶(3) Urakawa N, Utsunomiya S, Nishio M, Shigeoka M, Takase N, Arai N, Kakeji Y, Koma YI, Yokozaki H: GDF15 derived from both tumor-associated macrophages and esophageal squamous cell carcinomas contributes to tumor progression via Akt and Erk pathways. *Lab Invest*, 2015; 95: 491-503. (PMID: 25730371)

総 説

- ※(1) Takenaka K, Mukohara T, Hirai C, Funakoshi Y, Nakamura Y, Chayahara N, Toyoda M, Kiyota N, Itoh T, Yokozaki H, Minami H: Mediastinal Germ Cell Tumor Exhibiting a Discrepancy between Tumor Markers and Imaging: A Case Study. *Case Rep Oncol*, 2015; 8: 323-331. (PMID: 26351441)

邦 文

論 文

原 著

- ※ §(1) 平田祐一, 有坂好史, 久津見弘, 酒井新, 竹中完, 塩見英之, 東健, 松本逸平, 原重雄, 八隅秀二郎: Cyst in cyst 様構造を呈し、臍粘液性嚢胞腫瘍(mucinous cystic neoplasm;MCN)との鑑別が困難であった臍内副脾に発生した epidermoid cyst の1例, 日本消化器病学会雑誌 (0446-6586), 2015; 112 巻, 1858-1867 頁 (医中誌 ID: 2016021523)

総 説

- (1) 横崎宏, 粕雄一朗, 重岡學, 西尾真理: 消化管がんの進展とがん間質, 別冊 *Bio Clinica* 慢性炎症と疾患, 2016; 5 巻, 77-81 頁

病理診断学 Division of Diagnostic Pathology

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Hara S, Ishimura T, Fujisawa M, Nishi S, Itoh T: Granular swollen epithelial cells in the kidney allograft: a clinicopathological study with special emphasis on possible marker for kidney allograft aging. *Nephrology (Carlton)*, 2016. (PMID: 26969019)

- ※(2) Tane S, Sakai Y, Hokka D, Okuma H, Ogawa H, Tanaka Y, Uchino K, Nishio W, Yoshimura M, Maniwa Y: Significant role of Psf3 expression in non-small-cell lung cancer. *Cancer Sci*, 2015; 106: 1625-1634. (PMID: 26291987)
- ※(3) Yoshikawa M, Kitamura K, Ishimura T, Hara S, Fujisawa M, Nishi S: A suspected case of plasma cell-rich acute renal transplant rejection associated with de novo donor-specific antibody. *Nephrology (Carlton)*, 2015; 20: 66-69. (PMID: 26031590)
- § (4) Hara S, Goto S, Kamiura N, Yoshimoto A, Naito T, Imagawa N, Imai Y, Yanagita M, Nishi S, Itoh T: Reappraisal of PLA2R1 in membranous nephropathy: immunostaining method influence and association with IgG4-dominant phenotype. *Virchows Arch*, 2015. (PMID: 25820371)
- ※(5) Ishida R, Nakai K, Fujii H, Goto S, Hara S, Imai N, Nishi S: Elevated Expression of Pentraxin 3 in Anti-neutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Glomerulonephritis with Normal Serum C-reactive Protein. *Intern Med*, 2015; 54: 1369-1373. (PMID: 26027989)

総 説

- (1) Hara S: Banff 2013 update: Pearls and pitfalls in transplant renal pathology. *Nephrology (Carlton)*, 2015; 20: 2-8. (PMID: 26031578)

邦 文

書 籍

分担執筆

- § (1) 酒井康裕: 中皮腫診断における免疫組織化学的所見の有用性. 井内康輝 編, 石綿関連疾患の病理とそのリスクコミュニケーション, 篠原出版新社, 2015: 76-90 頁

論 文

原 著

- ※(1) 寺下智美, 立原素子, 上原慶一郎, 酒井康裕, 西村善博: 気管支擦過細胞診にてアレルギー性気管支肺アスペルギルス症が疑われた 1 例, *日本臨床細胞学会雑誌*, 2015; 54 巻, 221-222 頁 (医中誌 ID: 2015341198)
- ※(2) 石村武志, 原重雄, 岡田卓也, 岸川英史, 西村憲二, 川喜田睦司, 野島道生, 山本新吾, 市川靖二, 藤澤正人: 腎移植後 3 ヶ月時 EVR 導入症例の 1 年目生検病理診断に関する検討, *日本臨床腎移植学会雑誌*, 2015; 3 巻, 222-225 頁 (医中誌 ID: Q106350015)

- ※(3) 平田祐一, 有坂好史, 久津見弘, 酒井新, 竹中完, 塩見英之, 東健, 松本逸平, 原重雄, 八隅秀二郎: Cyst in cyst 様構造を呈し、臍粘液性嚢胞腫瘍(mucinous cystic neoplasm;MCN)との鑑別が困難であった臍内副脾に発生した epidermoid cyst の1例, 日本消化器病学会雑誌, 2015; 112 巻, 1858-1867 頁 (医中誌 ID: 2016021523)

総 説

- (1) 原重雄: 【糖尿病と腎疾患 2015】 糖尿病性腎症の病理と基礎研究の最前線 症候からみた糖尿病性腎症の病理 非典型的臨床経過から何を考えるか?, 腎と透析, 2015; 78 巻, 104-110 頁 (医中誌 ID: 2015286153)

病理病態学 Division of Molecular Medicine & Medical Genetics

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Tauchi S, Sakai Y, Fujimoto S, Ogawa H, Tane S, Hokka D, Tanaka Y, Nishio W, Yoshimura M, Yanagita E, Itoh T, Hayashi Y, Maniwa Y: Psf3 is a prognostic biomarker in lung adenocarcinoma: a larger trial using tissue microarrays of 864 consecutive resections. *Eur J Cardiothorac Surg*, 2016. (PMID: 27005977)
- ※ § (2) Hadikusumo AA, Utsumi T, Amin M, Khairunisa SQ, Istimagfirah A, Wahyuni RM, Lusida MI, Soetjipto, Rianto E, Juniastuti, Hayashi Y: High Rates of Hepatitis B, Hepatitis C and Human Immunodeficiency Virus (HBV, HCV, HIV) Infections and Their Uncommon HBV Genotype/Subtype and HCV Subtype Distributions among Transgender Individuals in Surabaya, Indonesia. *Jpn J Infect Dis*, 2016. (PMID: 27000450)
- ※ § (3) Sugimoto K, Kim SR, Kim SK, Imoto S, Tohyama M, Kim KI, Ohtani A, Hatae T, Yano Y, Kudo M, Hayashi Y: Comparison of Daclatasvir and Asunaprevir for Chronic HCV 1b Infection with Telaprevir and Simeprevir plus Peginterferon and Ribavirin, with a Focus on the Prevention of Occurrence and Recurrence of Hepatocellular Carcinoma. *Oncology*, 2015; 89: 42-46. (PMID: 26584035)

- ※ § (4) Yamani LN, Yano Y, Utsumi T, Juniastuti, Wandono H, Widjanarko D, Triantanoe A, Wasityastuti W, Liang Y, Okada R, Tanahashi T, Murakami Y, Azuma T, Soetjipto, Lusida MI, Hayashi Y: Ultradeep Sequencing for Detection of Quasispecies Variants in the Major Hydrophilic Region of Hepatitis B Virus in Indonesian Patients. *J Clin Microbiol*, 2015; 53: 3165-3175. (PMID: 26202119)
- ※ § (5) Sugimoto K, Kim SR, Imoto S, Tohyama M, Kim SK, Matsuoka T, Yano Y, Kudo M, Hayashi Y: Characteristics of Hypovascular versus Hypervascular Well-Differentiated Hepatocellular Carcinoma Smaller Than 2 cm - Focus on Tumor Size, Markers and Imaging Detectability. *Dig Dis*, 2015; 33: 721-727. (PMID: 26488580)

総 説

- ※ § (1) Yano Y, Utsumi T, Lusida MI, Hayashi Y: Hepatitis B virus infection in Indonesia. *World J Gastroenterol*, 2015; 21: 10714-10720. (PMID: 26478663)

邦 文

論 文

総 説

- ※ § (1) 内海孝子, 清水一史, 小瀧将裕, 亀岡正典, 白川利朗, 堀田博, 林祥剛: 【「感染症研究国際ネットワーク推進プログラム(J-GRID)」10年のあゆみ】 神戸大学インドネシア拠点のあゆみと実績, *最新医学*, 2015; 70 巻, 745-753 頁 (医中誌 ID: 2015210075)

【地域社会医学・健康科学講座

Department of Social/Community Medicine and Health Science】

医学教育学 Division of Medical Education

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Nishida K, Morioka I, Nakamachi Y, Kobayashi Y, Imanishi T, Kawano S, Iwatani S, Koda T, Deguchi M, Tanimura K, Yamashita D, Nibu K, Funakoshi T, Ohashi M, Inoue N, Iijima K, Yamada H: Neurological outcomes in symptomatic congenital cytomegalovirus-infected infants after introduction of newborn urine screening and antiviral treatment. *Brain Dev*, 2016; 38: 209-216. (PMID: 26282917)
- § (2) Nakamura A, Komatsu M, Noguchi N, Ohno Y, Hashimoto E, Matsutani H, Abe N, Fukuda S, Kohno H, Nakamura F, Matsuo S, Kawano S: Analysis of molecular epidemiologic characteristics of extended-spectrum β -lactamase (ESBL)-producing *Escherichia coli* colonizing feces in hospital patients and community dwellers in a Japanese city. *J Infect Chemother*, 2016; 22: 102-107. (PMID: 26705747)
- ※ § (3) Kikuma T, Nakamachi Y, Noguchi Y, Okazaki Y, Shimomura D, Yakushijin K, Yamamoto K, Matsuoka H, Minami H, Itoh T, Kawano S: A new transcriptional variant and small azurophilic granules in an acute promyelocytic leukemia case with NPM1/RARA fusion gene. *Int J Hematol*, 2015; 102: 713-718. (PMID: 26342691)
- ※ § (4) Nakamura A, Komatsu M, Kondo A, Ohno Y, Kohno H, Nakamura F, Matsuo S, Ohnuma K, Hatano N, Kawano S: Rapid detection of B2-ST131 clonal group of extended-spectrum β -lactamase-producing *Escherichia coli* by matrix-assisted laser desorption ionization-time-of-flight mass spectrometry: discovery of a peculiar amino acid substitution in B2-ST131 clonal group. *Diagn Microbiol Infect Dis*, 2015; 83: 237-244. (PMID: 26316404)

- ※(5) Kikuma T, Nakamachi Y, Noguchi Y, Okazaki Y, Shimomura D, Yakushijin K, Yamamoto K, Matsuoka H, Minami H, Itoh T, Kawano S: Erratum to: A new transcriptional variant and small azurophilic granules in an acute promyelocytic leukemia case with NPM1/RARA fusion gene. *Int J Hematol*, 2015; 102: 643. (PMID: 26420438)
- ※(6) Yamamoto T, Tanaka H, Takeshima Y, Hayashi N, Hirata K, Kawano S: Combining passive leg-lifting with transmural myocardial strain profile for enhanced predictive capability for subclinical left ventricular dysfunction in Duchenne muscular dystrophy. *J Cardiol*, 2015; 66: 212-217. (PMID: 25896175)
- § § (7) Dalli J, Kraft BD, Colas RA, Shinohara M, Fredenburgh LE, Hess DR, Chiang N, Welty-Wolf K, Choi AM, Piantadosi CA, Serhan CN: The Regulation of Proresolving Lipid Mediator Profiles in Baboon Pneumonia by Inhaled Carbon Monoxide. *Am J Respir Cell Mol Biol*, 2015; 53: 314-325. (PMID: 25568926)
- ※(8) Nagai H, Oiso N, Tomida S, Sakai K, Fujiwara S, Nakamachi Y, Kawano S, Kawada A, Nishio K, Nishigori C: Epidermolysis bullosa simplex with mottled pigmentation with noncicatricial alopecia: Identification of a recurrent p.P25L mutation in KRT5 in four affected family members. *Br J Dermatol*, 2015. (PMID: 26286811)
- ※ § (9) Shimomura D, Nakagawa Y, Kondo H, Tamura T, Amano M, Hayama Y, Onishi N, Tamaki Y, Miyake M, Kaitani K, Izumi C, Hayashida M, Fukuda A, Nakamura F, Kawano S: Relationship between plasma dabigatran concentration and activated partial thromboplastin time in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation. *J Arrhythm*, 2015; 31: 183-188. (PMID: 26336557)
- ※ § (10) Kondo K, Ishida T, Yasuda T, Nakajima H, Mori K, Tanaka N, Mori T, Monguchi T, Shinohara M, Irino Y, Toh R, Rikitake Y, Kiyomizu K, Tomiyama Y, Yamamoto J, Hirata K: Trans-fatty acid promotes thrombus formation in mice by aggravating antithrombogenic endothelial functions via Toll-like receptors. *Mol Nutr Food Res*, 2015; 59: 729-740. (PMID: 25546502)

邦 文

論 文

原 著

- § (1) 渡邊勇氣, 佐藤伊都子, 林伸英, 藤岡由夫, 河野誠司: 選択的可溶化法を用いた改良 LDL コレステロール測定試薬の評価, *医学検査*, 2015; 64 巻, 210-215 頁 (医中誌 ID: 2015218270)
- ※(2) 石田奈美, 佐藤伊都子, 林伸英, 三枝淳, 河野誠司: 高速凝固採血管の検査値の評価 トロンビン添加による検査値への影響, *医学検査*, 2015; 64 巻, 236-241 頁 (医中誌 ID: 2015218274)

- ※(3) 北秋翔子, 林伸英, 佐藤伊都子, 渡辺勝紀, 三枝淳, 河野誠司: ラテックス凝集比濁法によるマトリックスメタロプロテイナーゼ-3 測定試薬における非特異反応の解析, 臨床病理, 2015; 63 巻, 427-434 頁 (医中誌 ID: 2015268087)
- § (4) 高坂仁美, 濱口浩敏, 福住典子, 沖都麦, 今西孝充, 林伸英, 河野誠司, 荻田典生: 血管炎症候群による椎骨動脈病変に対するエコーを用いた検討, Neurosonology, 2015; 28 巻, 41-44 頁 (医中誌 ID: 2016017602)
- ※(5) 小牧遼平, 水木真平, 城間京香, 金沢健司, 梅津道夫, 橋本正良, 河野誠司, 荻田典生: 教育カリキュラム改変に資することを目的とした学生による医学部臨床教育の問題点解析 PBL への学生テュータの導入は学生の学習意欲の増加をうながす, 神緑会学術誌, 2015; 31 巻, 46-48 頁 (医中誌 ID: 2015379304)
- (6) 在間梓: 意見 特集「プロフェッショナルリズム教育の現在とこれから」を読んで, 医学教育, 2015; 46 巻, 354 頁 (医中誌 ID: 2016007907)
- § (7) 高坂仁美, 濱口浩敏, 福住典子, 沖都麦, 今西孝充, 林伸英, 野村佳克, 山口雅人, 河野誠司: 血管エコーが診断や病態把握に有用で、両側上肢動脈狭窄に対して血管内治療が行われた巨細胞性動脈炎の 1 症例, 脈管学, 2015; 55 巻, 95-99 頁 (医中誌 ID: 2015375203)
- ※(8) 城尾可奈, 荒川裕也, 野口依子, 岡崎葉子, 佐藤伊都子, 中町祐司, 林伸英, 河野誠司: コリンエステラーゼ活性が極低値だった 1 症例の遺伝子解析, 医学検査, 2016; 65 巻, 64-69 頁 (医中誌 ID: Q122420010)

総 説

- ※(1) 三枝淳, 河野誠司, 森信暁雄: 自己免疫疾患への多角的検査アプローチ 自己免疫疾患のメタボローム解析の未来 新規バイオマーカーの同定と病態解明を目指して, 臨床病理, 2015; 63 巻, 498-505 頁 (医中誌 ID: 2015241322)
- ※(2) 篠原正和: 【LDL/HDL コレステロールを標的とした動脈硬化症の新しい治療ストラテジー】 炎症収束に着目した脂肪酸由来代謝産物の新展開, 血管医学, 2015; 16 巻, 67-75 頁 (医中誌 ID: 2015175541)

地域医療教育学 Section of Community Medicine And Medical Education

英 文

論 文

原 著

- § (1) Ae R, Kojo T, Kotani K, Okayama M, Kuwabara M, Makino N, Aoyama Y, Sano T, Nakamura Y: Differences in caregiver daily impression by sex, education and career length. *Geriatr Gerontol Int*, 2016. (PMID: 27004594)
- ※ § (2) Kenzaka T, Kato K, Kitao A, Kosami K, Minami K, Yahata S, Fukui M, Okayama M: Hyperammonemia in Urinary Tract Infections. *PLoS One*, 2015; 10: e0136220. (PMID: 26292215)
- § (3) Ae R, Kojo T, Okayama M, Tsuboi S, Makino N, Kotani K, Aoyama Y, Nakamura Y: Caregiver daily impression could reflect illness latency and severity in frail elderly residents in long-term care facilities: A pilot study. *Geriatr Gerontol Int*, 2015. (PMID: 26044283)

邦 文

論 文

総 説

- (1) 岡山雅信: 地域医療教育への提言 地域医療教育の明日に向けて, ジェネラリスト教育コンソーシアム, 2015; 7 巻, 18-32 頁 (医中誌 ID: 2015272469)
- § (2) 岡山雅信, 藤沼康樹: 日本の地域医療教育イノベーション, ジェネラリスト教育コンソーシアム, 2015; 7 巻, 1-16 頁 (医中誌 ID: 2015272468)

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Washida K, Kowa H, Yamamoto Y, Kanda F, Toda T: Dopamine transporter imaging as a diagnostic modality for atypical Alzheimer's disease mimicking corticobasal degeneration. *Psychogeriatrics*, 2016. (PMID: 26781839)
- (2) Kondo K, Toh R, Ishida T, Mori K, Yasuda T, Hirata KI: Comparison of telmisartan/amlodipine and telmisartan/hydrochlorothiazide in the treatment of Japanese patients with uncontrolled hypertension: the TAT-Kobe study. *Blood Press Monit*, 2015. (PMID: 26719915)
- ※(3) Shirakawa T, Miyahara Y, Tanimura K, Morita H, Kawakami F, Itoh T, Yamada H: Expression of Epithelial-Mesenchymal Transition-related Factors in Adherent Placenta. *Int J Gynecol Pathol*, 2015; 34: 584-589. (PMID: 26447356)
- § (4) Noda Y, Sekiguchi K, Kohara N, Kanda F, Toda T: Ultrasonographic diaphragm thickness correlates with compound muscle action potential amplitude and forced vital capacity. *Muscle Nerve*, 2015. (PMID: 26357011)
- ※ § ¶ (5) Kondo K, Ishida T, Yasuda T, Nakajima H, Mori K, Tanaka N, Mori T, Monguchi T, Shinohara M, Irino Y, Toh R, Rikitake Y, Kiyomizu K, Tomiyama Y, Yamamoto J, Hirata K: Trans-fatty acid promotes thrombus formation in mice by aggravating antithrombogenic endothelial functions via Toll-like receptors. *Mol Nutr Food Res*, 2015; 59: 729-740. (PMID: 25546502)
- ※ § (6) Mori K, Ishida T, Yasuda T, Hasokawa M, Monguchi T, Sasaki M, Kondo K, Nakajima H, Shinohara M, Shinke T, Irino Y, Toh R, Nishimura K, Hirata K: Serum Trans-Fatty Acid Concentration Is Elevated in Young Patients With Coronary Artery Disease in Japan. *Circ J*, 2015; 79: 2017-2025. (PMID: 26166015)
- (7) Takaya T, Ishida T: Combination of Invasive and Non-Invasive Vascular Examinations: Usefulness from the Preemptive Aspect. *J Atheroscler Thromb*, 2015; 22: 1027-1029. (PMID: 26370317)

邦 文

書 籍

分担執筆

- §(1) 安田知行, 石田達郎: 血管内皮リパーゼ. 尾池雄一, 佐々木雄彦, 村上誠 編, 疾患モデルの作製と利用 脂質代謝異常と関連疾患, エル・アイ・シー, 2015: 450-456 頁
- §(2) 森田 宏紀: 【胎盤のバイオマーカー】 hCG・hPL(解説/特集). 産科と婦人科, 2015: 980-985 頁

論 文

原 著

- ※(1) 関口兼司, 齋藤貴徳, 横田一郎, 古和久朋, 荻田典生, 戸田達史: 異所性右鎖骨下動脈をともなった真の神経原性胸郭出口症候群の 1 例, 臨床神経学, 2015; 55 巻, 155-159 頁 (医中誌 ID: 2015386131)
- (2) 上中健, 濱口浩敏, 関口兼司, 古和久朋, 荻田典生, 戸田達史: Medial longitudinal fasciculus(MLF)症候群を呈した巨細胞性動脈炎の 1 例, 臨床神経学, 2015; 55 巻, 107-110 頁 (医中誌 ID: 2015238731)
- (3) 遠藤浩信, 千原典夫, 関口兼司, 古和久朋, 荻田典生, 戸田達史: Fingolimod 導入後早期に多数の再発病巣をみとめた多発性硬化症の 1 例, 臨床神経学, 2015; 55 巻, 417-420 頁 (医中誌 ID: 2015305395)
- §(4) 宮脇統子, 古東秀介, 石原広之, 後藤雄一, 西野一三, 荻田典生, 戸田達史: ミトコンドリア DNA 8729 G>A 変異をみとめた neurogenic muscle weakness, ataxia, and retinitis pigmentosa(NARP)の 1 例, 臨床神経学, 2015; 55 巻, 91-95 頁 (医中誌 ID: 2015238728)
- ※(5) 高坂仁美, 濱口浩敏, 福住典子, 沖都麦, 今西孝充, 林伸英, 河野誠司, 荻田典生: 血管炎症候群による椎骨動脈病変に対するエコーを用いた検討, Neurosonology, 2015; 28 巻, 41-44 頁 (医中誌 ID: 2016017602)
- ※(6) 小牧遼平, 水木真平, 城間京香, 金沢健司, 梅津道夫, 橋本正良, 河野誠司, 荻田典生: 教育カリキュラム改変に資することを目的とした学生による医学部臨床教育の問題点解析 PBL への学生チュータの導入は学生の学習意欲の増加をうながす, 神緑会学術誌, 2015; 31 巻, 46-48 頁 (医中誌 ID: 2015379304)

総 説

- (1) 原哲也, 石田達郎: 【原発性脂質異常症:疾患概念の整理と最近の進歩】 原発性低脂血症 家族性低 HDL コレステロール血症の分子機構, *Pharma Medica*, 2015; 33 巻, 57-60 頁 (医中誌 ID: 2015292231)
- §(2) 森脇真一, 苅田典生, 林雅晴, 山下大介, 酒井良忠, 錦織千佳子, 色素性乾皮症診療ガイドライン改定委員会: 日本皮膚科学会ガイドライン 色素性乾皮症診療ガイドライン, *日本皮膚科学会雑誌*, 2015; 125 巻, 2013-2022 頁 (医中誌 ID: 2016042183)
- (3) 苅田典生: 【免疫性神経疾患-基礎・臨床研究の最新知見-】 その他の免疫性神経疾患 傍腫瘍性神経症候群 傍腫瘍性脳脊髄炎, *日本臨床*, 2015; 73 巻, 742-746 頁 (医中誌 ID: 2016035880)
- ※(4) 入野康宏, 石田達郎, 杜隆嗣: 【LDL/HDL コレステロールを標的とした動脈硬化症の新しい治療ストラテジー】 機能不全 HDL に対する治療戦略, *血管医学*, 2015; 16 巻, 53-60 頁 (医中誌 ID: 2015175539)
- ※(5) 篠原正和, 石田達郎: 高 HDL-C 血症, *Medical Practice*, 2016, 頁
- (6) 田中伸明, 石田達郎: HDL 定量検査から機能検査へ HDL の抗炎症能の分子機序と評価方法, *臨床病理*, 2016; 64 巻, 49-56 頁 (医中誌 ID: Q223120006)

衛生学 Division of Medical and Healthcare Systems - Section of Hygiene

英 文

論 文

原 著

- §(1) Arkink EB, Terwindt GM, de Craen AJ, Konishi J, van der Grond J, van Buchem MA, Ferrari MD, Kruit MC; PROSPER Study Group: Infratentorial Microbleeds: Another Sign of Microangiopathy in Migraine. *Stroke*, 2015; 46: 1987-1989. (PMID: 25999387)

邦 文

書 籍

分担執筆

- §(1) 小西淳也: 脳の正常発育. 細矢貴亮, 興梶征典, 三木幸雄, 山田 惠 編, 脳の MRI, メディカルサイエンスインターナショナル, 2015: 777-787 頁

医薬食品評価科学 Division of Food and Drug Evaluation Science

英 文

論 文

原 著

- §(1) Uchida R, Okamoto H, Ikuta N, Terao K, Hirota T: Investigation of Enantioselective Membrane Permeability of α -Lipoic Acid in Caco-2 and MDCKII Cell. *Int J Mol Sci*, 2016: 17. (PMID: 26821014)
- §(2) Ikuta N, Endo T, Hosomi S, Setou K, Tanaka S, Ogawa N, Yamamoto H, Mizukami T, Arai S, Okuno M, Takahashi K, Terao K, Matsugo S: Structural Analysis of Crystalline R()- α -Lipoic Acid- α -cyclodextrin Complex Based on Microscopic and Spectroscopic Studies. *Int J Mol Sci*, 2015: 16: 24614-24628. (PMID: 26501268)
- §(3) Uchida R, Okamoto H, Ikuta N, Terao K, Hirota T: Enantioselective Pharmacokinetics of α -Lipoic Acid in Rats. *Int J Mol Sci*, 2015: 16: 22781-22794. (PMID: 26402669)
- §(4) Naito Y, Ikuta N, Okano A, Okamoto H, Nakata D, Terao K, Matsumoto K, Kajiwara N, Yasui H, Yoshikawa Y: Isomeric effects of anti-diabetic α -lipoic acid with γ -cyclodextrin. *Life Sci*, 2015: 136: 73-78. (PMID: 26141985)
- §(5) Inui T, Kubo K, Kuchiike D, Uto Y, Nishikata T, Sakamoto N, Mette M: Oral Colostrum Macrophage-activating Factor for Serious Infection and Chronic Fatigue Syndrome: Three Case Reports. *Anticancer Res*, 2015: 35: 4545-4549. (PMID: 26168499)

- § (6) Uchida R, Iwamoto K, Nagayama S, Miyajima A, Okamoto H, Ikuta N, Fukumi H, Terao K, Hirota T: Effect of γ -Cyclodextrin Inclusion Complex on the Absorption of R- α -Lipoic Acid in Rats. *Int J Mol Sci*, 2015; 16: 10105-10120. (PMID: 25946345)
- § (7) Schloesser A, Esatbeyoglu T, Piegholdt S, Dose J, Ikuta N, Okamoto H, Ishida Y, Terao K, Matsugo S, Rimbach G: Dietary Tocotrienol/ γ -Cyclodextrin Complex Increases Mitochondrial Membrane Potential and ATP Concentrations in the Brains of Aged Mice. *Oxid Med Cell Longev*, 2015; 2015: 789710. (PMID: 26301044)

疫学 Division of Epidemiology

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Fu XJ, Nozu K, Kaito H, Ninchoji T, Morisada N, Nakanishi K, Yoshikawa N, Ohtsubo H, Matsunoshita N, Kamiyoshi N, Matsumura C, Takagi N, Maekawa K, Taniguchi-Ikeda M, Iijima K: Somatic mosaicism and variant frequency detected by next-generation sequencing in X-linked Alport syndrome. *Eur J Hum Genet*, 2016; 24: 387-391. (PMID: 26014433)
- ※ § (2) Toyoshima D, Morisada N, Takami Y, Kidokoro H, Nishiyama M, Nakagawa T, Ninchoji T, Nozu K, Takeshima Y, Takada S, Nishio H, Iijima K: Rituximab treatment for relapsed opsoclonus-myoclonus syndrome. *Brain Dev*, 2016; 38: 346-349. (PMID: 26375512)
- ※ (3) Yamamura T, Morisada N, Nozu K, Minamikawa S, Ishimori S, Toyoshima D, Ninchoji T, Yasui M, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Nakanishi K, Nishio H, Iijima K: Rare renal ciliopathies in non-consanguineous families that were identified by targeted resequencing. *Clin Exp Nephrol*, 2016. (PMID: 26968886)
- ※ § (4) Matsunoshita N, Nozu K, Shono A, Nozu Y, Fu XJ, Morisada N, Kamiyoshi N, Ohtsubo H, Ninchoji T, Minamikawa S, Yamamura T, Nakanishi K, Yoshikawa N, Shima Y, Kaito H, Iijima K: Differential diagnosis of Bartter syndrome, Gitelman syndrome, and pseudo-Bartter/Gitelman syndrome based on clinical characteristics. *Genet Med*, 2016; 18: 180-188. (PMID: 25880437)

- ※ § (5) Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Murakami Y, Nakamura S, Motooka D, Emoto T, Satake W, Nishiyama M, Toyoshima D, Morisada N, Takada S, Tairaku S, Okamoto N, Morioka I, Kurahashi H, Toda T, Kinoshita T, Iijima K: A novel PIGN mutation and prenatal diagnosis of inherited glycosylphosphatidylinositol deficiency. *Am J Med Genet A*, 2016; 170: 183-188. (PMID: 26419326)
- ※ § (6) Harahap NI, Nurputra DK, Ar Rochmah M, Shima A, Morisada N, Takarada T, Takeuchi A, Tohyama Y, Yanagisawa Y, Nishio H: Salbutamol inhibits ubiquitin-mediated survival motor neuron protein degradation in spinal muscular atrophy cells. *Biochem Biophys Res Commun*, 2015; 473: 351-356.
- § (7) Cheung TP, Van Rostenberghe H, Ismail R, Nawawi NN, Abdullah NA, Ramli N, Ibrahim NR, Hj Abd Majid N, Mohd Yusoff N, Nishio H, Yusoff S: High resolution melting analysis of the NR1I3 genetic variants: Is there an association with neonatal hyperbilirubinemia. *Gene*, 2015; 573: 198-204. (PMID: 26188155)
- ※ § (8) Yamamoto N, Kozaki A, Hartomo TB, Yanai T, Hasegawa D, Kawasaki K, Kosaka Y, Matsuo M, Hirase S, Mori T, Hayakawa A, Iijima K, Nishio H, Nishimura N: Differential expression of minimal residual disease markers in peripheral blood and bone marrow samples from high-risk neuroblastoma patients. *Oncol Lett*, 2015; 10: 3228-3232. (PMID: 26722317)
- ※ § (9) Hirase S, Hasegawa D, Takahashi H, Moriwaki K, Saito A, Kozaki A, Ishida T, Yanai T, Kawasaki K, Yamamoto N, Kubokawa I, Mori T, Hayakawa A, Nishimura N, Nishio H, Iijima K, Kosaka Y: Absolute lymphocyte count at the end of induction therapy is a prognostic factor in childhood acute lymphoblastic leukemia. *Int J Hematol*, 2015; 102: 594-601. (PMID: 26440971)
- ※ § (10) Fu XJ, Nozu K, Eguchi A, Nozu Y, Morisada N, Shono A, Taniguchi-Ikeda M, Shima Y, Nakanishi K, Vorechovsky I, Iijima K: X-linked Alport syndrome associated with a synonymous p.Gly292Gly mutation alters the splicing donor site of the type IV collagen alpha chain 5 gene. *Clin Exp Nephrol*, 2015. (PMID: 26581810)
- ※ § ¶ (11) Harahap NI, Takeuchi A, Yusoff S, Tominaga K, Okinaga T, Kitai Y, Takarada T, Kubo Y, Saito K, Sa'adah N, Nurputra DK, Nishimura N, Saito T, Nishio H: Trinucleotide insertion in the SMN2 promoter may not be related to the clinical phenotype of SMA. *Brain Dev*, 2015; 37: 669-676. (PMID: 25459970)
- ※ § (12) Kato T, Morisada N, Nagase H, Nishiyama M, Toyoshima D, Nakagawa T, Maruyama A, Fu XJ, Nozu K, Wada H, Takada S, Iijima K: Somatic mosaicism of a CDKL5 mutation identified by next-generation sequencing. *Brain Dev*, 2015; 37: 911-915. (PMID: 25819767)
- ※ § (13) Kamiyoshi N, Nozu K, Urahama Y, Matsunoshita N, Yamamura T, Minamikawa S, Ninchoji T, Morisada N, Nakanishi K, Kaito H, Iijima K: Pathogenesis of hypokalemia in autosomal dominant hypocalcemia type 1. *Clin Exp Nephrol*, 2015. (PMID: 26323216)

- ※ § (14) Nishiyama M, Nagase H, Tanaka T, Fujita K, Maruyama A, Toyoshima D, Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Morisada N, Takada S, Iijima K: Demographics and outcomes of patients with pediatric febrile convulsive status epilepticus. *Pediatr Neurol*, 2015; 52: 499-503. (PMID: 25769239)
- ※ § (15) Sa'adah N, Harahap NI, Nurputra DK, Rochmah MA, Morikawa S, Nishimura N, Sadewa AH, Astuti I, Haryana SM, Saito T, Saito K, Nishio H: A rapid, accurate and simple screening method for spinal muscular atrophy: High-resolution melting analysis using dried blood spots on filter paper. *Clin Lab*, 2015; 61: 575-580. (PMID: 26118191)
- § (16) Kubo Y, Nishio H, Saito K: A new method for SMN1 and hybrid SMN gene analysis in spinal muscular atrophy using long-range PCR followed by sequencing. *J Hum Genet*, 2015; 60: 233-239. (PMID: 25716911)
- ※ § (17) Thursina C, Ar Rochmah M, Nurputra DK, Harahap IS, Harahap NI, Sa'adah N, Wibowo S, Sutarni S, Sadewa AH, Nishimura N, Mandai T, Iijima K, Nishio H, Kitayama S: Attention deficit/hyperactivity disorder (ADHD): age related change of completion time and error rates of Stroop test. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E19-E26. (PMID: 25868610)
- § § (18) Shima A, Matsuda R: Low culture temperature inhibits myogenic differentiation through mitochondrial activity. *Zoolog Sci*, 2015; 32: 129-134. (PMID: 25826060)
- § § (19) Pylypenko O, Song L, Shima A, Yang Z, Houdusse AM, Sweeney HL: Myosin VI deafness mutation prevents the initiation of processive runs on actin. *Proc Natl Acad Sci U S A*, 2015; 112: E1201-E1209. (PMID: 25751888)
- ※ § ¶ (20) Yamada H, Nishida Y, Maihara T, Sa'adah N, Harahap NI, Nurputra DK, Ar Rochmah M, Nishimura N, Saito T, Kubo Y, Saito K, Nishio H: Two Japanese patients with SMA type 1 suggest that axonal-SMN may not modify the disease severity. *Pediatr Neurol*, 2015; 52: 638-641. (PMID: 25838041)

総 説

- § (1) Matsuo M, Takeshima Y, Nishio H: Contributions of Japanese patients to development of antisense therapy for DMD. *Brain Dev*, 2016; 38: 4-9. (PMID: 26094594)

邦 文

論 文

原 著

- ※ § (1) 久保川育子, 森岡一朗, 忍頂寺毅史, 池田真理子, 森貞直哉, 石橋和人, 梶山瑞隆, 石田明人, 竹島泰弘, 飯島一誠: 小児初期救急施設を受診した生後3ヵ月未満の発熱児の臨床疫学的検討, 日本小児救急医学会雑誌, 2015; 14 巻, 30-36 頁 (医中誌 ID: 2015205824)
- § (2) 伊地智昭浩, 今井雅尚, 河原啓二, 佐藤英之, 中西絵里奈, 西尾久英, 西村範行: 平成26年度 地域における疾病並びに医療等に関する研究調査 公衆衛生行政(保健所)医師の育成・確保とその役割に関する研究調査 公衆衛生行政の現状と課題をふまえて, 神緑会学術誌, 2015; 31 巻, 7-11 頁 (医中誌 ID: 2015379301)

総 説

- ※ § (1) 森貞直哉, 野津寛大, 亀井宏一, 伊藤秀一, 田中亮二郎, 飯島一誠: ヒト CAKUT の原因遺伝子解析, 発達腎研究会誌, 2015; 23 巻, 19-22 頁 (医中誌 ID: 2015317980)

法医学 Division of Legal Medicine

英 文

論 文

原 著

- § (1) Kondo T, Nagasaki Y, Takahashi M, Nakagawa K, Kuse A, Morichika M, Sakurada M, Asano M, Ueno Y: An autopsy case of cardiac tamponade caused by a ruptured ventricular aneurysm associated with acute myocarditis. Leg Med (Tokyo), 2016; 18: 44-48. (PMID: 26832375)

- § (2) Kondo T, Takahashi M, Nakagawa K, Kuse A, Morichika M, Sakurada M, Asano M, Ueno Y: Rupture of massive coronary artery aneurysm resulting in cardiac tamponade. *Leg Med (Tokyo)*, 2015; 17: 388-390. (PMID: 26048181)
- § (3) Takahashi M, Kondo T, Morichika M, Kuse A, Nakagawa K, Sugimoto M, Asano M, Ueno Y: Unexpected neonatal death caused by interrupted aortic arch, an uncommon congenital great vessel malformation: An autopsy case report. *Leg Med (Tokyo)*, 2015; 17: 340-342. (PMID: 25922087)
- § (4) Takahashi M, Kondo T, Morichika M, Kuse A, Nakagawa K, Asano M, Ueno Y: Autopsy case of undiagnosed gangliocytoma in the medulla oblongata complicated with cerebral palsy. *Leg Med (Tokyo)*, 2015. (PMID: 26210504)

邦 文

論 文

原 著

- § (1) 谷口絵美, 浅野水辺, 近藤武史, 上野易弘: ウイスキー多量飲用による急性アルコール中毒死の剖検例, *法医学の実際と研究*, 2015, 167-172 頁 (医中誌 ID: Q107140026)
- § (2) 石上安希子, 浅野水辺, 徳永逸夫, 上野易弘, 西村明儒: 筋弛緩剤「サクシン」を誤投与され死亡した剖検例, *法医学の実際と研究*, 2015, 161-165 頁 (医中誌 ID: Q107140025)

【内科学講座 Department of Internal Medicine】

循環器内科学 Division of Cardiovascular Medicine

英 文

論 文

原 著

- § (1) Terashita D, Otake H, Shinke T, Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Takeda Y, Fujii K, Yamada S, Shimada Y, Yamashita T, Yumoto K, Hirata K: Differences in Vessel Healing Between Sirolimus- and Everolimus-Eluting Stent Implantation for Bifurcation Lesions: The J-REVERSE Optical Coherence Tomography Substudy. *Can J Cardiol*, 2016; 32: 384-390. (PMID: 26481078)
- (2) Matsuzoe H, Tanaka H, Matsumoto K, Toki H, Shimoura H, Ooka J, Sano H, Sawa T, Motoji Y, Mochizuki Y, Ryo K, Fukuzawa K, Yoshida A, Hirata K: Left ventricular dyssynergy and dispersion as determinant factors of fatal ventricular arrhythmias in patients with mildly reduced ejection fraction. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2016; 17: 334-342. (PMID: 26160402)
- ※(3) Emoto T, Yamashita T, Sasaki N, Hirota Y, Hayashi T, So A, Kasahara K, Yodoi K, Matsumoto T, Mizoguchi T, Ogawa W, Hirata KI: Analysis of Gut Microbiota in Coronary Artery Disease Patients: a Possible Link between Gut Microbiota and Coronary Artery Disease. *J Atheroscler Thromb*, 2016. (PMID: 26947598)
- ※(4) Yamanaka K, Sasaki N, Fujita Y, Kawamoto A, Hirata KI, Okita Y: Impact of acquired and innate immunity on spinal cord ischemia and reperfusion injury. *Gen Thorac Cardiovasc Surg*, 2016. (PMID: 26892508)
- (5) Motoji Y, Tanaka H, Fukuda Y, Sano H, Ryo K, Sawa T, Miyoshi T, Imanishi J, Mochizuki Y, Tatsumi K, Matsumoto K, Emoto N, Hirata K: Association of Apical Longitudinal Rotation with Right Ventricular Performance in Patients with Pulmonary Hypertension: Insights into Overestimation of Tricuspid Annular Plane Systolic Excursion. *Echocardiography*, 2016; 33: 207-215. (PMID: 26710717)

- (6) Fukuda Y, Tanaka H, Ryo-Koriyama K, Motoji Y, Sano H, Shimoura H, Ooka J, Toki H, Sawa T, Mochizuki Y, Matsumoto K, Emoto N, Hirata KI: Comprehensive Functional Assessment of Right-Sided Heart Using Speckle Tracking Strain for Patients with Pulmonary Hypertension. *Echocardiography*, 2016. (PMID: 26920332)
- § (7) Takahashi H, Otake H, Shinke T, Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Takeda Y, Fujii K, Yamada SI, Shimada Y, Yamashita T, Yumoto K, Hirata KI: Impact of final kissing balloon inflation on vessel healing following drug-eluting stent implantation: Insight from the optical coherence tomography sub-study of the J-REVERSE trial. *J Cardiol*, 2016. (PMID: 26899277)
- § (8) Kiuchi K, Okajima K, Shimane A, Kanda G, Yokoi K, Teranishi J, Aoki K, Chimura M, Toba T, Oishi S, Sawada T, Tsukishiro Y, Onishi T, Kobayashi S, Taniguchi Y, Yamada S, Yasaka Y, Kawai H, Yoshida A, Fukuzawa K, Itoh M, Imamura K, Fujiwara R, Suzuki A, Nakanishi T, Yamashita S, Hirata K, Tada H, Yamasaki H, Naruse Y, Igarashi M, Aonuma K: Impact of esophageal temperature monitoring guided atrial fibrillation ablation on preventing asymptomatic excessive transmural injury. *J Arrhythm*, 2016; 32: 36-41. (PMID: 26949429)
- § (9) Kubo T, Shinke T, Okamura T, Hibi K, Nakazawa G, Morino Y, Shite J, Fusazaki T, Otake H, Kozuma K, Akasaka T: Optical frequency domain imaging vs. intravascular ultrasound in percutaneous coronary intervention (OPINION trial): Study protocol for a randomized controlled trial. *J Cardiol*, 2016. (PMID: 26763605)
- § (10) Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Shinke T, Otake H, Takeda Y, Fujii K, Yamada S, Shimada Y, Yamashita T, Yumoto K: Comparison of Everolimus- versus Sirolimus-eluting stents in the provisional Bifurcation stenting guided by intravascular ultrasound: mid-term results of the J-REVERSE registry. *Cardiovasc Interv Ther*, 2016; 31: 1-12. (PMID: 25998890)
- (11) Sawa T, Tanaka H, Motoji Y, Hiraishi M, Mochizuki Y, Ryo K, Matsumoto K, Otake H, Shinke T, Hirata K: Utility of Isovolumic Contraction Peak Velocity for Evaluation of Adult Patient Status after Transcatheter Closure of Atrial Septal Defect. *Echocardiography*, 2016; 33: 23-29. (PMID: 26053342)
- (12) Suzuki A, Fukuzawa K, Yamashita T, Yoshida A, Sasaki N, Emoto T, Takei A, Fujiwara R, Nakanishi T, Yamashita S, Matsumoto A, Konishi H, Ichibori H, Hirata KI: Circulating intermediate CD14 CD16 monocytes are increased in patients with atrial fibrillation and reflect the functional remodelling of the left atrium. *Europace*, 2016. (PMID: 26826137)
- (13) Kuroda M, Otake H, Shinke T, Takaya T, Nakagawa M, Osue T, Taniguchi Y, Iwasaki M, Nishio R, Kinutani H, Konishi A, Hirata KI: The impact of in-stent neoatherosclerosis on long-term clinical outcomes: an observational study from the Kobe University Hospital optical coherence tomography registry. *EuroIntervention*, 2015; 11. (PMID: 26690315)
- (14) Kondo K, Toh R, Ishida T, Mori K, Yasuda T, Hirata KI: Comparison of telmisartan/amlodipine and telmisartan/hydrochlorothiazide in the treatment of Japanese patients with uncontrolled hypertension: the TAT-Kobe study. *Blood Press Monit*, 2015. (PMID: 26719915)

- (15) Matsumoto K, Tanaka H, Ooka J, Motoji Y, Sawa T, Mochizuki Y, Ryo K, Tatsumi K, Hirata KI: Significant prognostic impact of improvement in ventriculo-arterial coupling induced by dobutamine stress on cardiovascular outcome for patients with dilated cardiomyopathy. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2015. (PMID: 26705483)
- ※(16) Ogawa M, Izawa KP, Kitamura A, Ono R, Satomi-Kobayashi S, Sakai Y, Okita Y: Preoperative physical activity in relation to postoperative delirium in elective cardiac surgery patients. *Int J Cardiol*, 2015; 201: 154-156. (PMID: 26298363)
- ※(17) Dokuni K, Tanaka H, Mochizuki Y, Matsumoto K, Okita Y, Hirata K: Severe Aortic Regurgitation Caused by Unicuspid Aortic Valve Based on Quadricuspid Aortic Valve. *Echocardiography*, 2015; 32: 1889-1890. (PMID: 26239702)
- § § (18) Hara T, Ughi GJ, McCarthy JR, Erdem SS, Mauskapf A, Lyon SC, Fard AM, Edelman ER, Tearney GJ, Jaffer FA: Intravascular fibrin molecular imaging improves the detection of unhealed stents assessed by optical coherence tomography in vivo. *Eur Heart J*, 2015. (PMID: 26685129)
- (19) Sawa T, Tanaka H, Motoji Y, Hiraishi M, Mochizuki Y, Ryo K, Matsumoto K, Otake H, Shinke T, Hirata K: Reply. *Echocardiography*, 2015; 32: 1743. (PMID: 26507811)
- § (20) Chiastra C, Wu W, Dickerhoff B, Aleiou A, Dubini G, Otake H, Migliavacca F, LaDisa JF Jr: Computational replication of the patient-specific stenting procedure for coronary artery bifurcations: From OCT and CT imaging to structural and hemodynamics analyses. *J Biomech*, 2015. (PMID: 26655589)
- ※(21) Kinugasa M, Mori S, Takaya T, Ito T, Tanaka H, Satomi-Kobayashi S, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Okita Y, Hirata KI: Serum phosphate is an independent predictor of the total aortic calcification volume in non-hemodialysis patients undergoing cardiovascular surgery. *J Cardiol*, 2015. (PMID: 26572956)
- (22) Matsumoto K, Tanaka H, Onishi A, Motoji Y, Tatsumi K, Sawa T, Miyoshi T, Imanishi J, Mochizuki Y, Hirata K: Bi-ventricular contractile reserve offers an incremental prognostic value for patients with dilated cardiomyopathy. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2015; 16: 1213-1223. (PMID: 25851330)
- § (23) Choi G, Lee JM, Kim HJ, Park JB, Sankaran S, Otake H, Doh JH, Nam CW, Shin ES, Taylor CA, Koo BK: Coronary Artery Axial Plaque Stress and its Relationship With Lesion Geometry: Application of Computational Fluid Dynamics to Coronary CT Angiography. *JACC Cardiovasc Imaging*, 2015; 8: 1156-1166. (PMID: 26363834)
- § (24) Sakti Muliawan H, Nakayama K, Yagi K, Ikeda K, Yagita K, Hirata K, Emoto N: Stable Somatic Gene Expression in Mouse Lungs Following Electroporation-mediated Tol2 Transposon Delivery. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E47-E53. (PMID: 26628014)

- § (25) Kiuchi K, Yoshida A, Takei A, Fukuzawa K, Itoh M, Imamura K, Fujiwara R, Suzuki A, Nakanishi T, Yamashita S, Hirata K, Kanda G, Okajima K, Shimane A, Yamada S, Taniguchi Y, Yasaka Y, Kawai H: Topographic variability of the left atrium and pulmonary veins assessed by 3D-CT predicts the recurrence of atrial fibrillation after catheter ablation. *J Arrhythm*, 2015: 31: 286-292. (PMID: 26550084)
- § (26) Kozuki A, Shinke T, Otake H, Kijima Y, Masano T, Nagoshi R, Imamura K, Fujiwara R, Shibata H, Takeshige R, Tsukiyama Y, Yanaka K, Nakano S, Fukuyama Y, Kawashima S, Hirata KI, Shite J: Optical coherence tomography study of chronic-phase vessel healing after implantation of bare metal and paclitaxel-eluting self-expanding nitinol stents in the superficial femoral artery. *J Cardiol*, 2015. (PMID: 26347219)
- § (27) Satwiko MG, Ikeda K, Nakayama K, Yagi K, Hocher B, Hirata K, Emoto N: Targeted activation of endothelin-1 exacerbates hypoxia-induced pulmonary hypertension. *Biochem Biophys Res Commun*, 2015: 465: 356-362. (PMID: 26275708)
- (28) Yamamoto T, Tanaka H, Takeshima Y, Hayashi N, Hirata K, Kawano S: Combining passive leg-lifting with transmural myocardial strain profile for enhanced predictive capability for subclinical left ventricular dysfunction in Duchenne muscular dystrophy. *J Cardiol*, 2015: 66: 212-217. (PMID: 25896175)
- (29) Konishi A, Shinke T, Otake H, Takaya T, Osue T, Kinutani H, Kuroda M, Takahashi H, Terashita D, Shite J, Hirata K: Serial Optical Coherence Tomography Evaluation at 6, 12, and 24 Months After Biolimus A9-Eluting Biodegradable Polymer-Coated Stent Implantation. *Can J Cardiol*, 2015: 31: 980-988. (PMID: 26117623)
- (30) Konishi A, Shinke T, Otake H, Takaya T, Osue T, Kinutani H, Kuroda M, Takahashi H, Terashita D, Hirata KI: Impact of residual platelet reactivity under clopidogrel treatment for lesions and the clinical outcome after drug-eluting stent implantation in patients with hemodialysis. *J Cardiol*, 2015. (PMID: 26299610)
- (31) Terao Y, Satomi-Kobayashi S, Hirata K, Rikitake Y: Involvement of Rho-associated protein kinase (ROCK) and bone morphogenetic protein-binding endothelial cell precursor-derived regulator (BMPER) in high glucose-increased alkaline phosphatase expression and activity in human coronary artery smooth muscle cells. *Cardiovasc Diabetol*, 2015: 14: 104. (PMID: 26264461)
- § (32) Yamashita S, Fukuzawa K, Yoshida A, Itoh M, Imamura K, Fujiwara R, Suzuki A, Nakanishi T, Matsumoto A, Kanda G, Kiuchi K, Shimane A, Okajima K, Tanaka H, Hirata K: The effectiveness of cardiac resynchronization therapy for patients with New York Heart Association class IV non-ambulatory heart failure. *J Arrhythm*, 2015: 31: 221-225. (PMID: 26336563)
- § (33) Terashita D, Otake H, Shinke T, Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Takeda Y, Fujii K, Yamada SI, Shimada Y, Yamashita T, Yumoto K, Hirata KI: Differences in Vessel Healing Between Sirolimus- and Everolimus-Eluting Stent Implantation for Bifurcation Lesions: The J-REVERSE Optical Coherence Tomography Substudy. *Can J Cardiol*, 2015. (PMID: 26481078)

- ※(34) Mori S, Fukuzawa K, Takaya T, Takamine S, Ito T, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Yoshida A, Hirata K: Clinical Structural Anatomy of the Inferior Pyramidal Space Reconstructed Within the Cardiac Contour Using Multidetector-Row Computed Tomography. *J Cardiovasc Electrophysiol*, 2015; 26: 705-712. (PMID: 25884276)
- ※(35) Kuroda M, Shinke T, Sakaguchi K, Otake H, Takaya T, Hirota Y, Osue T, Kinutani H, Konishi A, Takahashi H, Terashita D, Uzu K, Hirata K: Association between daily glucose fluctuation and coronary plaque properties in patients receiving adequate lipid-lowering therapy assessed by continuous glucose monitoring and optical coherence tomography. *Cardiovasc Diabetol*, 2015; 14: 78. (PMID: 26062762)
- § (36) Suzuki A, Yoshida A, Takei A, Fukuzawa K, Kiuchi K, Takami K, Itoh M, Imamura K, Fujiwara R, Nakanishi T, Yamashita S, Matsumoto A, Shimane A, Okajima K, Hirata K: Prophylactic catheter ablation of ventricular tachycardia before cardioverter-defibrillator implantation in patients with non-ischemic cardiomyopathy: Clinical outcomes after a single endocardial ablation. *J Arrhythm*, 2015; 31: 122-129. (PMID: 26336545)
- § § (37) Tawakol A, Hara T, Truelove J, Wojtkiewicz GR, Hucker WJ, MacNabb MH, Brownell AL, Jokivarsi K, Kessinger CW, Jaff MR, Henke PK, Weissleder R, Jaffer FA: Response to Letter Regarding Article, "18F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography/Computed Tomography Enables the Detection of Recurrent Same-Site Deep Vein Thrombosis by Illuminating Recently Formed, Neutrophil-Rich Thrombus". *Circulation*, 2015; 131: e531-e532. (PMID: 26078375)
- ※(38) Kuroda M, Shinke T, Sakaguchi K, Otake H, Takaya T, Hirota Y, Sugiyama D, Nakagawa M, Hariki H, Inoue T, Osue T, Taniguchi Y, Iwasaki M, Nishio R, Kinutani H, Konishi A, Hiranuma N, Takahashi H, Terashita D, Hirata K: Effect of daily glucose fluctuation on coronary plaque vulnerability in patients pre-treated with lipid-lowering therapy: a prospective observational study. *JACC Cardiovasc Interv*, 2015; 8: 800-811. (PMID: 25999102)
- ※(39) Kasamatsu A, Takaya T, Mori S, Kashio K, Takahashi H, Ito T, Takamine S, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Shinke T, Hirata K: Reconstruction of an extracardiac aortocoronary collateral and simulation of selective angiography with multidetector-row computed tomography. *Circulation*, 2015; 131: e476-e479. (PMID: 25986450)
- ※(40) Mori S, Fukuzawa K, Takaya T, Takamine S, Ito T, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Yoshida A, Hirata KI: Clinical cardiac structural anatomy reconstructed within the cardiac contour using multidetector-row computed tomography: Left ventricular outflow tract. *Clin Anat*, 2015. (PMID: 25974872)
- ※(41) Mori S, Fukuzawa K, Takaya T, Takamine S, Ito T, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Yoshida A, Hirata KI: Clinical cardiac structural anatomy reconstructed within the cardiac contour using multidetector-row computed tomography: The arrangement and location of the cardiac valves. *Clin Anat*, 2015. (PMID: 25973574)

- ※(42) Mochizuki Y, Tanaka H, Matsumoto K, Sano H, Toki H, Shimoura H, Ooka J, Sawa T, Motoji Y, Ryo K, Hirota Y, Ogawa W, Hirata K: Association of peripheral nerve conduction in diabetic neuropathy with subclinical left ventricular systolic dysfunction. *Cardiovasc Diabetol*, 2015: 14: 47. (PMID: 25946999)
- § ¶(43) Yodoi K, Yamashita T, Sasaki N, Kasahara K, Emoto T, Matsumoto T, Kita T, Sasaki Y, Mizoguchi T, Sparwasser T, Hirata K: Foxp3 Regulatory T Cells Play a Protective Role in Angiotensin II-Induced Aortic Aneurysm Formation in Mice. *Hypertension*, 2015: 65: 889-895. (PMID: 25601931)
- ※ § ¶ (44) Nakazato R, Otake H, Konishi A, Iwasaki M, Koo BK, Fukuya H, Shinke T, Hirata K, Leipsic J, Berman DS, Min JK: Atherosclerotic plaque characterization by CT angiography for identification of high-risk coronary artery lesions: a comparison to optical coherence tomography. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2015: 16: 373-379. (PMID: 25246503)
- ※ ¶ (45) Mori S, Takaya T, Kinugasa M, Ito T, Takamine S, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Inoue T, Satomi-Kobayashi S, Rikitake Y, Okita Y, Hirata K: Three-dimensional quantification and visualization of aortic calcification by multidetector-row computed tomography: A simple approach using a volume-rendering method. *Atherosclerosis*, 2015: 239: 622-628. (PMID: 25554696)
- ¶(46) Sano H, Tanaka H, Motoji Y, Fukuda Y, Sawa T, Mochizuki Y, Ryo K, Matsumoto K, Emoto N, Hirata K: Right Ventricular Function and Right-Heart Echocardiographic Response to Therapy Predict Long-term Outcome in Patients With Pulmonary Hypertension. *Can J Cardiol*, 2015: 31: 529-536. (PMID: 25840102)
- ※ § ¶ (47) Kondo K, Ishida T, Yasuda T, Nakajima H, Mori K, Tanaka N, Mori T, Monguchi T, Shinohara M, Irino Y, Toh R, Rikitake Y, Kiyomizu K, Tomiyama Y, Yamamoto J, Hirata K: Trans-fatty acid promotes thrombus formation in mice by aggravating antithrombogenic endothelial functions via Toll-like receptors. *Mol Nutr Food Res*, 2015: 59: 729-740. (PMID: 25546502)
- ※(48) Mori S, Fukuzawa K, Takaya T, Takamine S, Ito T, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Yoshida A, Hirata KI: Clinical cardiac structural anatomy reconstructed within the cardiac contour using multidetector-row computed tomography: Atrial septum and ventricular septum. *Clin Anat*, 2015. (PMID: 25914191)
- ※(49) Yamana S, Tokiyama A, Mizutani K, Hirata K, Takai Y, Rikitake Y: The Cell Adhesion Molecule Necl-4/CADM4 Serves as a Novel Regulator for Contact Inhibition of Cell Movement and Proliferation. *PLoS One*, 2015: 10: e0124259. (PMID: 25893857)
- (50) Mochizuki Y, Tanaka H, Matsumoto K, Sano H, Toki H, Shimoura H, Ooka J, Sawa T, Motoji Y, Ryo K, Hirota Y, Ogawa W, Hirata K: Clinical features of subclinical left ventricular systolic dysfunction in patients with diabetes mellitus. *Cardiovasc Diabetol*, 2015: 14: 37. (PMID: 25889250)

- (51) Yamashita S, Yoshida A, Fukuzawa K, Nakanishi T, Matsumoto A, Konishi H, Ichibori H, Hyogo K, Imada H, Hirata KI: The Relationship between Cardiac Vulnerability and Restitution Properties of the Ventricular Activation Recovery Interval. *J Cardiovasc Electrophysiol*, 2015. (PMID: 25810143)
- ¶(52) Dokuni K, Matsumoto K, Tanaka H, Okita Y, Hirata KI: A case of non-infective endocarditis accompanied by multiple cerebral infarctions and severe mitral regurgitation as initial presentation of primary antiphospholipid syndrome. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2015. (PMID: 25651857)
- § § (53) Kessinger CW, Kim JW, Henke PK, Thompson B, McCarthy JR, Hara T, Sillesen M, Margey RJ, Libby P, Weissleder R, Lin CP, Jaffer FA: Statins improve the resolution of established murine venous thrombosis: reductions in thrombus burden and vein wall scarring. *PLoS One*, 2015: 10: e0116621. (PMID: 25680183)
- § § (54) Ughi GJ, Verjans J, Fard AM, Wang H, Osborn E, Hara T, Mauskapf A, Jaffer FA, Tearney GJ: Dual modality intravascular optical coherence tomography (OCT) and near-infrared fluorescence (NIRF) imaging: a fully automated algorithm for the distance-calibration of NIRF signal intensity for quantitative molecular imaging. *Int J Cardiovasc Imaging*, 2015: 31: 259-268. (PMID: 25341407)
- ¶(55) Motoji Y, Tanaka H, Fukuda Y, Sano H, Ryo K, Imanishi J, Miyoshi T, Sawa T, Mochizuki Y, Matsumoto K, Emoto N, Hirata KI: Interdependence of right ventricular systolic function and left ventricular filling and its association with outcome for patients with pulmonary hypertension. *Int J Cardiovasc Imaging*, 2015. (PMID: 25614330)
- § (56) Nishio R, Shinke T, Morino Y, Tanabe K, Furuya J, Takizawa K, Ako J, Kozuma K, Hibi K, Ishii H, Hirohata A, Otsuka Y, Otake H, Takaya T, Hirata K: Early Phase Arterial Reaction Following Drug-Eluting and Bare-Metal Stent Implantation in Patients With ST-Segment Elevation Myocardial Infarction. *Int Heart J*, 2015: 56: 389-394. (PMID: 26118594)
- § (57) Teguh Ryanto GR, Nakayama K, Takaya T, Fujimoto D, Kinutani H, Shinkura Y, Mori S, Okada T, Nishii T, Kono A, Shinke T, Emoto N, Hirata K: Use of Coils and a Pulmonary Vasodilator to Reduce Pulmonary Hypertension in a Patient with Interstitial Pneumonia and Scleroderma. *Intern Med*, 2015: 54: 2721-2726. (PMID: 26521900)
- (58) Hiraishi M, Tanaka H, Motoji Y, Sawa T, Tsuji T, Miyoshi T, Imanishi J, Kaneko A, Matsumoto K, Shinke T, Hirata K: Impact of Right Ventricular Geometry on Mitral Regurgitation After Transcatheter Closure of Atrial Septal Defect. *Int Heart J*, 2015: 56: 516-521. (PMID: 26370370)
- ※(59) Ito T, Kono A, Takamine S, Shigeru M, Mori S, Takaya T, Fujiwara S, Nishii T, Shiotani H, Sugimura K, Hirata K: A Comparison of Quantitative T2 Mapping on Cardiovascular Magnetic Resonance Imaging with Metaiodobenzylguanidine Scintigraphy and Left Ventricular Functional Recovery in Dilated Cardiomyopathy: A Retrospective Pilot Study. *Intern Med*, 2015: 54: 2121-2128. (PMID: 26328635)

(60) Yamashita T, Kasahara K, Emoto T, Matsumoto T, Mizoguchi T, Kitano N, Sasaki N, Hirata K: Intestinal Immunity and Gut Microbiota as Therapeutic Targets for Preventing Atherosclerotic Cardiovascular Diseases. *Circ J*, 2015; 79: 1882-1890. (PMID: 26212124)

※ § (61) Mori K, Ishida T, Yasuda T, Hasokawa M, Monguchi T, Sasaki M, Kondo K, Nakajima H, Shinohara M, Shinke T, Irino Y, Toh R, Nishimura K, Hirata K: Serum Trans-Fatty Acid Concentration Is Elevated in Young Patients With Coronary Artery Disease in Japan. *Circ J*, 2015; 79: 2017-2025. (PMID: 26166015)

(62) Takaya T, Ishida T: Combination of Invasive and Non-Invasive Vascular Examinations: Usefulness from the Preemptive Aspect. *J Atheroscler Thromb*, 2015; 22: 1027-1029. (PMID: 26370317)

総 説

(1) Tanaka H, Hirata KI: Is speckle tracking actually helpful for cardiac resynchronization therapy. *J Echocardiogr*, 2016. (PMID: 26767529)

¶(2) Yamashita T, Sasaki N, Kasahara K, Hirata KI: Anti-inflammatory and immune-modulatory therapies for preventing atherosclerotic cardiovascular disease. *J Cardiol*, 2015. (PMID: 25744783)

(3) Sasaki N, Yamashita T, Kasahara K, Takeda M, Hirata K: Regulatory T cells and tolerogenic dendritic cells as critical immune modulators in atherogenesis. *Curr Pharm Des*, 2015; 21: 1107-1117. (PMID: 25312730)

※ ¶ (4) Mandai K, Rikitake Y, Mori M, Takai Y: Nectins and nectin-like molecules in development and disease. *Curr Top Dev Biol*, 2015; 112: 197-231. (PMID: 25733141)

邦 文

書 籍

分担執筆

§ (1) 安田知行, 石田達郎: 血管内皮リパーゼ. 尾池雄一, 佐々木雄彦, 村上誠 編, 疾患モデルの作製と利用 脂質代謝異常と関連疾患, エル・アイ・シー, 2015: 450-456 頁

(2) 小林成美: 高安動脈炎 (大動脈症候群、脈なし病). 山口徹, 北原光夫, 福井次矢, 高木誠, 小室一成 編, 今日の治療指針 私はこう治療している 2015, 医学書院, 2015: 435-436 頁

- (3) 山下智也, 平田健一: 動脈硬化と腸内細菌. 落合邦康 編, 腸内細菌・口腔細菌と全身疾患, シーエムシー出版, 2015: 64-72 頁

論 文

原 著

- §(1) 淀井景子, 山下智也, 河野浩之, 佐々木直人, 北智之, 笠原和之, 佐々木義浩, 松本卓也, 江本拓央, 溝口泰司, 林友鴻, 平田健一: ンジオテンシン II 誘発性大動脈瘤形成に対する n-3 系多価不飽和脂肪酸 EPA と DHA の差異の検討, 薬理と治療, 2015; 43 巻, 1409-1416 頁 (医中誌 ID: PB11290006)

総 説

- ※(1) 高谷具史, 新家俊郎: 【高齢者の心疾患治療の進歩-低侵襲治療の進歩を中心に-】 高齢者への薬剤溶出性ステント(DES)使用に付随する諸問題, Geriatric Medicine, 2015; 53 巻, 693-697 頁 (医中誌 ID: 2015395801)
- §(2) 高谷具史, 江尻純哉, 澤田隆弘, 亀村幸平: 血管を診る カテーテル治療の今後の展望と薬物療法, Pharma Medica, 2015; 33 巻, 1-7 頁 (医中誌 ID: 2015175730)
- (3) 原哲也, 石田達郎: 【原発性脂質異常症:疾患概念の整理と最近の進歩】 原発性低脂血症 家族性低 HDL コレステロール血症の分子機構, Pharma Medica, 2015; 33 巻, 57-60 頁 (医中誌 ID: 2015292231)
- (4) 江本拓央, 山下智也, 平田健一: 【ヒトマイクロバイオーーム研究 UPDATE】 腸内細菌と循環器疾患, 臨床化学, 2015; 44 巻, 282-289 頁 (医中誌 ID: 2016071415)
- (5) 江本拓央, 山下智也, 平田健一: Bedside Teaching 動脈硬化と腸内細菌, 呼吸と循環, 2015; 63 巻, 1209-1215 頁 (医中誌 ID: 2016044936)
- (6) 山下智也, 佐々木直人, 平田健一: 動脈硬化研究の新展開 未知の治療ターゲットを求めて 心血管病の治療標的としての腸管免疫と腸内細菌, 循環器専門医, 2015; 23 巻, 189-195 頁 (医中誌 ID: 2015405114)
- (7) 山下智也, 平田健一: 【腸内フローラが見せる新たな世界と疾患メカニズム】 腸内細菌と動脈硬化, 血管医学, 2015; 16 巻, 237-242 頁 (医中誌 ID: 2015381576)
- (8) 笠原和之, 山下智也, 平田健一: 【腸内細菌 up to date:今まさに明らかになりつつある全身疾患への影響】 腸内細菌と循環器疾患, Pharma Medica, 2015; 33 巻, 23-26 頁 (医中誌 ID: 2015381409)

- (9) 笠原和之, 山下智也, 平田健一: 【スタチン投与後のレジデュアル・リスク】 腸管免疫・腸内細菌の治療介入による動脈硬化性疾患予防の展望, 呼吸と循環, 2015; 63 巻, 840-846 頁 (医中誌 ID: 2015324682)
- (10) 山下智也, 佐々木直人, 平田健一: 【慢性炎症制御による加齢関連疾患治療の展望】 慢性炎症制御による動脈硬化予防, 別冊 Bio Clinica: 慢性炎症と疾患, 2015; 4 巻, 50-55 頁 (医中誌 ID: 2015285147)
- (11) 森俊平, 平田健一: 臨床心臓血管解剖学 治療に必要な基礎知識 心・血管疾患の検査、治療時に必要な解剖学 臨床心臓解剖学への誘い Living Heart Anatomy, Heart View, 2015; 19 巻, 658-673 頁 (医中誌 ID: 2015239592)
- (12) 平田健一: 【発症前に診断し、介入する 先制医療 実現のための医学研究】 (第 2 章) 主要な疾患と先制医療 遺伝素因、環境因子、発症前診断の可能性、予防法 循環器系疾患 冠動脈疾患に対する先制医療 ゲノムから腸内細菌まで、発症予測と早期治療介入の可能性, 実験医学, 2015; 33 巻, 1085-1091 頁 (医中誌 ID: 2015210642)
- (13) 山下智也, 平田健一: 【動脈硬化予防の新たなバイオマーカー】 腸内細菌叢, 動脈硬化予防, 2015; 14 巻, 58-64 頁 (医中誌 ID: 2015210492)
- (14) 平田健一: 【循環器疾患の予後改善を目指して】 冠動脈疾患と多価不飽和脂肪酸 EPA, 循環 plus, 2015; 15 巻, 2-6 頁 (医中誌 ID: 2015129790)
- (15) 山下智也, 平田健一: 【最近の日本人の肥満症-新知見が拓くこれからの肥満症診療】 肥満症のメカニズム 腸内細菌叢と肥満, カレントセラピー, 2016; 34 巻, 33-38 頁 (医中誌 ID: Q108360005)
- (16) 新家俊郎, 大竹寛雅, 平田健一: 【冠動脈イメージングを極める-侵襲的から非侵襲的方法-】 冠動脈病変を治療する イメージングガイドインターベンションを極める OCT ガイド PCI, Coronary Intervention, 2015; 11 巻, 96-102 頁 (医中誌 ID: 2016074466)
- (17) 山下智也: 【血管内皮細胞関連因子】 一酸化窒素(NO), Thrombosis Medicine, 2015; 5 巻, 221-226 頁 (医中誌 ID: 2016062342)
- ※(18) 入野康宏, 石田達郎, 杜隆嗣: 【LDL/HDL コレステロールを標的とした動脈硬化症の新しい治療ストラテジー】 機能不全 HDL に対する治療戦略, 血管医学, 2015; 16 巻, 53-60 頁 (医中誌 ID: 2015175539)
- ※(19) 篠原正和, 石田達郎: 高 HDL-C 血症, Medical Practice, 2016, 頁
- (20) 田中伸明, 石田達郎: HDL 定量検査から機能検査へ HDL の抗炎症能の分子機序と評価方法, 臨床病理, 2016; 64 巻, 49-56 頁 (医中誌 ID: Q223120006)

- (21) 山下智也, 平田健一: 【腸内細菌は病気とどう関連するか】 腸内細菌と動脈硬化, 成人病と生活習慣病, 2015; 45 巻, 1523-1529 頁 (医中誌 ID: 2016089796)

消化器内科学 Division of Gastroenterology

英 文

書 籍

分担執筆

- § (1) T. Takamatsu, H. Miyahara, T. Azuma, A. Okino: Current Progress in Advanced Research into Tetrodotoxin Inactivation by Gas Plasmas. Hideharu Shintani, Akikazu Sakudo eds., Gas Plasma Sterilization in Microbiology: Theory, Applications, Pitfalls and New Perspectives, Caister Academic Press, 2016: -.

論 文

原 著

- ※(1) Kaszynski RH, Nishiumi S, Azuma T, Yoshida M, Kondo T, Takahashi M, Asano M, Ueno Y: Postmortem interval estimation: a novel approach utilizing gas chromatography/mass spectrometry-based biochemical profiling. *Anal Bioanal Chem*, 2016. (PMID: 26931122)
- ※(2) Yoshizaki T, Toyonaga T, Tanaka S, Ohara Y, Kawara F, Baba S, Tsubouchi E, Takihara H, Watanabe D, Ishida T, Hoshi N, Morita Y, Umegaki E, Azuma T: Feasibility and safety of endoscopic submucosal dissection for lesions involving the ileocecal valve. *Endoscopy*, 2016. (PMID: 26990510)
- ※(3) Saito M, Hirano H, Yano Y, Momose K, Yoshida M, Azuma T: Serum level of taurine would be associated with the amelioration of minimal hepatic encephalopathy in cirrhotic patients. *Hepatol Res*, 2016; 46: 215-224. (PMID: 26224109)
- ※ § (4) Uedo N, Gotoda T, Yoshinaga S, Tanuma T, Morita Y, Doyama H, Aso A, Hirasawa T, Yano T, Uchita N, Hooi Ho GS, Hsieh PH: Differences in routine esophagogastroduodenoscopy between Japanese and international facilities: a questionnaire survey. *Dig Endosc*, 2016. (PMID: 26856704)

- § (5) Gotoda T, Uedo N, Yoshinaga S, Tanuma T, Morita Y, Doyama H, Aso A, Hirasawa T, Yano T, Uchita K, Ho G, Hsieh PH: Basic principles and practice of gastric cancer screening using high-definition white light gastroscopy: eyes can only see what the brain knows. *Dig Endosc*, 2016. (PMID: 26836611)
- (6) Ohara Y, Toyonaga T, Tanaka S, Ishida T, Hoshi N, Yoshizaki T, Kawara F, Lui KL, Tepmalai K, Damrongmanee A, Nagata M, Morita Y, Umegaki E, Azuma T: Risk of stricture after endoscopic submucosal dissection for large rectal neoplasms. *Endoscopy*, 2016; 48: 62-70. (PMID: 26220284)
- ※ § (7) Saito M, Yano Y, Hirano H, Momose K, Mouri K, Hishimoto A, Yoshida M, Azuma T: The serum level of NX-DCP-R, but not DCP, is not increased in alcoholic liver disease without hepatocellular carcinoma. *Cancer Biomark*, 2016; 16: 171-180. (PMID: 26600398)
- ※ § (8) Shimoda A, Ueda K, Nishiumi S, Murata-Kamiya N, Mukai SA, Sawada S, Azuma T, Hatakeyama M, Akiyoshi K: Exosomes as nanocarriers for systemic delivery of the *Helicobacter pylori* virulence factor CagA. *Sci Rep*, 2016; 6: 18346. (PMID: 26739388)
- § (9) Tanuma T, Morita Y, Doyama H: Current status of transnasal endoscopy using ultrathin videoscope for upper GI tract in the world. *Dig Endosc*, 2016. (PMID: 26792612)
- § (10) Ashida K, Sakurai Y, Hori T, Kudou K, Nishimura A, Hiramatsu N, Umegaki E, Iwakiri K: Randomised clinical trial: vonoprazan, a novel potassium-competitive acid blocker, vs. lansoprazole for the healing of erosive oesophagitis. *Aliment Pharmacol Ther*, 2016; 43: 240-251. (PMID: 26559637)
- ※(11) Ohara Y, Toyonaga T, Tsubouchi E, Takihara H, Baba S, Tanaka S, Azuma T: Clinical course after endoscopic submucosal dissection in the rectum leaving a circumferential mucosal defect of 26 cm in length. *Endoscopy*, 2016; 48: E4-E5. (PMID: 26800198)
- § § (12) Takizawa K, Ono H, Yamamoto Y, Katai H, Hori S, Yano T, Umegaki E, Sasaki S, Iizuka T, Kawagoe K, Shimoda T, Muto M, Sasako M: Incidence of lymph node metastasis in intramucosal gastric cancer measuring 30 mm or less, with ulceration; mixed, predominantly differentiated-type histology; and no lymphovascular invasion: a multicenter retrospective study. *Gastric Cancer*, 2015. (PMID: 26577295)
- § § (13) Abdelaal UM, Morita E, Nouda S, Kuramoto T, Miyaji K, Fukui H, Tsuda Y, Fukuda A, Murano M, Tokioka S, Umegaki E, Arfa UA, Higuchi K: Blue mode imaging may improve the detection and visualization of small-bowel lesions: A capsule endoscopy study. *Saudi J Gastroenterol*, 2015; 21: 418-422. (PMID: 26655139)
- ※ § (14) Yamani LN, Yano Y, Utsumi T, Juniastuti, Wandono H, Widjanarko D, Triantanoe A, Wasityastuti W, Liang Y, Okada R, Tanahashi T, Murakami Y, Azuma T, Soetjipto, Lusida MI, Hayashi Y: Ultradeep Sequencing for Detection of Quasispecies Variants in the Major Hydrophilic Region of Hepatitis B Virus in Indonesian Patients. *J Clin Microbiol*, 2015; 53: 3165-3175. (PMID: 26202119)

- § (15) Kakuta S, Nishiumi S, Yoshida M, Fukusaki E, Bamba T: Profiling of volatile compounds in APC(Min/) mice blood by dynamic headspace extraction and gas chromatography/mass spectrometry. *J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci*, 2015: 1003: 35-40. (PMID: 26406113)
- (16) Nakagawa T, Arisaka Y, Ajiki T, Fujikura K, Masuda A, Takenaka M, Shiomi H, Okabe Y, Fukumoto T, Ku Y, Azuma T, Zen Y: Intraductal tubulopapillary neoplasm of the bile duct: A case report and review of the published work. *Hepatol Res*, 2015. (PMID: 26459784)
- § (17) Ashida K, Sakurai Y, Nishimura A, Kudou K, Hiramatsu N, Umegaki E, Iwakiri K, Chiba T: Randomised clinical trial: a dose-ranging study of vonoprazan, a novel potassium-competitive acid blocker, vs. lansoprazole for the treatment of erosive oesophagitis. *Aliment Pharmacol Ther*, 2015: 42: 685-695. (PMID: 26201312)
- ※ § (18) Murata Y, Kotani T, Supriatna Y, Kitamura Y, Imada S, Kawahara K, Nishio M, Daniwijaya EW, Sadakata H, Kusakari S, Mori M, Kanazawa Y, Saito Y, Okawa K, Takeda-Morishita M, Okazawa H, Ohnishi H, Azuma T, Suzuki A, Matozaki T: Protein tyrosine phosphatase SAP-1 protects against colitis through regulation of CEACAM20 in the intestinal epithelium. *Proc Natl Acad Sci U S A*, 2015: 112: E4264-E4271. (PMID: 26195794)
- ※ § (19) Takamatsu T, Uehara K, Sasaki Y, Hidekazu M, Matsumura Y, Iwasawa A, Ito N, Kohno M, Azuma T, Okino A: Microbial Inactivation in the Liquid Phase Induced by Multigas Plasma Jet. *PLoS One*, 2015: 10: e0132381. (PMID: 26173107)
- ※(20) Hirano H, Saito M, Yano Y, Momose K, Yoshida M, Tanaka A, Azuma T: Chronic liver disease questionnaire would be a primary screening tool of neuropsychiatric test detecting minimal hepatic encephalopathy of cirrhotic patients. *Hepatol Res*, 2015. (PMID: 26234673)
- (21) Saito M, Hirano H, Yano Y, Momose K, Yoshida M, Azuma T: Serum level of taurine would be associated with the amelioration of minimal hepatic encephalopathy in cirrhotic patients. *Hepatol Res*, 2015. (PMID: 26224109)
- ※(22) Nobutani K, Shimono Y, Mizutani K, Ueda Y, Suzuki T, Kitayama M, Minami A, Momose K, Miyawaki K, Akashi K, Azuma T, Takai Y: Downregulation of CXCR4 in Metastasized Breast Cancer Cells and Implication in Their Dormancy. *PLoS One*, 2015: 10: e0130032. (PMID: 26083776)
- § (23) Toyonaga T, Tanaka S, Man-I M, East J, Ono W, Nishino E, Ishida T, Hoshi N, Morita Y, Azuma T: Clinical significance of the muscle-retracting sign during colorectal endoscopic submucosal dissection. *Endosc Int Open*, 2015: 3: E246-E251. (PMID: 26171438)
- § (24) Tanimoto MA, Guerrero ML, Morita Y, Aguirre-Valadez J, Gomez E, Moctezuma-Velazquez C, Estradas-Trujillo JA, Valdovinos MA, Uscanga LF, Fujita R: Impact of formal training in endoscopic submucosal dissection for early gastrointestinal cancer: A systematic review and a meta-analysis. *World J Gastrointest Endosc*, 2015: 7: 417-428. (PMID: 25901222)

- ※ ¶ (25) Sakai A, Shiomi H, Okabe Y, Yagi Y, Kobayashi T, Shiomi Y, Takenaka M, Hoshi N, Arisaka Y, Kutsumi H, Azuma T: Effectiveness of endoscopic self-expandable metal stent placement for afferent loop obstruction caused by pancreatic cancer recurrence after pancreaticoduodenectomy. *Clin J Gastroenterol*, 2015; 8: 103-107. (PMID: 25708451)
- ※(26) Kitamura Y, Murata Y, Park JH, Kotani T, Imada S, Saito Y, Okazawa H, Azuma T, Matozaki T: Regulation by gut commensal bacteria of carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule expression in the intestinal epithelium. *Genes Cells*, 2015. (PMID: 25908210)
- ※(27) Fukuda I, Nishiumi S, Mukai R, Yoshida KI, Ashida H: Catechins in tea suppress the activity of cytochrome P450 1A1 through the aryl hydrocarbon receptor activation pathway in rat livers. *Int J Food Sci Nutr*, 2015. (PMID: 25582180)
- § (28) Kakuta S, Yamashita T, Nishiumi S, Yoshida M, Fukusaki E, Bamba T: Multi-Component Profiling of Trace Volatiles in Blood by Gas Chromatography/Mass Spectrometry with Dynamic Headspace Extraction. *J Mass Spectrom Soc Jpn*, 2015; 4: A0034-A0034.
- ※(29) Ikeda A, Hoshi N, Yoshizaki T, Fujishima Y, Ishida T, Morita Y, Ejima Y, Toyonaga T, Kakechi Y, Yokosaki H, Azuma T: Endoscopic Submucosal Dissection (ESD) with Additional Therapy for Superficial Esophageal Cancer with Submucosal Invasion. *Intern Med*, 2015; 54: 2803-2813. (PMID: 26567992)
- ※ § (30) Ohbuchi K, Nishiumi S, Fujitsuka N, Hattori T, Yamamoto M, Inui A, Azuma T, Yoshida M: Rikkunshito Ameliorates Cancer Cachexia Partly through Elevation of Glucarate in Plasma. *Evid Based Complement Alternat Med*, 2015; 2015: 871832. (PMID: 26451159)
- § (31) T Takamatsu, H Kawano, H Miyahara, T Azuma, A Okino: Atmospheric nonequilibrium mini-plasma jet created by a 3D printer. *AIP Adv*, 2015; 5: 077184.
- ※(32) Tanaka S, Kawara F, Inoue H, Kurosawa M, Toyonaga T, Azuma T: Peroral endoscopic myotomy for achalasia after distal gastrectomy. *Endoscopy*, 2015; 47: E511-E512. (PMID: 26492300)
- § (33) T Oshita, H Kawano, T Takamatsu, H Miyahara, A Okino: Temperature Controllable Atmospheric Plasma Source. *IEEE Trans Plasma Sci IEEE Nucl Plasma Sci Soc*, 2015; 43: 1987-1992.

総 説

- (1) Kawano Y, Nishiumi S, Saito M, Yano Y, Azuma T, Yoshida M: Identification of Lipid Species Linked to the Progression of Non-alcoholic Fatty Liver Disease. *Curr Drug Targets*, 2015. (PMID: 25850622)

- (2) Yoshida M, Nishiumi S, Azuma T: [Gastroenterological Cancer Diagnosis by Metabolomics-Discovery of Pancreatic Cancer Biomarker]. *Rinsho Byori*, 2015; 63: 450-456. (PMID: 26536778)
- (3) Arisaka Y, Takenaka M, Shiomi H, Azuma T: Diagnosis and management for gallbladder polyps. *Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi*, 2015; 112: 444-455. (PMID: 25759219)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 東健: ヘリコバクター・ピロリ除菌. 秋澤忠男他 編, 南山堂医学大辞典, 南山堂, 2015: 2243-2244 頁
- (2) 塩見英之, 有坂好史, 久津見弘: IPMN 主膵管型. 渡辺守, 糸井隆夫 編, 画像で見ぬく消化器疾患 胆道・膵臓, 医学出版, 2015: 210-211 頁

論 文

原 著

- ※ §(1) 平田祐一, 有坂好史, 久津見弘, 酒井新, 竹中完, 塩見英之, 東健, 松本逸平, 原重雄, 八隅秀二郎: Cyst in cyst 様構造を呈し、膵粘液性嚢胞腫瘍(mucinous cystic neoplasm;MCN)との鑑別が困難であった膵内副脾に発生した epidermoid cyst の 1 例, 日本消化器病学会雑誌 (0446-6586), 2015; 112 巻, 1858-1867 頁 (医中誌 ID: 2016021523)
- (2) 山本幸司, 吉田優, 東健: 抗 CXCL13 抗体は、*Helicobacter suis* 感染によって誘導された胃リンパ濾胞形成を抑制する, 日本ヘリコバクター学会誌, 2015; 16 巻, 4-9 頁 (医中誌 ID: 2015199798)
 - (3) 渡邊大輔, 吉崎哲也, 池原伸直, 森田圭紀, 豊永高史: 画像診断との対比で学ぶ大腸疾患アトラス 絨毛腫瘍(Villous tumor), 大腸がん perspective, 2015; 2 巻, 92-95 頁 (医中誌 ID: 2015213337)
 - (4) 森田圭紀: ESD 手技の工夫 スワンプレードによる ESD, 臨床消化器内科, 2015; 30 巻, 618-622 頁 (医中誌 ID: 2015211354)

総 説

- (1) 有坂好史, 竹中完, 塩見英之, 東健: 【胆嚢隆起性病変の診断と取扱い】 胆嚢ポリープの診断と取扱い, 日本消化器病学会雑誌, 2015; 112 巻, 444-455 頁 (医中誌 ID: 2015185546)
- ※(2) 平田祐一, 小林隆, 西海信, 東健, 吉田優: 【オミックスで加速するがんバイオマーカー研究の最新動向 リスク評価、早期診断、治療効果・予後予測を可能にする新しいバイオマーカー】 (第 1 章)オミックス解析技術 最近のオミックス解析技術の進歩 メタボローム, 遺伝子医学 MOOK, 2015, 89-93 頁 (医中誌 ID: PC04110009)
- ※(3) 吉田優, 西海信, 東健: 質量分析技術の臨床検査応用 メタボローム解析による消化器がんの診断 メタボロミクスによる膵がんバイオマーカー探索, 臨床病理, 2015; 63 巻, 450-456 頁 (医中誌 ID: 2015241314)
- ※(4) 酒井新, 西海信, 小林隆, 東健, 吉田優: 【1 滴で捉える病態】 メタボロミクスによる癌診断の新たな展開, 臨床検査, 2015; 59 巻, 405-410 頁 (医中誌 ID: 2015226431)
- ※(5) 那賀川峻, 西海信, 東健, 吉田優: 【感染・炎症・免疫とメタボローム】 医学におけるメタボローム研究の現状, 臨床免疫・アレルギー科, 2015; 63 巻, 107-111 頁 (医中誌 ID: 2015130547)
- ※(6) 山中広大, 小林隆, 西海信, 東健, 吉田優: 【大腸癌のバイオマーカー】 血清メタボローム解析にもとづく早期大腸癌診断のバイオマーカー, G.I.Research, 2015; 23 巻, 46-51 頁 (医中誌 ID: 2015130239)
- ※(7) 梅垣英次, 東健: 【内科プライマリケアのための消化器診療 Update】 食道・胃・十二指腸疾患 消化性潰瘍, Medicina, 2015; 52 巻, 1673-1677 頁 (医中誌 ID: 2015342077)
- (8) 東健: 【ヘリコバクター感染症の最新知見-H.pylori の感染病態、診断、治療を中心として】 H.pylori 感染と胃癌, 臨床と微生物, 2015; 42 巻, 145-151 頁 (医中誌 ID: 2015174490)

消化器先端医療開発

Section of Advanced Medical Technology for Gastroenterology

英 文

論 文

原 著

- ※ ㉑(1) Sakai A, Shiomi H, Okabe Y, Yagi Y, Kobayashi T, Shiomi Y, Takenaka M, Hoshi N, Arisaka Y, Kutsumi H, Azuma T: Effectiveness of endoscopic self-expandable metal stent placement for afferent loop obstruction caused by pancreatic cancer recurrence after pancreaticoduodenectomy. Clin J Gastroenterol, 2015; 8: 103-107. (PMID: 25708451)

総 説

- ※(1) Kawano Y, Nishiumi S, Saito M, Yano Y, Azuma T, Yoshida M: Identification of Lipid Species Linked to the Progression of Non-alcoholic Fatty Liver Disease. Curr Drug Targets, 2015. (PMID: 25850622)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 東健: ヘリコバクター・ピロリ除菌. 秋澤忠男他 編, 南山堂医学大辞典, 南山堂, 2015: 2243-2244 頁

呼吸器内科学 Division of Respiratory Medicine

英 文

論 文

原 著

- § (1) Fukuhara N, Tachihara M, Tanino Y, Saito J, Sato S, Nikaido T, Misa K, Fukuhara A, Wang X, Ishida T, Onami T, Munakata M: Cholesteryl palmitate crystals in bronchoalveolar lavage fluid smears as a possible prognostic biomarker for chronic interstitial pneumonia: A preliminary study. *Respir Investig*, 2016; 54: 109-115. (PMID: 26879480)
- ※(2) Koyama H, Ohno Y, Fujisawa Y, Seki S, Negi N, Murakami T, Yoshikawa T, Sugihara N, Nishimura Y, Sugimura K: 3D lung motion assessments on inspiratory/expiratory thin-section CT: Capability for pulmonary functional loss of smoking-related COPD in comparison with lung destruction and air trapping. *Eur J Radiol*, 2016; 85: 352-359. (PMID: 26781140)
- § (3) Hata A, Katakami N, Yoshioka H, Kaji R, Masago K, Fujita S, Imai Y, Nishiyama A, Ishida T, Nishimura Y, Yatabe Y: Spatiotemporal T790M Heterogeneity in Individual Patients with EGFR-Mutant Non-Small-Cell Lung Cancer after Acquired Resistance to EGFR-TKI. *J Thorac Oncol*, 2015; 10: 1553-1559. (PMID: 26309190)
- § (4) Nishino K, Imamura F, Kumagai T, Katakami N, Hata A, Okuda C, Urata Y, Hattori Y, Tachihara M, Yokota S, Nishimura T, Kaneda T, Satouchi M, Morita S, Negoro S: A randomized phase II study of bevacizumab in combination with docetaxel or S-1 in patients with non-squamous non-small-cell lung cancer previously treated with platinum based chemotherapy (HANSHIN Oncology Group 0110). *Lung Cancer (Auckl)*, 2015; 89: 146-153. (PMID: 26093793)
- § (5) Otsuka T, Mori M, Yano Y, Uchida J, Nishino K, Kaji R, Hata A, Hattori Y, Urata Y, Kaneda T, Tachihara M, Imamura F, Katakami N, Negoro S, Morita S, Yokota S: Effectiveness of Tyrosine Kinase Inhibitors in Japanese Patients with Non-small Cell Lung Cancer Harboring Minor Epidermal Growth Factor Receptor Mutations: Results from a Multicenter Retrospective Study (HANSHIN Oncology Group 0212). *Anticancer Res*, 2015; 35: 3885-3891. (PMID: 26124334)
- § (6) Asano F, Shinagawa N, Ishida T, Tsuzuku A, Tachihara M, Kanazawa K, Yamada N, Oizumi S, Moriya H: Virtual bronchoscopic navigation improves the diagnostic yield of radial-endobronchial ultrasound for peripheral pulmonary lesions with involved bronchi on CT. *Intern Med*, 2015; 54: 1021-1025. (PMID: 25948341)

- (7) Kunimasa K, Tachihara M, Terashita T, Nishimura Y: Gradually Enlarging Crazy-paving Appearance. Intern Med, 2015; 54: 2791-2792. (PMID: 26521917)

邦 文

論 文

原 著

- ※(1) 寺下智美, 立原素子, 上原慶一郎, 酒井康裕, 西村善博: 気管支擦過細胞診にてアレルギー性気管支肺アスペルギルス症が疑われた 1 例, 日本臨床細胞学会雑誌, 2015; 54 巻, 221-222 頁 (医中誌 ID: 2015341198)
- § (2) 阿部緑生, 立原素子, 植松学, 勝浦豊, 田中端子, 杉野隆, 小川一英: FDG-PET で両肺にびまん性異常集積を認めた血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫(図説), 臨床血液, 2015; 56 巻, 749 頁 (医中誌 ID: 2015323430)

糖尿病・内分泌内科学 Section of Diabetes and Endocrinology

英 文

書 籍

共 著

- § (1) Odelia Cooper, Hidenori Fukuoka: Pituitary Gene Signalling Pathway. Alessandro Finazzi-Agro ed., eLS, John Wiley and Sons, 2016: 1-8.

論 文

原 著

- ※(1) Emoto T, Yamashita T, Sasaki N, Hirota Y, Hayashi T, So A, Kasahara K, Yodoi K, Matsumoto T, Mizoguchi T, Ogawa W, Hirata KI: Analysis of Gut Microbiota in Coronary Artery Disease Patients: a Possible Link between Gut Microbiota and Coronary Artery Disease. *J Atheroscler Thromb*, 2016. (PMID: 26947598)
- § (2) Tamori Y, Tateya S, Ijuin T, Nishimoto Y, Nakajima S, Ogawa W: Negative-charged residues in the polar carboxy-terminal region in FSP27 are indispensable for expanding lipid droplets. *FEBS Lett*, 2016. (PMID: 26921608)
- ※(3) Ijuin T, Hatano N, Hosooka T, Takenawa T: Regulation of insulin signaling in skeletal muscle by PIP3 phosphatase, SKIP, and endoplasmic reticulum molecular chaperone glucose-regulated protein 78. *Biochim Biophys Acta*, 2015: 1853: 3192-3201. (PMID: 26376412)
- § (4) Ohashi K, Komada H, Uda S, Kubota H, Iwaki T, Fukuzawa H, Komori Y, Fujii M, Toyoshima Y, Sakaguchi K, Ogawa W, Kuroda S: Glucose Homeostatic Law: Insulin Clearance Predicts the Progression of Glucose Intolerance in Humans. *PLoS One*, 2015: 10: e0143880. (PMID: 26623647)
- § (5) Yoshida K, Fukuoka H, Matsumoto R, Bando H, Suda K, Nishizawa H, Iguchi G, Ogawa W, Webb SM, Takahashi Y: The quality of life in acromegalic patients with biochemical remission by surgery alone is superior to that in those with pharmaceutical therapy without radiotherapy, using the newly developed Japanese version of the AcroQoL. *Pituitary*, 2015: 18: 876-883. (PMID: 26123761)
- ※(6) Ijuin T, Hosooka T, Takenawa T: Phosphatidylinositol 3,4,5-Trisphosphate Phosphatase SKIP Links Endoplasmic Reticulum Stress in Skeletal Muscle to Insulin Resistance. *Mol Cell Biol*, 2015: 36: 108-118. (PMID: 26483413)
- § (7) Matsumoto R, Fukuoka H, Iguchi G, Odake Y, Yoshida K, Bando H, Suda K, Nishizawa H, Takahashi M, Yamada S, Ogawa W, Takahashi Y: Accelerated Telomere Shortening in Acromegaly; IGF-I Induces Telomere Shortening and Cellular Senescence. *PLoS One*, 2015: 10: e0140189. (PMID: 26448623)
- § (8) Nakamura T, Sakaguchi K, So A, Nakajima S, Takabe M, Komada H, Okuno Y, Hirota Y, Nakamura T, Iida K, Kajikawa M, Nagata M, Ogawa W, Seino S: Effects of insulin degludec and insulin glargine on day-to-day fasting plasma glucose variability in individuals with type 1 diabetes: a multicentre, randomised, crossover study. *Diabetologia*, 2015: 58: 2013-2019. (PMID: 26044206)

- ※ § (9) Takenaka N, Sumi Y, Matsuda K, Fujita J, Hosooka T, Noguchi T, Aiba A, Satoh T: Role for RalA downstream of Rac1 in skeletal muscle insulin signalling. *Biochem J*, 2015; 469: 445-454. (PMID: 26205497)
- ※ § (10) Kraus BJ, Sartoretto JL, Polak P, Hosooka T, Shioto T, Eskurza I, Lee SA, Jiang H, Michel T, Kahn BB: Novel role for retinol-binding protein 4 in the regulation of blood pressure. *FASEB J*, 2015; 29: 3133-3140. (PMID: 25911613)
- (11) Hirata Y, Fukuoka H, Iguchi G, Iwahashi Y, Fujita Y, Hari Y, Iga M, Nakajima S, Nishimoto Y, Mukai M, Hirota Y, Sakaguchi K, Ogawa W, Takahashi Y: Median-lower normal levels of serum thyroxine are associated with low triiodothyronine levels and body temperature in patients with central hypothyroidism. *Eur J Endocrinol*, 2015; 173: 247-256. (PMID: 25994949)
- ※ § (12) Asahara S, Etoh H, Inoue H, Teruyama K, Shibutani Y, Ihara Y, Kawada Y, Bartolome A, Hashimoto N, Matsuda T, Koyanagi-Kimura M, Kanno A, Hirota Y, Hosooka T, Nagashima K, Nishimura W, Inoue H, Matsumoto M, Higgins MJ, Yasuda K, Inagaki N, Seino S, Kasuga M, Kido Y: Paternal allelic mutation at the *Kcnq1* locus reduces pancreatic β -cell mass by epigenetic modification of *Cdkn1c*. *Proc Natl Acad Sci U S A*, 2015; 112: 8332-8337. (PMID: 26100882)
- ※(13) Kuroda M, Shinke T, Sakaguchi K, Otake H, Takaya T, Hirota Y, Osue T, Kinutani H, Konishi A, Takahashi H, Terashita D, Uzu K, Hirata K: Association between daily glucose fluctuation and coronary plaque properties in patients receiving adequate lipid-lowering therapy assessed by continuous glucose monitoring and optical coherence tomography. *Cardiovasc Diabetol*, 2015; 14: 78. (PMID: 26062762)
- § (14) Matsuda T, Takahashi H, Mieda Y, Shimizu S, Kawamoto T, Matsuura Y, Takai T, Suzuki E, Kanno A, Koyanagi-Kimura M, Asahara S, Bartolome A, Yokoi N, Inoue H, Ogawa W, Seino S, Kido Y: Regulation of Pancreatic β Cell Mass by Cross-Interaction between CCAAT Enhancer Binding Protein β Induced by Endoplasmic Reticulum Stress and AMP-Activated Protein Kinase Activity. *PLoS One*, 2015; 10: e0130757. (PMID: 26091000)
- ※(15) Kuroda M, Shinke T, Sakaguchi K, Otake H, Takaya T, Hirota Y, Sugiyama D, Nakagawa M, Hariki H, Inoue T, Osue T, Taniguchi Y, Iwasaki M, Nishio R, Kinutani H, Konishi A, Hiranuma N, Takahashi H, Terashita D, Hirata K: Effect of daily glucose fluctuation on coronary plaque vulnerability in patients pre-treated with lipid-lowering therapy: a prospective observational study. *JACC Cardiovasc Interv*, 2015; 8: 800-811. (PMID: 25999102)
- ※(16) Mochizuki Y, Tanaka H, Matsumoto K, Sano H, Toki H, Shimoura H, Ooka J, Sawa T, Motoji Y, Ryo K, Hirota Y, Ogawa W, Hirata K: Association of peripheral nerve conduction in diabetic neuropathy with subclinical left ventricular systolic dysfunction. *Cardiovasc Diabetol*, 2015; 14: 47. (PMID: 25946999)

- ※(17) Mochizuki Y, Tanaka H, Matsumoto K, Sano H, Toki H, Shimoura H, Ooka J, Sawa T, Motoji Y, Ryo K, Hirota Y, Ogawa W, Hirata K: Clinical features of subclinical left ventricular systolic dysfunction in patients with diabetes mellitus. *Cardiovasc Diabetol*, 2015; 14: 37. (PMID: 25889250)

総 説

- (1) Hosooka T, Ogawa W: A novel role for the cell cycle regulatory complex cyclin D1-CDK4 in gluconeogenesis. *J Diabetes Investig*, 2016; 7: 27-28. (PMID: 26816597)
- (2) Fukuoka H: New potential targets for treatment of Cushing's disease: epithelial growth factor receptor and cyclin-dependent kinases. *Pituitary*, 2015; 18: 274-278. (PMID: 25612787)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 高橋裕: 成人成長ホルモン分泌不全症. 医学大事典, 南山堂, 2015
- (2) 高橋裕: 成長ホルモン単独欠損症. 医学大事典, 南山堂, 2015: -頁
- (3) 高橋裕: ラローン型低身長症. 医学大事典, 南山堂, 2015
- (4) 高橋裕: 下垂体前葉ホルモン単独欠損症. 医学大事典, 南山堂, 2015
- (5) 高橋裕: われわれはどこから来たのか われわれは何者か われわれはどこへ行くのか?心とホルモンの密接な関係?. ノーチラスな人々, 日本評論社, 2015
- (6) 高橋裕: 成長ホルモン. 医学大事典, 南山堂, 2015
- (7) 廣田勇士, 小川渉: インスリン抗体による不安定糖尿病への対処. 荒木栄一/綿田裕孝編, ヴィジュアル糖尿病臨床のすべて 最新インスリン療法 改訂第2版, 中山書店, 2015: 193-200 頁
- (8) 福岡秀規, 小川渉: インスリン抵抗性と癌発症. 杉原健一 編, 最新臨床大腸癌学 — 基礎研究から臨床応用へ—, 日本臨床社, 2015: 699-702 頁
- (9) 細岡哲也, 小川渉: 糖尿病治療の最前線—メトホルミンの作用機序に関して教えてください—. 伊藤浩, 綿田裕孝 編, 心血管事故を予防するための糖尿病治療戦略, 文光堂, 2016: 122-125 頁

論文

原著

- (1) 平田悠, 廣田勇士, 小武由紀子, 西本祐希, 西海智子, 坂口一彦, 小川渉: Scatchard 解析にて抗体の性質を4年にわたり観察したインスリン抗体陽性2型糖尿病の1例, 糖尿病, 2015; 58巻, 842-849頁 (医中誌 ID: 2016074940)
- §(2) 岩橋泰幸, 福岡秀規, 中島進介, 井口元三, 本間桂子, 長谷川奉延, 小川渉, 高橋裕: Turner 症候群と CAH の合併を認めた副腎偶発腫の一例, 日本内分泌学会雑誌, 2015; 91巻, 44-46頁 (医中誌 ID: 2015395227)
- §(3) 小川渉, 宮崎滋: 【総合健診と予防医学的根拠】 肥満と肥満症の診断基準, 総合健診, 2015; 42巻, 301-306頁 (医中誌 ID: 2015221089)

総説

- (1) 中島進介, 田守義和, 小川渉: 【肥満症診療最前線】 肥満に起因する疾患の検査、治療のポイントは? 体重減少の効果を主に 肥満に起因するがん, Modern Physician, 2015; 35巻, 219-221頁 (医中誌 ID: 2015141495)
- (2) 小川渉: 糖尿病成因解明の最前線 エネルギー消費制御と肥満・糖代謝異常の発症メカニズム, 実験医学, 2015; 33巻, 133-135頁 (医中誌 ID: 2015166305)
- (3) 廣田勇士: 【1型糖尿病の最新治療-病態を考慮した治療介入から先進機器まで-】 SAP 導入の実際, プラクティス, 2015; 32巻, 678-684頁 (医中誌 ID: 2016055652)
- (4) 松岡敦子, 廣田勇士, 小川渉: 【高齢者の糖尿病ケア-最近の話題と対応策】 高齢者の糖尿病薬物治療の課題と対策 肝機能低下, 糖尿病の最新治療, 2015; 6巻, 191-195頁 (医中誌 ID: 2015397449)
- (5) 廣田勇士, 小川渉: 糖尿病とがん 糖尿病とがんの発症をつなぐメカニズム, 糖尿病合併症, 2015; 29巻, 51-53頁 (医中誌 ID: 2015319789)
- (6) 廣田勇士, 小川渉: 【経口糖尿病薬の配合剤の有用性を考える】 配合剤の種類と使い方 メタクト, 糖尿病の最新治療, 2015; 6巻, 118-121頁 (医中誌 ID: 2015241138)
- (7) 中村友昭, 坂口一彦, 小川渉: 【糖尿病治療薬～薬剤選択とその根拠～】 SU 薬, 月刊レジデント, 2016; 9巻, 45-52頁 (医中誌 ID: Q126150006)
- (8) 倉本尚樹, 小川渉: 【糖尿病治療薬 Update-適正使用に向けて】 経口血糖降下薬の特性と注意点 ビグアナイド薬, Medicina, 2016; 53巻, 39-41頁 (医中誌 ID: Q120040010)

- (9) 坂口一彦, 小川渉: 【循環器内科医が知っておくべき糖尿病治療薬】 メトホルミンの心血管イベント予防効果と使用における注意点, 心臓, 2015; 47 巻, 944-950 頁 (医中誌 ID: 2015356422)
- (10) 細岡哲也, 小川渉: インスリン作用の Key Molecules PDK1, Diabetes Frontier, 2015; 26 巻, 499-503 頁 (医中誌 ID: 2015324283)
- (11) 坂口一彦, 小川渉: 【インスリン抵抗性をどう評価し、どう活かすか?-中枢神経から標的臓器まで-】 肝糖代謝改善を目指した薬物療法, プラクティス, 2015; 32 巻, 425-432 頁 (医中誌 ID: 2015290969)
- (12) 野村和弘, 小川渉: 【ミトコンドリアを鍛える】 運動でミトコンドリアを鍛える PGC-1 α の役割, アンチ・エイジング医学, 2015; 11 巻, 356-361 頁 (医中誌 ID: 2015243749)
- (13) 福岡秀規, 小川渉: 【最新臨床大腸癌学-基礎研究から臨床応用へ-】 インスリン抵抗性と癌発症, 日本臨床, 2015; 73 巻, 699-704 頁 (医中誌 ID: 2015236201)
- (14) 平田悠, 野村和弘, 小川渉: 【グルカゴン革命 糖尿病の真の分子病態を追え!】 肝臓におけるグルカゴンの生理作用 脳を介した作用を含めて, 実験医学, 2015; 33 巻, 892-896 頁 (医中誌 ID: 2015206104)
- (15) 野村和弘, 小川渉: 【糖尿病と合併症(前篇) 糖尿病】 2型糖尿病、インスリン抵抗性糖尿病とミトコンドリア機能障害, 最新医学, 2015; 70 巻, 580-586 頁 (医中誌 ID: 2015174046)

総合内科学 Section of General Internal Medicine

英 文

書 籍

共 訳

- § (1) Gilbert DN, Moellering, Jr RC, Eliopoulos GM, Chambers HF, Saag MS: サンフォード感染症治療ガイド 2015. Gilbert DN, Moellering, Jr RC, Eliopoulos GM, Chambers HF, Saag MS eds., The Sanford Guide to Antimicrobial Therapy 2015, ライフサイエンス出版, 2015: 1-1.

論文

原著

- § (1) Nishimura M, Hiraoka E, Kanazawa K, Akita H: Postpartum vertebral artery dissection with posterior reversible encephalopathy syndrome. *BMJ Case Rep*, 2015: 2015: bcr2014207332. (PMID: 26150612)
- § (2) Naito T, Torikai K, Mizooka M, Mitsumoto F, Kanazawa K, Ohno S, Morita H, Ukimura A, Mishima N, Otsuka F, Ohyama Y, Nara N, Murakami K, Mashiba K, Akazawa K, Yamamoto K, Tanei M, Yamanouchi M, Senda S, Tazuma S, Hayashi J: Relationships between Causes of Fever of Unknown Origin and Inflammatory Markers: A Multicenter Collaborative Retrospective Study. *Intern Med*, 2015; 54: 1989-1994. (PMID: 26278289)

邦文

書籍

分担執筆

- ※ § (1) 金澤健司: Part1 急性心不全 2章 身体所見. 香坂 俊 編, 循環器急性期診療, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015: 13-28 頁
- § (2) 安田尚史: インスリン抗体. 監修「高久史麿」編集「黒川清」「春日雅人」「北村聖」編, 臨床検査データブック LAB DATA コンパクト版 第8版, 医学書院, 2015: 122 頁

論文

原著

- § (1) 竹内健人, 原賢太, 高吉倫史, 高橋利匡, 西山勝人, 安田尚史, 横野浩一, 安友佳朗: 汎下垂体機能低下症、橋本病および境界型耐糖能異常を呈した多腺性自己免疫症候群 3 型の一例, *日本内分泌学会雑誌*, 2015; 91 巻, 7-9 頁 (医中誌 ID: 2015395216)

総説

- (1) 金澤健司: 【循環器疾患 1】 無症候性心筋虚血 胸痛がない場合は軽症か?, *Hospitalist*, 2015; 3 巻, 568-572 頁 (医中誌 ID: 2016037359)

- (2) 金澤健司: 【循環器疾患 1】 虚血性心疾患 病歴と身体所見の注意点, *Hospitalist*, 2015; 3 卷, 557-567 頁 (医中誌 ID: 2016037358)
- §(3) 安田尚史, 永田正男: 【1 型糖尿病の成因と病態】 1 型糖尿病発症における樹状細胞、マクロファージ、NK 細胞、NKT 細胞、好中球の役割, *月刊糖尿病*, 2015; 7 卷, 48-57 頁 (医中誌 ID: 2015211585)

免疫内科学 Section of Rheumatology and Clinical Immunology

英 文

論 文

原 著

- (1) Akashi K, Saegusa J, Morinobu A: Pneumocephalus in granulomatosis with polyangiitis. *Rheumatology (Oxford)*, 2016; 55: 108. (PMID: 26385371)
- ※(2) Kageyama G, Saegusa J, Irino Y, Tanaka S, Tsuda K, Takahashi S, Sendo S, Morinobu A: Metabolomics analysis of saliva from patients with primary Sjogren's syndrome. *Clin Exp Immunol*, 2015; 182: 149-153. (PMID: 26201380)
- ※(3) Matsumoto K, Tanaka H, Onishi A, Motoji Y, Tatsumi K, Sawa T, Miyoshi T, Imanishi J, Mochizuki Y, Hirata K: Bi-ventricular contractile reserve offers an incremental prognostic value for patients with dilated cardiomyopathy. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2015; 16: 1213-1223. (PMID: 25851330)
- ※(4) Bando H, Iguchi G, Fukuoka H, Taniguchi M, Kawano S, Saitoh M, Yoshida K, Matsumoto R, Suda K, Nishizawa H, Takahashi M, Morinobu A, Kohmura E, Ogawa W, Takahashi Y: A diagnostic pitfall in IgG4-related hypophysitis: infiltration of IgG4-positive cells in the pituitary of granulomatosis with polyangiitis. *Pituitary*, 2015. (PMID: 25822111)
- §(5) Onishi A, Iwasaku M, Sato A, Furukawa TA: Interventions for the management of esophageal candidiasis in immunocompromised patients (Protocol). *Cochrane Database Syst Rev*, 2015; 11: CD011938.

総 説

- ※(1) Sendo S, Saegusa J, Morinaga Y, Kawakami F, Kogata Y, Kageyama G, Morinobu A: IgG4-related disease manifesting as pericarditis with elevated adenosine deaminase and IL-10 levels in pericardial fluid. *Mod Rheumatol*, 2015; 28: 1-4. (PMID: 25867228)

邦 文

論 文

原 著

- ※(1) 福田尚美, 山田陽三, 菊澤亜夕子, 羽山ブライアン, 森信暁雄, 錦織千佳子: 【細菌感染症】 免疫低下患者に発症した皮膚リンパ管型ノカルジア症の 1 例, *皮膚科の臨床*, 2015; 57 卷, 1402-1406 頁 (医中誌 ID: 2015395823)

総 説

- ※(1) 三枝淳, 河野誠司, 森信暁雄: 自己免疫疾患への多角的検査アプローチ 自己免疫疾患のメタボローム解析の未来 新規バイオマーカーの同定と病態解明を目指して, *臨床病理*, 2015; 63 卷, 498-505 頁 (医中誌 ID: 2015241322)
- ※(2) 三枝淳, 蔭山豪一, 森信暁雄: メタボロームに着目した膠原病の新規治療法および診断法の開発, *BIO Clinica*, 2015; 30 卷, 1110-1115 頁 (医中誌 ID: 2015400217)
- ※(3) 明石健吾, 三枝淳, 森信暁雄: 膠原病および関連疾患のトピックスと臨床検査 膠原病における自己抗体の進歩, *臨床病理*, 2015; 63 卷, 562-569 頁 (医中誌 ID: P618230004)
- (4) 森信暁雄: 【自然免疫を介した自己免疫疾患病態の理解】 好中球, *Keynote R・A*, 2015; 3 卷, 76-80 頁 (医中誌 ID: 2015210628)
- (5) 蔭山豪一: 骨粗鬆症の治療と検査, *臨床病理*, 2015; 63 卷, 570-579 頁

英 文

論 文

原 著

- § (1) Noda Y, Sekiguchi K, Kohara N, Kanda F, Toda T: Ultrasonographic diaphragm thickness correlates with compound muscle action potential amplitude and forced vital capacity. *Muscle Nerve*, 2016; 53: 522-527. (PMID: 26357011)
- § (2) Kanagawa M, Kobayashi K, Tajiri M, Manya H, Kuga A, Yamaguchi Y, Akasaka-Manya K, Furukawa J, Mizuno M, Kawakami H, Shinohara Y, Wada Y, Endo T, Toda T: Identification of a Post-translational Modification with Ribitol-Phosphate and Its Defect in Muscular Dystrophy. *Cell Rep*, 2016; 14: 2209-2223. (PMID: 26923585)
- ※(3) Washida K, Kowa H, Yamamoto Y, Kanda F, Toda T: Dopamine transporter imaging as a diagnostic modality for atypical Alzheimer's disease mimicking corticobasal degeneration. *Psychogeriatrics*, 2016. (PMID: 26781839)
- ※ § (4) Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Murakami Y, Nakamura S, Motooka D, Emoto T, Satake W, Nishiyama M, Toyoshima D, Morisada N, Takada S, Tairaku S, Okamoto N, Morioka I, Kurahashi H, Toda T, Kinoshita T, Iijima K: A novel PIGN mutation and prenatal diagnosis of inherited glycosylphosphatidylinositol deficiency. *Am J Med Genet A*, 2016; 170: 183-188. (PMID: 26419326)
- ※ § (5) Taniguchi-Ikeda M, Takeshima Y, Lee T, Nishiyama M, Awano H, Yagi M, Unzaki A, Nozu K, Nishio H, Matsuo M, Kurahashi H, Toda T, Morioka I, Iijima K: Next-generation sequencing discloses a nonsense mutation in the dystrophin gene from long preserved dried umbilical cord and low-level somatic mosaicism in the proband mother. *J Hum Genet*, 2016. (PMID: 26740235)
- § (6) Hirano M, Satake W, Ihara K, Tsuge I, Kondo S, Saida K, Betsui H, Okubo K, Sakamoto H, Ueno S, Ikuno Y, Ishihara R, Iwahashi H, Ohishi M, Mano T, Yamashita T, Suzuki Y, Nakamura Y, Kusunoki S, Toda T: The First Nationwide Survey and Genetic Analyses of Bardet-Biedl Syndrome in Japan. *PLoS One*, 2015; 10: e0136317. (PMID: 26325687)

- § (7) Higashi M, Hirano K, Kobayashi K, Ikeda Y, Issiki A, Otsuka T, Suzuki A, Yamaguchi S, Zaima N, Hamada S, Hanada H, Suzuki C, Nakamura H, Nagasaka H, Miyata T, Miyamoto Y, Kobayashi K, Naito H, Toda T: Distinct cardiac phenotype between two homozygotes born in a village with accumulation of a genetic deficiency of adipose triglyceride lipase. *Int J Cardiol*, 2015; 192: 30-32. (PMID: 25985012)
- § (8) Shigemizu D, Aiba T, Nakagawa H, Ozaki K, Miya F, Satake W, Toda T, Miyamoto Y, Fujimoto A, Suzuki Y, Kubo M, Tsunoda T, Shimizu W, Tanaka T: Exome Analyses of Long QT Syndrome Reveal Candidate Pathogenic Mutations in Calmodulin-Interacting Genes. *PLoS One*, 2015; 10: e0130329. (PMID: 26132555)
- ※(9) Nishiyama M, Nagase H, Tanaka T, Fujita K, Maruyama A, Toyoshima D, Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Morisada N, Takada S, Iijima K: Demographics and outcomes of patients with pediatric febrile convulsive status epilepticus. *Pediatr Neurol*, 2015; 52: 499-503. (PMID: 25769239)
- § (10) Mitsui J, Matsukawa T, Sasaki H, Yabe I, Matsushima M, Durr A, Brice A, Takashima H, Kikuchi A, Aoki M, Ishiura H, Yasuda T, Date H, Ahsan B, Iwata A, Goto J, Ichikawa Y, Nakahara Y, Momose Y, Takahashi Y, Hara K, Kakita A, Yamada M, Takahashi H: Variants associated with Gaucher disease in multiple system atrophy. *Ann Clin Transl Neurol*, 2015; 2: 417-426. (PMID: 25909086)
- § (11) Yang H, Kobayashi K, Wang S, Jiao H, Xiao J, Toda T, Wu X, Xiong H: Founder mutation causes classical Fukuyama congenital muscular dystrophy (FCMD) in Chinese patients. *Brain Dev*, 2015. (PMID: 25814170)
- § (12) Rahman MS, Sarkar MA, Rahman MF, Paul SK, Nagai SY, Uddin MJ, Toda T: Genetic testing for spinocerebellar ataxias in patients diagnosed as Parkinson's disease in Bangladesh. *Mymensingh Med J*, 2015; 24: 44-51. (PMID: 25725667)
- (13) Sekiguchi K, Saito T, Yokota I, Kowa H, Kanda F, Toda T: A case of true neurogenic thoracic outlet syndrome accompanied by an aberrant right subclavian artery. *Rinsho Shinkeigaku*, 2015; 55: 155-159. (PMID: 25786751)
- § (14) Oda T, Xiong H, Kobayashi K, Wang S, Satake W, Jiao H, Yang Y, Cha PC, Hayashi YK, Nishino I, Suzuki Y, Sugano S, Wu X, Toda T: A de novo mutation of the MYH7 gene in a large Chinese family with autosomal dominant myopathy. *Hum Genome Var*, 2015; 2: 15022.

邦 文

論 文

原 著

- ※(1) 関口兼司, 齋藤貴徳, 横田一郎, 古和久朋, 苅田典生, 戸田達史: 異所性右鎖骨下動脈をともなった真の神経原性胸郭出口症候群の1例, 臨床神経学, 2015; 55 卷, 155-159 頁 (医中誌 ID: 2015386131)
- (2) 上中健, 濱口浩敏, 関口兼司, 古和久朋, 苅田典生, 戸田達史: Medial longitudinal fasciculus(MLF)症候群を呈した巨細胞性動脈炎の1例, 臨床神経学, 2015; 55 卷, 107-110 頁 (医中誌 ID: 2015238731)
- (3) 遠藤浩信, 千原典夫, 関口兼司, 古和久朋, 苅田典生, 戸田達史: Fingolimod 導入後早期に多数の再発病巣をみとめた多発性硬化症の1例, 臨床神経学, 2015; 55 卷, 417-420 頁 (医中誌 ID: 2015305395)
- ※(4) 野村晃子, 平久進也, 谷村憲司, 出口雅士, 山田秀人, 池田真理子, 戸田達史: 電撃性紫斑病(重症型先天性プロテイン C 欠損症)の出生前診断を行った2例, 兵庫県母性衛生学会雑誌, 2015, 39-42 頁 (医中誌 ID: 2016122718)

総 説

- (1) 佐竹渉: 【パーキンソン病の治療-変貌する概念と治療戦略-】 Key words 孤発性パーキンソン病の疾患遺伝子探索と意義, カレントセラピー, 2015; 33 卷, 1032 頁 (医中誌 ID: 2015404912)
- (2) 佐竹渉, 戸田達史: 孤発性パーキンソン病の疾患遺伝子とその探索, BIO Clinica, 2015; 30 卷, 806-813 頁 (医中誌 ID: 2015291322)
- (3) 戸田達史: 【パーキンソン病の最新情報】 遺伝性パーキンソン病診断の最近の進歩, 日本医師会雑誌, 2015; 144 卷, 1585-1589 頁 (医中誌 ID: 2016102028)
- (4) 鷺田和夫, 古和久朋, 戸田達史: 【アルツハイマー病とその鑑別疾患-アルツハイマー病との鑑別が重要な疾患】 血管性認知症, 認知症の最新医療, 2015; 5 卷, 184-188 頁 (医中誌 ID: 2016023788)
- (5) 戸田達史: 福山型筋ジストロフィー研究の現状と展望, 日本臨床, 2015; 73 卷, 1425-1436 頁 (医中誌 ID: 2015338723)

- § (6) 戸田達史, 舩山学, 佐竹涉, 服部信孝: パーキンソン病の発症にかかわる遺伝子の解明はどこまで進んでいるのか, *Frontiers in Parkinson Disease*, 2015; 8 巻, 125-134 頁 (医中誌 ID: 2015324804)
- (7) 鷺田和夫, 古和久朋, 戸田達史: 【後期高齢・超高齢者に対する抗凝固療法】 認知症と抗凝固療法, *Cardio-Coagulation*, 2015; 2 巻, 121-126 頁 (医中誌 ID: 2015275987)
- (8) 戸田達史: 【骨格筋症候群(第2版)-その他の神経筋疾患を含めて-】 [上] 筋ジストロフィーおよび膜イオンチャネル異常症 先天性筋ジストロフィー(CMD) 福山型先天性筋ジストロフィー, *日本臨床*, 2015, 135-145 頁 (医中誌 ID: 2015256842)
- (9) 戸田達史: 神経難病 研究と治療の現状と展望, *日本遺伝カウンセリング学会誌*, 2015; 36 巻, 1-5 頁 (医中誌 ID: 2015239998)

腫瘍・血液内科学 Division of Oncology/Hematology

英 文

論 文

原 著

- § (1) Suenaga Y, Kitajima K, Ishihara T, Sasaki R, Otsuki N, Nibu K, Minamikawa T, Kiyota N, Sugimura K: FDG-PET/contrast-enhanced CT as a post-treatment tool in head and neck squamous cell carcinoma: comparison with FDG-PET/non-contrast-enhanced CT and contrast-enhanced CT. *Eur Radiol*, 2016; 26: 1018-1030. (PMID: 26188656)
- § (2) Yakushijin K, Atsuta Y, Doki N, Yokota A, Kanamori H, Miyamoto T, Ohwada C, Miyamura K, Nawa Y, Kurokawa M, Mizuno I, Mori T, Onizuka M, Taguchi J, Ichinohe T, Yabe H, Morishima Y, Kato K, Suzuki R, Fukuda T: Sinusoidal obstruction syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: Incidence, risk factors and outcomes. *Bone Marrow Transplant*, 2016; 51: 403-409. (PMID: 26595082)
- ※ § (3) Kataoka T, Kiyota N, Shimada T, Funakoshi Y, Chayahara N, Toyoda M, Fujiwara Y, Nibu KI, Komori T, Sasaki R, Mukohara T, Minami H: Randomized trial of standard pain control with or without gabapentin for pain related to radiation-induced mucositis in head and neck cancer. *Auris Nasus Larynx*, 2016. (PMID: 26992271)

- (4) Sanada Y, Yakushijin K, Nomura T, Chayahara N, Toyoda M, Minami Y, Kiyota N, Mukohara T, Kawamoto S, Ito M, Matsuoka H, Minami H: A prospective study on the efficacy of two-dose influenza vaccinations in cancer patients receiving chemotherapy. *Jpn J Clin Oncol*, 2016. (PMID: 26977053)
- ※ § (5) Kaneko S, Ikeda K, Matsuzaki Y, Furuse J, Minami H, Okayama Y, Sunaya T, Ito Y, Inuyama L, Okita K: Safety and effectiveness of sorafenib in Japanese patients with hepatocellular carcinoma in daily medical practice: interim analysis of a prospective postmarketing all-patient surveillance study. *J Gastroenterol*, 2016. (PMID: 26931117)
- § (6) Funakoshi Y, Fujiwara Y, Kiyota N, Mukohara T, Shimada T, Toyoda M, Imamura Y, Chayahara N, Tomioka H, Umezumi M, Otsuki N, Nibu K, Minami H: Validity of new methods to evaluate renal function in cancer patients treated with cisplatin. *Cancer Chemother Pharmacol*, 2016: 77: 281-288. (PMID: 26791871)
- ※(7) Kikuma T, Nakamachi Y, Noguchi Y, Okazaki Y, Shimomura D, Yakushijin K, Yamamoto K, Matsuoka H, Minami H, Itoh T, Kawano S: A new transcriptional variant and small azurophilic granules in an acute promyelocytic leukemia case with NPM1/RARA fusion gene. *Int J Hematol*, 2015: 102: 713-718. (PMID: 26342691)
- ※ § (8) Fujiwara Y, Kobayashi S, Nagano H, Kanai M, Hatano E, Toyoda M, Ajiki T, Takashima Y, Yoshimura K, Hamada A, Minami H, Ioka T: Pharmacokinetic Study of Adjuvant Gemcitabine Therapy for Biliary Tract Cancer following Major Hepatectomy (KHBO1101). *PLoS One*, 2015: 10: e0143072. (PMID: 26633034)
- § (9) Kiyota N, Schlumberger M, Muro K, Ando Y, Takahashi S, Kawai Y, Wirth L, Robinson B, Sherman S, Suzuki T, Fujino K, Gupta A, Hayato S, Tahara M: Subgroup analysis of Japanese patients in a phase 3 study of lenvatinib in radioiodine-refractory differentiated thyroid cancer. *Cancer Sci*, 2015: 106: 1714-1721. (PMID: 26426092)
- ※ § (10) Sawada T, Watanabe M, Fujimura Y, Yagishita S, Shimoyama T, Maeda Y, Kanda S, Yunokawa M, Tamura K, Tamura T, Minami H, Koh Y, Koizumi F: A sensitive cytometry based system for enumeration, capture and analysis of gene mutations of circulating tumor cells. *Cancer Sci*, 2015. (PMID: 26708016)
- § § (11) Fuji S, Yakushijin K, Kim SW, Yoshimura K, Kurosawa S, Fukuda T: Dynamic change of glycemic status during the early phase after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplant*, 2015: 50: 1473-1475. (PMID: 26168070)
- ※(12) Kuramitsu K, Fukumoto T, Yano Y, Hirano H, Misumi T, Katayama Y, Kawano H, Yakushijin K, Zen Y, Itoh T, Ku Y: A case of intravascular lymphoma diagnosed in an explanted liver after liver transplantation. *Transpl Int*, 2015. (PMID: 26010984)
- ※(13) Shinomiya H, Hasegawa S, Yamashita D, Ejima Y, Kenji Y, Otsuki N, Kiyota N, Sakakibara S, Nomura T, Hashikawa K, Kohmura E, Sasaki R, Nibu KI: Concomitant chemoradiotherapy for advanced squamous cell carcinoma of the temporal bone. *Head Neck*, 2015. (PMID: 25995093)

- ※ § ¶ (14) Imamura Y, Mukohara T, Shimono Y, Funakoshi Y, Chayahara N, Toyoda M, Kiyota N, Takao S, Kono S, Nakatsura T, Minami H: Comparison of 2D- and 3D-culture models as drug-testing platforms in breast cancer. *Oncol Rep*, 2015; 33: 1837-1843. (PMID: 25634491)
- ※ § ¶ (15) Inui Y, Matsuoka H, Yakushijin K, Okamura A, Shimada T, Yano S, Takeuchi M, Ito M, Murayama T, Yamamoto K, Itoh T, Aiba K, Minami H: Methotrexate-associated lymphoproliferative disorders: management by watchful waiting and observation of early lymphocyte recovery after methotrexate withdrawal. *Leuk Lymphoma*, 2015; 26: 1-30. (PMID: 25721751)
- ※ ¶ (16) Tsuji K, Shibuya Y, Akashi M, Furudo S, Yakushijin K, Kawamoto S, Okamura A, Matsuoka H, Komori T: Prospective study of dental intervention for hematopoietic malignancy. *J Dent Res*, 2015; 94: 289-296. (PMID: 25503612)
- ※ (17) Tokuno O, Hayakawa A, Yanai T, Mori T, Ohnuma K, Tani A, Minami H, Sugimoto T: Sterility Testing of Stem Cell Products by Broad-Range Bacterial 16S Ribosomal DNA Polymerase Chain Reaction. *Lab Med*, 2015; 46: 34-41. (PMID: 25617390)
- ※ § (18) Kakiuchi S, Yakushijin K, Yamamoto K, Tomioka H, Inui Y, Okamura A, Kawamoto S, Minami Y, Murayama T, Ito M, Matsuoka H, Minami H: Rhabdomyolysis Caused by *Candida parapsilosis* in a Patient with Acute Myeloid Leukemia after Bone Marrow Transplantation. *Intern Med*, 2015; 54: 2057-2060. (PMID: 26278302)
- (19) Yamamoto K, Kawamoto S, Kakiuchi S, Yakushijin K, Matsuoka H, Minami H: Translocation t(11;19)(q23;q13.1) without MLL Rearrangement in Acute Myeloid Leukemia: Heterogeneity of the 11q23 Breakpoints. *Acta Haematol*, 2015; 134: 76-79. (PMID: 25895667)
- ※ § (20) Yamamoto K, Yakushijin K, Sanada Y, Kawamoto S, Matsuoka H, Minami H: Coexistent t(8;21)(q22;q22) Translocation and 5q Deletion in Acute Myeloid Leukemia. *J Clin Exp Hematop*, 2015; 55: 181-185. (PMID: 26763368)
- (21) Yamamoto K, Yakushijin K, Matsuoka H, Minami H: Low Hypodiploid Acute Lymphoblastic Leukemia with Burkitt-like Morphology. *Intern Med*, 2015; 54: 2955. (PMID: 26568020)

総 説

- ※(1) Shimono Y, Mukohyama J, Nakamura S, Minami H: MicroRNA Regulation of Human Breast Cancer Stem Cells. *J Clin Med*, 2015; 5: 2. (PMID: 26712794)
- § (2) Makihara N, Fujita I, Soudaf H, Yamamoto T, Sashikata T, Mukohara T, Maeda T: A Case of Endometrioid Adenocarcinoma Originating from the Serous Surface of the Small Intestine. *Rare Tumors*, 2015; 7: 5932. (PMID: 26500733)

- ※(3) Takenaka K, Mukohara T, Hirai C, Funakoshi Y, Nakamura Y, Chayahara N, Toyoda M, Kiyota N, Itoh T, Yokozaki H, Minami H: Mediastinal Germ Cell Tumor Exhibiting a Discrepancy between Tumor Markers and Imaging: A Case Study. *Case Rep Oncol*, 2015; 8: 323-331. (PMID: 26351441)
- (4) Mukohara T: PI3K mutations in breast cancer: prognostic and therapeutic implications. *Breast Cancer (Dove Med Press)*, 2015; 7: 111-123. (PMID: 26028978)

邦 文

書 籍

共同編集

- § (1) 藤井博文, 田原信, 岡野晋, 清田尚臣, 古平毅, 全田貞幹, 中島寅彦, 松浦一登, 横田知哉: 頭頸部がん薬物療法ガイドランス. 公益社団法人日本臨床腫瘍学会 編, 頭頸部がん薬物療法ガイドランス, 金原出版株式会社, 2015: 1-78 頁

分担執筆

- (1) 瓜生恭章, 向原徹: 軟部肉腫 (非円形細胞) に対して分子標的薬は有効か?. 「朴成和」「大江裕一郎」「南博信」「直江知樹」 編, *EBM がん化学療法・分子標的治療法*, 中外医学者, 2015: 639-647 頁
- ※ § (2) 薬師神公和: 新臨床腫瘍学 がん薬物療法専門医のために. 電解質異常 (高カルシウム血症、低ナトリウム血症), 南江堂, 2015
- (3) 茶屋原菜穂子: イマチニブ (グリベック R). 西條長宏 編, *インフォームドコンセントのための図説シリーズ 抗悪性腫瘍薬 分子標的治療薬* 改訂版, 株式会社 医薬ジャーナル社, 2015: 20-22 頁

論 文

原 著

- ※(1) 向山順子, 下野洋平, 船越洋平, 河野誠之, 山下公大, 向原徹, 高尾信太郎, 南博信, 掛地吉弘: NK 細胞浸潤がヒト乳がん異種移植マウスの腫瘍増殖に与える影響, *癌と化学療法*, 2015; 42 巻, 1252-1255 頁 (医中誌 ID: PA27380028)

- ※ § (2) 船越太郎(京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座, 堀松高博, 中村路夫, 寺坂壮史, 津田享志, 熊谷穂積, 豊田昌徳, 津村剛彦, 高忠之, 桐島寿彦, 松原雄, 柳田素子, 福原俊一, 武藤学, J-candyGroup: 外来化学療法の問題点を解決 慢性維持透析患者のがん診療実態調査(J-CANDY 試験:多施設共同観察研究)(会議録), 日本癌治療学会誌 (0021-4671)50 巻 3 号 Page2726(2015.09), 2015; 50 巻, 2726 頁 (医中誌 ID: 2016068832)
- § (3) 津田政広(兵庫県立がんセンター消化器内科, 荻山秀治, 豊田昌徳, 谷口博一, 富田寿彦, 蓮池典明, 田村竜二, 金よう民, 松本祐介, 三木宏文, 辻晃仁, 川崎健太郎, 中村毅, 吉田俊一, 笹子三津留: 切除不能・進行再発胃がん患者の一次治療における治療医の判断と今後の課題(会議録), 日本癌治療学会誌 (0021-4671)50 巻 3 号 Page1631(2015.09), 2015; 50 巻, 1631 頁 (医中誌 ID: 2016067802)
- ※(4) 茶屋原菜穂子: 【高齢者のための抗癌剤適正使用】 高齢者がん薬物療法の基本 多剤併用、副作用、代替薬, 日本医事新報, 2015, 18-24 頁 (医中誌 ID: 2015407210)
- ※ § (5) 生田智子, 丹田雅明, 青木紫織, 曾我昭宏, 山岡慶子, 田淵聡子, 高橋路子, 川本晋一郎, 薬師神公和, 西岡達也, 榎本博雄, 久米学, 平野剛, 宇佐美眞, 平井みどり: 造血幹細胞移植患者に対する栄養管理への介入とその評価, 日本薬学会年会要旨集, 2015, 140 頁 (医中誌 ID: 2016060640)
- " ※ § (6) 磯野雪妃, 岡村篤夫, 岩本美佳, 今井純子, 長田恵子, 秋篠達也, 岡村明治, 川本晋一郎, 河野麻理, 杉本健, 西郷勝康: 骨髄異形成症候群 (MDS) における好中球の異形成と、多項目自動血球分析装置 XE-2100 の指標 (NEUT-X, NEUT-Y) との関連, 臨床病理, 2016; 64 巻, 21-26 頁 (医中誌 ID: Q223120001)"

総 説

- (1) 竹中圭, 清田尚臣: 【進化する頭頸部がん・食道がん・胃がんに対する個別化治療】 頭頸部がんの分子標的薬治療について, 腫瘍内科, 2015; 15 巻, 14-20 頁 (医中誌 ID: 2015142564)
- (2) 清田尚臣: 【抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして-】 臓器別がん腫レジメンの副作用と対策 局所進行頭頸部扁平上皮癌 CDDP RT 療法, 日本臨床, 2015; 73 巻, 559-561 頁 (医中誌 ID: 2015154752)
- ※(3) 西澤衡, 福岡秀規, 井口元三, 小武由紀子, 吉田健一, 松本隆作, 坂東弘教, 隅田健太郎, 向原徹, 小川涉, 高橋裕: 集学的治療によって長期生存している悪性褐色細胞腫の一例, 日本内分泌学会雑誌, 2015; 91 巻, 861 頁 (医中誌 ID: PB09480324)

- (4) 向原徹: 【抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして-】
系統別抗がん剤の副作用 分子標的薬 小分子化合物 mTOR 阻害薬, 日本臨床,
2015; 73 巻, 272-276 頁 (医中誌 ID: 2015154696)
- ※(5) 向山順子, 下野洋平: 【がん幹細胞-新しい医療を求めて-】 臨床研究動向 臨床検体を
活用した乳がん幹細胞研究, 日本臨床, 2015; 73 巻, 831-835 頁 (医中誌 ID: 2015224319)
- (6) 薬師神公和: 【ICU で遭遇する血液疾患】(Part 2.)血液内科のクリティカルシンドローム
造血幹細胞移植に伴う重症合併症(感染症を除く) 造血幹細胞移植に伴う類洞閉塞
症候群/肝中心静脈閉塞症 深刻な合併症であり, 予防法・治療法の確立が求められる,
Intensivist, 2015; 7 巻, 405-411 頁 (医中誌 ID: 2015175716)
- (7) 清田尚臣: 【がん免疫療法のブレイクスルー-免疫チェックポイント阻害薬】 免疫チェ
ックポイント阻害薬の副作用と管理法, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2016; 88 巻, 140-146
頁 (医中誌 ID: 2016090466)
- (8) 清田尚臣: 甲状腺がんに対する分子標的治療薬 適正使用と多職種連携を中心に, 腫
瘍内科, 2015; 16 巻, 474-478 頁 (医中誌 ID: 2016073510)
- (9) 清田尚臣: 頭頸部腫瘍 甲状腺がんに対する分子標的治療薬, 癌と化学療法, 2015; 42
巻, 806-809 頁 (医中誌 ID: 2015373961)
- (10) 後藤秀彰, 清田尚臣: 【分子標的治療を含む併用療法】 放射線治療と分子標的治療の
併用療法, がん分子標的治療, 2015; 13 巻, 328-332 頁 (医中誌 ID: 2015359456)
- (11) 後藤秀彰, 清田尚臣: 甲状腺がんに対する lenvatinib, 腫瘍内科, 2015; 16 巻, 191-195 頁
(医中誌 ID: 2015342026)
- (12) 後藤秀彰, 今村善宣, 清田尚臣: 【機能温存を考慮した頭頸部癌治療-口腔癌(舌癌)・咽
頭癌・喉頭癌を中心に-】 Evidence Based Medicine 各ガイドラインにおける機能温存
の考え方 欧州臨床腫瘍学会ガイドライン, 頭頸部癌 Frontier, 2015; 3 巻, 56-59 頁 (医
中誌 ID: 2015324717)
- (13) 清田尚臣: 【甲状腺癌】 レンビマ 甲状腺がんに対するレンバチニブ(レンビマ)の適
正使用について, クリニシアン, 2015; 62 巻, 829-836 頁 (医中誌 ID: 2015324261)
- (14) 清田尚臣: 【甲状腺癌に対する分子標的薬治療の最前線】 甲状腺癌に対する分子標的
薬の適正使用と副作用管理, 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2015; 32 巻, 14-17 頁 (医
中誌 ID: 2015173371)
- (15) 清田尚臣: CRT と BRT の使い分け CRT と BRT の使い分け セツキシマブ-RT の現状
と問題点(解説), 耳鼻と臨床, 2015; 61 巻, S3-S8 頁 (医中誌 ID: PC28150001)

- (16) 南博信, 山口研成, 岡野晋, 山崎直也: 新しい分子標的治療の副作用対策, *がん分子標的治療*, 2015; 13 巻, 72-78 頁 (医中誌 ID: 2015159109)
- (17) 南博信: Land-Mark papers in Oncology. CMF, *Cancer Board of the Breast*, 2015; 1 巻, 62-63 頁
- (18) 南博信: 日本臨床腫瘍学会"がん薬物療法専門医"制度がめざすもの, *医学のあゆみ 日本のがん診療 UPDATE 連携拠点病院と最新トピックス*, 2015; 254 巻, 757-762 頁 (医中誌 ID: 2015324767)
- (19) 竹中圭, 南博信: *がん治療の基本*, 月刊薬事, 2016; 58 巻, 187-195 頁 (医中誌 ID: 2016152076)

血液内科学 Division of Hematology

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Kawano H, Tanaka H, Yamashita T, Hirata KI, Ishii S, Suzuki T, Wakahashi K, Kawano Y, Sada A, Minagawa K, Kawakami F, Itoh T, Baba A, Matsui T, Katayama Y: Very late-onset reversible cardiomyopathy in patients with chronic GvHD. *Bone Marrow Transplant*, 2015; 50: 870-872. (PMID: 25798670)

総 説

- § (1) Asada N, Sato M, Katayama Y: Communication of bone cells with hematopoiesis, immunity and energy metabolism. *Bonekey Rep*, 2015; 4: 748. (PMID: 26512322)
- § (2) Sato M, Katayama Y: Osteocytes and Homeostasis of Remote Organs : Bone-Buried Osteocytes Talk to Remote Organs. *Curr Osteoporos Rep*, 2015; 13: 193-197. (PMID: 25851936)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 片山義雄: 骨細胞による遠隔臓器の制御. 臨床骨ネットワーク研究会 編, 骨・臓器ネットワークとオステオサイト, メディカルレビュー社, 2016: 70-76 頁

論 文

総 説

- § (1) 定明子, 片山義雄, 松井利充: 好酸球増多症候群と腫瘍性疾患, アレルギーの臨床, 2015; 35 巻, 17-21 頁
- ※ § (2) 定明子, 片山義雄, 松井利充: 好酸球増多症候群 (HES) の新分類と腫瘍性 HES の分子標的治療, 診断と治療, 2015; 103 巻, 655-660 頁
- § (3) 定明子, 片山義雄, 松井利充: 好酸球浸潤と血液疾患, 成人病と生活習慣病, 2015; 45 巻, 871-878 頁
- (4) 片山義雄: 骨細胞による全身代謝調節機構, 細胞, 2015; 47 巻, 484-487 頁
- (5) 片山義雄: 骨細胞による多臓器制御 —造血幹細胞・免疫システムからエネルギー代謝まで—, 最新医学, 2015; 70 巻, 143-150 頁
- (6) 片山義雄: 骨細胞による造血・免疫・エネルギー代謝制御, 整形・災害外科, 2015; 58 巻, 1605-1610 頁
- (7) 片山義雄: 骨細胞による造血・免疫・エネルギー代謝制御, 分子リウマチ治療, 2016; 9 巻, 31-35 頁

【内科系講座 Department of Internal Related】

放射線医学 Division of Radiology

英 文

論 文

原 著

- (1) Yoshida K, Sulaiman NS, Miyawaki D, Ejima Y, Nishimura H, Ishihara T, Matsuo Y, Nishikawa R, Sasayama T, Hayakawa A, Kohmura E, Sasaki R: Radiotherapy for brainstem gliomas in children and adults: A single-institution experience and literature review. *Asia Pac J Clin Oncol*, 2016. (PMID: 26935004)
- ※ § (2) Asari S, Matsumoto I, Toyama H, Yamaguchi M, Okada T, Shinzeki M, Goto T, Ajiki T, Fukumoto T, Ku Y: Recommendation of treatment strategy for postpancreatectomy hemorrhage: Lessons from a single-center experience in 35 patients. *Pancreatol*, 2016. (PMID: 26935829)
- ※ (3) Ueno Y, Maeda T, Tanaka U, Tanimura K, Kitajima K, Suenaga Y, Takahashi S, Yamada H, Sugimura K: Evaluation of interobserver variability and diagnostic performance of developed MRI-based radiological scoring system for invasive placenta previa. *J Magn Reson Imaging*, 2016. (PMID: 26898236)
- ※ § (4) Koyama H, Ohno Y, Fujisawa Y, Seki S, Negi N, Murakami T, Yoshikawa T, Sugihara N, Nishimura Y, Sugimura K: 3D lung motion assessments on inspiratory/expiratory thin-section CT: Capability for pulmonary functional loss of smoking-related COPD in comparison with lung destruction and air trapping. *Eur J Radiol*, 2016; 85: 352-359. (PMID: 26781140)
- ※ (5) Akashi M, Shibuya Y, Takahashi S, Hashikawa K, Hasegawa T, Kakei Y, Negi N, Sekitani T, Komori T: Four-dimensional computed tomography evaluation of jaw movement following mandibular reconstruction: A pilot study. *J Craniomaxillofac Surg*, 2016. (PMID: 26971400)
- (6) Nishii T, Kono AK, Tani W, Suehiro E, Negi N, Takahashi S, Sugimura K: Four-dimensional noise reduction using the time series of medical computed tomography datasets with short interval times: a static-phantom study. *PeerJ*, 2016; 4: e1680. (PMID: 26893966)

- ※ § (7) Kubota H, Takahashi S, Monzawa S, Yuasa N, Endo T, Miura T, Yuen K, Yamashita M: Pictorial review of orthotopic neobladder reconstruction: indication, normal postsurgical anatomy, and complications. *Abdom Imaging*, 2016; 41: 356-367. (PMID: 26867922)
- ※ § (8) Ueda Y, Takahashi S, Ohno N, Kyotani K, Kawamitsu H, Miyati T, Aoyama N, Ueno Y, Kitajima K, Kawakami F, Okuaki T, Tsukamoto R, Yanagita E, Sugimura K: Triexponential function analysis of diffusion-weighted MRI for diagnosing prostate cancer. *J Magn Reson Imaging*, 2016; 43: 138-148. (PMID: 26119033)
- ※(9) Nishii T, Kono AK, Nishio M, Negi N, Fujita A, Kohmura E, Sugimura K: Bone-Subtracted Spinal CT Angiography Using Nonrigid Registration for Better Visualization of Arterial Feeders in Spinal Arteriovenous Fistulas. *AJNR Am J Neuroradiol*, 2015; 36: 2400-2406. (PMID: 26251431)
- ※(10) Kinugasa M, Mori S, Takaya T, Ito T, Tanaka H, Satomi-Kobayashi S, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Okita Y, Hirata KI: Serum phosphate is an independent predictor of the total aortic calcification volume in non-hemodialysis patients undergoing cardiovascular surgery. *J Cardiol*, 2015. (PMID: 26572956)
- (11) Nishii T, Kono AK, Nishio M, Kyotani K, Nishiyama K, Sugimura K: Dynamic Blood Oxygen Level-dependent MR Imaging of Muscle: Comparison of Postocclusive Reactive Hyperemia in Young Smokers and Nonsmokers. *Magn Reson Med Sci*, 2015; 14: 275-283. (PMID: 25994035)
- ※(12) Mori S, Fukuzawa K, Takaya T, Takamine S, Ito T, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Yoshida A, Hirata K: Clinical Structural Anatomy of the Inferior Pyramidal Space Reconstructed Within the Cardiac Contour Using Multidetector-Row Computed Tomography. *J Cardiovasc Electrophysiol*, 2015; 26: 705-712. (PMID: 25884276)
- ※(13) Nomura Y, Sugimoto K, Gotake Y, Yamanaka K, Sakamoto T, Muradi A, Okada T, Yamaguchi M, Okita Y: Comparison of Volumetric and Diametric Analysis in Endovascular Repair of Descending Thoracic Aortic Aneurysm. *Eur J Vasc Endovasc Surg*, 2015; 50: 53-59. (PMID: 25868606)
- (14) Nishii T, Kono AK, Nishio M, Kyotani K, Nishiyama K, Sugimura K: Evaluation of blood volume by use of blood oxygen level-dependent magnetic resonance imaging in a cuff-compression model: usefulness of calculated echo time image. *Jpn J Radiol*, 2015; 33: 441-447. (PMID: 26006707)
- ※(15) Kasamatsu A, Takaya T, Mori S, Kashio K, Takahashi H, Ito T, Takamine S, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Shinke T, Hirata K: Reconstruction of an extracardiac aortocoronary collateral and simulation of selective angiography with multidetector-row computed tomography. *Circulation*, 2015; 131: e476-e479. (PMID: 25986450)

- ※(16) Mori S, Fukuzawa K, Takaya T, Takamine S, Ito T, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Yoshida A, Hirata KI: Clinical cardiac structural anatomy reconstructed within the cardiac contour using multidetector-row computed tomography: Left ventricular outflow tract. *Clin Anat*, 2015. (PMID: 25974872)
- ※(17) Mori S, Fukuzawa K, Takaya T, Takamine S, Ito T, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Yoshida A, Hirata KI: Clinical cardiac structural anatomy reconstructed within the cardiac contour using multidetector-row computed tomography: The arrangement and location of the cardiac valves. *Clin Anat*, 2015. (PMID: 25973574)
- ¶(18) Mori S, Takaya T, Kinugasa M, Ito T, Takamine S, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Inoue T, Satomi-Kobayashi S, Rikitake Y, Okita Y, Hirata K: Three-dimensional quantification and visualization of aortic calcification by multidetector-row computed tomography: A simple approach using a volume-rendering method. *Atherosclerosis*, 2015; 239: 622-628. (PMID: 25554696)
- § ¶(19) Ueno Y, Takahashi S, Ohno Y, Kitajima K, Yui M, Kassai Y, Kawakami F, Miyake H, Sugimura K: Computed diffusion-weighted MRI for prostate cancer detection: the influence of the combinations of b-values. *Br J Radiol*, 2015; 88: 20140738. (PMID: 25605347)
- ※(20) Mori S, Fukuzawa K, Takaya T, Takamine S, Ito T, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Yoshida A, Hirata KI: Clinical cardiac structural anatomy reconstructed within the cardiac contour using multidetector-row computed tomography: Atrial septum and ventricular septum. *Clin Anat*, 2015. (PMID: 25914191)
- ※(21) Nishikawa M, Miyake H, Kitajima K, Takahashi S, Sugimura K, Fujisawa M: Preoperative differentiation between benign and malignant renal masses smaller than 4cm treated with partial nephrectomy. *Int J Clin Oncol*, 2015; 20: 150-155. (PMID: 24526391)
- ※(22) Teguh Ryanto GR, Nakayama K, Takaya T, Fujimoto D, Kinutani H, Shinkura Y, Mori S, Okada T, Nishii T, Kono A, Shinke T, Emoto N, Hirata K: Use of Coils and a Pulmonary Vasodilator to Reduce Pulmonary Hypertension in a Patient with Interstitial Pneumonia and Scleroderma. *Intern Med*, 2015; 54: 2721-2726. (PMID: 26521900)
- ※(23) Ito T, K Kono A, Takamine S, Shigeru M, Mori S, Takaya T, Fujiwara S, Nishii T, Shiotani H, Sugimura K, Hirata K: A Comparison of Quantitative T2 Mapping on Cardiovascular Magnetic Resonance Imaging with Metaiodobenzylguanidine Scintigraphy and Left Ventricular Functional Recovery in Dilated Cardiomyopathy: A Retrospective Pilot Study. *Intern Med*, 2015; 54: 2121-2128. (PMID: 26328635)

総 説

- § (1) Yamashita Y, Murayama S, Okada M, Watanabe Y, Kataoka M, Kaji Y, Imamura K, Takehara Y, Hayashi H, Ohno K, Awai K, Hirai T, Kojima K, Sakai S, Matsunaga N, Murakami T, Yoshimitsu K, Gabata T, Matsuzaki K, Tohno E, Kawahara Y, Nakayama T, Monzawa S, Takahashi S: The essence of the Japan Radiological Society/Japanese College of Radiology Imaging Guideline. *Jpn J Radiol*, 2016; 34: 43-79. (PMID: 26627893)

邦 文

論 文

原 著

- ※ § (1) 高坂仁美, 濱口浩敏, 福住典子, 沖都麦, 今西孝充, 林伸英, 野村佳克, 山口雅人, 河野誠司: 血管エコーが診断や病態把握に有用で、両側上肢動脈狭窄に対して血管内治療が行われた巨細胞性動脈炎の 1 症例, *脈管学*, 2015; 55 卷, 95-99 頁 (医中誌 ID: 2015375203)
- (2) 吉田賢史, 宮脇大輔, 江島泰生, 西村英輝, 石原武明, 松尾圭朗, 西川遼, 井上由子, 清田尚臣, 斎藤幹, 大月直樹, 丹生健一, 佐々木良平: N3 頸部リンパ節転移症例に対する放射線治療の経験, *頭頸部癌*, 2015; 41 卷, 266 頁 (医中誌 ID: 2015362984)
- (3) 井上由子, 吉田賢史, 江島泰生, 宮脇大輔, 石原武明, ノル・シャズリナ, 西川遼, 松尾圭朗, 西村英輝, 大月直樹, 斎藤幹, 清田尚臣, 丹生健一, 佐々木良平: 原発不明癌頸部リンパ節転移に対する放射線治療の経験, *頭頸部癌*, 2015; 41 卷, 262 頁 (医中誌 ID: 2015362967)
- (4) 西川遼, 吉田賢史, 宮脇大輔, 江島泰生, 石原武明, 松尾佳朗, ノル・シャズリナ, 井上由子, 西村英輝, 清田尚臣, 斎藤幹, 大月直樹, 丹生健一, 佐々木良平: 食道癌同時合併中下咽頭癌に対する放射線治療の経験, *頭頸部癌*, 2015; 41 卷, 254 頁 (医中誌 ID: 2015362938)
- (5) 宮脇大輔, 江島泰生, 吉田賢史, 石原武明, 清田尚臣, 斎藤幹, 大月直樹, 丹生健一, 佐々木良平: 中・下咽頭後壁癌に対する放射線治療成績, *頭頸部癌*, 2015; 41 卷, 254 頁 (医中誌 ID: 2015362937)
- (6) 下山真介, 上藺玄, 松尾圭朗, ノル・シャズリナ, 松本葉子, 宮脇大輔, 吉田賢史, 江島泰生, 佐々木良平, 清田尚臣, 大月直樹, 丹生健一: 頭頸部癌に対するセツキシマブ併用放射線治療の初期経験, *Japanese Journal of Radiology*, 2015; 33 卷, 76 頁 (医中誌 ID: 2015250469)

- (7) ノル・シャズリナ, 吉田賢史, 宮脇大輔, 江島泰生, 上藺玄, 松尾圭朗, 西村英輝, 佐々木良平, 古川順也, 藤澤正人: 前立腺全摘術後の PSA 再発に対する救済放射線治療の検討, *Japanese Journal of Radiology*, 2015; 33 巻, 71 頁 (医中誌 ID: 2015250436)
- (8) 椋本成俊, 吉田賢史, 赤坂浩亮, 江島泰生, 宮脇大輔, 上藺玄, 佐々木良平, 大月直樹, 丹生健一: 鼻腔・副鼻腔腫瘍の治療計画における不均質補正の影響, *Japanese Journal of Radiology*, 2015; 33 巻, 70 頁 (医中誌 ID: 2015250427)
- (9) 酒井徹也, 江島泰生, 吉田賢史, 宮脇大輔, 上藺玄, 松本葉子, ノル・シャズリナ, 松尾圭朗, 佐々木良平, 斉藤幹, 大月直樹, 丹生健一: 頭頸部傍神経節腫に対する放射線治療の経験, *Japanese Journal of Radiology*, 2015; 33 巻, 70 頁 (医中誌 ID: 2015250426)
- (10) 原田文, 宮脇大輔, 吉田賢史, 江島泰生, 西村英輝, 佐々木良平, 長井隆行, 安積淳: 特発性眼窩炎症に対する放射線治療経験, *Japanese Journal of Radiology*, 2015; 33 巻, 64 頁 (医中誌 ID: 2015250386)
- (11) 隅野靖彬, 吉田賢史, 江島泰生, 宮脇大輔, 西村英輝, ノル・シャズリナ, 原田文, 村岡修, 佐々木良平, 篠山隆司, 早川晶: 若年者の glioma に対する放射線治療の経験, *Japanese Journal of Radiology*, 2015; 33 巻, 64 頁 (医中誌 ID: 2015250382)

総 説

- (1) 岡田卓也, 山口雅人, 片山直人, MuradiAkhmadu, 上嶋英介, 小出裕, 祖父江慶太郎, 杉本幸司: 門脈圧亢進症 PTO、TIO など, *IVR: Interventional Radiology*, 2015; 30 巻, 166-171 頁 (医中誌 ID: 2015305928)
- ※ § (2) 大野良治, 片田和広, 高橋哲, 中浦猛, 林宏光, 辻岡勝美, 宮下宗治, 小林泰之, 陣崎雅弘: 【Multislice CT 2015 BOOK】 CT その現状と未来, *映像情報 Medical*, 2015; 47 巻, 13-31 頁 (医中誌 ID: 2016022656)
- ※ (3) 上野嘉子, 田中宇多留, 高橋哲, 三宅秀明, 杉村和朗: 骨盤部感染症の画像診断-迅速な診断と治療のストラテジー 泌尿器領域の骨盤内感染症, *画像診断*, 2015; 6 巻, 51-58 頁
- (4) 高橋哲: 腎臓の造影 CT に何パターンのプロトコルを準備しておけばよいのか?, *臨床画像*, 2015; 31 巻, 257-262 頁 (医中誌 ID: 2015128967)
- (5) 高橋哲: 【Dual energy CT の現状と展望-次世代の標準的 CT に向けて-】 泌尿器, *臨床画像*, 2015; 31 巻, 490-497 頁 (医中誌 ID: 2015175038)
- (6) 高橋哲: 【後期研修医がおさえておきたい泌尿器疾患アトラス】 知っておくと役に立つとおきの画像集, *泌尿器外科*, 2015; 28 巻, 251-265 頁 (医中誌 ID: 2015190029)

- (7) 高橋哲: 【最新画像の原理と臨床】 最新の CT によって CT urography は小児を対象とする検査となりうるのか?, 小児外科, 2015; 47 巻, 464-468 頁 (医中誌 ID: 2015257639)
- (8) 高橋哲: 【Multislice CT 2015 BOOK】 臨床 Low kV SOMATOM Force が示す今後の CT 検査の方向性, 映像情報 Medical, 2015; 47 巻, 122-125 頁 (医中誌 ID: 2016022667)
- (9) 高橋哲: 【救急画像診断のすべて】 内因性疾患 泌尿生殖器 泌尿器 尿路結石症, 臨床放射線, 2015; 60 巻, 1802-1808 頁 (医中誌 ID: 2016074441)
- ※(10) 上野嘉子, 田中宇多留, 高橋哲, 三宅秀明, 杉村和朗: 【骨盤部感染症の画像診断-迅速な診断と治療のストラテジー-】 泌尿器領域の骨盤内感染症, 画像診断, 2015; 36 巻, 51-58 頁 (医中誌 ID: 2016089650)

放射線腫瘍学 Section of Radiation Oncology

英 文

書 籍

分担執筆

- ※ § (1) Ryohei Sasaki, Hiroaki Akasaka, Yusuke Demizu, Sachiko Inubushi, Tianyuan Wang and Takumi Fukumoto: Medical Application of Nonwoven Fabrics - Intra-abdominal Spacers for Particle Therapy. Han-Yong Jeon ed., INTECH, 2016: 324 page.

論 文

原 著

- ※(1) Suenaga Y, Kitajima K, Ishihara T, Sasaki R, Otsuki N, Nibu K, Minamikawa T, Kiyota N, Sugimura K: FDG-PET/contrast-enhanced CT as a post-treatment tool in head and neck squamous cell carcinoma: comparison with FDG-PET/non-contrast-enhanced CT and contrast-enhanced CT. Eur Radiol, 2016; 26: 1018-1030. (PMID: 26188656)

- ※(2) Yoshida K, Sulaiman NS, Miyawaki D, Ejima Y, Nishimura H, Ishihara T, Matsuo Y, Nishikawa R, Sasayama T, Hayakawa A, Kohmura E, Sasaki R: Radiotherapy for brainstem gliomas in children and adults: A single-institution experience and literature review. *Asia Pac J Clin Oncol*, 2016. (PMID: 26935004)
- ※ § (3) Suenaga Y, Kitajima K, Kanda T, Otsuki N, Nibu KI, Sasaki R, Itoh T, Sugimura K: [18F]-FDG PET/CT imaging for detection of nodal metastases in patients with squamous cell carcinoma of the pharynx and larynx: comparison with CT. *Jpn J Radiol*, 2015. (PMID: 26670594)
- ※ § (4) Tanaka K, Sasayama T, Mizukawa K, Takata K, Sulaiman NS, Nishihara M, Kohta M, Sasaki R, Hirose T, Itoh T, Kohmura E: Combined IDH1 mutation and MGMT methylation status on long-term survival of patients with cerebral low-grade glioma. *Clin Neurol Neurosurg*, 2015: 138: 37-44. (PMID: 26276726)
- ※ § (5) Kitajima K, Suenaga Y, Minamikawa T, Komori T, Otsuki N, Nibu K, Sasaki R, Itoh T, Sugimura K: Clinical significance of SUVmax in (18)F-FDG PET/CT scan for detecting nodal metastases in patients with oral squamous cell carcinoma. *Springerplus*, 2015: 4: 718. (PMID: 26636006)
- (6) Yoshida K, Jastaniyah N, Sturdza A, Lindegaard J, Segedin B, Mahantshetty U, Rai B, Jurgentliemk-Schulz I, Haie-Meder C, Sasaki R, Potter R: Assessment of Parametrial Response by Growth Pattern in Patients With International Federation of Gynecology and Obstetrics Stage IIB and IIIB Cervical Cancer: Analysis of Patients From a Prospective, Multicenter Trial (EMBRACE). *Int J Radiat Oncol Biol Phys*, 2015: 93: 788-796. (PMID: 26530747)
- ※ § (7) Tamaki Y, Hieda Y, Yoshida R, Yoshizako T, Fuchiwaki T, Aoi N, Sekihara K, Kitajima K, Kawauchi H, Kitagaki H, Sasaki R, Inomata T: Short treatment time and excellent treatment outcome in accelerated hyperfractionated radiotherapy for T1 glottic cancer. *NAGOYA J MED SCI*, 2015: 77: 585-594. (PMID: 26663937)
- § § (8) Ozawa Y, Abe T, Omae M, Matsui T, Kato M, Hasegawa H, Enomoto Y, Ishihara T, Inui N, Yamada K, Yokomura K, Suda T: Impact of Preexisting Interstitial Lung Disease on Acute, Extensive Radiation Pneumonitis: Retrospective Analysis of Patients with Lung Cancer. *PLoS One*, 2015: 10: e0140437. (PMID: 26460792)
- ※(9) Mizowaki T, Sasayama T, Semba S, Sasaki R, Yasuo K, Nakamizo S, Tanaka K, Mizukawa K, Uchihashi Y, Kohmura E: A 40-Year-Old Female with Leptomeningeal Lesions. *Brain Pathol*, 2015: 25: 509-510. (PMID: 26095594)
- (10) Ejima Y, Matsuo Y, Sasaki R: The current status and future of radiotherapy for spinal bone metastases. *J Orthop Sci*, 2015: 20: 585-592. (PMID: 25860575)
- ※(11) Seno S, Kitajima K, Inokuchi G, Nibu K, Itoh T, Ejima Y, Sasaki R, Sugimoto K, Sugimura K: FDG-PET findings of Ameloblastoma: a case report. *Springerplus*, 2015: 4: 250. (PMID: 26101729)

- ※(12) Shinomiya H, Hasegawa S, Yamashita D, Ejima Y, Kenji Y, Otsuki N, Kiyota N, Sakakibara S, Nomura T, Hashikawa K, Kohmura E, Sasaki R, Nibu KI: Concomitant chemoradiotherapy for advanced squamous cell carcinoma of the temporal bone. *Head Neck*, 2015. (PMID: 25995093)
- ※ § ¶ (13) Tanaka K, Sasayama T, Irino Y, Takata K, Nagashima H, Satoh N, Kyotani K, Mizowaki T, Imahori T, Ejima Y, Masui K, Gini B, Yang H, Hosoda K, Sasaki R, Mischel PS, Kohmura E: Compensatory glutamine metabolism promotes glioblastoma resistance to mTOR inhibitor treatment. *J Clin Invest*, 2015; 125: 1591-1602. (PMID: 25798620)
- ※ ¶ (14) Harada A, Sasaki R, Miyawaki D, Yoshida K, Nishimura H, Ejima Y, Kitajima K, Saito M, Otsuki N, Nibu K: Treatment outcomes of the patients with early glottic cancer treated with initial radiotherapy and salvaged by conservative surgery. *Jpn J Clin Oncol*, 2015; 45: 248-255. (PMID: 25502310)
- ※(15) Ikeda A, Hoshi N, Yoshizaki T, Fujishima Y, Ishida T, Morita Y, Ejima Y, Toyonaga T, Kakechi Y, Yokosaki H, Azuma T: Endoscopic Submucosal Dissection (ESD) with Additional Therapy for Superficial Esophageal Cancer with Submucosal Invasion. *Intern Med*, 2015; 54: 2803-2813. (PMID: 26567992)

邦 文

書 籍

編 集

- ※(1) 丹生健一, 佐々木良平, 大月直樹, 赤坂浩亮: 多職種チームで実践する頭頸部がんの化学放射線療法. 丹生健一, 佐々木良平, 大月直樹, 大田史江 編, 多職種チームで実践する頭頸部がんの化学放射線療法, 日本看護協会出版社, 2015: 1-263 頁

分担執筆

- ※(1) 江島泰生: 第2章 3 症例から学ぶ放射線療法、化学放射線療法の有害反応 ●食道咽頭粘膜反応. 丹生健一, 佐々木良平, 大月直樹, 大田史江 編, 多職種チームで実践する頭頸部がんの化学放射線療法, 日本看護協会出版社, 2015: 50-52 頁
- ※(2) 江島泰生: 第6章 薬剤以外の疼痛緩和 1. 放射線治療. 木澤義之 編, はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 122-125 頁
- ※(3) 丹生健一, 佐々木良平, 大月直樹, 赤坂浩亮: 多職種チームで実践する頭頸部がんの化学放射線療法. 丹生健一, 佐々木良平, 大月直樹, 大田史江 編, 多職種チームで実践する頭頸部がんの化学放射線療法, 日本看護協会出版社, 2015: 150-153 頁

論文

原著

- ※(1) 南徳明, 水川克, 岩橋洋文, 長嶋宏明, 田中一寛, 篠山隆司, 細田弘吉, 椋本成俊, 佐々木良平, 甲村英二: 局所放射線治療後に頭蓋内主幹動脈狭窄による脳梗塞を呈した成人神経膠腫の2例, *Neurological Surgery*, 2015; 43 卷, 344-351 頁 (医中誌 ID: 2015236073)

機能・画像診断学 Section of Functional and Diagnostic Imaging Research

英文

書籍

分担執筆

- ※ § (1) Ohno Y, Yoshikawa T, Matsumoto S, Koyama H, Fujisawa Y, Sugihara N: Lung Perfusion Assessment on Area Detector CT. Katada K, Clouse ME eds., *Area Detector CT*, Medical Tribune, 2015: 202-212.

論文

原著

- ※(1) Suenaga Y, Kitajima K, Ishihara T, Sasaki R, Otsuki N, Nibu K, Minamikawa T, Kiyota N, Sugimura K: FDG-PET/contrast-enhanced CT as a post-treatment tool in head and neck squamous cell carcinoma: comparison with FDG-PET/non-contrast-enhanced CT and contrast-enhanced CT. *Eur Radiol*, 2016; 26: 1018-1030. (PMID: 26188656)
- ※ § (2) Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Seki S, Takenaka D, Yui M, Lu A, Miyazaki M, Sugimura K: Pulmonary high-resolution ultrashort TE MR imaging: Comparison with thin-section standard and low-dose computed tomography for the assessment of pulmonary parenchyma diseases. *J Magn Reson Imaging*, 2016; 43: 512-532. (PMID: 26223818)

- ※ § (3) Koyama H, Ohno Y, Fujisawa Y, Seki S, Negi N, Murakami T, Yoshikawa T, Sugihara N, Nishimura Y, Sugimura K: 3D lung motion assessments on inspiratory/expiratory thin-section CT: Capability for pulmonary functional loss of smoking-related COPD in comparison with lung destruction and air trapping. *Eur J Radiol*, 2016; 85: 352-359. (PMID: 26781140)
- ※(4) Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Seki S: State-of-the-Art Imaging of the Lung for Connective Tissue Disease (CTD). *Curr Rheumatol Rep*, 2015; 17: 69. (PMID: 26483318)
- ※ § (5) Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Takenaka D, Kassai Y, Yui M, Matsumoto S, Sugimura K: Diffusion-weighted MR imaging using FASE sequence for 3T MR system: Preliminary comparison of capability for N-stage assessment by means of diffusion-weighted MR imaging using EPI sequence, STIR FASE imaging and FDG PET/CT for non-small cell lung cancer patients. *Eur J Radiol*, 2015; 84: 2321-2331. (PMID: 26231045)
- ※ § (6) Ohno Y, Seki S, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto S, Takenaka D, Kassai Y, Yui M, Sugimura K: 3D ECG- and respiratory-gated non-contrast-enhanced (CE) perfusion MRI for postoperative lung function prediction in non-small-cell lung cancer patients: A comparison with thin-section quantitative computed tomography, dynamic CE-perfusion MRI, and perfusion scan. *J Magn Reson Imaging*, 2015; 42: 340-353. (PMID: 26192552)
- § (7) Nagatani Y, Takahashi M, Murata K, Ikeda M, Yamashiro T, Miyara T, Koyama H, Koyama M, Sato Y, Moriya H, Noma S, Tomiyama N, Ohno Y, Murayama S; investigators of ACTive study group: Lung nodule detection performance in five observers on computed tomography (CT) with adaptive iterative dose reduction using three-dimensional processing (AIDR 3D) in a Japanese multicenter study: Comparison between ultra-low-dose CT and low-dose CT by receiver-operating characteristic analysis. *Eur J Radiol*, 2015; 84: 1401-1412. (PMID: 25892051)
- § ¶(8) Ueno Y, Takahashi S, Ohno Y, Kitajima K, Yui M, Kassai Y, Kawakami F, Miyake H, Sugimura K: Computed diffusion-weighted MRI for prostate cancer detection: the influence of the combinations of b-values. *Br J Radiol*, 2015; 88: 20140738. (PMID: 25605347)
- ※ ¶ (9) Koyama H, Ohno Y, Seki S, Nishio M, Yoshikawa T, Matsumoto S, Maniwa Y, Itoh T, Nishimura Y, Sugimura K: Value of diffusion-weighted MR imaging using various parameters for assessment and characterization of solitary pulmonary nodules. *Eur J Radiol*, 2015; 84: 509-515. (PMID: 25554007)
- ※ § (10) Iwasawa T, Matsumoto S, Aoki T, Okada F, Nishimura Y, Yamagata H, Ohno Y: A comparison of axial versus coronal image viewing in computer-aided detection of lung nodules on CT. *Jpn J Radiol*, 2015; 33: 76-83. (PMID: 25533196)

総 説

- (1) Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto S, Sugimura K: Lung Cancer Assessment Using MR Imaging: An Update. *Magn Reson Imaging Clin N Am*, 2015; 23: 231-244. (PMID: 25952517)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 大野良治: II. 疾患の病因と病態. 5. CT/ MRI を用いた呼吸機能イメージング.. 永井厚志, 巽浩一郎, 桑野和善, 高橋和久 編, Annual Review 2015 呼吸器, 中外医学社, 2015: 85-98 頁

論 文

総 説

- ※ §(1) 大野良治, 関紳一郎, 神山久信, 吉川武, 松本純明, 杉村和朗: 【気道疾患のすべて-基礎から up-to-date まで-】 気道疾患における胸部 MRI, 画像診断, 2015; 35 巻, 400-409 頁 (医中誌 ID: 2015143817)
- ※(2) 大野良治, 関紳一郎, 神山久信, 吉川武, 松本純明, 杉村和朗: 【画像診断の治療への貢献-CT/MRI を中心に-】 CT/MRI を用いた肺血管性疾患の最新画像診断 肺機能イメージングの現状と将来展望, 日独医報, 2015; 60 巻, 46-53 頁 (医中誌 ID: 2015274270)
- (3) 大野良治: 疾患の病因と病態 CT/MRI を用いた呼吸機能イメージング, Annual Review 呼吸器, 2015; 2015 巻, 85-98 頁 (医中誌 ID: 2015249205)
- (4) 大野良治: 呼吸器領域における 320 列面検出器型 CT の臨床応用 Full IR・Perfusion 技術を用いた画像診断, INNERVISION, 2015; 30 巻, 88-90 頁 (医中誌 ID: 2015337582)
- (5) 大野良治: Vantage Titan 3T における体幹部 MRI 形態診断、機能診断そして分子イメージングへ, INNERVISION, 2015; 30 巻, 100-103 頁 (医中誌 ID: 2015337586)
- (6) 大野良治: 【COPD の画像-画像と呼吸機能-】 COPD における呼吸機能 MR イメージング, 日本胸部臨床, 2015; 74 巻, 854-864 頁 (医中誌 ID: 2015340168)
- (7) 大野良治: 【肺高血圧症診断 update】 肺高血圧症における pulmonary functional MRI, 医学のあゆみ, 2015; 255 巻, 47-51 頁 (医中誌 ID: 2015380921)
- §(8) 大野良治, 片田和広, 高橋哲, 中浦猛, 林宏光, 辻岡勝美, 宮下宗治, 小林泰之, 陣崎雅弘: 【Multislice CT 2015 BOOK】 CT その現状と未来, 映像情報 Medical, 2015; 47 巻, 13-31 頁 (医中誌 ID: 2016022656)

- (9) 大野良治: 【Multislice CT 2015 BOOK】 臨床 画像検出器 CT 胸部におけるサブトラクション CT 臨床的有用性と注意点, 映像情報 Medical, 2015; 47 巻, 79-82 頁 (医中誌 ID: 2016022662)

血管内治療学 Division of Endovascular Therapy

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Asari S, Matsumoto I, Toyama H, Yamaguchi M, Okada T, Shinzeki M, Goto T, Ajiki T, Fukumoto T, Ku Y: Recommendation of treatment strategy for postpancreatectomy hemorrhage: Lessons from a single-center experience in 35 patients. *Pancreatology*, 2016. (PMID: 26935829)
- § (2) Miyamoto N, Kawasaki R, Kinoshita M, Koda Y, Henmi S, Yoshida M, Mukohara N, Sugimoto K: Perigraft Injection of N-Butyl 2-Cyanoacrylate to Treat a Persistent Type I Endoleak Occurring after Covered Stent Implantation for a Mycotic Hepatic Artery Aneurysm: A Case Report. *J Vasc Interv Radiol*, 2016; 27: 286-289. (PMID: 26830944)
- § (3) Uotani K, Hamanaka A, Arase M, Kadoba T, Yamasaki Y, Kushima T, Sugimoto T, Sugimoto K: Endovascular Treatment of Inferior Mesenteric Artery Avulsion Caused by Blunt Abdominal Trauma. *J Vasc Interv Radiol*, 2016; 27: 150-152. (PMID: 26723928)
- ※(4) Nomura Y, Sugimoto K, Gotake Y, Yamanaka K, Sakamoto T, Muradi A, Okada T, Yamaguchi M, Okita Y: Comparison of Volumetric and Diametric Analysis in Endovascular Repair of Descending Thoracic Aortic Aneurysm. *Eur J Vasc Endovasc Surg*, 2015; 50: 53-59. (PMID: 25868606)
- ※(5) Seno S, Kitajima K, Inokuchi G, Nibu K, Itoh T, Ejima Y, Sasaki R, Sugimoto K, Sugimura K: FDG-PET findings of Ameloblastoma: a case report. *Springerplus*, 2015; 4: 250. (PMID: 26101729)
- § (6) Kawasaki R, Miyamoto N, Oki H, Okada T, Yamaguchi M, Gomi T, Higashino T, Washio T, Maruta T, Sugimura K, Sugimoto K: Flow-preserved coil embolization using a side-holed indwelling catheter for common hepatic artery pseudoaneurysm: report of three cases. *Surg Today*, 2015; 45: 772-776. (PMID: 25015311)

邦 文

論 文

原 著

- ※ § (1) 高坂仁美, 濱口浩敏, 福住典子, 沖都麦, 今西孝充, 林伸英, 野村佳克, 山口雅人, 河野誠司: 血管エコーが診断や病態把握に有用で、両側上肢動脈狭窄に対して血管内治療が行われた巨細胞性動脈炎の 1 症例, 脈管学, 2015; 55 卷, 95-99 頁 (医中誌 ID: 2015375203)

総 説

- (1) 岡田卓也, 山口雅人, 片山直人, MuradiAkhmadu, 上嶋英介, 小出裕, 祖父江慶太郎, 杉本幸司: 門脈圧亢進症 PTO、TIO など, IVR: Interventional Radiology, 2015; 30 卷, 166-171 頁 (医中誌 ID: 2015305928)

小児科学 Division of Pediatrics

英 文

論 文

原 著

- § (1) Fu XJ, Nozu K, Kaito H, Ninchoji T, Morisada N, Nakanishi K, Yoshikawa N, Ohtsubo H, Matsunoshita N, Kamiyoshi N, Matsumura C, Takagi N, Maekawa K, Taniguchi-Ikeda M, Iijima K: Somatic mosaicism and variant frequency detected by next-generation sequencing in X-linked Alport syndrome. *Eur J Hum Genet*, 2016; 24: 387-391. (PMID: 26014433)
- ※ § (2) Toyoshima D, Morisada N, Takami Y, Kidokoro H, Nishiyama M, Nakagawa T, Ninchoji T, Nozu K, Takeshima Y, Takada S, Nishio H, Iijima K: Rituximab treatment for relapsed opsoclonus-myoclonus syndrome. *Brain Dev*, 2016; 38: 346-349. (PMID: 26375512)

- ※ § (3) Yamamura T, Morisada N, Nozu K, Minamikawa S, Ishimori S, Toyoshima D, Ninchoji T, Yasui M, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Nakanishi K, Nishio H, Iijima K: Rare renal ciliopathies in non-consanguineous families that were identified by targeted resequencing. *Clin Exp Nephrol*, 2016. (PMID: 26968886)
- ※ § (4) Nishiyama M, Nagase H, Tanaka T, Fujita K, Kusumoto M, Kajihara S, Yamaguchi Y, Maruyama A, Takeda H, Uetani Y, Tomioka K, Toyoshima D, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Takada S, Iijima K: Short and long-term outcomes in children with suspected acute encephalopathy. *Brain Dev*, 2016. (PMID: 26952815)
- ※(5) Nagasaka M, Kikuma T, Iwatani S, Kurokawa D, Yamana K, Maeyama K, Koda T, Matsumoto H, Taniguchi-Ikeda M, Iijima K, Nakamura H, Morioka I: Transcutaneous bilirubin monitoring predicts unexplained late-onset hemolysis in a very low birthweight infant. *BMC Res Notes*, 2016: 9: 153. (PMID: 26965169)
- (6) Miwako Nagasaka, Tomoe Kikuma, Sota Iwatani, Daisuke Kurokawa, Keiji Yamana, Kaori Maeyama, Tsubasa Koda, Hisayuki Matsumoto, Mariko Taniguchi-Ikeda, Kazumoto Iijima, Hajime Nakamura and Ichiro Morioka: Transcutaneous bilirubin monitoring predicts unexplained late-onset hemolysis in a very low birthweight infant. *BMC Res Notes*, 2016: 9: 1-5.
- ※ § (7) Nishida K, Morioka I, Nakamachi Y, Kobayashi Y, Imanishi T, Kawano S, Iwatani S, Koda T, Deguchi M, Tanimura K, Yamashita D, Nibu K, Funakoshi T, Ohashi M, Inoue N, Iijima K, Yamada H: Neurological outcomes in symptomatic congenital cytomegalovirus-infected infants after introduction of newborn urine screening and antiviral treatment. *Brain Dev*, 2016: 38: 209-216. (PMID: 26282917)
- § (8) Matsunoshita N, Nozu K, Shono A, Nozu Y, Fu XJ, Morisada N, Kamiyoshi N, Ohtsubo H, Ninchoji T, Minamikawa S, Yamamura T, Nakanishi K, Yoshikawa N, Shima Y, Kaito H, Iijima K: Differential diagnosis of Bartter syndrome, Gitelman syndrome, and pseudo-Bartter/Gitelman syndrome based on clinical characteristics. *Genet Med*, 2016: 18: 180-188. (PMID: 25880437)
- § (9) Nishida M, Hashimoto F, Kaito H, Nozu K, Iijima K, Asada D, Hamaoka K: Combined Alport syndrome and Klinefelter syndrome. *Pediatr Int*, 2016: 58: 152-155. (PMID: 26554353)
- ※(10) Kato T, Mandai T, Iwatani S, Koda T, Nagasaka M, Fujita K, Kurokawa D, Yamana K, Nishida K, Taniguchi-Ikeda M, Tanimura K, Deguchi M, Yamada H, Iijima K, Morioka I: Extremely preterm infants small for gestational age are at risk for motor impairment at 3years corrected age. *Brain Dev*, 2016: 38: 188-195. (PMID: 26265090)
- § (11) Kanda S, Morisada N, Kaneko N, Yabuuchi T, Nawashiro Y, Tada N, Nishiyama K, Miyai T, Sugawara N, Ishizuka K, Chikamoto H, Akioka Y, Iijima K, Hattori M: New-onset diabetes after renal transplantation in a patient with a novel HNF1B mutation. *Pediatr Transplant*, 2016. (PMID: 26899772)

- ※ § (12) Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Murakami Y, Nakamura S, Motooka D, Emoto T, Satake W, Nishiyama M, Toyoshima D, Morisada N, Takada S, Tairaku S, Okamoto N, Morioka I, Kurahashi H, Toda T, Kinoshita T, Iijima K: A novel PIGN mutation and prenatal diagnosis of inherited glycosylphosphatidylinositol deficiency. *Am J Med Genet A*, 2016; 170: 183-188. (PMID: 26419326)
- § (13) Kurokawa D, Nakamura H, Yokota T, Iwatani S, Morisawa T, Katayama Y, Sakai H, Ioroi T, Iijima K, Morioka I: Screening for Hyperbilirubinemia in Japanese Very Low Birthweight Infants Using Transcutaneous Bilirubinometry. *J Pediatr*, 2016; 168: 77-81. (PMID: 26410797)
- § (14) Ishikura K, Uemura O, Hamasaki Y, Nakai H, Ito S, Harada R, Hattori M, Ohashi Y, Tanaka R, Nakanishi K, Kaneko T, Iijima K, Honda M; Pediatric CKD Study Group in Japan in conjunction with the Committee of Measures for Pediatric CKD of the Japanese Society for Pediatric Nephrology: Insignificant impact of VUR on the progression of CKD in children with CAKUT. *Pediatr Nephrol*, 2016; 31: 105-112. (PMID: 26404649)
- § (15) Kamei K, Ogura M, Sato M, Sako M, Iijima K, Ito S: Erratum to: Risk factors for relapse and long-term outcome in steroid-dependent nephrotic syndrome treated with rituximab. *Pediatr Nephrol*, 2016; 31: 167. (PMID: 26391609)
- § (16) Kamei K, Ogura M, Sato M, Sako M, Iijima K, Ito S: Risk factors for relapse and long-term outcome in steroid-dependent nephrotic syndrome treated with rituximab. *Pediatr Nephrol*, 2016; 31: 89-95. (PMID: 26341251)
- ※ § (17) Taniguchi-Ikeda M, Takeshima Y, Lee T, Nishiyama M, Awano H, Yagi M, Unzaki A, Nozu K, Nishio H, Matsuo M, Kurahashi H, Toda T, Morioka I, Iijima K: Next-generation sequencing discloses a nonsense mutation in the dystrophin gene from long preserved dried umbilical cord and low-level somatic mosaicism in the proband mother. *J Hum Genet*, 2016. (PMID: 26740235)
- § (18) Higa A, Shima Y, Hama T, Sato M, Mukaiyama H, Togawa H, Tanaka R, Nozu K, Sako M, Iijima K, Nakanishi K, Yoshikawa N: Long-term outcome of childhood IgA nephropathy with minimal proteinuria. *Pediatr Nephrol*, 2015; 30: 2121-2127. (PMID: 26238276)
- ※ § (19) Harahap NI, Nurputra DK, Ar Rochmah M, Shima A, Morisada N, Takarada T, Takeuchi A, Tohyama Y, Yanagisawa Y, Nishio H: Salbutamol inhibits ubiquitin-mediated survival motor neuron protein degradation in spinal muscular atrophy cells. *Biochem Biophys Res*, 2015; 4: 351-356.
- § (20) Yamamoto N, Kozaki A, Hartomo TB, Yanai T, Hasegawa D, Kawasaki K, Kosaka Y, Matsuo M, Hirase S, Mori T, Hayakawa A, Iijima K, Nishio H, Nishimura N: Differential expression of minimal residual disease markers in peripheral blood and bone marrow samples from high-risk neuroblastoma patients. *Oncol Lett*, 2015; 10: 3228-3232. (PMID: 26722317)

- § (21) Hirase S, Hasegawa D, Takahashi H, Moriwaki K, Saito A, Kozaki A, Ishida T, Yanai T, Kawasaki K, Yamamoto N, Kubokawa I, Mori T, Hayakawa A, Nishimura N, Nishio H, Iijima K, Kosaka Y: Absolute lymphocyte count at the end of induction therapy is a prognostic factor in childhood acute lymphoblastic leukemia. *Int J Hematol*, 2015; 102: 594-601. (PMID: 26440971)
- § (22) Horinouchi T, Nozu K, Hamahira K, Inaguma Y, Abe J, Nakajima H, Kugo M, Iijima K: *Yersinia pseudotuberculosis* infection in Kawasaki disease and its clinical characteristics. *BMC Pediatr*, 2015; 15: 177. (PMID: 26561332)
- ※ § (23) Fu XJ, Nozu K, Eguchi A, Nozu Y, Morisada N, Shono A, Taniguchi-Ikeda M, Shima Y, Nakanishi K, Vorechovsky I, Iijima K: X-linked Alport syndrome associated with a synonymous p.Gly292Gly mutation alters the splicing donor site of the type IV collagen alpha chain 5 gene. *Clin Exp Nephrol*, 2015. (PMID: 26581810)
- § (24) Fujita K, Nagasaka M, Iwatani S, Koda T, Kurokawa D, Yamana K, Nishida K, Taniguchi-Ikeda M, Uchino E, Shirai C, Iijima K, Morioka I: Prevalence of small for gestational age (SGA) infants and short children born SGA who qualify for growth hormone treatment at 3 years of age: A population-based study. *Pediatr Int*, 2015. (PMID: 26617415)
- ※ § (25) Harahap NI, Takeuchi A, Yusoff S, Tominaga K, Okinaga T, Kitai Y, Takarada T, Kubo Y, Saito K, Sa'adah N, Nurputra DK, Nishimura N, Saito T, Nishio H: Trinucleotide insertion in the SMN2 promoter may not be related to the clinical phenotype of SMA. *Brain Dev*, 2015; 37: 669-676. (PMID: 25459970)
- § (26) Miyake N, Tsukaguchi H, Koshimizu E, Shono A, Matsunaga S, Shiina M, Mimura Y, Imamura S, Hirose T, Okudela K, Nozu K, Akioka Y, Hattori M, Yoshikawa N, Kitamura A, Cheong HI, Kagami S, Yamashita M, Fujita A, Miyatake S, Tsurusaki Y, Nakashima M, Saito H, Ohashi K, Imamoto N, Ryo A, Ogata K, Iijima K, Matsumoto N: Biallelic Mutations in Nuclear Pore Complex Subunit NUP107 Cause Early-Childhood-Onset Steroid-Resistant Nephrotic Syndrome. *Am J Hum Genet*, 2015; 97: 555-566. (PMID: 26411495)
- ※ § (27) Hisamatsu C, Maeda K, Aida Y, Yasufuku M, Ninchoji T, Kaito H, Nozu K, Iijima K, Nishijima E: A novel technique of catheter placement with fibrin glue to prevent pericatheter leakage and to enable no break-in period in peritoneal dialysis. *J Pediatr Urol*, 2015; 11: 299-300. (PMID: 26320395)
- § (28) Kato T, Morisada N, Nagase H, Nishiyama M, Toyoshima D, Nakagawa T, Maruyama A, Fu XJ, Nozu K, Wada H, Takada S, Iijima K: Somatic mosaicism of a CDKL5 mutation identified by next-generation sequencing. *Brain Dev*, 2015; 37: 911-915. (PMID: 25819767)
- (29) Morioka I, Yamana K, Kurokawa D, Nishida K, Nagasaka M, Fujita K, Fukushima S, Tokuda O, Iwatani S, Koda T: How long is transient tachypnea of the newborn dependent on oxygen supplementation. *Pediatr Int*, 2015; 57: 1054-1055. (PMID: 26508199)

- ※ § (30) Kamiyoshi N, Nozu K, Urahama Y, Matsunoshita N, Yamamura T, Minamikawa S, Ninchoji T, Morisada N, Nakanishi K, Kaito H, Iijima K: Pathogenesis of hypokalemia in autosomal dominant hypocalcemia type 1. *Clin Exp Nephrol*, 2015. (PMID: 26323216)
- ※ § (31) Tanimura K, Nishikawa A, Tairaku S, Shinozaki N, Deguchi M, Morizane M, Ebina Y, Morioka I, Yamada H: The IgG avidity value for the prediction of *Toxoplasma gondii* infection in the amniotic fluid. *J Infect Chemother*, 2015: 21: 668-671. (PMID: 26141811)
- § (32) Nishida A, Minegishi M, Takeuchi A, Awano H, Niba ET, Matsuo M: Neuronal SH-SY5Y cells use the C-dystrophin promoter coupled with exon 78 skipping and display multiple patterns of alternative splicing including two intronic insertion events. *Hum Genet*, 2015: 134: 993-1001. (PMID: 26152642)
- § (33) Fujita K, Nagase H, Nakagawa T, Saji Y, Maruyama A, Uetani Y: Non-convulsive seizures in children with infection-related altered mental status. *Pediatr Int*, 2015: 57: 659-664. (PMID: 25523443)
- § § (34) Awano H, Blaeser A, Keramaris E, Xu L, Tucker J, Wu B, Lu P, Lu QL: Restoration of Functional Glycosylation of α -Dystroglycan in FKRP Mutant Mice Is Associated with Muscle Regeneration. *Am J Pathol*, 2015: 185: 2025-2037. (PMID: 25976249)
- § (35) Nishida A, Minegishi M, Takeuchi A, Niba ET, Awano H, Lee T, Iijima K, Takeshima Y, Matsuo M: Tissue- and case-specific retention of intron 40 in mature dystrophin mRNA. *J Hum Genet*, 2015: 60: 327-333. (PMID: 25833469)
- § (36) Morioka I, Nakamura H, Koda T, Yokota T, Okada H, Katayama Y, Kunikata T, Kondo M, Nakamura M, Hosono S, Yasuda S, Yokoyama N, Wada H, Itoh S, Funato M, Yamauchi Y, Lee YK, Yonetani M: Current incidence of clinical kernicterus in preterm infants in Japan. *Pediatr Int*, 2015: 57: 494-497. (PMID: 26113317)
- ※ § (37) Taniguchi R, Koyano S, Suzutani T, Goishi K, Ito Y, Morioka I, Nakamura H, Yamada H, Oka A, Inoue N: A Thr72Ala polymorphism in the NKG2D gene is associated with early symptomatic congenital cytomegalovirus disease. *Infection*, 2015: 43: 353-359. (PMID: 25861030)
- § § (38) Awano H, Blaeser A, Wu B, Lu P, Keramaris-Vrantsis E, Lu Q: Dystroglycanopathy muscles lacking functional glycosylation of alpha-dystroglycan retain regeneration capacity. *Neuromuscul Disord*, 2015: 25: 474-484. (PMID: 25937147)
- ※(39) Ebina Y, Minematsu T, Morioka I, Deguchi M, Tairaku S, Tanimura K, Sonoyama A, Nagamata S, Morizane M, Yamada H: Rapid increase in the serum Cytomegalovirus IgG avidity index in women with a congenitally infected fetus. *J Clin Virol*, 2015: 66: 44-47. (PMID: 25866335)

- § ¶(40) Nishiyama M, Nagase H, Tanaka T, Fujita K, Maruyama A, Toyoshima D, Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Morisada N, Takada S, Iijima K: Demographics and outcomes of patients with pediatric febrile convulsive status epilepticus. *Pediatr Neurol*, 2015; 52: 499-503. (PMID: 25769239)
- ※ § (41) Sa'adah N, Harahap NI, Nurputra DK, Rochmah MA, Morikawa S, Nishimura N, Sadewa AH, Astuti I, Haryana SM, Saito T, Saito K, Nishio H: A Rapid, Accurate and Simple Screening Method for Spinal Muscular Atrophy: High-Resolution Melting Analysis Using Dried Blood Spots on Filter Paper. *Clin Lab*, 2015; 61: 575-580. (PMID: 26118191)
- ※ § (42) Thursina C, Ar Rochmah M, Nurputra DK, Harahap IS, Harahap NI, Sa'adah N, Wibowo S, Sutarni S, Sadewa AH, Nishimura N, Mandai T, Iijima K, Nishio H, Kitayama S: Attention Deficit/Hyperactivity Disorder (ADHD): age related change of completion time and error rates of Stroop test. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E19-E26. (PMID: 25868610)
- § (43) Nishiyama M, Tanaka T, Fujita K, Maruyama A, Nagase H: Targeted temperature management of acute encephalopathy without AST elevation. *Brain Dev*, 2015; 37: 328-333. (PMID: 24962726)
- ※ § (44) Yamada H, Nishida Y, Maihara T, Sa'adah N, Harahap NI, Nurputra DK, Ar Rochmah M, Nishimura N, Saito T, Kubo Y, Saito K, Nishio H: Two Japanese Patients With SMA Type 1 Suggest that Axonal-SMN May Not Modify the Disease Severity. *Pediatr Neurol*, 2015; 52: 638-641. (PMID: 25838041)
- § (45) Malueka RG, Dwianingsih EK, Yagi M, Lee T, Nishida A, Iijima K, Takeshima Y, Matsuo M: Phosphorothioate modification of chimeric 2'-O-methyl RNA/ethylene-bridged nucleic acid oligonucleotides increases dystrophin exon 45 skipping capability and reduces cytotoxicity. *Kobe J Med Sci*, 2015; 60: E86-E94. (PMID: 25791417)
- ※ ¶ (46) Morioka I, Nakamura H, Koda T, Sakai H, Kurokawa D, Yonetani M, Morisawa T, Katayama Y, Wada H, Funato M, Takatera A, Okumura A, Sato I, Kawano S, Iijima K: Serum unbound bilirubin as a predictor for clinical kernicterus in extremely low birth weight infants at a late age in the neonatal intensive care unit. *Brain Dev*, 2015. (PMID: 25638486)
- ※ § (47) Tokuno O, Hayakawa A, Yanai T, Mori T, Ohnuma K, Tani A, Minami H, Sugimoto T: Sterility Testing of Stem Cell Products by Broad-Range Bacterial 16S Ribosomal DNA Polymerase Chain Reaction. *Lab Med*, 2015; 46: 34-41. (PMID: 25617390)
- § (48) Iijima K, Sako M, Nozu K: Rituximab Treatment for Nephrotic Syndrome in Children. *Curr Pediatr Rep*, 2015; 3: 71-77. (PMID: 25741456)

総 説

- § (1) Kobayashi R, Sunami S, Mitsui T, Nakazawa A, Koga Y, Mori T, Tanaka F, Ueyama J, Osumi T, Fukano R, Ohki K, Sekimizu M, Mori T; Lymphoma Committee; Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group: Treatment of pediatric lymphoma in Japan: Current status and plans for the future. *Pediatr Int*, 2015; 57: 523-534. (PMID: 26096060)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 飯島一誠: ネフローゼ症候群 (ステロイド感受性). 編集: 五十嵐隆 編, 小児科診療ガイドライン 第3版, 総合医学社, 2016: 365 頁
- (2) 森岡一朗: 新生児のウイルス感染. 水口雅, 市橋光, 崎山弘 編, 今日の小児治療指針第16版, 医学書院, 2015: 168-169 頁
- (3) 森岡一朗: 先天性トキソプラズマ症. 水口雅, 市橋光, 崎山弘 編, 今日の小児治療指針第16版, 医学書院, 2015: 385-386 頁
- § (4) 井口敏之, 井上健, 内田創, 岡田あゆみ, 北山真次, 小柳憲司, 作田亮一, 鈴木雄一, 鈴木由紀, 須見よし乃, 高宮静男, 永光信一郎, 深井善光: 小児科医のための摂食障害診療ガイドライン. 日本小児心身医学会 編, 小児心身医学会ガイドライン集 (改訂第2版) ?日常診療に活かす5つのガイドライン, 南江堂, 2015: 117-214 頁
- (5) 北山真次: 不安障害 (強迫性障害・パニック障害・外傷後ストレス障害). 水口雅, 市橋光, 崎山弘 編, 今日の小児治療指針第16版, 医学書院, 2015: 725-727 頁

論 文

原 著

- ※ § (1) 久保川育子, 森岡一朗, 忍頂寺毅史, 池田真理子, 森貞直哉, 石橋和人, 梶山瑞隆, 石田明人, 竹島泰弘, 飯島一誠: 小児初期救急施設を受診した生後3ヵ月未満の発熱児の臨床疫学的検討, 日本小児救急医学会雑誌, 2015; 14 巻, 30-36 頁 (医中誌 ID: 2015205824)

- § (2) 忍頂寺毅史, 南川将吾, 神吉直宙, 松野下夏樹, 大坪裕美, 貝藤裕史, 野津寛大, 飯島一誠: 初診時高血圧を呈さず特発性ネフローゼ症候群との鑑別を要した腎血管性高血圧の1例, 日本小児高血圧研究会誌, 2015; 12 卷, 31-35 頁 (医中誌 ID: 2015260088)
- ※(3) 石村武志, 横山直己, 小田晃廉, 小川悟史, 日向信之, 村蒔基次, 三宅秀明, 田中一志, 西慎一, 飯島一誠, 藤澤正人: 細菌性精巣上体炎に Epstein-Barr virus 感染を併発し、免疫抑制剤減量で自然軽快した腎移植症例, 日本小児腎不全学会雑誌, 2015; 35 卷, 220-223 頁 (医中誌 ID: 2016014348)
- ※ § (4) 久保川育子, 早川晶, 西田浩輔, 平瀬敏志, 山本暢之, 森健, 徳田央士, 上田雅章, 飯島一誠: 海綿状血管腫と鑑別を要した右下腿原発乳児線維肉腫, 日本小児科学会雑誌, 2015; 119 卷, 1374-1379 頁
- (5) 飯島一誠: 難治性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ治療の開発と適正使用, 日本小児腎不全学会雑誌, 2015; 35 卷, 8-11 頁 (医中誌 ID: 2016014296)
- ※ § (6) 伊地智昭浩, 今井雅尚, 河原啓二, 佐藤英之, 中西絵里奈, 西尾久英, 西村範行: 公衆衛生行政(保健所)医師の育成・確保とその役割に関する研究調査 公衆衛生行政の現状と課題をふまえて, 神緑会学術誌, 2015; 31 卷, 7-11 頁 (医中誌 ID: 2015379301)
- § (7) 渡部泰弘, 北山真次, 星野崇啓, 福地成: 子どもを支える精神療法・心理療法, 小児の精神と神経, 2015; 55 卷, 107-114 頁 (医中誌 ID: 2015052232)

総 説

- ※(1) 蝦名康彦, 平久進也, 森岡一朗, 出口雅士, 山田秀人: パルボウイルス B19 母子感染全国産科施設を対象とした実態調査, 小児科, 2015; 56 卷, 191-198 頁 (医中誌 ID: 2015143541)
- (2) 岩谷壮太, 森岡一朗: 【正期産児の機能を知って早産児をもっと理解する!比べて"ガッテン"新生児の観察ポイント】 正期産児の機能を知って早産児の観察ポイントを押さえよう! 早産児の免疫機能の観察ポイント, Neonatal Care, 2015; 28 卷, 1065-1069 頁 (医中誌 ID: 2016024028)
- (3) 森岡一朗, 岩谷壮太: 【新生児医療-再評価されている話題・新しい話題】 早産児の臨床的核黄疸 黄疸管理の見直し, 小児科, 2015; 56 卷, 1611-1615 頁 (医中誌 ID: 2015359168)
- ※ § (4) 森貞直哉, 野津寛大, 亀井宏一, 伊藤秀一, 田中亮二郎, 飯島一誠: ヒト CAKUT の原因遺伝子解析, 発達腎研究会誌, 2015; 23 卷, 19-22 頁 (医中誌 ID: 2015317980)

- ※(5) 森岡一朗, 西田浩輔, 谷村憲司, 山田秀人: 注目の Topics サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染症の診断・治療と新生児尿スクリーニング, *Fetal & Neonatal Medicine*, 2015; 7 巻, 30-33 頁 (医中誌 ID: 2015159099)
- ※(6) 谷村憲司, 森岡一朗, 山田秀人: 注目の Topics サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染の予防と胎児治療, *Fetal & Neonatal Medicine*, 2015; 7 巻, 26-29 頁 (医中誌 ID: 2015159098)
- ※(7) 蝦名康彦, 平久進也, 森岡一朗, 出口雅士, 森實真由美, 山田秀人: 【伝染性紅斑を見直す】 母子感染の実態 全国産科施設を対象とした実態調査, *小児科*, 2015; 56 巻, 1867-1873 頁 (医中誌 ID: 2016024971)
- (8) 飯島一誠: 小児特発性ネフローゼ症候群 新たな治療戦略と今後の課題, *日本小児腎臓病学会雑誌*, 2015; 28 巻, 114-119 頁 (医中誌 ID: PB30130002)
- (9) 野津寛大, 飯島一誠: Basic nephrology 分子生物学 Alport 症候群の軽症亜型, *Annual Review 腎臓*, 2015; 2015 巻, 75-79 頁 (医中誌 ID: 2015261513)
- § (10) 松野下夏樹, 野津寛大, 飯島一誠: 【遺伝性腎疾患】 Bartter 症候群/Gitelman 症候群, *日本腎臓学会誌*, 2015; 57 巻, 743-750 頁 (医中誌 ID: 2015259317)
- (11) 野津寛大, 飯島一誠: 【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】 (第 3 章)腎臓 診断メモ Bartter 症候群・Gitelman 症候群 遺伝性塩類喪失性尿細管機能異常症, *内科*, 2015; 115 巻, 1039 頁 (医中誌 ID: 2015258649)
- (12) 野津寛大, 飯島一誠: 【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】 (第 3 章)腎臓 診断メモ Alport 症候群, *内科*, 2015; 115 巻, 1037 頁 (医中誌 ID: 2015258647)
- (13) 野津寛大, 飯島一誠: 【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】 (第 3 章)腎臓 診断メモ 先天性ネフローゼ/乳児ネフローゼ症候群, *内科*, 2015; 115 巻, 1036 頁 (医中誌 ID: 2015258646)
- (14) 野津寛大, 飯島一誠: 【病態生理と症例から学ぶ輸液ガイド】 (第 2 章)身につけておきたい水・電解質輸液の基本手技 経口補水療法の行いかた, *Medical Practice*, 2015; 32 巻, 114-116 頁 (医中誌 ID: 2015224023)
- (15) 岩谷壮太, 森岡一朗: 【小児感染症 2015-小児感染症のマネジメント-】 小児感染症のマネジメント 先天性サイトメガロウイルス感染症, *小児科臨床*, 2015; 68 巻, 2542-2546 頁 (医中誌 ID: 2016073393)
- (16) 黒川大輔, 森岡一朗: 【新生児の疾患とその徴候-見逃してはいけない異常徴候】 注意すべき徴候, 疾患と, その対応 黄疸の強い新生児, *助産雑誌*, 2016; 70 巻, 102-107 頁 (医中誌 ID: Q215080006)

- (17) 岩谷壮太, 森岡一朗: 【小児疾患診療のための病態生理 2 改訂第 5 版】 新生児疾患 母子感染症 先天性サイトメガロウイルス感染症を中心に, 小児内科, 2015; 47 巻, 177-181 頁 (医中誌 ID: 2016087378)
- (18) 森岡一朗: 【その特殊性、どう捉えて行う?NICU 感染制御の大原則】 NICU の MRSA 対応 NICU における MRSA 感染対策 近年の MRSA 動向を踏まえて, 感染対策 ICT ジャーナル, 2015; 10 巻, 146-149 頁 (医中誌 ID: 2015210902)
- (19) 森岡一朗: 【我々はこうしている-ガイドラインには対応が示されていない症例にどう対応するか?】 新生児編 出生体重 1,200g で出生した日齢 28 で総ビリルビン値 20mg/dL の治療をどうするか?, 周産期医学, 2015; 45 巻, 371-374 頁 (医中誌 ID: 2015188602)
- (20) 森岡一朗: 【新生児医療の最前線】 ピンポイント小児医療 新しい疾患概念と管理の見直し 臨床的核黄疸の予防-早産児の黄疸管理の再評価, 小児内科, 2015; 47 巻, 379-382 頁 (医中誌 ID: 2015173286)
- ※ §(21) 27.藤井知行, 金山尚裕, 川名敬, 齋藤滋, 鮫島浩, 増崎英明, 山田秀人, 岡明, 古谷野伸, 森内浩幸, 森岡一朗, 吉川哲史, 井上直樹, 木村宏, 錫谷達夫, 峰松俊夫, 小林廉毅, 川名尚, 小島俊行, 鮫島浩二, 谷村憲司, 出口雅士, 永松健, 山口暁: サイトメガロウイルス妊娠管理マニュアル, 日本産科婦人科学会雑誌, 2015; 66 巻, 1-15 頁
- (22) 北山真次: 災害から子どもたちをどう守るか 危機管理の観点から(第 2 回) 阪神・淡路大震災の経験からみた東日本大震災, チャイルド ヘルス, 2015; 18 巻, 228-229 頁 (医中誌 ID: 2015171905)

皮膚科学 Division of Dermatology

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Ono R, Masaki T, Mayca Pozo F, Nakazawa Y, Swagemakers SM, Nakano E, Sakai W, Takeuchi S, Kanda F, Ogi T, van der Spek PJ, Sugasawa K, Nishigori C: A ten-year follow up of a child with mild case of xeroderma pigmentosum complementation group D diagnosed by whole genome sequencing. *Photodermatol Photoimmunol Photomed*, 2016. (PMID: 26993158)
- ※ § (2) Fukumoto T, Iwasaki T, Okada T, Hashimoto T, Moon Y, Sakaguchi M, Fukami Y, Nishigori C, Oka M: High expression of Mcl-1L via the MEK-ERK-phospho-STAT3 (Ser727) pathway protects melanocytes and melanoma from UVB-induced apoptosis. *Genes Cells*, 2016; 21: 185-199. (PMID: 26791143)
- § (3) Cui CY, Sima J, Yin M, Michel M, Kunisada M, Schlessinger D: Identification of potassium and chloride channels in eccrine sweat glands. *J Dermatol Sci*, 2016; 81: 129-131. (PMID: 26627722)
- (4) Tsuruta A, Washio K, Fukunaga A, Nishigori C: Pirfenidone-induced photoleukomelanoderma in a patient with idiopathic pulmonary fibrosis. *J Dermatol*, 2016; 43: 207-209. (PMID: 26119131)
- ※ § (5) Yamamoto K, Shinomiya K, Ioroi T, Hirata S, Harada K, Suno M, Nishioka T, Kume M, Makimoto H, Nakagawa T, Hirano T, Bito T, Nishigori C, Miyake H, Fujisawa M, Hirai M: Association of Single Nucleotide Polymorphisms in STAT3 with Hand-Foot Skin Reactions in Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma Treated with Multiple Tyrosine Kinase Inhibitors: A Retrospective Analysis in Japanese Patients. *Target Oncol*, 2016; 11: 93-99. (PMID: 26300443)
- § (6) Hatakeyama M, Fukunaga A, Washio K, Ogura K, Yamada Y, Horikawa T, Nishigori C: Addition of lafutidine can improve disease activity and lead to better quality of life in refractory cholinergic urticaria unresponsive to histamine H1 antagonists. *J Dermatol Sci*, 2016. (PMID: 26896422)

- ※ § (7) Yahiro C, Oka M, Fukunaga A, Fukumoto T, Sakaguchi M, Takahashi Y, Komori T, Ueda T, Nishigori C: Mucosal lichen sclerosus/lichen planus overlap syndrome with cutaneous lesions of lichen sclerosus. *Eur J Dermatol*, 2016. (PMID: 26771441)
- § (8) Tian H, Fukunaga A, Yodoi J, Nishigori C: Aerosol Delivery Enhances Percutaneous Permeability of Epidermal Growth Factor and Thioredoxin. *J Clin Investig Dermatol*, 2016: 4.
- (9) Taguchi K, Oka M, Bito T, Nishigori C: Acute generalized exanthematous pustulosis induced by *Mycoplasma pneumoniae* infection. *J Dermatol*, 2016: 43: 113-114. (PMID: 26427049)
- § (10) Lee K, Oda Y, Sakaguchi M, Yamamoto A, Nishigori C: Drug-induced photosensitivity to bicalutamide - case report and review of the literature. *Photodermatol Photoimmunol Photomed*, 2015. (PMID: 26663090)
- (11) Nakauchi E, Oka M, Fukumoto T, Sakaguchi M, Nishigori C: Acquired dermal melanocytosis confined to the palm with a review of published cases of acquired dermal melanocytosis on the hands. *J Dermatol*, 2015. (PMID: 26703756)
- ※(12) Nagai H, Fujiwara S, Takahashi Y, Nishigori C: Ameliorating effect of the novel dipeptidyl peptidase-4 inhibitor teneligliptin on psoriasis: A report of two cases. *J Dermatol*, 2015: 42: 1094-1097. (PMID: 26031638)
- (13) Nishioka M, Kunisada M, Fujiwara N, Oka M, Funasaka Y, Nishigori C: Multiple apocrine poromas: a new case report. *J Cutan Pathol*, 2015: 42: 894-896. (PMID: 26269431)
- § (14) Trisnowati N, Soebono H, Sadewa AH, Kunisada M, Yogianti F, Nishigori C: A novel filaggrin gene mutation 7487delC in an Indonesian (Javanese) patient with atopic dermatitis. *Int J Dermatol*, 2015. (PMID: 26340974)
- ※(15) Nagai H, Oiso N, Tomida S, Sakai K, Fujiwara S, Nakamachi Y, Kawano S, Kawada A, Nishio K, Nishigori C: Epidermolysis bullosa simplex with mottled pigmentation with noncicatricial alopecia: Identification of a recurrent p.P25L mutation in KRT5 in four affected family members. *Br J Dermatol*, 2015. (PMID: 26286811)
- ※(16) Goto N, Bazar G, Kovacs Z, Kunisada M, Morita H, Kizaki S, Sugiyama H, Tsenkova R, Nishigori C: Detection of UV-induced cyclobutane pyrimidine dimers by near-infrared spectroscopy and aquaphotomics. *Sci Rep*, 2015: 5: 11808. (PMID: 26133899)
- ¶(17) Oda Y, Fukunaga A, Tsujimoto M, Hatakeyama M, Washio K, Nishigori C: Combined cholinergic urticaria and cold-induced cholinergic urticaria with acquired idiopathic generalized anhidrosis. *Allergol Int*, 2015: 64: 214-215. (PMID: 25838106)

総 説

- (1) Nishigori C: Current concept of photocarcinogenesis. *Photochem Photobiol Sci*, 2015: 14: 1713-1721. (PMID: 26177397)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 錦織千佳子: 光線過敏症. 南山堂医学大辞典第 20 版, 南山堂, 2015: 796 頁
- (2) 錦織千佳子: 項部菱形皮膚. 南山堂医学大辞典第 20 版, 南山堂, 2015: 824 頁
- (3) 錦織千佳子: 色素性乾皮症. 南山堂医学大辞典第 20 版, 南山堂, 2015: 986 頁
- (4) 錦織千佳子: 種痘様水疱症. 南山堂医学大辞典第 20 版, 南山堂, 2015: 1116 頁
- (5) 錦織千佳子: ロスマント・トムソン症候群. 南山堂医学大辞典第 20 版, 南山堂, 2015: 2615 頁
- (6) 福永淳: 免疫症候群 (第 2 版) 別冊 日本臨床 新領域別症候群シリーズ V アレルギー疾患 4. 蕁麻疹、物理性蕁麻疹、コリン性蕁麻疹. 免疫症候群 (第 2 版) 別冊 日本臨床 新領域別症候群シリーズ, 日本臨床, 2016: 62-70 頁
- § (7) 船坂陽子, 錦織千佳子: メラノサイトの機能制御と美白. 伊藤祥輔, 柴原茂樹, 錦織千佳子 編, 色素細胞第 2 版, 慶應義塾大学出版会, 2015: 249-261 頁

論 文

原 著

- (1) 国定充: 【透析患者の悪性腫瘍の早期発見と予防】 透析患者の悪性腫瘍の危険因子と予防対策 日光照射と皮膚がん, 臨床透析, 2015; 31 巻, 83-90 頁 (医中誌 ID: 2015138787)
- (2) 鶴田葵, 鷺尾健, 福永淳, 錦織千佳子: 【呼吸器と皮膚】 臨床例 肺線維症治療薬による光線過敏型蕁麻疹, 皮膚病診療, 2015; 37 巻, 549-552 頁 (医中誌 ID: 2015270407)
- ※ § (3) 李和純, 福永淳, 錦織千佳子, 吉岡晶子, 堀内孝彦: 【再発する皮膚病】 臨床例 遺伝性血管性浮腫 1 型 同じ遺伝子変異を認めるものの高齢まで発症に至っていない家族を伴う例, 皮膚病診療, 2015; 37 巻, 873-876 頁 (医中誌 ID: 2016016685)

- § (4) 鶴田葵, 福永淳, 鷺尾健, 畠山真弓, 清水秀樹, 錦織千佳子: 加水分解小麦による経皮感作型小麦依存性運動誘発アナフィラキシーの診断におけるヒスタミン遊離試験の有用性, *Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology*, 2015; 9 巻, 95-100 頁 (医中誌 ID: P518440003)
- ※(5) 福田尚美, 山田陽三, 菊澤亜夕子, 羽山ブライアン, 森信暁雄, 錦織千佳子: 【細菌感染症】 免疫低下患者に発症した皮膚リンパ管型ノカルジア症の 1 例, *皮膚科の臨床*, 2015; 57 巻, 1402-1406 頁 (医中誌 ID: 2015395823)
- (6) 山下純史, 池田哲哉, 坂口正展, 岡昌宏, 船坂陽子, 錦織千佳子: 【血管炎・血行障害】 Henoch-Schoenlein 紫斑病の経過中に肺塞栓を合併した 1 例, *皮膚科の臨床*, 2015; 57 巻, 1241-1244 頁 (医中誌 ID: 2015392187)
- ※(7) 鶴田葵, 伊集院景子, 坂口正展, 岡昌宏, 明石健吾, 古形芳則, 錦織千佳子: 【血管炎・血行障害】 びまん性肺胞出血を経過中に発症し死亡した IgA 血管炎の 1 例, *皮膚科の臨床*, 2015; 57 巻, 1245-1248 頁 (医中誌 ID: 2015392188)
- (8) 田島翔子, 古松茜, 清水秀樹, 岡昌宏, 錦織千佳子: 筋周皮腫(Myopericytoma)の 1 例, *皮膚の科学*, 2015; 14 巻, 17-21 頁 (医中誌 ID: 2015273665)
- ※ § (9) 干谷奈穂, 福永淳, 下浦典子, 錦織千佳子, 松岡亮介, 高嶋基嗣, 松尾裕彰: 加水分解コムギによる経皮感作型 WDEIA との鑑別を要した接触蕁麻疹症状を併発した Baker's asthma の 1 例, *Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology*, 2015; 9 巻, 110-115 頁 (医中誌 ID: P518440005)

総 説

- (1) 福永淳, 錦織千佳子: 【皮膚アレルギーの診断と治療】 光線過敏症, *医学と薬学*, 2015; 72 巻, 1685-1695 頁 (医中誌 ID: 2015405725)
- (2) 藤原進, 錦織千佳子: 【生活習慣とがん】 疾患別からみた生活習慣とがん 皮膚がん, *成人病と生活習慣病*, 2015; 45 巻, 1231-1236 頁 (医中誌 ID: 2016042884)
- § (3) 森脇真一, 荻田典生, 林雅晴, 山下大介, 酒井良忠, 錦織千佳子, 色素性乾皮症診療ガイドライン改定委員会: 日本皮膚科学会ガイドライン 色素性乾皮症診療ガイドライン, *日本皮膚科学会雑誌*, 2015; 125 巻, 2013-2022 頁 (医中誌 ID: 2016042183)
- (4) 錦織千佳子: 日光角化症の診断・治療 フィールド癌化を考慮した日光角化症の治療, *皮膚病診療*, 2015; 37 巻, 1-6 頁 (医中誌 ID: 2015207731)
- (5) 錦織千佳子: 【小児を診る!皮膚科医の心得】(第 I 部)(2 章)小児皮膚アトラス 色素性乾皮症, *皮膚科の臨床*, 2015; 57 巻, 892-900 頁 (医中誌 ID: 2015271876)

- (6) 錦織千佳子: 【家族性腫瘍学-家族性腫瘍の最新研究動向-】 原因遺伝子 Xeroderma pigmentosum NER 欠損型とバリエーション型の原因遺伝子とそのクロストーク, 日本臨床, 2015; 73 巻, 401-408 頁 (医中誌 ID: 2015324102)
- (7) 錦織千佳子: 【見てわかる小児の皮膚疾患】 母斑・血管腫・遺伝性皮膚疾患 色素性乾皮症、先天性ポルフィリン症, 小児科診療, 2015; 78 巻, 1597-1602 頁 (医中誌 ID: 2016008528)
- (8) 錦織千佳子: 慢性光線性皮膚炎, 皮膚病診療, 2015; 37 巻, 835-839 頁 (医中誌 ID: 2016016676)
- (9) 錦織千佳子: 白斑治療の最前線 : 光線療法, MB Derma, 2016, 29-36 頁

精神医学 Division of Psychiatry

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Eguchi N, Hishimoto A, Sora I, Mori M: Slow synaptic transmission mediated by TRPV1 channels in CA3 interneurons of the hippocampus. *Neurosci Lett*, 2016; 616: 170-176. (PMID: 26836139)
- § (2) Hishimoto A, Nomaru H, Ye K, Nishi A, Lim J, Aguilan JT, Nieves E, Kang G, Angeletti RH, Hiroi N: Molecular Histochemistry Identifies Peptidomic Organization and Reorganization Along Striatal Projection Units. *Biol Psychiatry*, 2016; 79: 415-420. (PMID: 26520239)
- § (3) Toda H, Inoue T, Tsunoda T, Nakai Y, Tanichi M, Tanaka T, Hashimoto N, Takaesu Y, Nakagawa S, Kitaichi Y, Boku S, Tanabe H, Nibuya M, Yoshino A, Kusumi I: Affective temperaments play an important role in the relationship between childhood abuse and depressive symptoms in major depressive disorder. *Psychiatry Res*, 2016; 236: 142-147. (PMID: 26708440)
- § (4) Saito M, Yano Y, Hirano H, Momose K, Mouri K, Hishimoto A, Yoshida M, Azuma T: The serum level of NX-DCP-R, but not DCP, is not increased in alcoholic liver disease without hepatocellular carcinoma. *Cancer Biomark*, 2016; 16: 171-180. (PMID: 26600398)

- (5) Watanabe Y, Nunokawa A, Shibuya M, Ikeda M, Hishimoto A, Kondo K, Egawa J, Kaneko N, Muratake T, Saito T, Okazaki S, Shimasaki A, Igeta H, Inoue E, Hoya S, Sugai T, Sora I, Iwata N, Someya T: Rare truncating variations and risk of schizophrenia: Whole-exome sequencing in three families with affected siblings and a three-stage follow-up study in a Japanese population. *Psychiatry Res*, 2016; 235: 13-18. (PMID: 26706132)
- ※ § (6) Ratta-Apha W, Mouri K, Boku S, Ishiguro H, Okazaki S, Otsuka I, Sora I, Arinami T, Shirakawa O, Hishimoto A: A decrease in protein level and a missense polymorphism of KIF17 are associated with schizophrenia. *Psychiatry Res*, 2015; 230: 424-429. (PMID: 26421900)
- § (7) So R, Hirota T, Yamamoto Y, Hishimoto A, Correll CU: Lack of cardinal symptoms of meningitis in a hospitalized patient with chronic schizophrenia: lessons to be learned. *Gen Hosp Psychiatry*, 2015; 37: 621. (PMID: 26324862)
- ※ § (8) Ratta-apha W, Boku S, Mouri K, Okazaki S, Otsuka I, Watanabe Y, Nunokawa A, Someya T, Shirakawa O, Sora I, Hishimoto A: Association analysis of the HLA-DRB1*01 and HLA-DRB1*04 with schizophrenia by tag SNP genotyping in the Japanese population. *Psychiatry Res*, 2015; 229: 627-628. (PMID: 26193828)
- § (9) Nishizawa D, Kasai S, Hasegawa J, Sato N, Yamada H, Tanioka F, Nagashima M, Katoh R, Satoh Y, Tagami M, Ujike H, Ozaki N, Inada T, Iwata N, Sora I, Iyo M, Yamada M, Kondo N, Won MJ, Naruse N, Uehara-Aoyama K, Itokawa M, Ohi K, Hashimoto R, Tanisawa K, Arai T, Mori S, Sawabe M, Naka-Mieno M, Yamada Y, Yamada M, Sato N, Muramatsu M, Tanaka M, Irukayama-Tomobe Y, Saito YC, Sakurai T, Hayashida M, Sugimura H, Ikeda K: Associations between the orexin (hypocretin) receptor 2 gene polymorphism Val308Ile and nicotine dependence in genome-wide and subsequent association studies. *MOL BRAIN*, 2015; 8: 50. (PMID: 26289589)
- § (10) Toda H, Inoue T, Tsunoda T, Nakai Y, Tanichi M, Tanaka T, Hashimoto N, Nakato Y, Nakagawa S, Kitaichi Y, Mitsui N, Boku S, Tanabe H, Nibuya M, Yoshino A, Kusumi I: The structural equation analysis of childhood abuse, adult stressful life events, and temperaments in major depressive disorders and their influence on refractoriness. *Neuropsychiatr Dis Treat*, 2015; 11: 2079-2090. (PMID: 26316754)
- § (11) Sakai M, Watanabe Y, Someya T, Araki K, Shibuya M, Niizato K, Oshima K, Kunii Y, Yabe H, Matsumoto J, Wada A, Hino M, Hashimoto T, Hishimoto A, Kitamura N, Iritani S, Shirakawa O, Maeda K, Miyashita A, Niwa S, Takahashi H, Kakita A, Kuwano R, Nawa H: Assessment of copy number variations in the brain genome of schizophrenia patients. *Mol Cytogenet*, 2015; 8: 46. (PMID: 26136833)
- § (12) Piao YS, Hall FS, Moriya Y, Ito M, Ohara A, Kikura-Hanajiri R, Goda Y, Lesch KP, Murphy DL, Uhl GR, Sora I: Methylone-induced hyperthermia and lethal toxicity: role of the dopamine and serotonin transporters. *Behav Pharmacol*, 2015; 26: 345-352. (PMID: 25794333)

- § (13) Otsuka I, Watanabe Y, Hishimoto A, Boku S, Mouri K, Shiroywa K, Okazaki S, Nunokawa A, Shirakawa O, Someya T, Sora I: Association analysis of the Cadherin13 gene with schizophrenia in the Japanese population. *Neuropsychiatr Dis Treat*, 2015; 11: 1381-1393. (PMID: 26082635)
- § ¶(14) Moriya Y, Kasahara Y, Hall FS, Sakakibara Y, Uhl GR, Tomita H, Sora I: Sex differences in the effects of adolescent social deprivation on alcohol consumption in μ -opioid receptor knockout mice. *Psychopharmacology (Berl)*, 2015; 232: 1471-1482. (PMID: 25363463)
- § (15) Takamatsu Y, Hagino Y, Sato A, Takahashi T, Nagasawa SY, Kubo Y, Mizuguchi M, Uhl GR, Sora I, Ikeda K: Improvement of learning and increase in dopamine level in the frontal cortex by methylphenidate in mice lacking dopamine transporter. *Curr Mol Med*, 2015; 15: 245-252. (PMID: 25817856)
- § (16) Kasahara Y, Arime Y, Hall FS, Uhl GR, Sora I: Region-specific dendritic spine loss of pyramidal neurons in dopamine transporter knockout mice. *Curr Mol Med*, 2015; 15: 237-244. (PMID: 25817859)
- § (17) Uno K, Nishizawa D, Seo S, Takayama K, Matsumura S, Sakai N, Ohi K, Nabeshima T, Hashimoto R, Ozaki N, Hasegawa J, Sato N, Tanioka F, Sugimura H, Fukuda KI, Higuchi S, Ujike H, Inada T, Iwata N, Sora I, Iyo M, Kondo N, Won MJ, Naruse N, Uehara-Aoyama K, Itokawa M, Yamada M, Ikeda K, Miyamoto Y, Nitta A: The Piccolo Intronic Single Nucleotide Polymorphism rs13438494 Regulates Dopamine and Serotonin Uptake and Shows Associations with Dependence-Like Behavior in Genomic Association Study. *Curr Mol Med*, 2015; 15: 265-274. (PMID: 25817861)

邦 文

論 文

原 著

- (1) 小林明美, 石丸綾子, 笹田徹, 白岩恭一, 毛利健太郎, 山本泰司, 菱本明豊, 田中究, 曾良一郎: 反復性うつ病の入院治療中に多飲水行動を呈した1例, *精神神経学雑誌*, 2015; 117 卷, 161 頁 (医中誌 ID: 2015200757)
- (2) 高田佳, 奥小路明子, 田宮裕子, 田中究, 曾良一郎: 自殺企図の原因となった難治性胃痛に対して機能性ディスぺプシアと診断し、うつ病との並行治療により改善を認めた1例, *精神神経学雑誌*, 2015; 117 卷, 158 頁 (医中誌 ID: 2015200744)
- (3) 佐々木雅明, 岩本直子, 笹田徹, 松井裕介, 田中究, 曾良一郎: 刑事精神鑑定において初めて広汎性発達障害と診断した1例, *精神神経学雑誌*, 2015; 117 卷, 59 頁 (医中誌 ID: 2015167752)

- (4) 奥小路明子, 佐々木雅明, 松井裕介, 曾良一郎: 統合失調症妊産婦の育児支援の有用性についての1例, 精神神経学雑誌, 2015; 117 巻, 58 頁 (医中誌 ID: 2015167749)
- (5) 山木愛久, 西田典充, 白岩恭一, 田宮裕子, 田中究, 曾良一郎: 甲状腺機能亢進により幻覚・意識障害を呈した症状精神病の1例, 精神神経学雑誌, 2015; 117 巻, 57-58 頁 (医中誌 ID: 2015167745)
- (6) 菱本明豊, 大塚郁夫, 岡崎賢志, 朴秀賢: アルコール・薬物依存症の神経生物学・遺伝学的研究の動向 若手精神科医を中心に 細胞接着因子と精神疾患, 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 2015; 50 巻, 186 頁 (医中誌 ID: PA19230145)
- (7) 山木愛久, 田宮裕子, 曾良一郎: 危険ドラッグの連続使用により幻覚・精神運動興奮を呈した1例, 精神神経学雑誌, 2015; 117 巻, 688 頁 (医中誌 ID: 2015377704)
- (8) 古野和歌子, 青山慎介, 曾良一郎: 結核性髄膜炎に罹患後、多彩な精神症状を認めた1例, 精神神経学雑誌, 2015; 117 巻, 683 頁 (医中誌 ID: 2015377681)

総 説

- (1) 木村敦, 菱本明豊: 【急性薬物中毒 精神疾患を持つ患者の自殺企図へのアプローチ】この患者ではどう対応する?エキスパートが教えるココがポイント! うつ病治療中で賦活症候群が疑われる患者, 薬局, 2015; 66 巻, 2790-2794 頁 (医中誌 ID: 2015406263)

病因病態解析学 Division of Metabolomics Research

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Saito M, Yano Y, Hirano H, Momose K, Mouri K, Hishimoto A, Yoshida M, Azuma T: The serum level of NX-DCP-R, but not DCP, is not increased in alcoholic liver disease without hepatocellular carcinoma. Cancer Biomark, 2016; 16: 171-180. (PMID: 26600398)

- § (2) Kakuta S, Nishiumi S, Yoshida M, Fukusaki E, Bamba T: Profiling of volatile compounds in APC(Min/) mice blood by dynamic headspace extraction and gas chromatography/mass spectrometry. *J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci*, 2015: 1003: 35-40. (PMID: 26406113)
- (3) Hirano H, Saito M, Yano Y, Momose K, Yoshida M, Tanaka A, Azuma T: Chronic liver disease questionnaire would be a primary screening tool of neuropsychiatric test detecting minimal hepatic encephalopathy of cirrhotic patients. *Hepatol Res*, 2015. (PMID: 26234673)
- (4) Saito M, Hirano H, Yano Y, Momose K, Yoshida M, Azuma T: Serum level of taurine would be associated with the amelioration of minimal hepatic encephalopathy in cirrhotic patients. *Hepatol Res*, 2015. (PMID: 26224109)
- § (5) Kakuta S, Yamashita T, Nishiumi S, Yoshida M, Fukusaki E, Bamba T: Multi-Component Profiling of Trace Volatiles in Blood by Gas Chromatography/Mass Spectrometry with Dynamic Headspace Extraction. *J Mass Spectrom Soc Jpn*, 2015: 4: A0034-A0034.
- § (6) Ohbuchi K, Nishiumi S, Fujitsuka N, Hattori T, Yamamoto M, Inui A, Azuma T, Yoshida M: Rikkunshito Ameliorates Cancer Cachexia Partly through Elevation of Glucarate in Plasma. *Evid Based Complement Alternat Med*, 2015: 2015: 871832. (PMID: 26451159)

総 説

- (1) Yoshida M, Nishiumi S, Azuma T: [Gastroenterological Cancer Diagnosis by Metabolomics-Discovery of Pancreatic Cancer Biomarker]. *Rinsho Byori*, 2015: 63: 450-456. (PMID: 26536778)

医療情報学 Division of Medical Informatics

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Mika Ohta, Tsuyoshi Oda, Shinichi Kita, Eiichi Maeda, Aki Sugano, Yutaka Takaoka: Research and development of braille e-learning program for the visually impaired and its learning effect. *Bull Kobe Tokiwa Univ*, 2016: 9: 35-42.

- ※ § (2) Aki Sugano, Tsuyoshi Oda, Mika Ohta, Minoru Kumaoka, Shinichi Kita, Tetsuya Watanabe, Akihiko Ichinose, Yumiko Takao, Eiichi Maeda, Takashi Nishimoto, Yutaka Takaoka: Effectiveness of ontology-based learning material of acupuncture and moxibustion for visually impaired people. Bull Kobe Tokiwa Univ, 2016: 9: 23-34.
- ※ § (3) Yumiko Takao, Yutaka Takaoka, Aki Sugano, Hitoaki Sato, Yasushi Motoyama, Mika Ohta, Takashi Nishimoto, Satoshi Mizobuchi: Shakuyaku-kanzo-to (Shao-Yao-Gan-Cao-Tang) as treatment of painful muscle cramps in patients with lumbar spinal stenosis and its minimum effective dose. Kobe J Med Sci, 2015: 61: E132-E137. (PMID: 27363396)
- § (4) Hirotaka Sato, Yutaka Takaoka: RUNX2 expression during early healing of tooth-extraction wounds in rats. J Oral Sci, 2015: 57: 319-325. (PMID: 26666855)

邦 文

論 文

原 著

- § (1) 財間達也, 村上旬平, 三浦研爾, 菅野亜紀, 高岡裕, 森崎市治郎: 視覚障害のある人への「合理的配慮」実現に向けた歯科領域での取り組み, 医療情報学, 2015; 35 卷, 151-156 頁 (医中誌 ID: 2016154916)
- ※(2) 高岡裕, 関口篤史, 関口紗代, 梅田由紀恵, 前田英一, 池上峰子, 松浦正子, 菅野亜紀: 視覚障害の患者向け点字用文章表現への自動変換の研究, 日本クリニカルパス学会誌, 2016; 18 卷, 46-49 頁 (医中誌 ID: 2016209349)

英 文

論 文

原 著

- § (1) Yamaguchi T, Morita T, Nitto A, Takahashi N, Miyamoto S, Nishie H, Matsuoka J, Sakurai H, Ishihara T, Tarumi Y, Ogawa A: Establishing Cutoff Points for Defining Symptom Severity Using the Edmonton Symptom Assessment System-Revised Japanese Version. *J Pain Symptom Manage*, 2016; 51: 292-297. (PMID: 26598039)
- § (2) Maeda I, Morita T, Yamaguchi T, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tatara R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y, Nagaoka H, Mori M, Tei Y, Kikuchi A, Baba M, Kinoshita H: Effect of continuous deep sedation on survival in patients with advanced cancer (J-Proval): a propensity score-weighted analysis of a prospective cohort study. *Lancet Oncol*, 2016; 17: 115-122. (PMID: 26610854)
- § (3) Amano K, Maeda I, Morita T, Miura T, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Baba M, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tatara R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y, Nagaoka H, Mori M, Kinoshita H: Clinical Implications of C-Reactive Protein as a Prognostic Marker in Advanced Cancer Patients in Palliative Care Settings. *J Pain Symptom Manage*, 2016. (PMID: 26826676)
- § (4) Nakazawa Y, Kato M, Yoshida S, Miyashita M, Morita T, Kizawa Y: Population-Based Quality Indicators for Palliative Care Programs for Cancer Patients in Japan: A Delphi Study. *J Pain Symptom Manage*, 2015. (PMID: 26674609)
- § (5) Kizawa Y, Morita T, Miyashita M, Shinjo T, Yamagishi A, Suzuki S, Kinoshita H, Shirahige Y, Yamaguchi T, Eguchi K: Improvements in Physicians' Knowledge, Difficulties, and Self-Reported Practice After a Regional Palliative Care Program. *J Pain Symptom Manage*, 2015; 50: 232-240. (PMID: 25847849)

- § (6) Baba M, Maeda I, Morita T, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tatara R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y, Nagaoka H, Mori M, Tei Y, Hiramoto S, Suga A, Kinoshita H: Survival prediction for advanced cancer patients in the real world: A comparison of the Palliative Prognostic Score, Delirium-Palliative Prognostic Score, Palliative Prognostic Index and modified Prognosis in Palliative Care Study predictor model. *Eur J Cancer*, 2015; 51: 1618-1629. (PMID: 26074396)
- § (7) Takase N, Ikegaki J, Nishimura H, Yuasa S, Ito Y, Kizawa Y: Methadone for Patients with Malignant Psoas Syndrome: Case Series of Three Patients. *J Palliat Med*, 2015; 18: 645-652. (PMID: 25961749)
- § (8) Hamano J, Morita T, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tatara R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y, Nagaoka H, Mori M, Yamamoto N, Shimizu M, Sasara T, Kinoshita H: Surprise Questions for Survival Prediction in Patients With Advanced Cancer: A Multicenter Prospective Cohort Study. *Oncologist*, 2015; 20: 839-844. (PMID: 26054631)

邦 文

書 籍

編 集

- ※ § (1) 木澤義之, 坂下明大, 太田垣加奈子, 余谷暢之, 志田有里, 山口崇, 須田さと子, 東端孝博, 久永貴之, 岸野恵, 池田佳那子, 江島泰生, 高雄由美子, : 木澤義之 編, はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 1-137 頁

共同編集

- ※ § (1) 木澤義之, 坂下明大, 加藤雅志, 足立誠司, 山本亮, 丹波嘉一郎, 浜野淳, 大谷弘行, 山口崇, 齊藤洋司, 竹内麻理, 橋口さおり, 神谷浩平, 坂下美彦, 清水わか子, 中谷俊彦, 下山理史, 小原弘之, 久永貴之, 今井堅吾, 渡邊紘章, 横山太郎, 新城拓也, 三浦剛史, 藤澤大介, 小川朝生, 内山真, 西智弘, 松尾直樹, 大阪巖, 平川未来, 芽根義和, 森田達也, 辻哲也, 三木有希, 藤森麻衣子, 吉田沙蘭, 上村恵一, 大関令奈, 橘直子, 稲田美和子, 品田雄市, 田村里子, 尾形明子, 阿部泰之, 岡島美朗, 多田羅竜平: 緩和ケアの基本 66 とアドバンス 44. 木澤義之, 齊藤洋司, 丹波嘉一郎 編, 緩和ケアの基本 66 とアドバンス 44, 南江堂, 2015: 2-5 頁

分担執筆

- § (1) 山口崇: II-6 進行疾患の終末期に合併した呼吸不全（低酸素血症）への酸素投与をどうするか？. 森田達也 編, 緩和ケア増刊号緩和ケア臨床日々の悩む場面のコントラバナー, 青海社, 2015: 95-98 頁
- (2) 山口崇: 1. オピオイドとは; 3 章オピオイド. 木澤義之 編, 初めてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 48 頁
- (3) 山口崇: 2. オピオイド鎮痛薬の主な種類と違い; 3 章オピオイド. 木澤義之 編, 初めてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 50 頁
- (4) 山口崇: 3. 投与経路による違い; 3 章オピオイド. 木澤義之 編, 初めてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 56 頁
- (5) 山口崇: 4. どのように選択するか?; 3 章オピオイド. 木澤義之 編, 初めてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 60 頁
- § (6) 木澤義之, 佐藤哲観, 住谷昌彦, 山本亮, 高橋美賀子, 飯嶋哲也, 長岡広香, 浜野淳, 山口崇, 須賀明彦: 入院患者の痛みの診かた. 木澤義之 編, 入院患者の痛みの診かた, 羊土社, 2015: 672-739 頁

論文

原著

- § ¶ (1) 山本亮, 木澤義之, 坂下明大, 中澤葉宇子: PEACE 緩和ケア研修会を受講したことによる変化と今後の課題—フォーカスグループ・インタビューの結果から—, *Palliative Care Research*, 2015; 10 巻, 101-106 頁
- ※(2) 岸野恵, 木澤義之: 大学病院入院中のがん患者の突出痛の頻度に関する予備調査, *Palliative Care Research*, 2015; 10 巻, 155-160 頁
- § (3) 田中祐子, 木澤義之, 坂下明大: アドバンス・ケア・プランニングと臨床倫理に関する研修会の実施とその評価, *Palliative Care Research*, 2015; 10 巻, 310-314 頁
- § (4) 白土明美, 木澤義之: ホスピス・緩和ケア病棟の入院予約と外来機能に関する全国実態調査, *癌と化学療法*, 2015; 42 巻, 1087-1089 頁
- § (5) 山本亮, 木澤義之: PEACE 緩和ケア研修会を受講したことによる変化と今後の課題—フォーカスグループ・インタビューの結果から—, *Palliative Care Research*, 2015; 10 巻, 101-106 頁

総 説

- (1) 山口崇: がん突出痛とレスキュー薬?経粘膜吸収フェンタニル製剤の位置づけ, 薬局, 2015; 66 巻, 1939-45 頁
- (2) 山口崇: 痛みが増強した時に考えること -特に、痛みの原因がはっきりしないとき, レジデントノート, 2015; 17 巻, 727-32 頁
- (3) 山口崇: 悪性消化管閉塞に対する胃酸分泌抑制薬 -H2 ブロッカー?プロトンポンプ阻害薬?, 緩和ケア, 2015; 25 巻, 398-400 頁
- ※(4) 酒井良忠, 角谷賢一郎, 原仁美, 島田麻美, 山口崇, 江島泰生: 骨関連事象に対する集学的治療法, *Journal of Clinical Rehabilitation*, 2016; 25 巻, 131-9 頁
- (5) 木澤義之, 山口崇, 余谷暢之: 【緩和医療の今】 包括的アセスメント これからのことを話し合う アドバンス・ケア・プランニング, ペインクリニック, 2015; 36 巻, S613-S618 頁 (医中誌 ID: 2016042138)
- (6) 山口崇, 木澤義之: 【悪性消化管閉塞にどう対応する?どうケアする?】 悪性消化管閉塞とオクトレオチド これからの議論のための背景知識, 緩和ケア, 2015; 25 巻, 366-370 頁 (医中誌 ID: 2016064701)
- (7) 木澤義之: 【誰も教えてくれなかった緩和医療-最新知識と実践】 がん緩和医療 症状緩和とエンド・オブ・ライフケア, 臨床泌尿器科, 2015; 69 巻, 706-709 頁 (医中誌 ID: 2015276185)
- (8) 木澤義之: アドバンス・ケア・プランニング もしもの時に備え、人生の終わりについて話し合いを始める, ホスピスケアと在宅ケア, 2015; 23 巻, 49-62 頁 (医中誌 ID: 2015270427)
- (9) 木澤義之: 【現場で活用できる意思決定支援のわざ】 アドバンス・ケア・プランニングと意思決定支援を行うためのコツ, 緩和ケア, 2015; 25 巻, 174-177 頁 (医中誌 ID: 2015228002)
- §(10) 長谷川貴昭, 木澤義之: 急性期病院での看取りにおける信念対立終末期せん妄を発症したがん患者と患者と家族への医療スタッフの関わり, 死の臨床, 2015; 38 巻, 115-116 頁
- §(11) 木澤義之, 濱野淳: 【がんサバイバーシップ】 これからのことを話し合う アドバンス・ケア・プランニング, 治療, 2015; 97 巻, 1406-1410 頁 (医中誌 ID: 2015406246)
- (12) 木澤義之: がん疼痛の評価と治療, 日本内科学会雑誌, 2015; 104 巻, 580-585 頁 (医中誌 ID: 2015158459)

- (13) 山口崇, 森田達也, 木澤義之: 【口腔粘膜吸収性フェンタニルと突出痛】 ちょっと待った!!口腔粘膜吸収性フェンタニル製剤のその使い方, 緩和ケア, 2015; 25 巻, 043-046 頁 (医中誌 ID: 2015139257)
- (14) 山口崇, 木澤義之: 【口腔粘膜吸収性フェンタニルと突出痛】 改めて突出痛の概念を考え、その特徴を知る, 緩和ケア, 2015; 25 巻, 008-011 頁 (医中誌 ID: 2015139249)

病態情報学 Division of Biosignal Pathophysiology

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Washida K, Kowa H, Yamamoto Y, Kanda F, Toda T: Dopamine transporter imaging as a diagnostic modality for atypical Alzheimer's disease mimicking corticobasal degeneration. *Psychogeriatrics*, 2016. (PMID: 26781839)
- § (2) Takezako T1, Unal H2, Karnik SS2, Node K2: Structure-Function Basis of Attenuated Inverse Agonism of Angiotensin II Type 1 Receptor Blockers for Active-State Angiotensin II Type 1 Receptor. *Mol Pharmacol*, 2015; 88: 488-501. (PMID: 26121982)
- § (3) Senda M, Yamamoto Y, Sasaki M, Yamane T, Brooks DJ, Farrar G, McParland B, Heurling K: An exploratory efficacy study of the amyloid imaging agent [(18)F]flutemetamol in Japanese Subjects. *Ann Nucl Med*, 2015; 29: 391-399. (PMID: 25874747)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 松山賢一, 山本泰司: 典型例のアルツハイマー病. 山本泰司, 他 編, 認知症の最新医療 19 Vol.5, No.4 特集 アルツハイマー病とその鑑別疾患, フジメディカル出版, 2015: 173-177 頁

そ の 他

- (1) 山本泰司: 最近のジャーナルから (海外文献紹介) . 小野賢二郎, 他 編, 認知症の最新医療 16 Vol.5, No.1 特集 認知症と鑑別を要する他疾患, フジメディカル出版, 2015: 42-43 頁
- (2) 山本泰司: 最近のジャーナルから (海外文献紹介) . 井藤佳恵, 他 編, 認知症の最新医療 18 Vol.5, No.3 特集 権利擁護, フジメディカル出版, 2015: 144-145 頁
- (3) 山本泰司: 最近のジャーナルから (海外文献紹介) . 小川純人, 他 編, 認知症の最新医療 20 Vol.6, No.1 特集 糖尿病と認知症, フジメディカル出版, 2016: 34-35 頁

論 文

総 説

- (1) 清水光恵: 【精神病理学の気になる「言葉」】 時間の精神病理の系譜学, 臨床精神医学, 2015; 44 巻, 727-731 頁 (医中誌 ID: 2015254699)
- (2) 清水光恵: ト라우マからみた発達障害の特徴, ストレス科学研究, 2015; 30 巻, 16-19 頁

薬剤学 Division of Pharmaceutics

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Yamamoto K, Ioroi T, Kanaya K, Shinomiya K, Komoto S, Hirata S, Harada K, Watanabe A, Suno M, Nishioka T, Kume M, Makimoto H, Nakagawa T, Hirano T, Miyake H, Fujisawa M, Hirai M: STAT3 polymorphism rs4796793 may be a predictive factor of tumor response to multiple tyrosine kinase inhibitors in metastatic renal cell carcinoma in Japanese population. *Med Oncol*, 2016; 33: 24. (PMID: 26833481)

- ※ § (2) Yamamoto K, Shinomiya K, Ioroi T, Hirata S, Harada K, Suno M, Nishioka T, Kume M, Makimoto H, Nakagawa T, Hirano T, Bito T, Nishigori C, Miyake H, Fujisawa M, Hirai M: Association of Single Nucleotide Polymorphisms in STAT3 with Hand-Foot Skin Reactions in Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma Treated with Multiple Tyrosine Kinase Inhibitors: A Retrospective Analysis in Japanese Patients. *Target Oncol*, 2016; 11: 93-99. (PMID: 26300443)
- § (3) Mizumoto A, Yamamoto K, Nakayama Y, Takara K, Nakagawa T, Hirano T, Hirai M: Induction of epithelial-mesenchymal transition via activation of epidermal growth factor receptor contributes to sunitinib resistance in human renal cell carcinoma cell lines. *J Pharmacol Exp Ther*, 2015; 355: 152-158. (PMID: 26306766)
- (4) Yamamoto K, Shichiri H, Uda A, Yamashita K, Nishioka T, Kume M, Makimoto H, Nakagawa T, Hirano T, Hirai M: Apoptotic Effects of the Extracts of *Cordyceps militaris* via Erk Phosphorylation in a Renal Cell Carcinoma Cell Line. *Phytother Res*, 2015; 29: 707-713. (PMID: 25644678)
- ※ § (5) Ioroi T, Kakuma T, Sakashita A, Miki Y, Ohtagaki K, Fujiwara Y, Utsubo Y, Nishimura Y, Hirai M: Data analysis methods for assessing palliative care interventions in one-group pre?post studies. *SAGE Open Med*, 2015; 3.

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 平井 みどり: 医薬品と健康食品・サプリメントの相互作用. *医学のあゆみ*, 2015: 1075-1082 頁
- (2) 岡本 千明, 平井 みどり: 小児の薬用量と与薬の注意点. *Medical Practice*, 2015: 1275-1281 頁
- (3) 志田有里: 第 2 章非オピオイド鎮痛薬. 木澤義之 編, カラービジュアルで見てわかる! はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 44-45 頁
- (4) 志田有里: 第 3 章オピオイド. 木澤義之 編, カラービジュアルで見てわかる! はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 65-69, 84-85 頁
- (5) 志田有里: 第 4 章鎮痛補助薬. 木澤義之 編, カラービジュアルで見てわかる! はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 101-105 頁

- (6) 志田有里: 第 7 章薬剤の管理と患者指導. 木澤義之 編, カラービジュアルで見てわかる! はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 129-135 頁
- (7) 藤原尚子, 志田有里: 第 3 章チームで取り組む 頭頸部がんの治療と有害反応のケア—神戸大学医学部附属病院の取り組み. 丹生健一, 佐々木良平, 大月直樹, 大田史江 編, カラーアトラス多職種チームで実践する頭頸部がんの放射線化学療法, 日本看護協会出版会, 2015: 138-149 頁
- (8) 山下和彦: オチる前に読む! 感染症治療のピットフォール, 重症皮膚軟部組織感染症のピットフォール. 月刊薬事 Vol.57 No.11, じほう, 2015: 1885-1893 頁
- (9) 丹田雅明, 水田直美, 丸上奈穂: 第 2 章がん化学療法の基礎知識 2 抗がん薬の種類と作用メカニズム. 小澤桂子, 菅野かおり, 足利幸乃 編, 理解が実践につながるステップアップがん化学療法看護<第 2 版>, 学研メディカル秀潤社, 2016: 26-44 頁
- (10) 山本和宏, 渡邊愛未: 第 2 章口内炎の要因と口腔ケアについて. 谷口泰造 編, 口から始める健康と美容, 星雲社, 2016: 55-64 頁

論 文

原 著

- (1) 小倉史愛, 木村丈司, 宇田篤史, 戸田飛鳥, 赤澤由子, 山本和宏, 五百蔵武士, 西岡達也, 久米学, 槇本博雄, 平井みどり: STOPP Criteria を用いた高齢者のポリファーマシーに対する薬剤師による介入, 医療薬学, 2016; 42 巻, 78-86 頁

バイオロジクス探索研究

Division of Translational Research for Biologics

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Yamamichi F, Shigemura K, Behnsawy HM, Yamashita M, Shirakawa T, Fujisawa M: Beta-3 adrenergic receptors could be significant factors for overactive bladder-related symptoms. *Int J Clin Exp Pathol*, 2015; 8: 11863-11870. (PMID: 26617941)
- § (2) Tada Y, Hiroshima K, Shimada H, Morishita N, Shirakawa T, Matsumoto K, Shingyoji M, Sekine I, Tatsumi K, Tagawa M: A clinical protocol to inhibit the HGF/c-Met pathway for malignant mesothelioma with an intrapleural injection of adenoviruses expressing the NK4 gene. *Springerplus*, 2015; 4: 358. (PMID: 26191485)
- ※ § ¶ (3) Shigemura K, Osawa K, Miura M, Tanaka K, Arakawa S, Shirakawa T, Fujisawa M: Azithromycin Resistance and Its Mechanism in *Neisseria gonorrhoeae* Strains in Hyogo, Japan. *Antimicrob Agents Chemother*, 2015; 59: 2695-2699. (PMID: 25712352)
- ※ § (4) Shigemura K, Osawa K, Kato A, Tokimatsu I, Arakawa S, Shirakawa T, Fujisawa M: Association of overexpression of efflux pump genes with antibiotic resistance in *Pseudomonas aeruginosa* strains clinically isolated from urinary tract infection patients. *J Antibiot (Tokyo)*, 2015. (PMID: 25850341)
- ※ ¶ (5) Osawa K, Shigemura K, Shimizu R, Kato A, Kusuki M, Jikimoto T, Nakamura T, Yoshida H, Arakawa S, Fujisawa M, Shirakawa T: Molecular Characteristics of Extended-Spectrum β -Lactamase-Producing *Escherichia coli* in a University Teaching Hospital. *Microb Drug Resist*, 2015; 21: 130-139. (PMID: 25361040)
- ※ § ¶ (6) Sudarmo SM, Shigemura K, Athiyyah AF, Osawa K, Wardana OP, Darma A, Ranuh R, Raharjo D, Arakawa S, Fujisawa M, Shirakawa T: Genotyping and clinical factors in pediatric diarrhea caused by rotaviruses: one-year surveillance in Surabaya, Indonesia. *Gut Pathog*, 2015; 7: 3. (PMID: 25793014)
- (7) Shirakawa T: [Development of the novel oral vaccine against hepatitis C virus utilizing bifidobacteria]. *Nihon Rinsho*, 2015; 73: 239-242. (PMID: 25764677)

iPS 細胞応用医学 Division of iPS cell Applications

英 文

書 籍

分担執筆

- (1) Aoi T: The Way to Clinical Applications of Human Pluripotent Stem Cells. Shuji Terai, Takeshi Suda eds., Gene Therapy and Cell Therapy Through the Liver-Current Aspects and Future Prospects, Springer, 2015: 95-104.

論 文

原 著

- § (1) Aoi T, Stacey G: Impact of National and International Stem Cell Banking Initiatives on progress in the field of cell therapy: IABS-JST Joint Workshop: Summary for Session 5. *Biologicals*, 2015; 43: 399-401. (PMID: 26315652)
- § (2) Hayakawa T, Aoi T, Bravery C, Hoogendoorn K, Knezevic I, Koga J, Maeda D, Matsuyama A, McBlane J, Morio T, Petricciani J, Rao M, Ridgway A, Sato D, Sato Y, Stacey G, Sakamoto N, Trouvin JH, Umezawa A, Yamato M, Yano K, Yokote H, Yoshimatsu K, Zorzi-Morre P: Report of the international conference on regulatory endeavors towards the sound development of human cell therapy products. *Biologicals*, 2015; 43: 283-297. (PMID: 26315651)
- § (3) Hayakawa T, Aoi T, Umezawa A, Ozawa K, Sato Y, Sawa Y, Matsuyama A, Yamanaka S, Yamato M: Study on ensuring the quality and safety of pharmaceuticals and medical devices derived from processing of autologous human somatic stem cells. *Regenerative Therapy*, 2015; 2: 57-69.
- § (4) Hayakawa T, Aoi T, Umezawa A, Ozawa K, Sato Y, Sawa Y, Matsuyama A, Yamanaka S, Yamato M: Study on ensuring the quality and safety of pharmaceuticals and medical devices derived from processing of allogenic human somatic stem cells. *Regenerative Therapy*, 2015; 2: 70-80.

- § (5) Hayakawa T, Aoi T, Umezawa A, Ozawa K, Sato Y, Sawa Y, Matsuyama A, Yamanaka S, Yamato M: Study on ensuring the quality and safety of pharmaceuticals and medical devices derived from processing of autologous human induced pluripotent stem (-like) cells. *Regenerative Therapy*, 2015; 2: 81-94.
- § (6) Hayakawa T, Aoi T, Umezawa A, Ozawa K, Sato Y, Sawa Y, Matsuyama A, Yamanaka S, Yamato M: Study on ensuring the quality and safety of pharmaceuticals and medical devices derived from processing of allogenic human induced pluripotent stem (-like) cells. *Regenerative Therapy*, 2015; 2: 95-108.
- § (7) Hayakawa T, Aoi T, Umezawa A, Ozawa K, Sato Y, Sawa Y, Matsuyama A, Yamanaka S, Yamato M: Study on ensuring the quality and safety of pharmaceuticals and medical devices derived from processing of human embryonic stem (-like) cells. *Regenerative Therapy*, 2015; 2: 109-122.

邦 文

論 文

総 説

- (1) 青井三千代[小柳], 青井貴之: 【再生医療-新たな医療を求めて-】 臨床応用を目指した基礎研究 多能性幹細胞と reprogramming 技術 ヒト多能性幹細胞株の分化特性とばらつき, *日本臨床*, 2015; 73 巻, 74-79 頁 (医中誌 ID: 2015288007)

【外科学講座 Department of Surgery】

食道胃腸外科学 Division of Gastro-intestinal Surgery

英 文

論 文

原 著

- (1) Otowa Y, Nakamura T, Takiguchi G, Yamamoto M, Kanaji S, Imanishi T, Oshikiri T, Suzuki S, Tanaka K, Kakeji Y: Safety and benefit of curative surgical resection for esophageal squamous cell cancer associated with multiple primary cancers. *Eur J Surg Oncol*, 2016; 42: 407-411. (PMID: 26733367)
- § (2) Oshikiri T, Yasuda T, Kawasaki K, Harada H, Oyama M, Hasegawa H, Ohara T, Sendo H, Nakamura T, Fujino Y, Tominaga M, Kakeji Y: Hand-assisted laparoscopic surgery (HALS) is associated with less-restrictive ventilatory impairment and less risk for pulmonary complication than open laparotomy in thoracoscopic esophagectomy. *Surgery*, 2016; 159: 459-466. (PMID: 26361833)
- § (3) Goto H, Yasuda T, Oshikiri T, Kanaji S, Kawasaki K, Imanishi T, Oyama M, Kakinoki K, Ohara T, Sendo H, Fujino Y, Tominaga M, Kakeji Y: Comparing the short-term outcomes of laparoscopic distal gastrectomy with D1 and D2 lymph node dissection for gastric cancer. *Asian J Endosc Surg*, 2016. (PMID: 26804340)
- ※(4) Takiguchi G, Nishita M, Kurita K, Kakeji Y, Minami Y: Wnt5a-Ror2 signaling in mesenchymal stem cells promotes proliferation of gastric cancer cells by activating CXCL16-CXCR6 axis. *Cancer Sci*, 2015. (PMID: 26708384)
- § (5) Oki E, Emi Y, Miyamoto Y, Kabashima A, Higashi H, Ogata Y, Ikebe M, Saeki H, Tokunaga S, Shirabe K, Beppu T, Uchida S, Takatsuki M, Sakoda M, Eguchi S, Akagi Y, Kakeji Y, Baba H, Natsugoe S, Maehara Y; Kyushu Study Group of Clinical Cancer (KSCC): Erratum to: Phase II Trial of S-1 and Oxaliplatin Plus Cetuximab for Colorectal Cancer Patients with Initially Unresectable or Not Optimally Resectable Liver Metastases (KSCC1002). *Ann Surg Oncol*, 2015; 22: 1617. (PMID: 26391505)

- § (6) Oki E, Emi Y, Miyamoto Y, Kabashima A, Higashi H, Ogata Y, Ikebe M, Saeki H, Tokunaga S, Shirabe K, Beppu T, Uchida S, Takatsuki M, Sakoda M, Eguchi S, Akagi Y, Kakeji Y, Baba H, Natsugoe S, Maehara Y; Kyushu Study Group of Clinical Cancer (KSCC): Phase II Trial of S-1 and Oxaliplatin Plus Cetuximab for Colorectal Cancer Patients with Initially Unresectable or Not Optimally Resectable Liver Metastases (KSCC1002). *Ann Surg Oncol*, 2015; 22: 1067-1074. (PMID: 26334293)
- § (7) Matsuda T, Iwasaki T, Hirata K, Tsugawa D, Sugita Y, Sumi Y, Kakeji Y: A Three-Step Method for Laparoscopic Mobilization of the Splenic Flexure. *Ann Surg Oncol*, 2015; 22: 335. (PMID: 26023038)
- § (8) Matsuda T, Iwasaki T, Mitsutsuji M, Hirata K, Tsugawa D, Sugita Y, Shimada E, Kakeji Y: A Simple and Reliable Method for Intracorporeal Circular-Stapled Esophagojejunostomy Using a Hand-Sewn Over-and-Over Suture Technique in Laparoscopic Total Gastrectomy. *Ann Surg Oncol*, 2015; 22: 355. (PMID: 25948158)
- § (9) Matsusaka S, Nashimoto A, Nishikawa K, Miki A, Miwa H, Yamaguchi K, Yoshikawa T, Ochiai A, Morita S, Sano T, Kodera Y, Kakeji Y, Sakamoto J, Saji S, Yoshida K: Erratum to: Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44-1101). *Gastric Cancer*, 2015. (PMID: 26621522)
- § (10) Sadahiro S, Tsuchiya T, Sasaki K, Kondo K, Katsumata K, Nishimura G, Kakeji Y, Baba H, Sato S, Koda K, Yamaguchi Y, Morita T, Matsuoka J, Usuki H, Hamada C, Kodaira S: Randomized phase III trial of treatment duration for oral uracil and tegafur plus leucovorin as adjuvant chemotherapy for patients with stage IIB/III colon cancer: final results of JFMC33-0502. *Ann Oncol*, 2015; 26: 2274-2280. (PMID: 26347106)
- (11) Otowa Y, Yamashita K, Kanemitsu K, Sumi Y, Yamamoto M, Kanaji S, Imanishi T, Nakamura T, Suzuki S, Tanaka K, Kakeji Y: Treating patients with advanced rectal cancer and lateral pelvic lymph nodes with preoperative chemoradiotherapy based on pretreatment imaging. *Onco Targets Ther*, 2015; 8: 3169-3173. (PMID: 26604786)
- § (12) Inoue J, Ono R, Makiura D, Kashiwa-Motoyama M, Nakamura T, Imanishi T, Miura Y, Sakai Y: Effect of Multidisciplinary Team Approach on Prevention of Postoperative Pulmonary Complications in Patients with Esophageal Cancer. *J Gastroenterol Hepatol Res*, 2015; 3: 1227-1232.
- (13) Kakeji Y, Kuroda D, Nakamura T, Suzuki S, Yamamoto M, Kanaji S, Imanishi T, Tanaka K: Ultrasonic shears assistance can shorten the console time in robotic gastrectomy for early gastric cancer. *BMC Res Notes*, 2015; 8: 443. (PMID: 26373284)
- § (14) Kanaji S, Ohyama M, Yasuda T, Sendo H, Suzuki S, Kawasaki K, Tanaka K, Fujino Y, Tominaga M, Kakeji Y: Can the intraoperative leak test prevent postoperative leakage of esophagojejunal anastomosis after total gastrectomy. *Surg Today*, 2015. (PMID: 26354031)

- (15) Tomono A, Yamashita K, Kanemitsu K, Sumi Y, Yamamoto M, Kanaji S, Imanishi T, Nakamura T, Suzuki S, Tanaka K, Kakeji Y: Prognostic significance of pathological response to preoperative chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer. *Int J Clin Oncol*, 2015. (PMID: 26338272)
- § (16) Tanabe K, Fujii M, Nishikawa K, Kunisaki C, Tsuji A, Matsushashi N, Takagane A, Ohno T, Kawase T, Kochi M, Yoshida K, Kakeji Y, Ichikawa W, Chin K, Terashima M, Takeuchi M, Nakajima T; JACCRO GC-05 study group: Phase II/III study of second-line chemotherapy comparing irinotecan-alone with S-1 plus irinotecan in advanced gastric cancer refractory to first-line treatment with S-1 (JACCRO GC-05). *Ann Oncol*, 2015; 26: 1916-1922. (PMID: 26109630)
- § (17) Otsubo D, Yamashita K, Fujita M, Nishi M, Kimura Y, Hasegawa H, Suzuki S, Kakeji Y: Early-phase Treatment by Low-dose 5-Fluorouracil or Primary Tumor Resection Inhibits MDSC-mediated Lung Metastasis Formation. *Anticancer Res*, 2015; 35: 4425-4431. (PMID: 26168482)
- § (18) Matsusaka S, Nashimoto A, Nishikawa K, Miki A, Miwa H, Yamaguchi K, Yoshikawa T, Ochiai A, Morita S, Sano T, Kodera Y, Kakeji Y, Sakamoto J, Saji S, Yoshida K: Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44-1101). *Gastric Cancer*, 2015. (PMID: 26265390)
- § (19) Oshikiri T, Yamamoto Y, Miki I, Tsuda M, Nakamura T, Fujino Y, Tominaga M, Kakeji Y: Conservative reconstruction using stents as salvage therapy for disruption of esophago-gastric anastomosis. *World J Gastroenterol*, 2015; 21: 8723-8729. (PMID: 26229414)
- ¶(20) Suzuki S, Nakamura T, Imanishi T, Kanaji S, Yamamoto M, Kanemitsu K, Yamashita K, Sumi Y, Tanaka K, Kuroda D, Kakeji Y: Carbon dioxide pneumoperitoneum led to no severe morbidities for the elderly during laparoscopic-assisted distal gastrectomy. *Ann Surg Oncol*, 2015; 22: 1548-1554. (PMID: 25395148)
- ※ ¶ (21) Urakawa N, Utsunomiya S, Nishio M, Shigeoka M, Takase N, Arai N, Kakeji Y, Koma YI, Yokozaki H: GDF15 derived from both tumor-associated macrophages and esophageal squamous cell carcinomas contributes to tumor progression via Akt and Erk pathways. *Lab Invest*, 2015; 95: 491-503. (PMID: 25730371)
- § ¶(22) Matsuda T, Iwasaki T, Mitsutsuji M, Hirata K, Maekawa Y, Tanaka T, Shimada E, Kakeji Y: Cranial-to-caudal approach for radical lymph node dissection along the surgical trunk in laparoscopic right hemicolectomy. *Surg Endosc*, 2015; 29: 1001. (PMID: 25135445)
- ¶(23) Otowa Y, Nakamura T, Takiguchi G, Urakawa N, Ishida R, Imanishi T, Suzuki S, Tanaka K, Kuroda D, Kakeji Y: Successful treatment of quintuple primary cancer, including esophageal cancer: A case report. *Oncol Lett*, 2015: epub.

邦 文

論 文

原 著

- ※(1) 向山順子, 下野洋平, 船越洋平, 河野誠之, 山下公大, 向原徹, 高尾信太郎, 南博信, 掛地吉弘: NK 細胞浸潤がヒト乳がん異種移植マウスの腫瘍増殖に与える影響, 癌と化学療法, 2015; 42 巻, 1252-1255 頁 (医中誌 ID: PA27380028)
- (2) 裏川直樹, 山下公大, 金光聖哲, 角泰雄, 鈴木知志, 掛地吉弘: クロウン病長期寛解後に同時性多発大腸癌を発症した 1 例, 癌と化学療法, 2015; 42 巻, 2202-2204 頁 (医中誌 ID: PC24470252)
- ※(3) 山本将士, 奥野達哉, 今西達也, 金治新悟, 山下公大, 金光聖哲, 角泰雄, 中村哲, 鈴木知志, 掛地吉弘: 食道癌根治切除後再発に対して Salvage Chemoradiotherapy(CRT)により長期生存が得られた 1 例, 癌と化学療法, 2015; 42 巻, 1457-1459 頁 (医中誌 ID: PC24470003)
- (4) 山下公大, 西将康, 掛地吉弘: 癌の遺伝子診断・治療, 消化器外科学レビュー, 2015; 16 巻, 186 頁 (医中誌 ID: 2015265126)

総 説

- (1) 金治新悟, 鈴木知志, 中村哲, 田中賢一, 富永正寛, 掛地吉弘: 【食道・胃手術-合併症ゼロを目指した秘策-】 胃全摘後の各種再建法と合併症対策, 手術, 2015; 69 巻, 53-58 頁 (医中誌 ID: 2015109765)
- (2) 青木文明, 中村哲, 掛地吉弘: 【化学放射線療法の現況と展望】 食道癌に対する化学放射線療法の現況と展望, 癌と化学療法, 2015; 42 巻, 1148-1151 頁 (医中誌 ID: PA27380004)
- ※(3) 向山順子, 小幡典彦, 溝渕知司, 掛地吉弘: 【外科修練医必修 新外科専門医到達のための特別講義】 麻酔科学 硬膜外麻酔の原理, 外科, 2015; 77 巻, 1452-1455 頁 (医中誌 ID: 2016025841)
- (4) 鈴木知志, 金治新悟, 山本将士, 裏川直樹, 友野絢子, 中村哲, 田中賢一, 掛地吉弘: 【胃がん治療戦略の Up to Date】 胃癌における機能温存手術, 癌の臨床, 2015; 61 巻, 283-287 頁 (医中誌 ID: 2015405060)

- (5) 裏川直樹, 金光聖哲, 掛地吉弘: 【新薬展望 2015】 (第 III 部)治療における最近の新薬の位置付け[薬効別] 新薬の広場 消化器癌治療薬, 医薬ジャーナル, 2015; 51 巻, 365-373 頁 (医中誌 ID: 2015142104)
- (6) 鈴木知志, 掛地吉弘: 胃がん治療戦略の Up to Date 胃癌における機能温存手術, メディカル朝日, 2015; 44 巻, 34-35 頁 (医中誌 ID: 2015111632)
- (7) 中村哲: 【1 術式 15 分でわかる!イラスト・写真でかんたん理解!術前に予習できる消化器外科の解剖・手術はや調べファイル】 手術編 食道亜全摘術・胃管再建術, オペナリーシング, 2015; 30 巻, 800-804 頁 (医中誌 ID: 2015322679)
- (8) 中村哲: 【1 術式 15 分でわかる!イラスト・写真でかんたん理解!術前に予習できる消化器外科の解剖・手術はや調べファイル】 解剖編 食道, オペナリーシング, 2015; 30 巻, 780-783 頁 (医中誌 ID: 2015322674)

肝胆膵外科学 Division of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Asari S, Matsumoto I, Toyama H, Yamaguchi M, Okada T, Shinzeki M, Goto T, Ajiki T, Fukumoto T, Ku Y: Recommendation of treatment strategy for postpancreatectomy hemorrhage: Lessons from a single-center experience in 35 patients. *Pancreatology*, 2016. (PMID: 26935829)
- (2) Fukumoto T, Urade T, Kido M, Takebe A, Ajiki T, Toyama H, Matsumoto I, Ku Y: A Novel Technique for the Intraoperative Identification of Biliary Drainage Areas in the Liver after Hepatobiliary Resection for Perihilar Cholangiocarcinoma. *J Am Coll Surg*, 2016. (PMID: 26857416)
- ※(3) Ikeo N, Nakamura R, Naka K, Hashimoto T, Yoshida T, Urade T, Fukushima K, Yabuuchi H, Fukumoto T, Ku Y, Mukai T: Fabrication of a magnesium alloy with excellent ductility for biodegradable clips. *Acta Biomater*, 2016; 29: 468-476. (PMID: 26485165)

- (4) Kuramitsu K, Fukumoto T, Kobayashi T, Fukushima K, Okimoto S, Iwasaki T, Tominaga M, Zen Y, Ohdan H, Ku Y: The Incidence of Posthepatectomy Liver Failure Defined by the International Study Group of Liver Surgery among Living Donors. *J Gastrointest Surg*, 2016. (PMID: 26791388)
- § (5) Sakamoto Y, Kokudo N, Matsuyama Y, Sakamoto M, Izumi N, Kadoya M, Kaneko S, Ku Y, Kudo M, Takayama T, Nakashima O; Liver Cancer Study Group of Japan: Proposal of a new staging system for intrahepatic cholangiocarcinoma: Analysis of surgical patients from a nationwide survey of the Liver Cancer Study Group of Japan. *Cancer*, 2016; 122: 61-70. (PMID: 26430782)
- ※ § (6) Fujikura K, Yamasaki T, Otani K, Kanzawa M, Fukumoto T, Ku Y, Hirose T, Itoh T, Zen Y: BSEP and MDR3: Useful Immunohistochemical Markers to Discriminate Hepatocellular Carcinomas From Intrahepatic Cholangiocarcinomas and Hepatoid Carcinomas. *Am J Surg Pathol*, 2016; 00: 1-7. (PMID: 26735860)
- ※ § (7) Fujiwara Y, Kobayashi S, Nagano H, Kanai M, Hatano E, Toyoda M, Ajiki T, Takashima Y, Yoshimura K, Hamada A, Minami H, Ioka T: Pharmacokinetic Study of Adjuvant Gemcitabine Therapy for Biliary Tract Cancer following Major Hepatectomy (KHBO1101). *PLoS One*, 2015; 10: e0143072. (PMID: 26633034)
- § (8) Matsumoto I, Murakami Y, Shinzeki M, Asari S, Goto T, Tani M, Motoi F, Uemura K, Sho M, Satoi S, Honda G, Yamaue H, Unno M, Akahori T, Kwon AH, Kurata M, Ajiki T, Fukumoto T, Ku Y: Proposed preoperative risk factors for early recurrence in patients with resectable pancreatic ductal adenocarcinoma after surgical resection: A multi-center retrospective study. *Pancreatology*, 2015; 15: 674-680. (PMID: 26467797)
- (9) Goto T, Toyama H, Asari S, Terai S, Kinoshita H, Matsumoto T, Kuramitsu K, Tanaka M, Takebe A, Kido M, Matsumoto I, Ajiki T, Fukumoto T, Ku Y: [A Case of Invasive Intraductal Papillary Mucinous Carcinoma, Penetrating the Stomach, Colon, and Jejunum]. *Gan To Kagaku Ryoho*, 2015; 42: 2391-2393. (PMID: 26805374)
- ※ § (10) Ajiki T, Matsumoto T, Shinozaki K, Murakami S, Kinoshita H, Goto T, Asari S, Toyama H, Kido M, Fukumoto T, Ku Y: [Resection of Initially Unresectable Gallbladder Cancer with Multiple Liver Metastases after Chemotherapy with Gemcitabine plus Cisplatin]. *Gan To Kagaku Ryoho*, 2015; 42: 1500-1502. (PMID: 26805076)
- § (11) Nakamura M, Wakabayashi G, Miyasaka Y, Tanaka M, Morikawa T, Unno M, Tajima H, Kumamoto Y, Satoi S, Kwon M, Toyama H, Ku Y, Yoshitomi H, Nara S, Shimada K, Yokoyama T, Miyagawa S, Toyama Y, Yanaga K, Fujii T, Kodera Y; Study Group of JHBPS; JSEPS, Tomiyama Y, Miyata H, Takahara T, Beppu T, Yamaue H, Miyazaki M, Takada T: Multicenter comparative study of laparoscopic and open distal pancreatectomy using propensity score-matching. *J Hepatobiliary Pancreat Sci*, 2015; 22: 731-736. (PMID: 26087943)

- ※(12) Nakagawa T, Arisaka Y, Ajiki T, Fujikura K, Masuda A, Takenaka M, Shiomi H, Okabe Y, Fukumoto T, Ku Y, Azuma T, Zen Y: Intraductal tubulopapillary neoplasm of the bile duct: A case report and review of the published work. *Hepatol Res*, 2015. (PMID: 26459784)
- ※(13) Deng L, Chen M, Tanaka M, Ku Y, Itoh T, Shoji I, Hotta H: HCV upregulates Bim through the ROS/JNK signalling pathway, leading to Bax-mediated apoptosis. *J Gen Virol*, 2015; 96: 2670-2683. (PMID: 26296767)
- (14) Gon H, Kido M, Fukumoto T, Takebe A, Tanaka M, Kuramitsu K, Kinoshita H, Fukushima K, Urade T, So S, Shinzeki M, Matsumoto I, Ajiki T, Ku Y: [Successful Multimodal Treatment for Aggressive Extrahepatic Metastatic Hepatocellular Carcinoma - A Case Report]. *Gan To Kagaku Ryoho*, 2015; 42: 1111-1114. (PMID: 26469171)
- § (15) Inagaki Y, Oshiro Y, Tanaka T, Yoshizumi T, Okajima H, Ishiyama K, Nakanishi C, Hidaka M, Wada H, Hibi T, Takagi K, Honda M, Kuramitsu K, Tanaka H, Tohyama T, Ikegami T, Imura S, Shimamura T, Nakayama Y, Urahashi T, Yamagishi K, Ohnishi H, Nagashima S, Takahashi M, Shirabe K, Kokudo N, Okamoto H, Ohkohchi N: A Nationwide Survey of Hepatitis E Virus Infection and Chronic Hepatitis E in Liver Transplant Recipients in Japan. *EBioMedicine*, 2015; 2: 1607-1612. (PMID: 26870785)
- (16) Asari S, Matsumoto I, Toyama H, Shinzeki M, Goto T, Ishida J, Ajiki T, Fukumoto T, Ku Y: Preoperative independent prognostic factors in patients with borderline resectable pancreatic ductal adenocarcinoma following curative resection: the neutrophil-lymphocyte and platelet-lymphocyte ratios. *Surg Today*, 2015. (PMID: 26108488)
- ※(17) Kuramitsu K, Fukumoto T, Yano Y, Hirano H, Misumi T, Katayama Y, Kawano H, Yakushijin K, Zen Y, Itoh T, Ku Y: A case of intravascular lymphoma diagnosed in an explanted liver after liver transplantation. *Transpl Int*, 2015. (PMID: 26010984)
- ¶(18) Kuramitsu K, Fukumoto T, Fukushima K, Iwasaki T, Tominaga M, Matsui T, Kawakami F, Itoh T, Ku Y: Severe post-transplant lymphoproliferative disorder after living donor liver transplantation. *Hepatol Res*, 2015; 45: 356-362. (PMID: 24750572)
- ¶(19) Ueno K, Ajiki T, Murakami S, Fujita T, Matsumoto T, Shinozaki K, Fukumoto T, Ku Y: Clinical significance of bile reflux into the pancreatic duct without pancreaticobiliary maljunction assessed by intraoperative cholangiography. *Asian J Endosc Surg*, 2015. (PMID: 25756368)
- ¶(20) Shinozaki K, Ajiki T, Matsumoto T, Yoshida Y, Murakami S, Okazaki T, Toyama H, Matsumoto I, Fukumoto T, Ku Y: Anatomical variations of liver blood supply in patients with pancreaticobiliary maljunction. *Surg Today*, 2015. (PMID: 25649536)

邦 文

論 文

原 著

- (1) 味木徹夫, 松本拓, 篠崎健太, 村上冨, 木下秘我, 後藤直大, 浅利貞毅, 外山博近, 木戸正浩, 福本巧, 具英成: 化学療法が奏効し切除可能となった多発肝転移を伴う胆嚢癌の1例, 癌と化学療法, 2015; 42 卷, 1500-1502 頁 (医中誌 ID: PC24470017)
- (2) 福本巧, 味木徹夫, 具英成: 【肝内胆管癌:治療成績の改善を目指して】 その他の治療肝門部領域胆管癌に対する体内空間可変粒子線治療, 肝・胆・膵, 2016; 72 卷, 121-125 頁 (医中誌 ID: Q114140017)
- § (3) 後藤直大, 外山博近, 浅利貞毅, 寺井祥雄, 木下秘我, 松本拓, 蔵満薫, 田中基文, 武部敦志, 木戸正浩, 松本逸平, 味木徹夫, 福本巧, 具英成: 胃・結腸・小腸浸潤を伴った浸潤性膵管内乳頭粘液性腺癌(IPMC)に対する1手術例, 癌と化学療法, 2015; 42 卷, 2391-2393 頁 (医中誌 ID: PC24470315)
- § (4) 具英成, 高原史郎, 古川博之, 大段秀樹, 武富紹信, 笠原群生, 高槻光寿, 福本巧: 肝移植における国際貢献のあり方 第33回日本肝移植研究会における緊急特別企画, 肝臓, 2015; 56 卷, 555-566 頁 (医中誌 ID: 2016074525)
- ※ § (5) 権英寿, 木戸正浩, 福本巧, 武部敦志, 田中基文, 蔵満薫, 木下秘我, 福島健司, 浦出剛史, 宗慎一, 新関亮, 松本逸平, 味木徹夫, 具英成: 肝細胞癌肝外転移巣に対し集学的治療を行い長期生存した1例, 癌と化学療法, 2015; 42 卷, 1111-1114 頁 (医中誌 ID: 2015379788)
- ※ § (6) 平田祐一, 有坂好史, 久津見弘, 酒井新, 竹中完, 塩見英之, 東健, 松本逸平, 原重雄, 八隅秀二郎: Cyst in cyst 様構造を呈し、膵粘液性嚢胞腫瘍(mucinous cystic neoplasm;MCN)との鑑別が困難であった膵内副脾に発生した epidermoid cyst の1例, 日本消化器病学会雑誌 (0446-6586), 2015; 112 卷, 1858-1867 頁 (医中誌 ID: 2016021523)

総 説

- (1) 後藤直大, 外山博近, 浅利貞毅, 木下秘我, 蔵満薫, 松本拓, 田中基文, 武部敦志, 木戸正浩, 松本逸平, 味木徹夫, 福本巧, 具英成: 【膵悪性腫瘍に対する手術;エビデンス、術式と適応、手術手技のエッセンス】 重症急性膵炎合併・随伴性膵炎既往症例に対する膵頭十二指腸切除術, 消化器外科, 2015; 38 卷, 45-55 頁 (医中誌 ID: 2015127777)

- (2) 福本巧, 木戸正浩, 武部敦志, 田中基文, 具英成: 【最新肝臓学-基礎と臨床の最新研究動向-】 肝臓の治療 外科的治療 高度進行肝臓の外科治療, 日本臨床, 2015; 73 巻, 693-698 頁 (医中誌 ID: 2015140219)
- (3) 味木徹夫: 医療羅針盤 私の提言(第 92 回) 患者と医療従事者を医療事故の災禍から守る安全管理部の取り組み-インシデント報告の活用, 新医療, 2015; 42 巻, 18-21 頁 (医中誌 ID: 2015376891)
- (4) 木下秘我, 蔵満薫, 武部敦志, 木戸正浩, 福本巧, 具英成: 手術手技 門脈血栓症を合併したレシピエントに対する肝移植, 手術, 2015; 69 巻, 1721-1726 頁 (医中誌 ID: 2016042872)
- (5) 田中基文, 福本巧, 具英成: 【Neoadjuvant therapy の最新の動向-がんの治療戦略はどのように変わっていくのか】 がん種別 術前補助療法 of 臨床的意義と今後の方向性 肝細胞癌に対する neoadjuvant chemotherapy, 臨床外科, 2015; 70 巻, 838-843 頁 (医中誌 ID: 2015274945)
- (6) 武部敦志, 福本巧, 具英成: 手術手技 ラジオ波焼灼療法後再発肝細胞癌に対する肝切除, 手術, 2015; 69 巻, 753-759 頁 (医中誌 ID: 2015189523)

乳腺内分泌外科学 Division of Breast Surgery

英 文

論 文

原 著

- § (1) Egawa C, Hirokaga K, Takao S, Yamagami K, Miyashita M, Baba M, Ichii S, Konishi M, Kikawa Y, Minohata J, Okuno T, Miyauchi K, Wakita K, Suwa H, Hashimoto T, Nishino M, Matsumoto T, Hidaka T, Konishi Y, Sakoda Y, Miya A, Mitsunobu M, Nishikawa H, Kono S, Kokufu I, Sakita I, Kitatsuji K, Oh K, Miyoshi Y: Risk factors for joint symptoms in postmenopausal Japanese breast cancer patients treated with anastrozole: a prospective multicenter cohort study of patient-reported outcomes. *Int J Clin Oncol*, 2015. (PMID: 26411314)

- ※ ¶ (2) Imamura Y, Mukohara T, Shimono Y, Funakoshi Y, Chayahara N, Toyoda M, Kiyota N, Takao S, Kono S, Nakatsura T, Minami H: Comparison of 2D- and 3D-culture models as drug-testing platforms in breast cancer. *Oncol Rep*, 2015; 33: 1837-1843. (PMID: 25634491)

邦 文

論 文

原 著

- ※(1) 向山順子, 下野洋平, 船越洋平, 河野誠之, 山下公大, 向原徹, 高尾信太郎, 南博信, 掛地吉弘: NK 細胞浸潤がヒト乳がん異種移植マウスの腫瘍増殖に与える影響, *癌と化学療法*, 2015; 42 巻, 1252-1255 頁 (医中誌 ID: PA27380028)

心臓血管外科学 Division of Cardiovascular Surgery

邦 文

書 籍

分担執筆

- § § (1) 高橋宏明: 大動脈弁形成術の変遷、方法、成績 1 尖弁と 4 尖弁. 國原孝, 高梨秀一郎 編, *大動脈弁形成術のすべて*, 文光堂, 2015: 46-50 頁

論 文

総 説

- (1) 鈴木知志, 掛地吉弘: 胃がん治療戦略の Up to Date 胃癌における機能温存手術, *メディカル朝日*, 2015; 44 巻, 34-35 頁 (医中誌 ID: 2015111632)

呼吸器外科学 Division of Thoracic Surgery

英 文

書 籍

分担執筆

- § (1) Hokka D, Ogawa H, Tane S, Tanaka Y, Tauchi S, Maniwa Y: Ruptured thymoma with hemothorax: A case report. ed., Ruptured thymoma with hemothorax: A case report., *Oncology Lett*, 2015: -.

論 文

原 著

- § (1) Nakagawa K, Yokoi K, Nakajima J, Tanaka F, Maniwa Y, Suzuki M, Nagayasu T, Asamura H: Is Thymectomy Alone Appropriate for Stage I (T1N0M0) Thymoma? Results of a Propensity-Score Analysis. *Ann Thorac Surg*, 2016: 101: 520-526. (PMID: 26482784)
- (2) Tanaka Y, Tane S, Hokka D, Ogawa H, Maniwa Y: The Use of Oxidized Regenerated Cellulose for Video-Assisted Thoracic Surgery. *Ann Thorac Surg*, 2016: 101: 786-788. (PMID: 26777946)
- § (3) Tsuboshima K, Nagata M, Wakahara T, Matoba Y, Nishio W, Maniwa Y: Novel paravertebral block during single-incision thoracoscopic surgery for primary spontaneous pneumothorax. *Gen Thorac Cardiovasc Surg*, 2016: 64: 58-61. (PMID: 26346002)
- § (4) Tane S, Sakai Y, Hokka D, Okuma H, Ogawa H, Tanaka Y, Uchino K, Nishio W, Yoshimura M, Maniwa Y: Significant role of Psf3 expression in non-small-cell lung cancer. *Cancer Sci*, 2015: 106: 1625-1634. (PMID: 26291987)
- ※ § (5) Tsuboshima K, Nagata M, Wakahara T, Matoba Y, Matsumoto S, Maniwa Y: Relationship between postoperative bulla neogenesis at the staple line and the resected lung volume in primary spontaneous pneumothorax. *Gen Thorac Cardiovasc Surg*, 2015: 63: 572-575. (PMID: 26104239)

- § (6) Tane S, Nishio W, Okuma H, Ogawa H, Hokka D, Tane K, Tanaka Y, Uchino K, Yoshimura M, Maniwa Y: Operative outcomes of thoracoscopic lobectomy for non-small-cell lung cancer. *Asian Cardiovasc Thorac Ann*, 2015; 23: 950-957. (PMID: 26207005)
- § (7) Hokka D, Ogawa H, Tane S, Tanaka Y, Tauchi S, Maniwa Y: Ruptured thymoma causing a hemothorax: A case report. *Oncol Lett*, 2015; 10: 1810-1812. (PMID: 26622755)
- § (8) Ogawa H, Uchino K, Tanaka Y, Shimizu N, Okuda Y, Tane K, Tauchi S, Nishio W, Maniwa Y, Yoshimura M: Efficacy of adjuvant chemotherapy for lung adenocarcinoma patients with positive pleural lavage cytology findings. *Interact Cardiovasc Thorac Surg*, 2015; 21: 34-39. (PMID: 25911680)
- (9) Okuma H, Tane S, Uchida T, Okuda Y, Shimizu N, Ogawa H, Hokka D, Tanaka Y, Maniwa Y: [Perforation of the Mediastinal Mature Teratoma; Report of a Case]. *Kyobu Geka*, 2015; 68: 546-549. (PMID: 26197834)
- ※ § ¶ (10) Hokka D, Uchino K, Tane K, Ogawa H, Tane S, Tanaka Y, Tauchi S, Nishio W, Yoshimura M, Maniwa Y: Pleural lavage cytology as an independent prognostic factor in non-small-cell lung cancer patients with stage I disease and adenocarcinoma. *Mol Clin Oncol*, 2015; 3: 244-248. (PMID: 25469303)

邦 文

論 文

原 著

- (1) 大隈宏通, 田根慎也, 内田孝宏, 奥田祐亮, 清水奈保子, 小川裕行, 法華大助, 田中雄悟, 眞庭謙昌: 縦隔成熟奇形腫胸腔内穿破の1例, *胸部外科*, 2015; 68 卷, 546-549 頁 (医中誌 ID: 2015390530)
- ※(2) 田根慎也, 大隈宏通, 小川裕行, 法華大助, 田中雄悟, 友野絢子, 金治新悟, 中村哲, 掛地吉弘, 眞庭謙昌: 気道狭窄をきたした食道神経鞘腫の1例, *日本気管食道科学会会報*, 2015; 66 卷, s25 頁 (医中誌 ID: 2015285930)
- (3) 田中雄悟, 大隈宏通, 小川裕行, 田根慎也, 法華大助, 眞庭謙昌: 肺切除後の脳梗塞に対し血栓回収療法を行い良好な経過を得た1例, *日本呼吸器外科学会雑誌*, 2015; 29 卷, O26-5 頁 (医中誌 ID: 2015387503)
- § (4) 田中雄悟, 大隈宏通, 小川裕行, 田根慎也, 法華大助, 内野和哉, 西尾渉, 吉村雅裕, 眞庭謙昌: 第2癌を念頭においた第1癌に対する区域切除術の検討, *日本呼吸器外科学会雑誌*, 2015; 29 卷, O36-6 頁 (医中誌 ID: 2015387572)

- (5) 田根慎也, 奥田祐亮, 大隈宏通, 小川裕行, 法華大助, 田中雄悟, 真庭謙昌: 肺腺癌における CHFR(Checkpoint protein with forkhead and ring finger domain)発現の意義, 日本呼吸器外科学会雑誌, 2015; 29 卷, O56-1 頁 (医中誌 ID: 2015387686)
- (6) 法華大助, 大隈宏通, 小川裕行, 田根慎也, 田中雄悟, 真庭謙昌: 胸腔鏡手術における血管損傷の危険因子の検討, 日本呼吸器外科学会雑誌, 2015; 29 卷, V29-6 頁 (医中誌 ID: 2015387889)
- (7) 大隈宏通, 法華大助, 小川裕行, 田根慎也, 田中雄悟, 真庭謙昌: 抗 NMDA 受容体脳炎を伴った縦隔奇形腫の 1 手術例, 日本呼吸器外科学会雑誌, 2015; 29 卷, P53-8 頁 (医中誌 ID: 2015388420)
- (8) 田中雄悟, 内田孝宏, 大隈宏通, 奥田祐亮, 清水奈保子, 小川裕行, 田根慎也, 法華大助, 真庭謙昌: 右肺転移を伴う肺動脈巨大肉腫に対し二期的手術を行い良好な術後経過を得た 1 例, 肺癌, 2015; 55 卷, 409 頁 (医中誌 ID: PB05240193)
- (9) 法華大助, 内田孝宏, 大隈宏通, 清水奈保子, 奥田祐亮, 小川裕行, 田根慎也, 田中雄悟, 真庭謙昌: Endo GIA Radial Reload を用いた胸腔鏡下肺部分切除術の工夫, 肺癌, 2015; 55 卷, 411 頁 (医中誌 ID: PB05240199)
- (10) 奥田祐亮, 内田孝宏, 大隈宏通, 清水奈保子, 小川裕行, 田根慎也, 法華大助, 田中雄吾, 真庭謙昌: 骨軟部悪性腫瘍の肺転移切除例の検討, 肺癌, 2015; 55 卷, 564 頁 (医中誌 ID: PB05240795)
- (11) 内田孝宏, 大隈宏通, 奥田祐亮, 清水奈保子, 小川裕行, 田根慎也, 法華大助, 田中雄悟, 真庭謙昌: 膜性腎症を契機に発見された肺癌に対し胸腔鏡下肺切除を行った 1 例, 肺癌, 2015; 55 卷, 524 頁 (医中誌 ID: PB05240635)

総 説

- (1) 真庭謙昌: 【呼吸器外科の手術看護パーフェクトマニュアル】 (第 2 章)実践編 術式別の術中看護マニュアル 気胸に対する手術, オペナーシング, 2015, 189-198 頁 (医中誌 ID: 2015256773)

小児外科学 Division of Pediatric Surgery

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Hisamatsu C, Maeda K, Aida Y, Yasufuku M, Ninchoji T, Kaito H, Nozu K, Iijima K, Nishijima E: A novel technique of catheter placement with fibrin glue to prevent pericatheter leakage and to enable no break-in period in peritoneal dialysis. J Pediatr Urol, 2015; 11: 299-300. (PMID: 26320395)

【外科系講座 Department of Surgery Related】

整形外科学 Division of Orthopaedics

英 文

書 籍

分担執筆

- (1) Matsumoto T, Kuroda R: Causes of pain after TKA-Malposition and Malorientation after Total Knee Replacement-.. Michael Hirschmann, Roland Becker eds., The Unhappy Total Knee Replacement: A Comprehensive Review and Management Guide, Springer, 2015: 165-173.

論文

原著

- § (1) Fujishiro T, Hiranaka T, Hashimoto S, Hayashi S, Kurosaka M, Kanno T, Masuda T: The effect of acetabular and femoral component version on dislocation in primary total hip arthroplasty. *Int Orthop*, 2016; 40: 697-702. (PMID: 26202021)
- (2) Nakano N, Matsumoto T, Hashimura M, Takayama K, Ishida K, Araki D, Matsushita T, Kuroda R, Kurosaka M: Coronal lower limb alignment in normal knees-A radiographic analysis of 797 normal knee subjects. *Knee*, 2016; 23: 209-213. (PMID: 26775257)
- § (3) Ishida K, Shibamura N, Matsumoto T, Tei K, Kuroda R, Kurosaka M: Periarticular multimodal drug injection improves post-operative pain and functional recovery after total knee arthroplasty. *J Orthop Sci*, 2016; 21: 178-183. (PMID: 26723225)
- § (4) Fukuda K, Miura Y, Maeda T, Hayashi S, Kurosaka M: Interleukin-12B is upregulated by decoy receptor 3 in rheumatoid synovial fibroblasts. *Mol Med Rep*, 2016; 13(4): 3647-3652. (PMID: 26956410)
- (5) Matsumoto T, Shibamura N, Takayama K, Sasaki H, Ishida K, Matsushita T, Kuroda R, Kurosaka M: The influence of intraoperative soft tissue balance on patellar pressure in posterior-stabilized total knee arthroplasty. *Knee*, 2016. (PMID: 26875047)
- § (6) Ishida K, Shibamura N, Matsumoto T, Sasaki H, Takayama K, Hiroshima Y, Kuroda R, Kurosaka M: Navigation-based tibial rotation at 90° of flexion is associated with better range of motion in navigated total knee arthroplasty. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*, 2016. (PMID: 26846657)
- ※(7) Iwata E, Hasegawa T, Takeda D, Ueha T, Kawamoto T, Akisue T, Sakai Y, Komori T: Transcutaneous carbon dioxide suppresses epithelial-mesenchymal transition in oral squamous cell carcinoma. *Int J Oncol*, 2016; 48(4): 1493-1498. (PMID: 26846904)
- (8) Waki T, Lee SY, Niikura T, Iwakura T, Dogaki Y, Okumachi E, Oe K, Kuroda R, Kurosaka M: Profiling microRNA expression during fracture healing. *BMC Musculoskelet Disord*, 2016; 17: 83. (PMID: 26879131)
- (9) Nakano N, Matsumoto T, Muratsu H, Takayama K, Kuroda R, Kurosaka M: Postoperative Knee Flexion Angle Is Affected by Lateral Laxity in Cruciate-Retaining Total Knee Arthroplasty. *J Arthroplasty*, 2016; 31: 401-405. (PMID: 26518359)
- (10) Lee SY, Niikura T, Iwakura T, Kuroda R, Kurosaka M: Treatment of ununited femoral neck fractures in young adults using low-intensity pulsed ultrasound: Report of 2 cases. *Int J Surg Case Rep*, 2016; 21: 59-62. (PMID: 26942332)

- § (11) Takayama K, Matsumoto T, Muratsu H, Ishida K, Araki D, Matsushita T, Kuroda R, Kurosaka M: The influence of posterior tibial slope changes on joint gap and range of motion in unicompartmental knee arthroplasty. *Knee*, 2016. (PMID: 26833335)
- § (12) Chinzei N, Hashimoto S, Fujishiro T, Hayashi S, Kanzaki N, Uchida S, Kuroda R, Kurosaka M: Inflammation and Degeneration in Cartilage Samples from Patients with Femoroacetabular Impingement. *J Bone Joint Surg Am*, 2016; 98: 135-141. (PMID: 26791034)
- § (13) Ishida K, Shibamura N, Matsumoto T, Sasaki H, Takayama K, Matsuzaki T, Tei K, Kuroda R, Kurosaka M: Navigation-based femorotibial rotation pattern correlated with flexion angle after total knee arthroplasty. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*, 2016; 24: 89-95. (PMID: 25261225)
- § (14) Satsuma S, Kobayashi D, Kinugasa M, Takeoka Y, Kuroda R, Kurosaka M: A new predictive indicator by arthrography for future acetabular growth following conservative treatment of developmental dysplasia of the hip. *J Pediatr Orthop B*, 2016; 25(3): 207-211. (PMID: 26683371)
- (15) Zhang S, Matsumoto T, Uefuji A, Matsushita T, Takayama K, Araki D, Nakano N, Nagai K, Matsuzaki T, Kuroda R, Kurosaka M: Anterior cruciate ligament remnant tissue harvested within 3-months after injury predicts higher healing potential. *BMC Musculoskelet Disord*, 2015; 16: 390. (PMID: 26687109)
- ※ § (16) Miyazaki S, Kakutani K, Maeno K, Takada T, Yurube T, Kurosaka M, Nishida K: Surgical debridement with retention of spinal instrumentation and long-term antimicrobial therapy for multidrug-resistant surgical site infections after spinal surgery: a case series. *Int Orthop*, 2015. (PMID: 26686674)
- § (17) Andoh T, Fujimoto T, Suzuki M, Sudo T, Sakurai Y, Tanaka H, Fujita I, Fukase N, Moritake H, Sugimoto T, Sakuma T, Sasai H, Kawamoto T, Kirihata M, Fukumori Y, Akisue T, Ono K, Ichikawa H: Boron neutron capture therapy (BNCT) as a new approach for clear cell sarcoma (CCS) treatment: Trial using a lung metastasis model of CCS. *Appl Radiat Isot*, 2015; 106: 195-201. (PMID: 26337135)
- § (18) Fujimoto T, Andoh T, Sudo T, Fujita I, Fukase N, Takeuchi T, Sonobe H, Inoue M, Hirose T, Sakuma T, Moritake H, Sugimoto T, Kawamoto T, Fukumori Y, Yamamoto S, Atagi S, Sakurai Y, Kurosaka M, Ono K, Ichikawa H, Suzuki M: Potential of boron neutron capture therapy (BNCT) for malignant peripheral nerve sheath tumors (MPNST). *Appl Radiat Isot*, 2015; 106: 220-225. (PMID: 26278348)
- (19) Kuroda Y, Ishida K, Matsumoto T, Sasaki H, Matsuzaki T, Oka S, Takayama K, Tei K, Matsushita T, Tsumura N, Kuroda R, Kurosaka M: Fibular axes are not a reliable landmark for tibial mechanical axes of osteoarthritic knees that underwent total knee arthroplasty. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*, 2015; 23: 3362-3367. (PMID: 25079132)

- (20) Hayashi S, Fujishiro T, Hashimoto S, Kanzaki N, Chinzei N, Kihara S, Takayama K, Matsumoto T, Nishida K, Kurosaka M, Kuroda R: p21 deficiency is susceptible to osteoarthritis through STAT3 phosphorylation. *Arthritis Res Ther*, 2015; 17: 314. (PMID: 26546411)
- ※(21) Maeda T, Miura Y, Fukuda K, Hayashi S, Kurosaka M: Decoy receptor 3 regulates the expression of tryptophan hydroxylase 1 in rheumatoid synovial fibroblasts. *Mol Med Rep*, 2015; 12: 5191-5196. (PMID: 26238767)
- § (22) Nagai K, Hoshino Y, Nishizawa Y, Araki D, Matsushita T, Matsumoto T, Takayama K, Nagamune K, Kurosaka M, Kuroda R: Quantitative comparison of the pivot shift test results before and after anterior cruciate ligament reconstruction by using the three-dimensional electromagnetic measurement system. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*, 2015; 23: 2876-2881. (PMID: 26342695)
- § (23) Miyazaki S, Kakutani K, Yurube T, Maeno K, Takada T, Zhang Z, Kurakawa T, Terashima Y, Ito M, Ueha T, Matsushita T, Kuroda R, Kurosaka M, Nishida K: Recombinant human SIRT1 protects against nutrient deprivation-induced mitochondrial apoptosis through autophagy induction in human intervertebral disc nucleus pulposus cells. *Arthritis Res Ther*, 2015; 17: 253. (PMID: 26373839)
- § (24) Chinzei N, Hiranaka T, Niikura T, Tsuji M, Kuroda R, Doita M, Kurosaka M: Comparison of the Sliding and Femoral Head Rotation among Three Different Femoral Head Fixation Devices for Trochanteric Fractures. *Clin Orthop Surg*, 2015; 7: 291-297. (PMID: 26330949)
- § (25) Nakano N, Matsumoto T, Ishida K, Tsumura N, Muratsu H, Hiranaka T, Kuroda R, Kurosaka M: Factors influencing the outcome of deep infection following total knee arthroplasty. *Knee*, 2015; 22: 328-332. (PMID: 25937092)
- ※(26) Minoda M, Kawamoto T, Ueha T, Kamata E, Morishita M, Harada R, Toda M, Onishi Y, Hara H, Kurosaka M, Akisue T: Antitumor effect of YM155, a novel small-molecule survivin suppressant, via mitochondrial apoptosis in human MFH/UPS. *Int J Oncol*, 2015; 47: 891-899. (PMID: 26166250)
- (27) Waki T, Lee SY, Niikura T, Iwakura T, Dogaki Y, Okumachi E, Kuroda R, Kurosaka M: Profiling microRNA expression in fracture nonunions: Potential role of microRNAs in nonunion formation studied in a rat model. *Bone Joint J*, 2015; 97-B: 1144-1151. (PMID: 26224835)
- § (28) Takayama K, Kawakami Y, Mifune Y, Matsumoto T, Tang Y, Cummins JH, Greco N, Kuroda R, Kurosaka M, Wang B, Fu FH, Huard J: The effect of blocking angiogenesis on anterior cruciate ligament healing following stem cell transplantation. *Biomaterials*, 2015; 60: 9-19. (PMID: 25965282)
- § ¶(29) Nagai K, Muratsu H, Matsumoto T, Takahara S, Kuroda R, Kurosaka M: Influence of Intraoperative Soft Tissue Balance on Postoperative Active Knee Extension in Posterior-Stabilized Total Knee Arthroplasty. *J Arthroplasty*, 2015; 30: 1155-1159. (PMID: 25697891)

- § (30) Matsushita T, Kuroda R, Nishizawa Y, Araki D, Hoshino Y, Nagai K, Matsumoto T, Kurosaka M: Clinical outcomes and biomechanical analysis of posterolateral bundle augmentation in patients with partial anterior cruciate ligament tears. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*, 2015. (PMID: 26162801)
- (31) Muto T, Kokubu T, Mifune Y, Inui A, Sakata R, Harada Y, Takase F, Ueda Y, Kuroda R, Kurosaka M: Can Platelet-Rich Plasma Protect Rat Achilles Tendons From the Deleterious Effects of Triamcinolone Acetonide. *Orthop J Sports Med*, 2015: 3: 2325967115590968. (PMID: 26673355)
- (32) Hara H, Kawamoto T, Onishi Y, Fujioka H, Nishida K, Kuroda R, Kurosaka M, Akisue T: Reconstruction of the Midfoot Using a Free Vascularized Fibular Graft After En Bloc Excision for Giant Cell Tumor of the Tarsal Bones: A Case Report. *J Foot Ankle Surg*, 2015. (PMID: 26213165)
- § (33) Chinzei N, Hiranaka T, Niikura T, Fujishiro T, Hayashi S, Kanzaki N, Hashimoto S, Sakai Y, Kuroda R, Kurosaka M: Accurate and Easy Measurement of Sliding Distance of Intramedullary Nail in Trochanteric Fracture. *Clin Orthop Surg*, 2015: 7: 152-157. (PMID: 26217459)
- ※(34) Niikura T, Lee SY, Sakai Y, Kuroda R, Kurosaka M: Rare non-traumatic periprosthetic femoral fracture with features of an atypical femoral fracture: a case report. *J Med Case Rep*, 2015: 9: 103. (PMID: 25943378)
- (35) Tsubosaka M, Matsushita T, Kuroda R, Matsumoto T, Kurosaka M: Pseudoaneurysm of the articular branch of the descending genicular artery following double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*, 2015. (PMID: 25986096)
- § (36) Mifune Y, Inui A, Nagura I, Sakata R, Muto T, Harada Y, Takase F, Kurosaka M, Kokubu T: Application of Pain Quantitative Analysis Device for Assessment of Postoperative Pain after Arthroscopic Rotator Cuff Repair. *Open Orthop J*, 2015: 9: 89-93. (PMID: 26157522)
- ※(37) Chinzei N, Hayashi S, Ueha T, Fujishiro T, Kanzaki N, Hashimoto S, Sakata S, Kihara S, Haneda M, Sakai Y, Kuroda R, Kurosaka M: P21 deficiency delays regeneration of skeletal muscular tissue. *PLoS One*, 2015: 10: e0125765. (PMID: 25942471)
- ¶(38) Takayama K, Matsumoto T, Muratsu H, Ishida K, Shibamura N, Araki D, Matsushita T, Kuroda R, Kurosaka M: The tibia first technique with tensor measurement is useful to predict the soft tissue tension after implantation in unicompartmental knee arthroplasty. *Int Orthop*, 2015: 39: 667-671. (PMID: 25312054)
- § (39) Matsumoto T, Takayama K, Muratsu H, Matsushita T, Kuroda R, Kurosaka M: Semimembranosus Release Reduces Tibial Internal Rotation and Flexion Angle in Cruciate-Retaining Total Knee Arthroplasty. *J Arthroplasty*, 2015: 30(9): 1537-1541. (PMID: 25896547)

- § (40) Sakata R, Fujioka H, Tomatsuri M, Kokubu T, Mifune Y, Inui A, Kurosaka M: Treatment and Diagnosis of Panner's Disease. A Report of Three Cases. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E36-E39. (PMID: 26628012)
- ※(41) Niikura T, Sakai Y, Lee SY, Iwakura T, Kuroda R, Kurosaka M: Rate of venous thromboembolism after complex lower-limb fracture surgery without pharmacological prophylaxis. *J Orthop Surg (Hong Kong)*, 2015; 23: 37-40. (PMID: 25920641)
- ※(42) Hayashi S, Fujishiro T, Hashimoto S, Kanzaki N, Kuroda R, Kurosaka M: The contributing factors of tapered wedge stem alignment during mini-invasive total hip arthroplasty. *J Orthop Surg Res*, 2015; 10: 52. (PMID: 25895960)
- ※ ¶ (43) Chinzei N, Hayashi S, Hashimoto S, Kanzaki N, Iwasa K, Sakata S, Kihara S, Fujishiro T, Kuroda R, Kurosaka M: Cyclin-dependent kinase inhibitor p21 does not impact embryonic endochondral ossification in mice. *Mol Med Rep*, 2015; 11: 1601-1608. (PMID: 25376471)
- ※ ¶ (44) Sakata S, Hayashi S, Fujishiro T, Kawakita K, Kanzaki N, Hashimoto S, Iwasa K, Chinzei N, Kihara S, Haneda M, Ueha T, Nishiyama T, Kuroda R, Kurosaka M: Oxidative stress-induced apoptosis and matrix loss of chondrocytes is inhibited by eicosapentaenoic acid. *J Orthop Res*, 2015; 33: 359-365. (PMID: 25469820)
- (45) Tsujimoto R, Matsumoto T, Takayama K, Kawakami Y, Kamimura M, Matsushita T, Kuroda R, Kurosaka M: Acute Popliteal Artery Occlusion after Revision Total Knee Arthroplasty. *Case Rep Orthop*, 2015; 2015: 672164. (PMID: 26357582)
- (46) Inui A, Suzuki T, Kokubu T, Sakata R, Mifune Y, Kurosaka M: Carpal Tunnel Syndrome Caused by Tumoral Calcinosis. *Case Rep Orthop*, 2015; 2015: 170873. (PMID: 26266068)

総 説

- ※ § (1) Neyret PN, Safran MR, van der Merwe W, Kurosaka M: ISAKOS celebrates 20 years of education, fellowship and outreach. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*, 2016; 24: 4-5. (PMID: 26387123)

邦 文

論 文

原 著

- (1) 松下雄彦: 整形トピックス 長寿因子 SIRT1 による軟骨変性と変形性関節症における役割, *整形外科*, 2015; 66 巻, 226 頁 (医中誌 ID: 2015143442)

- (2) 国分毅, 美船泰, 乾淳幸, 坂田亮介, 無藤智之, 原田義文, 高瀬史明, 植田安洋: 大・広範囲肩腱板断裂に対する大腿筋膜 graft augmentation 法を用いた鏡視下腱板修復術, 肩関節, 2015; 39 巻, 491-495 頁 (医中誌 ID: PC09360033)
- (3) 国分毅, 美船泰, 乾淳幸, 坂田亮介, 植田安洋, 黒坂昌弘: 中高年スポーツ競技者の肩腱板大・広範囲断裂に対する鏡視下腱板修復術の検討, 中部日本整形外科学会雑誌, 2015; 58 巻, 1031-1032 頁 (医中誌 ID: PB13190082)
- (4) 乾淳幸, 国分毅, 美船泰, 西本華子, 原田義文, 黒坂昌弘: Pain vision を用いた手根管症候群のしびれの評価, 日本手外科学会雑誌, 2015; 31 巻, 709-711 頁 (医中誌 ID: 2015348086)
- § (5) 西田康太郎, 高田徹, 前野耕一郎, 角谷賢一郎, 由留部崇, 蔵川拓外, 宮崎真吾, 寺嶋良樹, 伊藤雅明, 黒坂昌弘: 重症骨粗鬆症に伴う多発脊椎椎体骨折に対する手術的治療の問題点と対策, Journal of Spine Research, 2015; 6 巻, 1535-1538 頁 (医中誌 ID: 2016042091)
- ※ § (6) 西田康太郎, 角谷賢一郎, 前野耕一郎, 高田徹, 由留部崇, 山本潤哉, 平田裕亮, 蔵川拓外, 酒井大輔, 持田讓治, 舛田浩一, 森田有亮, 黒坂昌弘: 椎間板変性と臨床 未来への展望 椎間板変性の発生機序と臨床との関連について, 日本整形外科学会雑誌, 2015; 89 巻, 579-584 頁 (医中誌 ID: 2015405823)
- § (7) 伊藤雅明, 武岡由樹, 鈴木哲平, 角谷賢一郎, 西田康太郎: ハイリスク小児脊椎疾患に対する脊椎手術の周術期合併症についての検討, Journal of Spine Research, 2015; 6 巻, 415 頁 (医中誌 ID: 2015347344)
- § (8) 角谷賢一郎, 西田康太郎, 前野耕一郎, 高田徹, 由留部崇, 蔵川拓外, 宮崎真吾, 寺嶋良樹, 伊藤雅明, MasudaKoichi, 森田有亮, 黒坂昌弘: 【整形外科基礎の最前線 2015】椎間板変性の機序と再生の可能性 基礎研究から臨床研究まで, 関節外科, 2015; 34 巻, 27-39 頁 (医中誌 ID: 2015222235)
- (9) 宮崎邦彦, 黒田良祐, 松下雄彦, 荒木大輔, 松本知之, 黒坂昌弘: 内側膝蓋大腿靭帯再建術後に自家培養軟骨細胞移植術および脛骨粗面前内方移行術を施行した 1 例, 中部日本整形外科学会雑誌, 2015; 58 巻, 689-690 頁 (医中誌 ID: 2016050380)
- (10) 貞光隆志, 李相亮, 新倉隆宏, 黒坂昌弘: 大腿骨転子部骨折治癒後に発生した外傷性大腿骨頭軟骨下骨折の 1 例, 整形・災害外科, 2015; 58 巻, 1107-1110 頁 (医中誌 ID: 2015392116)
- ※ § (11) 新倉隆宏, 李相亮, 黒坂昌弘, 正田悦朗, 櫻井敦志, 大江啓介: 大腿骨転子部骨折 大腿骨転子部骨折の治療における合併症とその対策, 骨折, 2015; 37 巻, 261-264 頁 (医中誌 ID: 2015254736)

- ※(12) 生田健明, 河本旭哉, 原仁美, 深瀬直政, 秋末敏宏, 黒坂昌弘: 初発転移が膝であった腓骨原発骨肉腫の1例, 中部日本整形外科災害外科学会雑誌, 2015; 58巻, 1076-1077頁 (医中誌 ID: 2016056002)
- ※(13) 小出基, 原仁美, 河本旭哉, 大西康央, 黒坂昌弘, 秋末敏宏: 小児の足関節内に生じた骨軟骨形成性腫瘍の1例, 中部日本整形外科災害外科学会雑誌, 2015; 58巻, 717-718頁 (医中誌 ID: 2016050394)
- ※(14) 生田健明, 河本旭哉, 原仁美, 深瀬直政, 秋末敏宏, 黒坂昌弘: 後骨間神経麻痺を呈した前腕脂肪腫の一例, 中部日本整形外科災害外科学会雑誌, 2015; 58巻, 282頁 (医中誌 ID: 2016035127)
- ※(15) 澤内健一, 秋末敏宏, 原仁美, 河本旭哉, 大西康央, 黒坂昌弘: 緊急的に股関節離断術を施行した急速に増大する乳児型線維肉腫の1例, 中部日本整形外科災害外科学会雑誌, 2015; 58巻, 275-276頁 (医中誌 ID: 2015363114)
- (16) 羽田勝彦, 神崎至幸, 藤代高明, 鎮西伸顕, 木原伸介, 黒田良祐, 黒坂昌弘: 距骨外側突起骨折後の遺残変形に対する足部内視鏡下手術, 日本足の外科学会雑誌, 2015; 36巻, 374-377頁 (医中誌 ID: 2016080197)
- ※ § (17) 神崎至幸, 高倉義典, 高倉義幸, 杜多昭彦, 鎮西伸顕, 黒田良祐, 黒坂昌弘: 人工足関節置換術において術前可動域は術後可動域に影響を与えるか?, 日本足の外科学会雑誌, 2015; 36巻, 70-72頁 (医中誌 ID: 2016080121)
- ※ § (18) 三浦靖史, 前田俊恒, 柴沼均, 立石博臣, 黒坂昌弘: 股関節屈曲拘縮を来した強直性脊椎炎型乾癬性関節炎の若年女性患者の1例, 日本関節病学会誌, 2015; 34巻, 469頁 (医中誌 ID: PA22050316)
- (19) 山崎善功, 乾淳幸, 国分毅, 美舩泰, 高瀬史明, 黒坂昌弘: 超高周波プローブを用いたエコーによる前腕表在神経の観察, 中部日本整形外科災害外科学会雑誌, 2015; 58巻, 1139-1140頁 (医中誌 ID: Q122120018)
- (20) 国分毅, 美舩泰, 乾淳幸, 坂田亮介, 無藤智之, 原田義文, 高瀬史明, 植田安洋: 大・広範囲肩腱板断裂に対する大腿筋膜 graft augmentation 法を用いた鏡視下腱板修復術, 肩関節, 2015; 39巻, 491-495頁 (医中誌 ID: 2016086605)
- (21) 国分毅, 美舩泰, 乾淳幸, 坂田亮介, 植田安洋, 黒坂昌弘: 中高年スポーツ競技者の肩腱板大・広範囲断裂に対する鏡視下腱板修復術の検討, 中部日本整形外科災害外科学会雑誌, 2015; 58巻, 1031-1032頁 (医中誌 ID: 2016083207)

総 説

- § (1) 松本知之, 新倉隆宏, 川上洋平, 福井友章, 美船泰, 李相亮, 川本篤彦, 黒坂昌弘, 浅原孝之, 黒田良祐: 骨関節の再生医療の現状と展望 自家末梢血 CD34 陽性細胞を用いた骨・血管再生療法に関する第 I・II 相臨床試験, 日本整形外科学会雑誌, 2015; 89 巻, 26-32 頁 (医中誌 ID: 2015130115)
- (2) 国分毅: 【手部外傷・障害に対する手術治療】 手術の実際 MP 関節部伸筋腱脱臼の手術治療, 整形外科 Surgical Technique, 2015; 5 巻, 558-561 頁 (医中誌 ID: 2015379751)
- (3) 新倉隆宏, 黒田良祐, 松本知之, 黒坂昌弘: 【整形外科領域における再生医療の最前線】 自家末梢血 CD34 陽性細胞移植による難治性骨折の治療, 関節外科, 2015; 34 巻, 466-472 頁 (医中誌 ID: 2015224253)
- (4) 新倉隆宏, 李相亮, 岩倉崇, 黒坂昌弘: 整形外科 知ってるつもり 炭酸ガスを利用した骨折治癒促進法, 臨床整形外科, 2015; 50 巻, 354-357 頁 (医中誌 ID: 2015187919)
- (5) 荒木大輔, 黒田良祐: 【膝関節靭帯損傷に対する手術治療】 応用編 内側側副靭帯再建術 ハムストリングス腱を用いた再建術, 整形外科 Surgical Technique, 2015; 5 巻, 677-684 頁 (医中誌 ID: 2016072156)
- (6) 黒田良祐, 新倉隆宏, 松本知之, 李相亮, 黒坂昌弘: 【骨・軟骨の再生】 末梢血由来細胞移植による骨再生医療, 腎と骨代謝, 2015; 28 巻, 301-307 頁 (医中誌 ID: 2016036080)
- (7) 黒田良祐: 【膝スポーツ外傷 update】 再生医療の膝スポーツ外傷治療への応用 治癒促進, 関節外科, 2015; 34 巻, 291-294 頁 (医中誌 ID: 2015183315)
- (8) 新倉隆宏, 桂由里, 寺嶋万里: 【ぜんぶ説明できるようになろう! 大腿骨頸部/転子部骨折 病気のこと 手術のこと 患者さんにそのまま渡せる患者説明シートつき】 合併症 ナース資料編, 整形外科看護, 2015; 20 巻, 578-583 頁 (医中誌 ID: 2015266809)
- (9) 新倉隆宏: 【ぜんぶ説明できるようになろう! 大腿骨頸部/転子部骨折 病気のこと 手術のこと 患者さんにそのまま渡せる患者説明シートつき】 合併症 患者パンフレット編, 整形外科看護, 2015; 20 巻, 572-577 頁 (医中誌 ID: 2015266808)
- (10) 黒坂昌弘: 【世界にインパクトを与えた日本の整形外科】 Interference Screw(Kurosaka Screw)の開発, 臨床整形外科, 2015; 50 巻, 1166-1167 頁 (医中誌 ID: 2016075359)
- (11) 松下雄彦, 高山孝治: 【整形外科基礎の最前線 2015】 オートファジーの軟骨細胞における役割と変形性膝関節症への病態関与の可能性, 関節外科, 2015; 34 巻, 17-26 頁 (医中誌 ID: 2015222234)

- (12) 松本知之, 高山孝治, 黒田良祐, 黒坂昌弘: MIS の功罪 人工膝関節置換術における MIS の功罪, 臨床整形外科, 2016; 51 巻, 117-122 頁 (医中誌 ID: Q219090006)

脳神経外科学 Division of Neurosurgery

英 文

論 文

原 著

- (1) Imahori T, Hosoda K, Fujita A, Yamamoto Y, Mizowaki T, Miyake S, Kimura H, Kohta M, Kohmura E: Long-Term Outcomes of Carotid Endarterectomy and Carotid Artery Stenting for Carotid Artery Stenosis: Real-World Status in Japan. *J Stroke Cerebrovasc Dis*, 2016; 25: 360-367. (PMID: 26564376)
- (2) Minami N, Tanaka K, Kimura H, Hirose T, Mori T, Maeyama M, Sekiya H, Uenaka T, Nakamizo S, Nagashima H, Mizukawa K, Itoh T, Sasayama T, Kohmura E: Radiographic occult cerebellar germinoma presenting with progressive ataxia and cranial nerve palsy. *BMC Neurol*, 2016; 16: 4. (PMID: 26759273)
- ※(3) Nishii T, Kono AK, Nishio M, Negi N, Fujita A, Kohmura E, Sugimura K: Bone-Subtracted Spinal CT Angiography Using Nonrigid Registration for Better Visualization of Arterial Feeders in Spinal Arteriovenous Fistulas. *AJNR Am J Neuroradiol*, 2015; 36: 2400-2406. (PMID: 26251431)
- (4) Tanaka K, Sasayama T, Mizukawa K, Takata K, Sulaiman NS, Nishihara M, Kohta M, Sasaki R, Hirose T, Itoh T, Kohmura E: Combined IDH1 mutation and MGMT methylation status on long-term survival of patients with cerebral low-grade glioma. *Clin Neurol Neurosurg*, 2015; 138: 37-44. (PMID: 26276726)
- (5) Kimura H, Taniguchi M, Koyama J, Fujimoto Y, Hosoda K, Kohmura E: Minimum Transpetrosal Retrolabyrinthine Approach for Revascularization of Posterior Cerebral Artery: Operative Nuance. *Neurosurgery*, 2015. (PMID: 26479705)
- (6) Mizowaki T, Sasayama T, Tanaka K, Mizukawa K, Takata K, Nakamizo S, Tanaka H, Nagashima H, Nishihara M, Hirose T, Itoh T, Kohmura E: STAT3 activation is associated with cerebrospinal fluid interleukin-10 (IL-10) in primary central nervous system diffuse large B cell lymphoma. *J Neurooncol*, 2015; 124: 165-174. (PMID: 26080800)

- (7) Tanaka K, Sasayama T, Kohmura E: Targeting glutaminase and mTOR. *Oncotarget*, 2015: 6: 26544-26545. (PMID: 26337208)
- ※ § (8) Sasayama T, Tanaka K, Mizowaki T, Nagashima H, Nakamizo S, Tanaka H, Nishihara M, Mizukawa K, Hirose T, Itoh T, Kohmura E: Tumor-Associated Macrophages Associate with Cerebrospinal Fluid Interleukin-10 and Survival in Primary Central Nervous System Lymphoma (PCNSL). *Brain Pathol*, 2015. (PMID: 26314692)
- § (9) Minami N, Morino M, Uda T, Komori T, Nakata Y, Arai N, Kohmura E, Nakano I: Surgery for amygdala enlargement with mesial temporal lobe epilepsy: pathological findings and seizure outcome. *J Neurol Neurosurg Psychiatry*, 2015: 86: 887-894. (PMID: 25224675)
- § (10) Taniguchi M, Akutsu N, Mizukawa K, Kohta M, Kimura H, Kohmura E: Endoscopic endonasal translacerum approach to the inferior petrous apex. *J Neurosurg*, 2015: 7: 1-7. (PMID: 26252453)
- (11) Mizowaki T, Sasayama T, Semba S, Sasaki R, Yasuo K, Nakamizo S, Tanaka K, Mizukawa K, Uchihashi Y, Kohmura E: A 40-Year-Old Female with Leptomeningeal Lesions. *Brain Pathol*, 2015: 25: 509-510. (PMID: 26095594)
- § (12) Masui K, Tanaka K, Ikegami S, Villa GR, Yang H, Yong WH, Cloughesy TF, Yamagata K, Arai N, Cavenee WK, Mischel PS: Glucose-dependent acetylation of Rictor promotes targeted cancer therapy resistance. *Proc Natl Acad Sci U S A*, 2015: 112: 9406-9411. (PMID: 26170313)
- § (13) Nakamura T, Tateishi K, Niwa T, Matsushita Y, Tamura K, Kinoshita M, Tanaka K, Fukushima S, Takami H, Arita H, Kubo A, Shuto T, Ohno M, Miyakita Y, Kocialkowski S, Sasayama T, Hashimoto N, Maehara T, Shibui S, Ushijima T, Kawahara N, Narita Y, Ichimura K: Recurrent mutations of CD79B and MYD88 are the hallmark of primary central nervous system lymphomas. *Neuropathol Appl Neurobiol*, 2015. (PMID: 26111727)
- § (14) Matsuo K, Uozumi Y, Miyamoto H, Tatsumi S, Kohmura E: Varicella-zoster vasculitis presenting with cerebellar hemorrhage. *J Stroke Cerebrovasc Dis*, 2015: 24: e153-e155. (PMID: 25840954)
- ※ ¶ (15) Kawakami F, Nambu J, Hirose T, Sasayama T, Itoh T: Central neurocytoma with ependymoma-like glial component. *Brain Tumor Pathol*, 2015: 32: 119-123. (PMID: 25348672)
- ※ ¶ (16) Tanaka K, Sasayama T, Irino Y, Takata K, Nagashima H, Satoh N, Kyotani K, Mizowaki T, Imahori T, Ejima Y, Masui K, Gini B, Yang H, Hosoda K, Sasaki R, Mischel PS, Kohmura E: Compensatory glutamine metabolism promotes glioblastoma resistance to mTOR-targeted therapies. *J Clin Invest*, 2015: 125: 1591-1602. (PMID: 25798620)
- ※ (17) Tanaka K, Sasayama T, Irino Y, Takata K, Nagashima H, Satoh N, Kyotani K, Mizowaki T, Imahori T, Ejima Y, Masui K, Gini B, Yang H, Hosoda K, Sasaki R, Mischel PS, Kohmura E: Compensatory glutamine metabolism promotes glioblastoma resistance to mTOR inhibitor treatment. *J Clin Invest*, 2015: 125: 1591-1602. (PMID: 25798620)

- ※(18) Bando H, Iguchi G, Fukuoka H, Taniguchi M, Kawano S, Saitoh M, Yoshida K, Matsumoto R, Suda K, Nishizawa H, Takahashi M, Morinobu A, Kohmura E, Ogawa W, Takahashi Y: A diagnostic pitfall in IgG4-related hypophysitis: infiltration of IgG4-positive cells in the pituitary of granulomatosis with polyangiitis. *Pituitary*, 2015. (PMID: 25822111)
- § (19) Kimura H, Okamura Y, Chiba Y, Shigeru M, Ishii T, Hori T, Shiomi R, Yamamoto Y, Fujimoto Y, Maeyama M, Kohmura E: Cilostazol administration with combination enteral and parenteral nutrition therapy remarkably improves outcome after subarachnoid hemorrhage. *Acta Neurochir Suppl*, 2015; 120: 147-152. (PMID: 25366615)
- ※(20) Nagashima H, Tanaka K, Sasayama T, Okamura Y, Taniguchi M, Otani K, Yamasaki T, Itoh T, Kohmura E: A large cavernous malformation of the third ventricle floor: A case report. *Neurol Neurochir Pol*, 2015; 49: 446-450. (PMID: 26652881)

総 説

- (1) Hosoda K: The Significance of Cerebral Hemodynamics Imaging in Carotid Endarterectomy: A Brief Review. *Neurol Med Chir (Tokyo)*, 2015; 55: 782-788. (PMID: 26369874)

邦 文

論 文

原 著

- (1) 木村英仁, 細田弘吉, 甲村英二: 自己血液から作製した灌流液による血管グラフトの術中灌流・保存, *Neurological Surgery*, 2015; 43 巻, 109-115 頁 (医中誌 ID: 2015154412)
- ¶ (2) 細田弘吉, 藤田敦史, 木村英仁, 甲田将章, 阿久津宣行, 甲村英二: 無症候性頸動脈狭窄症に対する手術治療の現状と課題, *脳卒中の外科*, 2015, 頁
- § (3) 細田弘吉, 藤田敦史, 木村英仁, 甲田将章, 阿久津宣行, 甲村英二: 【頸動脈狭窄症に関する諸問題】 無症候性頸動脈狭窄症に対する手術治療の現状と課題, *脳卒中の外科*, 2015; 43 巻, 175-180 頁 (医中誌 ID: 2015303560)
- (4) MinamiN, MizukawaK, IwahashiH, NagashimaH, TanakaK, SasayamaT, HosodaK, MukumotoN, SasakiR, KohmuraE.: [Two cases of cerebral infarction due to focal irradiation for glioma in adults], *No Shinkei Geka.*, 2015; 43 巻, 344-51 頁
- § (5) 中井友昭, 岩橋洋文, 森下暁二, 藤本昌代, 田代敬, 相原英夫: 頭蓋内多発病変と水頭症で発症し悪性転化の経過をたどった類表皮嚢胞の 1 例, *脳神経外科ジャーナル*, 2015; 24 巻, 632-640 頁 (医中誌 ID: 2016017294)

§ (6) 森下暁二, 中井友昭, 相原英夫: 器質化慢性硬膜下血腫に対して神経内視鏡下小開頭血腫除去術の1例, 神経外傷, 2015; 38 卷, 45-48 頁 (医中誌 ID: P924400008)

※ § (7) 南徳明, 水川克, 岩橋洋文, 長嶋宏明, 田中一寛, 篠山隆司, 細田弘吉, 椋本成俊, 佐々木良平, 甲村英二: 局所放射線治療後に頭蓋内主幹動脈狭窄による脳梗塞を呈した成人神経膠腫の2例, Neurological Surgery, 2015; 43 卷, 344-351 頁 (医中誌 ID: 2015236073)

総 説

¶ (1) 細田弘吉: 頸動脈内膜剥離術 (CEA) における脳循環動態画像の意義, The Mt. Fuji Workshop on CVD, 2015, 頁

眼科学 Division of Ophthalmology

英 文

書 籍

分担執筆

(1) Akiyasu Kanamori: Aquaporin in optic neuropathies. Toru Nakazawa, Yasushi Kitaoka, Takayuki Harada eds., Neuroprotection and nueroregeneration for retinal diseases, Springer, 2015: 161-173.

論 文

原 著

§ § (1) Imai H, Fujii A, Tani E, Azumi A: Wound Integrity of 2.0 mm Transconjunctival Single-Plane Sclerocorneal Incision: A Comparison between a Motorized Injector with/without Pause Time and a Manual Injector. J OPHTHALMOL, 2016: 2016: 8129298. (PMID: 26989502)

§ § (2) Imai H, Misra GP, Wu L, Janagam DR, Gardner TW, Lowe TL: Subconjunctivally Implanted Hydrogels for Sustained Insulin Release to Reduce Retinal Cell Apoptosis in Diabetic Rats. Invest Ophthalmol Vis Sci, 2015: 56: 7839-7846. (PMID: 26658505)

- § § (3) Imai H, Tagami M, Azumi A: Scleral buckling for primary rhegmatogenous retinal detachment using noncontact wide-angle viewing system with a cannula-based 25 G chandelier endoilluminator. *Clin Ophthalmol*, 2015; 9: 2103-2107. (PMID: 26635466)
- (4) Ueda K, Kanamori A, Akashi A, Matsumoto Y, Yamada Y, Nakamura M: Evaluation of the distribution pattern of the circumpapillary retinal nerve fibre layer from the nasal hemiretina. *Br J Ophthalmol*, 2015; 99: 1419-1423. (PMID: 25813832)
- (5) Akashi A, Kanamori A, Ueda K, Inoue Y, Yamada Y, Nakamura M: The Ability of SD-OCT to Differentiate Early Glaucoma With High Myopia From Highly Myopic Controls and Nonhighly Myopic Controls. *Invest Ophthalmol Vis Sci*, 2015; 56: 6573-6580. (PMID: 26567476)
- (6) Inoue Y, Kato K, Kamata S, Ishikawa K, Nakamura M: Reproducibility in the global indices for multifocal visual evoked potentials and Humphrey visual fields in controls and glaucomatous eyes within a 2-year period. *Doc Ophthalmol*, 2015; 131: 115-124. (PMID: 26078041)
- (7) Ueda K, Matsumiya W, Otsuka K, Maeda Y, Nagai T, Nakamura M: Effectiveness and relevant factors of 2% rebamipide ophthalmic suspension treatment in dry eye. *BMC OPHTHALMOL*, 2015; 15: 58. (PMID: 26048396)
- § (8) Miyake M, Yamashiro K, Tabara Y, Suda K, Morooka S, Nakanishi H, Khor CC, Chen P, Qiao F, Nakata I, Akagi-Kurashige Y, Gotoh N, Tsujikawa A, Meguro A, Kusuhara S, Polasek O, Hayward C, Wright AF, Campbell H, Richardson AJ, Schache M, Takeuchi M, Mackey DA, Hewitt AW, Cuellar G, Shi Y, Huang L, Yang Z, Leung KH, Kao PY, Yap MK, Yip SP, Moriyama M, Ohno-Matsui K, Mizuki N, MacGregor S, Vitart V, Aung T, Saw SM, Tai ES, Wong TY, Cheng CY, Baird PN, Yamada R, Matsuda F; Nagahama Study Group, Yoshimura N: Identification of myopia-associated WNT7B polymorphisms provides insights into the mechanism underlying the development of myopia. *Nat Commun*, 2015; 6: 6689. (PMID: 25823570)
- (9) Enomoto H, Miki A, Matsumiya W, Honda S: Evaluation of Oxygen Supplementation Status as a Risk Factor Associated with the Development of Severe Retinopathy of Prematurity. *Ophthalmologica*, 2015; 234: 135-138. (PMID: 26112392)
- (10) Matsumiya W, Honda S, Otsuka K, Miki A, Nagai T, Imai H, Kusuhara S, Nakamura M: Comparison of the Effectiveness and Prognostic Factors of Intravitreal Ranibizumab between Typical Neovascular Age-Related Macular Degeneration and Polypoidal Choroidal Vasculopathy over 24 Months of Follow-Up. *Ophthalmologica*, 2015; 234: 33-39. (PMID: 26112059)
- § § (11) Kanamoto T, Souchelnytskyi N, Kurimoto T, Ikeda Y, Sakaue H, Munemasa Y, Kiuchi Y: Proteomic study of retinal proteins associated with transcorneal electric stimulation in rats. *J OPTHALMOL*, 2015; 2015: 492050. (PMID: 25821588)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 中村誠: トラベクロトミーのコツと落とし穴. 杉山和久, 谷原秀信 編, 眼科臨床エキスパート. 緑内障治療のアップデート. , 医学書院, 2015: 346-353 頁
- (2) 中村誠: 隅角癒着乖離術. 杉山和久, 谷原秀信 編, 眼科臨床エキスパート. 緑内障治療のアップデート, 医学書院, 2015: 388-395 頁
- (3) 中村誠: 緑内障以外の乳頭陥凹—虚血性変化後. 杉山和久, 富田剛司 編, 視神経乳頭・視野でみる緑内障確定診断, メジカルビュー社, 2015: 88-89 頁
- (4) 中村誠: 緑内障以外の乳頭陥凹—視神経部分低形成. 杉山和久, 富田剛司 編, 視神経乳頭・視野でみる緑内障確定診断, メジカルビュー社, 2015: 90-91 頁
- (5) 中村誠: 緑内障以外の乳頭陥凹—その他の視神経症. 杉山和久, 富田剛司 編, 視神経乳頭・視野でみる緑内障確定診断, メジカルビュー社, 2015: 92-93 頁
- (6) 中村誠: 眼外傷. 福井次矢, 高木誠, 小室一成 編, 今日の治療指針, 医学書院, 2015: 1388-1389 頁
- (7) 中村誠: 特発性視神経炎. 金澤一郎, 永井良三 編, 今日の診断指針, 医学書院, 2015: 1687-1688 頁
- § (8) 山田裕子: 発達緑内障、小児続発緑内障. 杉山和久, 谷原秀信 編, 眼科臨床エキスパートシリーズ 緑内障治療のアップデート, 医学書院, 2015: 55-62 頁
- § (9) 山田裕子: 難治例の攻略法—小児緑内障. 杉山和久, 谷原秀信 編, 眼科臨床エキスパートシリーズ 緑内障治療のアップデート, 医学書院, 2015: 281-288 頁
- (10) 金森 章泰: 平面観察と立体観察の違い. 杉山和久, 谷原秀信 編, 視神経乳頭・視野でみる緑内障確定診断, メディカルビュー, 2015: 2-3 頁
- (11) 金森 章泰: トラベクロトミー 術中・術後のトラブルシューティングと術後管理. 杉山和久, 谷原秀信 編, 緑内障治療のアップデート, 医学書院, 2015: 354-361 頁

論文

原著

- § § (1) 藤井彩加, 今井尚徳, 別所紘奈, 大西健, 田上瑞記, 近藤仁美, 田口浩司, 安積淳: 広義滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト硝子体内投与の短期治療成績, あたらしい眼科, 2015; 32 巻, 439-443 頁 (医中誌 ID: 2015221146)
- § § (2) 藤井彩加, 今井尚徳, 村上文子, 谷恵美子, 安積淳: 2.2mm 経結膜強角膜一面切開白内障手術における AutoSertR 使用眼内レンズ挿入時の創口拡大量の検討, IOL & RS, 2015; 29 巻, 556-561 頁
- (3) 福永とも子, 松宮亘, 中村誠: 強度近視として経過観察されていた完全型先天停在性夜盲の 1 例, あたらしい眼科, 2015; 32 巻, 1355-1358 頁 (医中誌 ID: 2016020559)
- § (4) 金井友範, 西崎雅也, 山田裕子, 金森斎修, 田邊益美, 金森章泰, 中村誠: 視神経乳頭腫脹を契機として発見された肺腺癌の 1 例, 臨床眼科, 2015; 69 巻, 1395-1399 頁 (医中誌 ID: 2015377100)

総説

- (1) 楠原仙太郎, 中村誠: 【極める!副作用モニタリング】 症例でわかる 実臨床で注意すべき副作用とモニタリング 眼科疾患, 調剤と情報, 2015; 21 巻, 864-868 頁 (医中誌 ID: 2015290858)
- (2) 中村誠: 【視覚障害の早期発見と治療】 遭遇することの多い視神経疾患, 日本医師会雑誌, 2015; 144 巻, 1827-1830 頁 (医中誌 ID: PC16090016)
- (3) 松本佳子, 中村誠: 肥厚性硬膜炎と眼症状, 眼科, 2015; 57 巻, 937-942 頁 (医中誌 ID: 2015289679)
- § (4) 中村誠, 三村治, 若倉雅登, 稲谷大, 中澤徹, 白神史雄: Leber 遺伝性視神経症認定基準, 日本眼科学会雑誌, 2015; 119 巻, 339-346 頁 (医中誌 ID: 2015239986)
- (5) 中村誠: 視路疾患と光干渉断層計, 日本の眼科, 2015; 86 巻, 275-276 頁 (医中誌 ID: 2015206392)
- (6) 山田裕子: 【緑内障なんでも質問箱-エキスパートに聞いたら最新エビデンスをもとにズバリと答えてくれた!】 治療編 手術 濾過手術 羊膜を用いたトラベクレクトミーのメリット・デメリットについて教えてください, 臨床眼科, 2015; 69 巻, 307-311 頁 (医中誌 ID: 2016020879)

- (7) 山田裕子, 中村誠: 視野異常を診断する 4. 遺伝性視神経症, 眼科, 2015; 57 卷, 1653-1660 頁
- (8) 金森章泰: 【視野異常を診断する】 頭蓋内病変, 眼科, 2015; 57 卷, 1627-1633 頁 (医中誌 ID: 2016088723)
- (9) 金森章泰: 視神経症に対する OCT の有用性と限界, 眼科, 2015; 57 卷, 1543-1556 頁 (医中誌 ID: 2016074550)
- (10) 金森章泰: 【緑内障なんでも質問箱-エキスパートに聞いたら最新エビデンスをもとにズバリと答えてくれた!】 診断編 その他の画像解析 緑内障と間違いやすい乳頭にはどのようなものがありますか?, 臨床眼科, 2015; 69 卷, 173-178 頁 (医中誌 ID: 2016020851)
- (11) 金森章泰: 【NMO 最前線】 モデル動物による視神経脊髄炎の研究, 神経眼科, 2015; 32 卷, 142-147 頁 (医中誌 ID: 2015392169)
- (12) 本田茂: 【大規模臨床試験一挙紹介】 加齢黄斑変性(AMD)における《光線力学療法》, Retina Medicine, 2015; 4 卷, 125-129 頁 (医中誌 ID: 2016022449)

耳鼻咽喉科頭頸部外科学

Division of Otolaryngology-Head and Neck Surgery

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Nishida K, Morioka I, Nakamachi Y, Kobayashi Y, Imanishi T, Kawano S, Iwatani S, Koda T, Deguchi M, Tanimura K, Yamashita D, Nibu K, Funakoshi T, Ohashi M, Inoue N, Iijima K, Yamada H: Neurological outcomes in symptomatic congenital cytomegalovirus-infected infants after introduction of newborn urine screening and antiviral treatment. Brain Dev, 2016; 38: 209-216. (PMID: 26282917)

- ※(2) Funakoshi Y, Fujiwara Y, Kiyota N, Mukohara T, Shimada T, Toyoda M, Imamura Y, Chayahara N, Tomioka H, Umezu M, Otsuki N, Nibu K, Minami H: Validity of new methods to evaluate renal function in cancer patients treated with cisplatin. *Cancer Chemother Pharmacol*, 2016; 77: 281-288. (PMID: 26791871)
- ※(3) Suenaga Y, Kitajima K, Kanda T, Otsuki N, Nibu KI, Sasaki R, Itoh T, Sugimura K: [18F]-FDG PET/CT imaging for detection of nodal metastases in patients with squamous cell carcinoma of the pharynx and larynx: comparison with CT. *Jpn J Radiol*, 2015. (PMID: 26670594)
- (4) Shinomiya H, Otsuki N, Yamashita D, Nibu KI: Patterns of lymph node metastasis of parotid cancer. *Auris Nasus Larynx*, 2015. (PMID: 26656731)
- (5) Kitajima K, Suenaga Y, Minamikawa T, Komori T, Otsuki N, Nibu K, Sasaki R, Itoh T, Sugimura K: Clinical significance of SUVmax in (18)F-FDG PET/CT scan for detecting nodal metastases in patients with oral squamous cell carcinoma. *Springerplus*, 2015; 4: 718. (PMID: 26636006)
- § (6) Shinomiya H, Otsuki N, Takahara S, Yasui R, Sawada N, Komatsu H, Fujio H, Fujiwara H, Nibu K: Parathyroid adenoma causing spontaneous cervical hematoma: two case reports. *BMC Res Notes*, 2015; 8: 726. (PMID: 26610856)
- ※(7) Fujita T, Yamashita D, Irino Y, Kitamoto J, Fukuda Y, Inokuchi G, Hasegawa S, Otsuki N, Yoshida M, Nibu K: Metabolomic profiling in inner ear fluid by gas chromatography/mass spectrometry in guinea pig cochlea. *Neurosci Lett*, 2015; 606: 188-193. (PMID: 26343935)
- (8) Suenaga Y, Kitajima K, Ishihara T, Sasaki R, Otsuki N, Nibu KI, Minamikawa T, Kiyota N, Sugimura K: FDG-PET/contrast-enhanced CT as a post-treatment tool in head and neck squamous cell carcinoma: comparison with FDG-PET/non-contrast-enhanced CT and contrast-enhanced CT. *Eur Radiol*, 2015. (PMID: 26188656)
- ※ § (9) Seno S, Kitajima K, Inokuchi G, Nibu K, Itoh T, Ejima Y, Sasaki R, Sugimoto K, Sugimura K: FDG-PET findings of Ameloblastoma: a case report. *Springerplus*, 2015; 4: 250. (PMID: 26101729)
- § ¶(10) Yamashita D, Sun GW, Cui Y, Mita S, Otsuki N, Kanzaki S, Nibu K, Ogawa K, Matsunaga T: Neuroprotective effects of cutamesine, a ligand of the sigma-1 receptor chaperone, against noise-induced hearing loss. *J Neurosci Res*, 2015; 93: 788-795. (PMID: 25612541)
- ※(11) Shinomiya H, Hasegawa S, Yamashita D, Ejima Y, Kenji Y, Otsuki N, Kiyota N, Sakakibara S, Nomura T, Hashikawa K, Kohmura E, Sasaki R, Nibu KI: Concomitant chemoradiotherapy for advanced squamous cell carcinoma of the temporal bone. *Head Neck*, 2015. (PMID: 25995093)

邦 文

論 文

原 著

- ※(1) 窪田雄一, 藤尾久美, 井之口豪, 長谷川信吾, 山崎隆, 大月直樹, 丹生健一: 鼻腔内に萌出した逆生歯牙の2例, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2015; 87 巻, 237-241 頁 (医中誌 ID: 2015185414)
- (2) 丹生健一: 頭頸部がん, 日本癌治療学会誌, 2015; 50 巻, 335-336 頁 (医中誌 ID: 2015406888)
- (3) 四宮弘隆, 森本浩一, 齋藤幹, 大月直樹, 丹生健一: 非特異的喉頭肉芽腫症 38 例の検討, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2015; 87 巻, 915-919 頁 (医中誌 ID: 2015406547)
- §(4) 畑裕子, 堤内亮博, 山本沙織, 藤田岳, 一瀬和美, 立川麻也子, 宇野真莉子, 松本有, 小嶋康隆, 奥野妙子: 耳かきによる外傷性耳小骨離断の陳旧例2症例, *Otology Japan*, 2015; 25 巻, 260-268 頁 (医中誌 ID: 2015395283)

総 説

- (1) 井之口豪, 高原慎一, 藤尾久美, 丹生健一: 【これだけは知っておこう-鼻出血への対応法】《疾患》 遺伝性出血性毛細血管拡張症関連鼻出血, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2015; 87 巻, 996-1002 頁 (医中誌 ID: 2016071786)
- (2) 藤尾久美, 丹生健一: 【漢方薬を使いこなす】 疾患・症候への処方の実際 嗅覚障害, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2015; 87 巻, 1092-1093 頁 (医中誌 ID: 2016045005)
- (3) 丹生健一: 遺伝子診断の実際と問題点 頭頸部癌, 日本耳鼻咽喉科学会会報, 2015; 118 巻, 1272-1276 頁 (医中誌 ID: 2016042253)
- (4) 森本浩一, 丹生健一: 【見逃されやすい頸部リンパ節腫脹の原因疾患】 頸部リンパ節結核, 血液内科, 2015; 71 巻, 363-366 頁 (医中誌 ID: 2016007998)
- (5) 丹生健一: 【機能温存を考慮した頭頸部癌治療-口腔癌(舌癌)・咽頭癌・喉頭癌を中心に-】 *Evidence Based Medicine* 各ガイドラインにおける機能温存の考え方 頭頸部癌診療ガイドラインにおける臓器温存の考え方, 頭頸部癌 *Frontier*, 2015; 3 巻, 60-62 頁 (医中誌 ID: 2015324718)

- (6) 丹生健一, 岸本誠司, 藤井博文, 梅野博仁, 古平毅, 松浦一登, 朝蔭孝宏: ケースカンファレンス どう治療する?下咽頭癌/喉頭癌, 日本気管食道科学会会報, 2015; 66 巻, 137-142 頁 (医中誌 ID: 2015285870)
- (7) 丹生健一, 井之口豪, 四宮弘隆: 【頭蓋底外科の進歩-オープンサージェリーと内視鏡下手術】 頭蓋底外科の歴史 オープンサージェリーから内視鏡手術まで, JOHNS, 2015; 31 巻, 827-830 頁 (医中誌 ID: 2015274216)
- (8) 四宮弘隆, 丹生健一: 【こんなときの対応法がわかる 耳鼻咽喉科手術ガイド】 頸部の手術 副咽頭間隙腫瘍に対する手術, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2015; 87 巻, 264-267 頁 (医中誌 ID: 2015241695)
- (9) 大月直樹, 丹生健一: 【こんなときの対応法がわかる 耳鼻咽喉科手術ガイド】 喉頭・下咽頭の手術 下咽頭梨状陥凹瘻に対する手術, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2015; 87 巻, 206-209 頁 (医中誌 ID: 2015241683)
- (10) 丹生健一: 頭頸部癌診療ガイドライン, 頭頸部癌, 2015; 41 巻, 23-25 頁 (医中誌 ID: 2015238872)

腎泌尿器科学 Division of Urology

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Hara S, Ishimura T, Fujisawa M, Nishi S, Itoh T: Granular swollen epithelial cells in the kidney allograft: a clinicopathological study with special emphasis on possible marker for kidney allograft aging. *Nephrology (Carlton)*, 2016. (PMID: 26969019)
- (2) Enatsu N, Miyake H, Haraguchi T, Chiba K, Fujisawa M: Effects of dutasteride on serum free-testosterone and clinical significance of testosterone changes. *Andrologie*, 2016. (PMID: 26952737)
- (3) Fukuda T, Miyake H, Enatsu N, Matsushita K, Fujisawa M: Seminal level of clusterin in infertile men as a significant biomarker reflecting spermatogenesis. *Andrologie*, 2016. (PMID: 26939938)

- ※(4) Yamamoto K, Irooi T, Kanaya K, Shinomiya K, Komoto S, Hirata S, Harada K, Watanabe A, Suno M, Nishioka T, Kume M, Makimoto H, Nakagawa T, Hirano T, Miyake H, Fujisawa M, Hirai M: STAT3 polymorphism rs4796793 may be a predictive factor of tumor response to multiple tyrosine kinase inhibitors in metastatic renal cell carcinoma in Japanese population. *Med Oncol*, 2016; 33: 24. (PMID: 26833481)
- (5) Miyake H, Miyazaki A, Yao A, Hinata N, Fujisawa M: Significance of erection hardness score as a diagnostic tool to assess erectile function recovery in Japanese men after robot-assisted radical prostatectomy. *J Robot Surg*, 2016. (PMID: 26994775)
- (6) Sumii K, Miyake H, Enatsu N, Matsushita K, Fujisawa M: Prospective assessment of health-related quality of life in men with late-onset hypogonadism who received testosterone replacement therapy. *Andrologie*, 2016; 48: 198-202. (PMID: 25988884)
- ※(7) Yamamoto K, Shinomiya K, Irooi T, Hirata S, Harada K, Suno M, Nishioka T, Kume M, Makimoto H, Nakagawa T, Hirano T, Bito T, Nishigori C, Miyake H, Fujisawa M, Hirai M: Association of Single Nucleotide Polymorphisms in STAT3 with Hand-Foot Skin Reactions in Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma Treated with Multiple Tyrosine Kinase Inhibitors: A Retrospective Analysis in Japanese Patients. *Target Oncol*, 2016; 11: 93-99. (PMID: 26300443)
- § (8) Low SK, Fukunaga K, Takahashi A, Matsuda K, Hongo F, Nakanishi H, Kitamura H, Inoue T, Kato Y, Tomita Y, Fukasawa S, Tanaka T, Nishimura K, Uemura H, Hara I, Fujisawa M, Matsuyama H, Hashine K, Tatsugami K, Enokida H, Kubo M, Miki T, Mushiroda T: Association Study of a Functional Variant on ABCG2 Gene with Sunitinib-Induced Severe Adverse Drug Reaction. *PLoS One*, 2016; 11: e0148177. (PMID: 26914831)
- (9) Nishikawa M, Miyake H, Fujisawa M: Irinotecan and nedaplatin as salvage therapy for patients with advanced germ cell tumors following intensive treatment with cisplatin-based combination chemotherapies. *Int J Clin Oncol*, 2016; 21: 162-167. (PMID: 26123313)
- (10) Miyake H, Imai S, Harada K, Fujisawa M: Absence of Significant Correlation of Adverse Events Between First- and Second-Line Tyrosine Kinase Inhibitors in Patients With Metastatic Renal Cell Carcinoma. *Clin Genitourin Cancer*, 2016; 14: e19-e24. (PMID: 26382221)
- (11) Miyake H, Miyazaki A, Furukawa J, Hinata N, Fujisawa M: Prospective assessment of time-dependent changes in quality of life of Japanese patients with prostate cancer following robot-assisted radical prostatectomy. *J Robot Surg*, 2016. (PMID: 26885662)
- § (12) Hinata N, Miyake H, Murakami G, Abe S, Fujisawa M: Bladder Neck Muscle Degeneration in Patients with Prostatic Hyperplasia. *J Urol*, 2016; 195: 206-212. (PMID: 26259991)
- § (13) Mukai S, Shigemura K, Nomi M, Sengoku A, Yamamichi F, Fujisawa M, Arakawa S: Retrospective study for risk factors for febrile UTI in spinal cord injury patients with routine concomitant intermittent catheterization in outpatient settings. *Spinal Cord*, 2016; 54: 69-72. (PMID: 26458969)

- § (14) Ahmad N, Hussein AA, Cavuoto L, Sharif M, Allers JC, Hinata N, Ahmad B, Kozlowski JG, Hashmi Z, Bisantz A, Guru KA: Ambulatory Movements, Team Dynamics and Interactions during Robot-Assisted Surgery. *BJU Int*, 2016. (PMID: 26800347)
- (15) Nishikawa M, Miyake H, Bing L, Fujisawa M: UNC-51-like kinase 1 expression in radical nephrectomy specimens as a predicting factor of progression-free survival in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with mammalian target of rapamycin inhibitors. *Urol Oncol*, 2015; 33: 506. (PMID: 26299883)
- (16) Miyazaki A, Miyake H, Fujisawa M: Molecular mechanism mediating cytotoxic activity of axitinib in sunitinib-resistant human renal cell carcinoma cells. *Clin Transl Oncol*, 2015. (PMID: 26597115)
- (17) Shigemura K, Fujisawa M: Editorial Comment from Dr Shigemura and Dr Fujisawa to Predictive value of urinary interleukin-6 for symptomatic urinary tract infections in a nursing home population. *Int J Urol*, 2015. (PMID: 26584005)
- (18) Enatsu N, Miyake H, Chiba K, Fujisawa M: Identification of Spermatogenically Active Regions in Rat Testes by Using Narrow-band Imaging System. *Urology*, 2015; 86: 929-935. (PMID: 26362950)
- § (19) Hinata N, Suzuki R, Ishizawa A, Miyake H, Rodriguez-Vazquez JF, Murakami G, Fujisawa M: Fetal development of the mesonephric artery in humans with reference to replacement by the adrenal and renal arteries. *Ann Anat*, 2015; 202: 8-17. (PMID: 26335195)
- (20) Miyake H, Muramaki M, Imai S, Harada KI, Fujisawa M: Changes in Renal Function of Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma During Treatment with Molecular-Targeted Agents. *Target Oncol*, 2015. (PMID: 26507837)
- (21) Imai S, Miyake H, Fujisawa M: Acceleration of Proteinuria without Significant Impact on Renal Function and Its Protection by Angiotensin II Receptor Blocker in Rats Treated with Axitinib. *Target Oncol*, 2015. (PMID: 26423685)
- (22) Furukawa J, Miyake H, Hinata N, Muramaki M, Tanaka K, Fujisawa M: Renal Functional and Perioperative Outcomes of Selective Versus Complete Renal Arterial Clamping During Robot-Assisted Partial Nephrectomy: Early Single-Center Experience With 39 Cases. *Surg Innov*, 2015. (PMID: 26459499)
- (23) Miyake H, Miyazaki A, Imai S, Harada KI, Fujisawa M: Early Tumor Shrinkage Under Treatment with First-line Tyrosine Kinase Inhibitors as a Predictor of Overall Survival in Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma: a Retrospective Multi-Institutional Study in Japan. *Target Oncol*, 2015. (PMID: 26341668)

- § (24) Ishikawa K, Hamasuna R, Uehara S, Yasuda M, Yamamoto S, Hayami H, Takahashi S, Matsumoto T, Minamitani S, Kadota J, Iwata S, Kaku M, Watanabe A, Sunakawa K, Sato J, Hanaki H, Tsukamoto T, Kiyota H, Egawa S, Deguchi T, Matsumoto M, Tanaka K, Arakawa S, Fujisawa M, Kumon H, Kobayashi K, Matsubara A, Wakeda H, Amemoto Y, Onodera S, Goto H, Komeda H, Yamashita M, Takenaka T, Fujimoto Y, Tsugawa M, Takahashi Y, Maeda H, Onishi H, Ishitoya S, Nishimura K, Mitsumori K, Ito T, Togo Y, Nakamura I, Ito N, Kanamaru S, Hirose T, Muranaka T, Yamada D, Ishihara S, Oka H, Inatomi H, Matsui T, Kobuke M, Kunishima Y, Kimura T, Ichikawa T, Kagara I, Matsukawa M, Takahashi K, Mita K, Kato M, Okumura K, Kawanishi H, Hashimura T, Aoyama T, Shigeta M, Koda S, Taguchi K, Matsuda Y: Japanese nationwide surveillance in 2011 of antibacterial susceptibility patterns of clinical isolates from complicated urinary tract infection cases. *J Infect Chemother*, 2015; 21: 623-633. (PMID: 26166322)
- § (25) Naito S, Sakai H, Hashine K, Tomita Y, Shinohara N, Fujisawa M, Eto M, Ozono S, Akaza H: Phase I/II study of S-1 in combination with sorafenib for metastatic renal cell carcinoma. *Ann Oncol*, 2015; 26: 1871-1876. (PMID: 26117830)
- ※(26) Yamamichi F, Shigemura K, Behnsawy HM, Yamashita M, Shirakawa T, Fujisawa M: Beta-3 adrenergic receptors could be significant factors for overactive bladder-related symptoms. *Int J Clin Exp Pathol*, 2015; 8: 11863-11870. (PMID: 26617941)
- § (27) Omine Y, Hinata N, Yamamoto M, Kasahara M, Matsunaga S, Murakami G, Abe S: Regional differences in the density of Langerhans cells, CD8-positive T lymphocytes and CD68-positive macrophages: a preliminary study using elderly donated cadavers. *Anat Cell Biol*, 2015; 48: 177-187. (PMID: 26417477)
- (28) Hinata N, Miyake H, Miyazaki A, Nishikawa M, Tei H, Fujisawa M: Performance status as a significant prognostic predictor in patients with urothelial carcinoma of the bladder who underwent radical cystectomy. *Int J Urol*, 2015; 22: 742-746. (PMID: 25988857)
- (29) Yoshikawa M, Kitamura K, Ishimura T, Hara S, Fujisawa M, Nishi S: A suspected case of plasma cell-rich acute renal transplant rejection associated with de novo donor-specific antibody. *Nephrology (Carlton)*, 2015; 20: 66-69. (PMID: 26031590)
- (30) Kitamura K, Nakai K, Fujii H, Ishimura T, Fujisawa M, Nishi S: Pre-Transplant Erythropoiesis-Stimulating Agent Hypo-Responsiveness and Post-Transplant Anemia. *Transplant Proc*, 2015; 47: 1820-1824. (PMID: 26293057)
- (31) Tei H, Miyake H, Harada K, Fujisawa M: Detection of Significant Prostate Cancer According to Anatomical Areas of Sampling Cores Obtained with Transrectal Systematic 12-Core Biopsy. *Curr Urol*, 2015; 8: 91-95. (PMID: 26889124)
- § (32) Harada K, Miyake H, Ogawa T, Inoue TA, Fujisawa M: Oncological Outcomes in Japanese Men Undergoing Orchiectomy for Stage I Testicular Germ Cell Tumor. *Curr Urol*, 2015; 8: 84-90. (PMID: 26889123)

- (33) Tei H, Miyake H, Fujisawa M: Enhanced sensitivity to sorafenib by inhibition of Akt1 expression in human renal cell carcinoma ACHN cells both in vitro and in vivo. *Hum Cell*, 2015; 28: 114-121. (PMID: 25862630)
- (34) Fukuda T, Miyake H, Enatsu N, Matsushita K, Fujisawa M: Assessment of Time-dependent Changes in Semen Parameters in Infertile Men After Microsurgical Varicocelectomy. *Urology*, 2015; 86: 48-51. (PMID: 26142582)
- § (35) Shigemura K, Osawa K, Yamamichi F, Tanaka K, Tokimatsu I, Arakawa S, Fujisawa M: Optimal vancomycin doses for methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* infection in urological renal dysfunction patients. *Int Urol Nephrol*, 2015; 47: 887-891. (PMID: 25899764)
- (36) Momozono H, Miyake H, Miyazaki A, Fujisawa M: Significance of urethral fibrosis evaluated by preoperative magnetic resonance imaging as a predictor of continence status after robot-assisted radical prostatectomy. *Int J Med Robot*, 2015. (PMID: 26097204)
- (37) Liu B, Miyake H, Nishikawa M, Tei H, Fujisawa M: Expression Profile of Autophagy-related Markers in Localized Prostate Cancer: Correlation With Biochemical Recurrence After Radical Prostatectomy. *Urology*, 2015; 85: 1424-1430. (PMID: 25881865)
- (38) Miyake H, Fujisawa M: Editorial Comment to Venous tumor thrombus consistency is not predictive of survival in patients with renal cell carcinoma: A retrospective study of 147 patients. *Int J Urol*, 2015; 22: 540. (PMID: 25781492)
- ※ ¶ (39) Shigemura K, Osawa K, Miura M, Tanaka K, Arakawa S, Shirakawa T, Fujisawa M: Azithromycin Resistance and Its Mechanism in *Neisseria gonorrhoeae* Strains in Hyogo, Japan. *Antimicrob Agents Chemother*, 2015; 59: 2695-2699. (PMID: 25712352)
- (40) Nishikawa M, Miyake H, Fujisawa M: Enhanced Sensitivity to Sunitinib by Inhibition of Akt1 Expression in Human Castration-resistant Prostate Cancer PC3 Cells Both In Vitro and In Vivo. *Urology*, 2015; 85: 1215. (PMID: 25917740)
- (41) Miyazaki A, Miyake H, Harada KI, Inoue TA, Fujisawa M: Prognostic outcome in patients treated with tyrosine kinase inhibitors as first-line molecular-targeted therapy for metastatic renal cell carcinoma: Experience in real-world clinical practice in Japan. *Mol Clin Oncol*, 2015; 3: 601-606. (PMID: 26137274)
- (42) Miyazaki A, Miyake H, Harada K, Fujisawa M: No Significant Correlation of Clinical Outcomes Between First- and Second-line Tyrosine Kinase Inhibitors in Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma. *Anticancer Res*, 2015; 35: 3067-3073. (PMID: 25964597)
- § (43) Muraoka K, Hinata N, Morizane S, Honda M, Sejima T, Murakami G, Tewari AK, Takenaka A: Site-dependent and interindividual variations in Denonvilliers' fascia: a histological study using donated elderly male cadavers. *BMC UROL*, 2015; 15: 42. (PMID: 25962380)

- (44) Shigemura K, Osawa K, Kato A, Tokimatsu I, Arakawa S, Shirakawa T, Fujisawa M: Association of overexpression of efflux pump genes with antibiotic resistance in *Pseudomonas aeruginosa* strains clinically isolated from urinary tract infection patients. *J Antibiot (Tokyo)*, 2015. (PMID: 25850341)
- ※ § ¶ (45) Osawa K, Shigemura K, Shimizu R, Kato A, Kusuki M, Jikimoto T, Nakamura T, Yoshida H, Arakawa S, Fujisawa M, Shirakawa T: Molecular Characteristics of Extended-Spectrum β -Lactamase-Producing *Escherichia coli* in a University Teaching Hospital. *Microb Drug Resist*, 2015; 21: 130-139. (PMID: 25361040)
- ¶(46) Furukawa J, Miyake H, Kusuda Y, Fujisawa M: Hyponatremia as a powerful prognostic predictor for Japanese patients with clear cell renal cell carcinoma treated with a tyrosine kinase inhibitor. *Int J Clin Oncol*, 2015; 20: 351-357. (PMID: 24894624)
- ¶(47) Nakai K, Fujii H, Yoshikawa M, Kono K, Yonekura Y, Goto S, Ishimura T, Takeda M, Fujisawa M, Nishi S: Effect of cinacalcet cessation on hyperparathyroidism in kidney transplant patients after long-term dialysis therapy. *Clin Exp Nephrol*, 2015. (PMID: 25782729)
- § (48) Yamamichi F, Shigemura K, Arakawa S, Tanaka K, Fujisawa M: CD-163 correlated with symptoms (pain or discomfort) of prostatic inflammation. *Int J Clin Exp Pathol*, 2015; 8: 2408-2414. (PMID: 26045748)
- (49) Miyake H, Fujisawa M: Editorial comment to Salvage combined chemotherapy with paclitaxel, ifosfamide and nedaplatin for patients with advanced germ cell tumors. *Int J Urol*, 2015; 22: 293. (PMID: 25422037)
- ※ § ¶ (50) Sudarmo SM, Shigemura K, Athiyyah AF, Osawa K, Wardana OP, Darma A, Ranuh R, Raharjo D, Arakawa S, Fujisawa M, Shirakawa T: Genotyping and clinical factors in pediatric diarrhea caused by rotaviruses: one-year surveillance in Surabaya, Indonesia. *Gut Pathog*, 2015; 7: 3. (PMID: 25793014)
- ¶(51) Miyake H, Hinata N, Imai S, Furukawa J, Tanaka K, Fujisawa M: Partial nephrectomy for hilar tumors: comparison of conventional open and robot-assisted approaches. *Int J Clin Oncol*, 2015. (PMID: 25614490)
- (52) Enatsu N, Miyake H, Chiba K, Fujisawa M: Candesartan Mediated Amelioration of Cisplatin-Induced Testicular Damage Is Associated with Alterations in Expression Patterns of Nephlin and Podocin. *Biomed Res Int*, 2015; 2015: 273784. (PMID: 26539476)

総 説

- (1) Shigemura K, Fujisawa M: Hedgehog signaling and urological cancers. *Curr Drug Targets*, 2015; 16: 258-271. (PMID: 25429711)
- (2) Shigemura K, Fujisawa M: History and Epidemiology of Antibiotic Susceptibilities of *Neisseria gonorrhoeae*. *Curr Drug Targets*, 2015; 16: 272-280. (PMID: 25410409)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 田中一志, 藤澤正人: 前立腺感染予防にニューキノロン薬はまだ有効か?. 後藤百万, 小川修, 笥善行, 出口隆, 宮澤克人 編, EBM 泌尿器疾患の治療, 中外医学社, 2015: 582-587 頁

論 文

原 著

- ※(1) 石村武志, 横山直己, 小田晃廉, 小川悟史, 日向信之, 村蒔基次, 三宅秀明, 田中一志, 西慎一, 飯島一誠, 藤澤正人: 細菌性精巣上体炎に Epstein-Barr virus 感染を併発し、免疫抑制剤減量で自然軽快した腎移植症例, 日本小児腎不全学会雑誌, 2015; 35 巻, 220-223 頁 (医中誌 ID: 2016014348)
- (2) 田中一志, 藤澤正人: 【ロボット時代の泌尿器科手術(2)-新たな術式への挑戦】 腎癌に対するロボット支援腎部分切除術 手術成績, 臨床泌尿器科, 2015; 69 巻, 906-910 頁 (医中誌 ID: 2015404666)
- (3) 田中一志, 古川順也, 藤澤正人: 【腎部分切除術 technical update】 ロボット支援腎部分切除術 経腹膜到達法, 泌尿器外科, 2015; 28 巻, 1479-1484 頁 (医中誌 ID: 2015359404)

総 説

- (1) 日向信之, 藤澤正人: ロボット支援根治的前立腺全摘除術後の機能温存に関する問題点, Medical Photonics, 2015, 39-45 頁 (医中誌 ID: 2015112372)
- (2) 日向信之, 藤澤正人: 【鏡視下手術に役立つ骨盤外科解剖-他診療科とともに考える究極の解剖学-】 Neurovascular bundle の解剖とその意義 泌尿器科の立場から, 泌尿器外科, 2015; 28 巻, 1877-1884 頁 (医中誌 ID: 2016059732)
- (3) 田中一志: 【感染対策上手になるチェックリストつき! 泌尿器科の感染対策をきわめる】 カテーテルの感染管理, 泌尿器ケア, 2015; 20 巻, 960-963 頁 (医中誌 ID: 2015357938)

- (4) 田中一志, 藤澤正人: 【泌尿器科の手術看護パーフェクトマニュアル】 (第2章)実践編 術式別の術中看護マニュアル ロボット支援下前立腺摘除術, オペナーシング, 2015, 119-126 頁 (医中誌 ID: 2015256747)
- (5) 田中一志, 藤澤正人: ロボット手術リレー連載(第4回) 泌尿器・腎, 日本コンピュータ外科学会誌, 2015; 16 巻, 357-362 頁 (医中誌 ID: 2015249527)
- (6) 田中一志, 古川順也, 藤澤正人: 腎部分切除の現況と未来 ロボット腎部分切除術の現状と今後の可能性, 泌尿器外科, 2015; 28 巻, 669-671 頁 (医中誌 ID: 2015228387)

産科婦人科学 Division of Obstetrics and Gynecology

英 文

論 文

原 著

- (1) Shinozaki N, Ebina Y, Deguchi M, Tanimura K, Morizane M, Yamada H: Protein S deficiency complicated pregnancy in women with recurrent pregnancy loss. *Gynecol Endocrinol*, 2016. (PMID: 26941215)
- ※(2) Nishida K, Morioka I, Nakamachi Y, Kobayashi Y, Imanishi T, Kawano S, Iwatani S, Koda T, Deguchi M, Tanimura K, Yamashita D, Nibu K, Funakoshi T, Ohashi M, Inoue N, Iijima K, Yamada H: Neurological outcomes in symptomatic congenital cytomegalovirus-infected infants after introduction of newborn urine screening and antiviral treatment. *Brain Dev*, 2016; 38: 209-216. (PMID: 26282917)
- ※(3) Kato T, Mandai T, Iwatani S, Koda T, Nagasaka M, Fujita K, Kurokawa D, Yamana K, Nishida K, Taniguchi-Ikeda M, Tanimura K, Deguchi M, Yamada H, Iijima K, Morioka I: Extremely preterm infants small for gestational age are at risk for motor impairment at 3years corrected age. *Brain Dev*, 2016; 38: 188-195. (PMID: 26265090)
- ※(4) Ueno Y, Maeda T, Tanaka U, Tanimura K, Kitajima K, Suenaga Y, Takahashi S, Yamada H, Sugimura K: Evaluation of interobserver variability and diagnostic performance of developed MRI-based radiological scoring system for invasive placenta previa. *J Magn Reson Imaging*, 2016. (PMID: 26898236)

- ※(5) Shirakawa T, Miyahara Y, Tanimura K, Morita H, Kawakami F, Itoh T, Yamada H: Expression of Epithelial-Mesenchymal Transition-related Factors in Adherent Placenta. *Int J Gynecol Pathol*, 2015; 34: 584-589. (PMID: 26447356)
- § (6) Tanimura K, Nishikawa A, Tairaku S, Shinozaki N, Deguchi M, Morizane M, Ebina Y, Morioka I, Yamada H: The IgG avidity value for the prediction of *Toxoplasma gondii* infection in the amniotic fluid. *J Infect Chemother*, 2015; 21: 668-671. (PMID: 26141811)
- ※ ¶ (7) Ebina Y, Minematsu T, Morioka I, Deguchi M, Tairaku S, Tanimura K, Sonoyama A, Nagamata S, Morizane M, Yamada H: Rapid increase in the serum Cytomegalovirus IgG avidity index in women with a congenitally infected fetus. *J Clin Virol*, 2015; 66: 44-47. (PMID: 25866335)
- ※(8) Kitajima K, Suenaga Y, Ueno Y, Maeda T, Ebina Y, Yamada H, Okunaga T, Kubo K, Sofue K, Kanda T, Tamaki Y, Sugimura K: Preoperative risk stratification using metabolic parameters of 18F-FDG PET/CT in patients with endometrial cancer. *Eur J Nucl Med Mol Imaging*, 2015; 42: 1268-1275. (PMID: 25833351)
- ※ § ¶ (9) Ebina Y, Yaegashi N, Katabuchi H, Nagase S, Udagawa Y, Hachisuga T, Saito T, Mikami M, Aoki Y, Yoshikawa H: Japan Society of Gynecologic Oncology guidelines 2011 for the treatment of uterine cervical cancer. *Int J Clin Oncol*, 2015; 20: 240-248. (PMID: 25800808)
- ※(10) Ebina Y, Ieko M, Naito S, Kobashi G, Deguchi M, Minakami H, Atsumi T, Yamada H: Low levels of plasma protein S, protein C and coagulation factor XII during early pregnancy and adverse pregnancy outcome. *Thromb Haemost*, 2015; 114: 65-69. (PMID: 25879167)
- ※ § ¶ (11) Tanimura K, Jin H, Suenaga T, Morikami S, Arase N, Kishida K, Hirayasu K, Kohyama M, Ebina Y, Yasuda S, Horita T, Takasugi K, Ohmura K, Yamamoto K, Katayama I, Sasazuki T, Lanier LL, Atsumi T, Yamada H, Arase H: β 2-glycoprotein I / HLA class II complexes are novel autoantigens in antiphospholipid syndrome. *Blood*, 2015. (PMID: 25733579)
- ※ ¶ (12) Astuti Y, Nakabayashi K, Deguchi M, Ebina Y, Yamada H: Human Recombinant H2 Relaxin Induces AKT and GSK3 β Phosphorylation and HTR-8/SVneo Cell Proliferation. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E1-E8. (PMID: 25868609)
- ※ ¶ (13) Tanimura K, Yamasaki Y, Ebina Y, Deguchi M, Ueno Y, Kitajima K, Yamada H: Prediction of adherent placenta in pregnancy with placenta previa using ultrasonography and magnetic resonance imaging. *Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol*, 2015; 187C: 41-44. (PMID: 25748486)
- ¶(14) Yamada H, Deguchi M, Maesawa Y, Nakajima Y, Nishino Y, Tanimura K, Ebina Y: Medium-dose intravenous immunoglobulin therapy for women with six or more recurrent miscarriages. *J Reprod Immunol*, 2015; 109: 48-51. (PMID: 25747500)
- ※(15) Sugiura-Ogasawara M, Atsumi T, Yamada H, Kitaori T, Ozaki Y, Katano K, Murashima A: Real-world practice of obstetricians in respect of assays for antiphospholipid antibodies. *Mod Rheumatol*, 2015; 25: 883-887. (PMID: 25736360)

- §(16) Koh H, Tanimura K, Nakashima Y, Maruo M, Sakai K, Ueda Y, Yamada H: Changes in Gestational Weight Gain and Birth Weight in Women who Delivered at Hyogo Prefectural Kaibara Hospital in Tamba, Japan during 27 Years. Kobe J Med Sci, 2015; 61: E82-E88. (PMID: 27323787)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 蝦名康彦: 卵巣がん～プラチナ抵抗性再発～. 日本婦人科腫瘍学会編 編, 患者さんご家族のための子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん治療ガイドラインの解説 第2版, 金原出版 東京, 2015
- §(2) 森田 宏紀: 【胎盤のバイオマーカー】 hCG・hPL(解説/特集). 産科と婦人科, 2015: 980-985 頁
- (3) 平久進也, 蝦名康彦, 山田秀人: NIPT. 柴原浩章 編, 不妊・不育 診療指針, 中外医学社, 2015
- (4) 山田秀人: CMV 感染症. MFICU マニュアル 改訂3版, メディカ出版 大阪 (全国周産期医療 (MFICU) 連絡協議会 編), 2015: 570-574 頁
- (5) 谷村憲司, 山田秀人: HIV. 全国周産期医療 (MFICU)連絡協議会 編, MFICU マニュアル 改訂3版, メディカ出版 大阪, 2015: 575-579 頁
- (6) 谷村憲司, 山田秀人: 寄生虫-抗トキソプラズマ抗体-. 三橋知明 編, 臨床検査ガイド 2015 年改訂版～これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた～, 文光堂 東京, 2015: 945-948 頁
- (7) 蝦名康彦, 宮原義也, 山田秀人: 婦人科悪性腫瘍と PET. よくわかる検査と診断 産科と婦人科 82 巻増刊号, 診断と治療社, 2015: 262-266 頁
- (8) 森實真由美, 山田秀人: B型肝炎・C型肝炎. 吉川史隆, 倉智博久, 平松祐司 編, 産科婦人科疾患最新の治療 2016-2018, 南江堂, 2016: 176-177 頁
- (9) 出口雅士, 谷村憲司, 山田秀人: 抗リン脂質抗体症候群と妊娠・分娩. 鈴木重統, 金山尚裕 編, 止血・血栓ハンドブック, 西村書店, 2015: 332-339 頁
- (10) 谷村憲司, 山田秀人: 【病態生理・保健指導・分娩管理 事例で学ぶハイリスク妊娠3ステップ】 甲状腺疾患合併妊娠(解説/特集). 今中基晴 編, ペリネイタルケア, メディカ出版, 2015: 599-605 頁

- (11) 谷村憲司, 平久進也, 山田秀人: 【母子感染 Update】 トキソプラズマ(解説/特集). 山田秀人 編, 医学のあゆみ, 医歯薬出版株式会社, 2015: 1227-1231 頁
- ※(12) 谷村憲司, 森岡一朗, 山田秀人: 注目の Topics サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染の予防と胎児治療. 山田秀人 編, *Fetal & Neonatal Medicine*, メディカルレビュー社, 2015: 26-29 頁
- (13) 谷村憲司, 山田秀人: 産科感染症の管理と治療 STD. 吉川史隆, 倉智博久, 平松祐司 編, 産科婦人科疾患 最新の治療 2016-2018, 南江堂, 2016: 172-175 頁
- (14) 谷村憲司, 山田秀人: 寄生虫 抗トキソプラズマ抗体. 三橋知明 編, 臨床検査ガイド 2015 年改訂版 これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた, 文光堂, 2015: 945-948 頁
- ※ §(15) 谷村憲司, 山田秀人, 荒瀬尚: β 2-グリコプロテイン-I/HLA classII 複合体は抗リン脂質抗体症候群の標的抗原である. 臨床免疫・アレルギー科, 科学評論社, 2016: 112-118 頁
- (16) 谷村憲司, 山田秀人: 周産期感染症の管理と処置 HIV. 全国周産期医療 (MFICU) 連絡協議会 編, 改訂 3 版 MFICU マニュアル, メディカ出版, 2015: 575-579 頁

論 文

原 著

- (1) 山野由美香, 出口雅士, 谷村憲司, 山崎友維, 篠崎奈々絵, 前澤陽子, 蝦名康彦, 山田秀人: 中期流死産歴を有する抗リン脂質抗体症候群合併妊娠に対する治療効果, 日本産科婦人科学会雑誌, 2015; 67 巻, 933 頁 (医中誌 ID: 2015262999)
- ※(2) 野村晃子, 平久進也, 谷村憲司, 出口雅士, 山田秀人, 池田真理子, 戸田達史: 電撃性紫斑病(重症型先天性プロテイン C 欠損症)の出生前診断を行った 2 例, 兵庫県母性衛生学会雑誌, 2015, 39-42 頁(医中誌 ID: 2016122718)

総 説

- ※(1) 谷村憲司, 森岡一朗, 山田秀人: サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染の予防と胎児治療, *Fetal & Neonatal Medicine*, 2015; 7 巻, 26-29 頁
- ※(2) 蝦名康彦, 平久進也, 森岡一朗, 出口雅士, 山田秀人: パルボウイルス B19 母子感染 全国産科施設を対象とした実態調査, 小児科, 2015; 56 巻, 191-198 頁 (医中誌 ID: 2015143541)

- (3) 山田秀人: 【女性ヘルスケア集中講義!-次世代の女性医学の可能性を求めて-】 外来でよく出くわす感染症の診療ストラテジー サイトメガロウイルス母子感染, 産婦人科の実際, 2015; 64 巻, 288-294 頁 (医中誌 ID: 2016025306)
- (4) 山田秀人: 女性の各ライフステージでの感染症の実態と対策 サイトメガロウイルス母子感染の実態と対策, 日本女性医学学会雑誌, 2015; 22 巻, 225-230 頁 (医中誌 ID: 2015259080)
- (5) 谷村憲司, 平久進也, 山田秀人: 【母子感染 Update】 トキソプラズマ, 医学のあゆみ, 2015; 253 巻, 1227-1231 頁 (医中誌 ID: 2015260036)
- (6) 出口雅士, 山田秀人: 【母子感染 Update】 妊娠とサイトメガロウイルス CMV 母子感染対策の現状と問題点, 医学のあゆみ, 2015; 253 巻, 1215-1219 頁 (医中誌 ID: 2015260034)
- (7) 山田秀人: 【母子感染 Update】 日本における母子感染の現状と課題, 医学のあゆみ, 2015; 253 巻, 1201-1207 頁 (医中誌 ID: 2015260032)
- §(8) 出口雅士, 前澤陽子, 武田真光, 山田秀人: 【Stop the 流産】 難治性不育症に対する高用量免疫グロブリン療法, 産婦人科の実際, 2015; 64 巻, 797-803 頁 (医中誌 ID: 2015259820)
- (9) 蝦名康彦, 山田秀人: 【母子感染 Update】 わが国におけるパルボウイルス B19 母子感染の実態調査, 医学のあゆみ, 2015; 253 巻, 1245-1249 頁 (医中誌 ID: 2015260039)
- (10) 山田秀人: Current Focus 「サイトメガロウイルス(CMV)妊娠管理マニュアル」が完成, 助産雑誌, 2015; 69 巻, 574-580 頁 (医中誌 ID: 2015275569)
- (11) 森實真由美, 山田秀人: 【妊婦健診のすべて-週数別・大事なことを見逃さないためのチェックポイント】 妊娠週数ごとの健診の実際 妊娠 11 週まで 検査の実施法 感染症検査の評価, 臨床婦人科産科, 2015; 69 巻, 020-025 頁 (医中誌 ID: 2015175584)
- ※(12) 森岡一朗, 西田浩輔, 谷村憲司, 山田秀人: 注目の Topics サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染症の診断・治療と新生児尿スクリーニング, Fetal & Neonatal Medicine, 2015; 7 巻, 30-33 頁 (医中誌 ID: 2015159099)
- ※(13) 谷村憲司, 森岡一朗, 山田秀人: 注目の Topics サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染の予防と胎児治療, Fetal & Neonatal Medicine, 2015; 7 巻, 26-29 頁 (医中誌 ID: 2015159098)
- ※(14) 蝦名康彦, 平久進也, 森岡一朗, 出口雅士, 森實真由美, 山田秀人: 【伝染性紅斑を見直す】 母子感染の実態 全国産科施設を対象とした実態調査, 小児科, 2015; 56 巻, 1867-1873 頁 (医中誌 ID: 2016024971)

- (15) 出口雅士: 妊娠中のサイトメガロウイルス検査とその解釈, 産婦人科の進歩, 2015; 67 卷, 140-144 頁 (医中誌 ID: 2015212885)

形成外科学 Division of Plastic Surgery

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Akashi M, Shibuya Y, Takahashi S, Hashikawa K, Hasegawa T, Kakei Y, Negi N, Sekitani T, Komori T: Four-dimensional computed tomography evaluation of jaw movement following mandibular reconstruction: A pilot study. *J Craniomaxillofac Surg*, 2016. (PMID: 26971400)
- § (2) Okumura K, Hashikawa K, Sakakibara S, Onishi H, Terashi H: A Study of Internal Thoracic Arteriovenous Principal Perforators by Using Multi-detector Row Computed Tomography Angiography. *Eplasty*, 2016; 16: e11. (PMID: 26958104)
- ※ § (3) Fujii M, Terashi H, Yokono K: Surgical treatment strategy for diabetic forefoot osteomyelitis. *Wound Repair Regen*, 2016. (PMID: 26844669)
- ※ § (4) Uemura M, Maeshige N, Koga Y, Ishikawa-Aoyama M, Miyoshi M, Sugimoto M, Terashi H, Usami M: Monophasic Pulsed 200- μ A Current Promotes Galvanotaxis With Polarization of Actin Filament and Integrin $\alpha 2 \beta 1$ in Human Dermal Fibroblasts. *Eplasty*, 2016; 16: e6. (PMID: 26819649)
- ※ (5) Akashi M, Shibuya Y, Wanifuchi S, Kusumoto J, Sakakibara A, Kimoto A, Hasegawa T, Suzuki H, Hashikawa K, Komori T: CT Evaluation of Morphology of Transferred Fibula for Implant Placement in Reconstructed Mandible. *Implant Dent*, 2015; 24: 541-546. (PMID: 26057778)
- § (6) Makiguchi T, Yokoo S, Takayama Y, Miyazaki H, Terashi H: Double Free Flap Transfer using a Vascularized Free Fibular Flap and a Rectus Abdominalis Musculocutaneous Flap for an Extensive Oromandibular Defect: Prevention of Sinking or Drooping of the Flap With an Anterior Rectus Sheath. *J Craniofac Surg*, 2015; 26: e622-e624. (PMID: 26468846)

- ※(7) Akashi M, Hashikawa K, Kakei Y, Sakakibara A, Hasegawa T, Minamikawa T, Komori T: Sequential evaluation for bone union of transferred fibula flaps in reconstructed mandibles: panoramic X-ray versus computed tomography. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 44: 942-947. (PMID: 26026771)
- § (8) Yoshikawa Y, Maeshige N, Sugimoto M, Uemura M, Noguchi M, Terashi H: Positioning bedridden patients to reduce interface pressures over the sacrum and great trochanter. *J Wound Care*, 2015; 24: 319-325. (PMID: 26198554)
- (9) Sakakibara S, Tokiyoshi T, Hashikawa K, Terashi H: Necessity of Distinguishing Verrucous Carcinoma From Verrucous Skin Lesion Overlaying Residual Skin Staples in an Area of Sensory Loss: A Case Report. *Eplasty*, 2015; 15: e23. (PMID: 26171095)
- ※ ¶ (10) Sakakibara A, Minamikawa T, Hashikawa K, Sakakibara S, Hasegawa T, Akashi M, Furudo S, Komori T: Does Salivary Duct Repositioning Prevent Complications After Tumor Resection or Salivary Gland Surgery? *J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 73: 1003-1007. (PMID: 25795185)
- ¶(11) Ejiri H, Nomura T, Hasegawa M, Tatsumi C, Imai M, Sakakibara S, Terashi H: Use of synthetic serum-free medium for culture of human dermal fibroblasts to establish an experimental system similar to living dermis. *Cytotechnology*, 2015; 67: 507-514. (PMID: 24585098)
- ¶(12) Sakakibara S, Onishi H, Hashikawa K, Akashi M, Sakakibara A, Nomura T, Terashi H: Three-Dimensional Venous Visualization with Phase-Lag Computed Tomography Angiography for Reconstructive Microsurgery. *J Reconstr Microsurg*, 2015; 31: 305-312. (PMID: 25785653)
- ※(13) Shinomiya H, Hasegawa S, Yamashita D, Ejima Y, Kenji Y, Otsuki N, Kiyota N, Sakakibara S, Nomura T, Hashikawa K, Kohmura E, Sasaki R, Nibu KI: Concomitant chemoradiotherapy for advanced squamous cell carcinoma of the temporal bone. *Head Neck*, 2015. (PMID: 25995093)
- § (14) Makiguchi T, Yokoo S, Hashikawa K, Miyazaki H, Terashi H: Evaluation of bone height of the free fibula flap in mandible reconstruction. *J Craniofac Surg*, 2015; 26: 673-676. (PMID: 25915680)
- ※(15) Akashi M, Furudo S, Hashikawa K, Sakakibara A, Hasegawa T, Shigeta T, Minamikawa T, Komori T: Postoperative abnormal response of C-reactive protein as an indicator for infectious complications after oral oncologic surgery with primary reconstruction. *J Otolaryngol Head Neck Surg*, 2015; 44: 13. (PMID: 25888882)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 橋川和信: 顔面神経再建のエビデンスは?. 池田勝久, 武田憲昭, 香取幸夫, 原淵保明, 丹生健一 編, EBM 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療 2015-2016, 中外医学社, 2015: 639-643 頁
- (2) 橋川和信: 下顎再建 CQ21 下顎骨欠損に対してどの分類が有用か?. 日本形成外科学会, 日本創傷外科学会, 日本頭蓋顎顔面外科学会 編, 形成外科診療ガイドライン 6 頭頸部・顔面疾患, 金原出版, 2015: 36-37 頁

論 文

総 説

- (1) 橋川和信: 【All about 頭頸部再建-多彩な皮弁を使いこなす!】 頭頸部再建に用いられる皮弁 腓骨皮弁, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2015; 87 巻, 508-515 頁 (医中誌 ID: 2015243584)
- §(2) 岩山隆憲, 曾我部浩, 橋川和信: 目指せ!眼の形成外科エキスパート(第13回) 挙筋腱膜フラップを用いた切開式重瞼術 陥凹のない自然な重瞼を目指して, 臨床眼科, 2015; 69 巻, 1316-1321 頁 (医中誌 ID: 2015377085)
- (3) 寺師浩人, 野村正: 【皮膚外科のための皮膚軟部腫瘍診断の基礎】 臨床ならびに病理診断 皮膚外科のための腫瘍病理の見方, PEPARS, 2015, 23-33 頁 (医中誌 ID: 2015208404)
- (4) 野村正, 江尻浩隆: 毛細血管奇形(単純性血管腫)の標準的レーザー治療, PEPARS, 2016, 1-9 頁

英 文

論 文

原 著

- (1) Makino S, Egi M, Kita H, Miyatake Y, Kubota K, Mizobuchi S: Comparison of nafamostat mesilate and unfractionated heparin as anticoagulants during continuous renal replacement therapy. *Int J Artif Organs*, 2016. (PMID: 26868216)
- § (2) Egi M, Krinsley JS, Maurer P, Amin DN, Kanazawa T, Ghandi S, Morita K, Bailey M, Bellomo R: Pre-morbid glycemic control modifies the interaction between acute hypoglycemia and mortality. *Intensive Care Med*, 2016. (PMID: 26846519)
- § (3) Suehara T, Morishita J, Ueki M, Ueno M, Maekawa N, Mizobuchi S: Effects of sevoflurane exposure during late pregnancy on brain development of offspring mice. *Paediatr Anaesth*, 2016; 26: 52-59. (PMID: 26645425)
- (4) Okada T, Egi M, Sato H, Nomura Y, Okada M, Izuta S, Mizobuchi S: A case of delayed respiratory depression caused by accidental subcutaneous opioid infusion. *J Anesth*, 2016. (PMID: 26762999)
- § (5) Kawase H, Egi M, Kanazawa T, Shimizu K, Toda Y, Iwasaki T, Morita K: Storage duration of transfused red blood cells is not significantly associated with postoperative adverse events in pediatric cardiac surgery patients. *Transfus Apher Sci*, 2016. (PMID: 26856639)
- § (6) Hosokawa K, Nishimura M, Egi M, Vincent JL: Timing of tracheotomy in ICU patients: a systematic review of randomized controlled trials. *Crit Care*, 2015; 19: 424. (PMID: 26635016)
- § (7) Horibe M, Egi M, Sasaki M, Sanui M: Continuous Regional Arterial Infusion of Protease Inhibitors for Treatment of Severe Acute Pancreatitis: Systematic Review and Meta-Analysis. *Pancreas*, 2015; 44: 1017-1023. (PMID: 26355545)

邦 文

書 籍

分担執筆

- ※ § (1) 高雄由美子: 神経ブロック こんなときに神経ブロック、知っているのと役に立つ. 木澤義之編集 編, はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 126-127 頁

論 文

原 著

- (1) 江木盛時: 【術前合併症のコントロールにおける諸問題】 糖尿病, 麻酔, 2015; 64 巻, 928-933 頁 (医中誌 ID: 2016006483)
- § (2) 原嘉孝, 角由佳, 安田英人, 矢田部智昭, 江木盛時, 西田修: 【日本版重症敗血症診療ガイドライン 2016 作成にむけて】 ガイドライン作成の CQ 策定作業におけるアカデミックガイドライン推進班の役割, ICU と CCU, 2015; 39 巻, 449-456 頁 (医中誌 ID: 2015324858)
- (3) 西田修, 小倉裕司, 江木盛時, 日本版重症敗血症診療ガイドライン 206 作成特別委員会: 【日本版重症敗血症診療ガイドライン 2016 作成にむけて】 日本版重症敗血症診療ガイドライン 2016 の組織作りと目指すもの, ICU と CCU, 2015; 39 巻, 443-448 頁 (医中誌 ID: 2015324857)
- (4) 本山泰士, 佐藤仁昭, 高雄由美子, 溝渕知司: 超音波ガイド下胸部傍脊椎ブロック後に胸壁血腫をきたした症例, 日本ペインクリニック学会誌, 2015; 22 巻, 88-91 頁 (医中誌 ID: 2016004315)
- (5) 高岡悠子, 出田眞一郎, 三住拓誉, 黒田大介, 前川信博, 溝渕知司: 胸腔鏡下食道切除術時の術中体位が術後患者状態に与える影響に関する後ろ向き観察研究, 日本臨床麻酔学会誌, 2015; 35 巻, 701-706 頁 (医中誌 ID: 2016057743)

総 説

- (1) 佐藤仁昭, 高雄由美子: 【非がん性痛に対するオピオイド】 非がん性痛に対するオピオイドの効果 長期投与のエビデンスがないなか, どう使うのか, LiSA, 2015; 22 巻, 228-233 頁 (医中誌 ID: 2015131100)

- (2) 江木盛時: 【病態ごとの輸液管理-その常識は正しいか?-】 Hyperglycemic crisis の輸液管理 その常識は正しいか? ケトアシドーシスと非ケトン性昏睡, 救急・集中治療, 2015; 27 巻, 761-766 頁 (医中誌 ID: 2016020928)
- (3) 江木盛時: 【重症病態を診る!モニタリングの魅力-ER、ICU、OPE 室での症例から学ぶ-】 代謝異常 代謝異常 糖尿病(血糖コントロール、血糖のポイントオブケア), 救急・集中治療, 2015; 27 巻, 477-482 頁 (医中誌 ID: 2015304720)
- ※(4) 向山順子, 小幡典彦, 溝渕知司, 掛地吉弘: 【外科修練医必修 新外科専門医到達のための特別講義】 麻酔科学 硬膜外麻酔の原理, 外科, 2015; 77 巻, 1452-1455 頁 (医中誌 ID: 2016025841)
- (5) 出田眞一郎, 中馬理一郎: 【院内急変】 内科病棟入院中の肝硬変・肝癌患者が大量吐血 主治医が来るまでになすべきこと, LiSA, 2015; 22 巻, 622-626 頁 (医中誌 ID: 2015243485)
- (6) 野村有紀, 小幡典彦, 岡田卓也, 久保田健太, 藤本大地, 法華真衣, 本山泰士, 白川尚隆, 畑澤佐知, 大田有理, 喜多加枝, 小阪円, 辰巳仁美, 清水雅明, 山脇緑, 若林潤二, 浅越佑太郎, 西村太一, 柘植江里香, 高岡悠子, 瀧口侑子, 上野喬平, 篠崎裕美, 巻野将平, 長江正晴, 末原知美, 吉田卓矢, 北原淳一郎, 中川明美, 大井まゆ, 上嶋江利, 岡田雅子, 眞田かなえ, 三住拓誉, 佐藤仁昭, 江木盛時, 出田眞一郎, 高雄由美子, 溝渕知司: 麻酔科領域に関与する遺伝子多型, 臨床麻酔, 2015; 39 巻
- (7) 野村有紀: 遺伝子多型とは何か? (遺伝子多型の基礎を知る), Anet, 2016, 3-6 頁

口腔外科学 Division of Oral and Maxillofacial Surgery

英文

論文

原著

- § (1) Yanamoto S, Otsuru M, Ota Y, Okura M, Aikawa T, Kurita H, Kamata T, Kirita T, Yamakawa N, Ueda M, Yamashita T, Komori T, Shigeta T, Yokoo S, Ogawa M, Umeda M; Japan Oral Oncology Group: Multicenter Retrospective Study of Adjuvant Therapy for Patients with Pathologically Lymph Node-Positive Oral Squamous Cell Carcinoma: Analysis of Covariance Using Propensity Score. *Ann Surg Oncol*, 2015; 22: 992-999. (PMID: 26289809)
- (2) Kitajima K, Suenaga Y, Minamikawa T, Komori T, Otsuki N, Nibu K, Sasaki R, Itoh T, Sugimura K: Clinical significance of SUVmax in (18)F-FDG PET/CT scan for detecting nodal metastases in patients with oral squamous cell carcinoma. *Springerplus*, 2015; 4: 718. (PMID: 26636006)
- (3) Akashi M, Shibuya Y, Wanifuchi S, Kusumoto J, Sakakibara A, Kimoto A, Hasegawa T, Suzuki H, Hashikawa K, Komori T: CT Evaluation of Morphology of Transferred Fibula for Implant Placement in Reconstructed Mandible. *Implant Dent*, 2015; 24: 541-546. (PMID: 26057778)
- § (4) Matsui T, Shigeta T, Umeda M, Komori T: Vascular endothelial growth factor C (VEGF-C) expression predicts metastasis in tongue cancer. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*, 2015; 120: 436-442. (PMID: 26216169)
- (5) Hasegawa T, Saito I, Takeda D, Iwata E, Yonezawa N, Kakei Y, Sakakibara A, Akashi M, Minamikawa T, Komori T: Risk factors associated with postoperative delirium after surgery for oral cancer. *J Craniomaxillofac Surg*, 2015; 43: 1094-1098. (PMID: 26143685)
- ※(6) Sakakibara A, Furudo S, Sakakibara S, Kaji M, Shigeta T, Matsui T, Minamikawa T, Komori T: Tunnel Technique for the Closure of an Oroantral Fistula with a Pedicled Palatal Mucoperiosteal Flap. *J Maxillofac Oral Surg*, 2015; 14: 868-874. (PMID: 26225093)
- ※(7) Akashi M, Hashikawa K, Kakei Y, Sakakibara A, Hasegawa T, Minamikawa T, Komori T: Sequential evaluation for bone union of transferred fibula flaps in reconstructed mandibles: panoramic X-ray versus computed tomography. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 44: 942-947. (PMID: 26026771)

- (8) Arimoto S, Hasegawa T, Okamoto N, Shioyasono A, Tateishi C, Akashi M, Suzuki H, Furudo S, Komori T: Determining the location of the internal maxillary artery on ultrasonography and unenhanced magnetic resonance imaging before orthognathic surgery. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 44: 977-983. (PMID: 25986293)
- § (9) Ishida S, Shibuya Y, Kobayashi M, Komori T: Assessing stomatognathic performance after mandibulectomy according to the method of mandibular reconstruction. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 44: 948-955. (PMID: 25843536)
- (10) Huang W, Hasegawa T, Imai Y, Takeda D, Akashi M, Komori T: Low-intensity pulsed ultrasound enhances bone morphogenetic protein expression of human mandibular fracture haematoma-derived cells. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 44: 929-935. (PMID: 25835758)
- (11) Hasegawa T, Tanakura M, Takeda D, Sakakibara A, Akashi M, Minamikawa T, Komori T: Risk factors associated with distant metastasis in patients with oral squamous cell carcinoma. *Otolaryngol Head Neck Surg* (1979), 2015; 152: 1053-1060. (PMID: 25883102)
- (12) Sakakibara A, Suzuki H, Yamashita A, Hasegawa T, Minamikawa T, Furudo S, Komori T: Facial emphysema after sinus lift. *J Surg Case Rep*, 2015; 6: 1-4. (PMID: 26088054)
- ※(13) Sakakibara A, Minamikawa T, Hashikawa K, Sakakibara S, Hasegawa T, Akashi M, Furudo S, Komori T: Does Salivary Duct Repositioning Prevent Complications After Tumor Resection or Salivary Gland Surgery? *J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 73: 1003-1007. (PMID: 25795185)
- (14) Sakakibara S, Onishi H, Hashikawa K, Akashi M, Sakakibara A, Nomura T, Terashi H: Three-Dimensional Venous Visualization with Phase-Lag Computed Tomography Angiography for Reconstructive Microsurgery. *J Reconstr Microsurg*, 2015; 31: 305-312. (PMID: 25785653)
- ※(15) Akashi M, Furudo S, Hashikawa K, Sakakibara A, Hasegawa T, Shigeta T, Minamikawa T, Komori T: Postoperative abnormal response of C-reactive protein as an indicator for infectious complications after oral oncologic surgery with primary reconstruction. *J Otolaryngol Head Neck Surg*, 2015; 44: 13. (PMID: 25888882)
- (16) Imai Y, Hasegawa T, Takeda D, Akashi M, Komori T: The osteogenic activity of human mandibular fracture haematoma-derived progenitor cells is affected by bisphosphonate in vitro. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 44: 412-416. (PMID: 25468633)
- (17) Hasegawa T, Tateishi C, Asai M, Imai Y, Okamoto N, Shioyasono A, Kimoto A, Akashi M, Suzuki H, Furudo S, Komori T: Retrospective study of changes in the sensitivity of the oral mucosa: sagittal split ramus osteotomy (SSRO) versus intraoral vertical ramus osteotomy (IVRO). *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 44: 349-355. (PMID: 25468631)
- ※(18) Shigeoka M, Urakawa N, Nishio M, Takase N, Utsunomiya S, Akiyama H, Kakeji Y, Komori T, Koma YI, Yokozaki H: Cyr61 promotes CD204 expression and the migration of macrophages via MEK/ERK pathway in esophageal squamous cell carcinoma. *Cancer Med*, 2015; 4: 437-446. (PMID: 25620088)

- ※ ¶ (19) Tsuji K, Shibuya Y, Akashi M, Furudo S, Yakushijin K, Kawamoto S, Okamura A, Matsuoka H, Komori T: Prospective study of dental intervention for hematopoietic malignancy. *J Dent Res*, 2015; 94: 289-296. (PMID: 25503612)
- ※ (20) Akashi M, Hashikawa K, Sakakibara A, Komori T, Terashi H: Long-term follow-up study of radial forearm free flap reconstruction after hemiglossectomy. *J Craniofac Surg*, 2015; 26: 44-47. (PMID: 25569387)
- § (21) Matsumoto K, Suzuki H, Asai T, Wakabayashi R, Enomoto Y, Kitayama M, Shigeoka M, Kimoto A, Takeuchi J, Yutori H, Komori T : Clinical investigation of carbon dioxide laser treatment for lingual leukoplakia. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015; 44: 929-935.
- (22) Suzuki H, Takahashi D, Matsuo K, Kimoto A, Matsumoto K, Hasegawa T, Akashi M, Komori T : Clinical Study of 19 Cases Resulting in Dental Implant Removal. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: 102-108.
- (23) Shigeta T, Minamikawa T, Matsui T, Kakei Y, Akashi M, Hasegawa T, Sakakibara A, Shibuya Y, Komori T : Spindle cell carcinoma of the oral cavity: the impact of chemotherapy on pulmonary metastatic tumor doubling time. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: 64-70.
- (24) Goto I, Furudo S, Akashi M, Komori T : Measurement of the Total Number of Bacteria in Saliva Using Quantitative Real-Time PCR During Treatment for Head and Neck Malignancy: A Series of Cases. *Oral Health Dent Manag*, 2015: 142.

邦 文

書 籍

分担執筆

- § (1) 古森孝英: アスピリン喘息患者への投薬. 日本歯科薬物療法学会 編, 新版日本歯科用医薬品集, 永末書店, 2015: 332-333 頁

論 文

原 著

- (1) 楠元順哉, 古土井春吾, 榊原晶子, 畑みどり, 明石昌也, 古森孝英: 頭頸部領域における壊死性筋膜炎に対する LRINEC score の有用性の検討, 日本口腔外科学会雑誌, 2015; 61 巻, 505-512 頁 (医中誌 ID: 2016042160)

- (2) 岩田英治, 明石昌也, 後藤育子, 古土井春吾, 古森孝英: 薬剤関連性顎骨壊死(MRONJ)の1例, 日本口腔診断学会雑誌, 2015; 28 卷, 208-212 頁 (医中誌 ID: 2016041788)
- (3) 岩田英治, 古土井春吾, 楠元順哉, 明石昌也, 後藤育子, 古森孝英: 頸部郭清術後に中毒性巨大結腸症を併発した偽膜性腸炎を発症した1例, 日本口腔感染症学会雑誌, 2015; 22 卷, 12-16 頁 (医中誌 ID: 2015288986)
- § (4) 首藤敦史, 岸本裕充, 野口一馬, 大西正信, 石田佳毅, 小林正樹, 藤原成祥, 橘進彰, 安田真也, 末松基生, 北村龍二, 河合峰雄, 網野かよ子, 薬師寺登, 赤澤登, 柳澤高道, 谷垣信吾, 古土井春吾, 古森孝英, 足立了平: 兵庫県病院歯科における薬剤関連顎骨壊死の多施設共同調査報告, 日本口腔感染症学会雑誌, 2015; 22 卷, 5-11 頁 (医中誌 ID: 2015288985)
- (5) 米澤奈津季, 南川勉, 高橋佑輔, 榊原晶子, 長谷川巧実, 重田崇至, 渋谷恭之, 古森孝英: 口腔癌患者への緩和ケアチームの介入に関する臨床的検討, 日本口腔腫瘍学会誌, 2015; 27 卷, 13-20 頁 (医中誌 ID: 2015273656)
- § (6) 重田崇至, 南川勉, 明石昌也, 長谷川巧実, 榊原晶子, 松井太輝, 寛康正, 高橋佑輔, 渋谷恭之, 梅田正博, 古森孝英: 後方への進展なくルビエールリンパ節に転移を生じた口腔癌2例, 日本口腔腫瘍学会誌, 2015; 27 卷, 1-6 頁 (医中誌 ID: 2015173339)
- (7) 藤田剛史, 井堂信二郎, 大槻有美, 江崎友美, 長谷川巧実, 古森孝英: 急速に増大し巨舌を呈した多発性骨髄腫に伴うアミロイドーシスの1例, 日本口腔外科学会雑誌, 2015; 61 卷, 25-30 頁 (医中誌 ID: 2015167533)
- ※ § (8) 横尾聡, 橋川和信, 宮崎英隆, 牧口貴哉, 古森孝英: 下顎再建における血管柄付き遊離腓骨皮弁の限界一骨吸収、整容性、末梢動脈疾患の観点から一, 口腔腫瘍, 2015; 27 卷, 49-56 頁
- (9) 松本耕祐, 榎本由依, 小野真嵩, 小守紗也華, 北山美登里, 木本明, 鈴木泰明, 古森孝英: 口腔扁平苔癬に対する炭酸ガスレーザー蒸散療法の臨床評価に関する前向き研究, 日本レーザー歯学会誌, 2015; 26 卷, 124-129 頁 (医中誌 ID: 2016107918)
- (10) 榎本由依, 鈴木泰明, 重岡學, 北山美登里, 松本耕祐, 木本明, 竹内純一郎, 古森孝英: 口腔白板症の臨床診断と病理組織診断の一致性についての検討 安全な口腔白板症のレーザー治療の実現に向けて, 日本レーザー歯学会誌, 2015; 26 卷, 120-123 頁 (医中誌 ID: 2016107917)
- (11) 高橋美貴, 大高木淑恵, 藪口美樹, 古森孝英, 高橋路子, 宇佐美眞: 口腔癌治療後の摂食・嚥下カンファレンス介入効果, 言語聴覚研究, 2015; 12 卷, 272-280 頁 (医中誌 ID: 2016089604)

総 説

- (1) 古土井春吾, 溝渕知司, 山原敦子: 手術室改築期間中の手術件数維持を目指した手術室運用, 日本手術医学会誌, 2015; 36 巻, 271-273 頁 (医中誌 ID: P925460023)
- (2) 古土井春吾, 古森孝英: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 BP 製剤投与患者の抜歯, 歯科医療, 2015; 29 巻, 53-61 頁 (医中誌 ID: 2015138848)
- (3) 古森孝英, 明石昌也, 鈴木泰明, 榊原晶子, 木本明, 南川勉, 長谷川巧実, 古土井春吾: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 全身疾患を有する患者の抜歯の際に注意すべき基本的事項, 歯科医療, 2015; 29 巻, 4-10 頁 (医中誌 ID: 2015138841)
- (4) 古土井春吾: 手術室から学ぶ歯科医療現場の感染予防対策, 日本口腔感染症学会雑誌, 2015; 22 巻, 47-51 頁
- (5) 長谷川巧実, 古森孝英: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 抗凝固薬・抗血小板薬投与患者の抜歯, 歯科医療, 2015; 29 巻, 45-52 頁 (医中誌 ID: 2015138847)
- (6) 南川勉, 古森孝英: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 肝障害・腎障害を有する患者の抜歯, 歯科医療, 2015; 29 巻, 38-44 頁 (医中誌 ID: 2015138846)
- (7) 木本明, 古森孝英: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 喘息・アレルギー疾患を有する患者の抜歯, 歯科医療, 2015; 29 巻, 30-37 頁 (医中誌 ID: 2015138845)
- (8) 榊原晶子, 古森孝英: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 脳血管障害を有する患者の抜歯, 歯科医療, 2015; 29 巻, 25-29 頁 (医中誌 ID: 2015138844)
- (9) 鈴木泰明, 古森孝英: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 糖尿病を有する患者の抜歯, 歯科医療, 2015; 29 巻, 19-24 頁 (医中誌 ID: 2015138843)
- (10) 明石昌也, 古森孝英: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 循環器系疾患を有する患者の抜歯, 歯科医療, 2015; 29 巻, 11-18 頁 (医中誌 ID: 2015138842)

【寄附講座 Endowed Chair】

細胞生理学 分子代謝医学

Section of Molecular and Metabolic Medicine

英 文

論 文

原 著

- § (1) Kuwata H, Iwasaki M, Shimizu S, Minami K, Maeda H, Seino S, Nakada K, Nosaka C, Murotani K, Kurose T, Seino Y, Yabe D: Meal sequence and glucose excursion, gastric emptying and incretin secretion in type 2 diabetes: a randomised, controlled crossover, exploratory trial. *Diabetologia*, 2016; 59: 453-461. (PMID: 26704625)
- ※ § (2) Matsuda T, Takahashi H, Mieda Y, Shimizu S, Kawamoto T, Matsuura Y, Takai T, Suzuki E, Kanno A, Koyanagi-Kimura M, Asahara S, Bartolome A, Yokoi N, Inoue H, Ogawa W, Seino S, Kido Y: Regulation of Pancreatic β Cell Mass by Cross-Interaction between CCAAT Enhancer Binding Protein β Induced by Endoplasmic Reticulum Stress and AMP-Activated Protein Kinase Activity. *PLoS One*, 2015; 10: e0130757. (PMID: 26091000)
- ※(3) Nukaya D, Minami K, Hoshikawa R, Yokoi N, Seino S: Preferential gene expression and epigenetic memory of induced pluripotent stem cells derived from mouse pancreas. *Genes Cells*, 2015; 20: 367-381. (PMID: 25727848)
- (4) Tamura K, Minami K, Kudo M, Iemoto K, Takahashi H, Seino S: Liraglutide improves pancreatic Beta cell mass and function in alloxan-induced diabetic mice. *PLoS One*, 2015; 10: e0126003. (PMID: 25938469)
- ※ § (5) Takahashi H, Shibasaki T, Park JH, Hidaka S, Takahashi T, Ono A, Song DK, Seino S: Role of Epac2A/Rap1 Signaling in Interplay Between Incretin and Sulfonylurea in Insulin Secretion. *Diabetes*, 2015; 64: 1262-1272. (PMID: 25315008)
- ※ § (6) Yokoi N, Beppu M, Yoshida E, Hoshikawa R, Hidaka S, Matsubara T, Shinohara M, Irino Y, Hatano N, Seino S: Identification of putative biomarkers for prediabetes by metabolome analysis of rat models of type 2 diabetes. *Metabolomics*, 2015; 11: 1277-1286. (PMID: 26366137)

- § (7) Gheni G, Yokoi N, Beppu M, Yamaguchi T, Hidaka S, Kawabata A, Hoshino Y, Hoshino M, Seino S: Characterization of the Prediabetic State in a Novel Rat Model of Type 2 Diabetes, the ZFDM Rat. J DIABETES RES, 2015; 2015: 261418. (PMID: 25961052)

総 説

- (1) Sugawara K, Shibasaki T, Takahashi H, Seino S: Structure and functional roles of Epac2 (Rapef4). Gene, 2016; 575: 577-583. (PMID: 26390815)
- ※ § (2) Sasase T, Yokoi N, Pezzolesi MG, Shinohara M: Animal models of diabetes and metabolic disease 2014. J DIABETES RES, 2015; 2015: 571809. (PMID: 25973428)
- (3) Yokoi N: Elucidation of genetic factors in diabetes based on studies of animal models. Diabetol Int, 2015; 6: 255-260.

邦 文

論 文

総 説

- (1) 横井伯英, 清野進: バイオマーカー, 実験医学増刊号「先制医療へ向かう医学研究」, 2015, 頁
- (2) 横井伯英, 清野進: インクレチンの膝作用: ホルモン分泌と細胞量の調節, 最新医学, 2016; 71 巻, 17-22 頁
- (3) 横井伯英: 動物モデルをもとにした糖尿病遺伝素因の解明, 糖尿病, 2016; 59 巻, 16-17 頁
- (4) グブルジャン・ゲニ, 横井伯英, 清野進: グルタミン酸シグナリングによるインスリン分泌制御, 実験医学, 2015; 33 巻, 1641-1647 頁
- (5) 柴崎忠雄, 高橋晴美, 清野進: 【糖尿病と合併症(前篇) 糖尿病】 病態生理 インクレチンとスルホニル尿素薬の併用によるインスリン分泌増強における Epac2A シグナルの役割, 最新医学, 2015; 70 巻, 473-479 頁 (医中誌 ID: 2015174033)
- (6) 高橋晴美, 高橋利匡, 柴崎忠雄, 清野進: 糖尿病 基礎分野での進歩 cAMP とスルホニル尿素薬の相互作用による Epac2A の活性化とそのインスリン分泌における役割, Annual Review 糖尿病・代謝・内分泌, 2015; 2015 巻, 5-11 頁 (医中誌 ID: 2015199353)
- (7) 高橋晴美, 清野進: 糖尿病治療薬発見・開発の歴史(第 3 回) SU 薬 発見と開発の歴史, Diabetes Strategy, 2015; 5 巻, 132-138 頁 (医中誌 ID: 2015341318)

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Maruo T, Mandai K, Takai Y, Mori M: Activity-dependent alteration of the morphology of a hippocampal giant synapse. *Mol Cell Neurosci*, 2016: 71: 25-33. (PMID: 26687760)
- ※(2) Kitayama M, Mizutani K, Maruoka M, Mandai K, Sakakibara S, Ueda Y, Komori T, Shimono Y, Takai Y: A Novel Nectin-mediated Cell Adhesion Apparatus That Is Implicated in Prolactin Receptor Signaling for Mammary Gland Development. *J Biol Chem*, 2016: 291: 5817-5831. (PMID: 26757815)
- ※ § (3) Katsunuma S, Honda H, Shinoda T, Ishimoto Y, Miyata T, Kiyonari H, Abe T, Nibu K, Takai Y, Togashi H: Synergistic action of nectins and cadherins generates the mosaic cellular pattern of the olfactory epithelium. *J Cell Biol*, 2016: 212: 561-575. (PMID: 26929452)
- ※ § (4) Geng X, Mandai K, Maruo T, Wang S, Fujiwara T, Mizoguchi A, Takai Y, Mori M: Regulatory role of the cell adhesion molecule nectin-1 in GABAergic inhibitory synaptic transmission in the CA3 region of mouse hippocampus. *Genes Cells*, 2016: 21: 88-98. (PMID: 26663531)
- § (5) Panza P, Sitko AA, Maischein HM, Koch I, Flotenmeyer M, Wright GJ, Mandai K, Mason CA, Sollner C: The LRR receptor Islr2 is required for retinal axon routing at the vertebrate optic chiasm. *Neural Dev*, 2015: 10: 23. (PMID: 26492970)
- ※ § (6) Fujiwara T, Inoue T, Maruo T, Rikitake Y, Ieki N, Mandai K, Kimura K, Kayahara T, Wang S, Itoh Y, Sai K, Mori M, Mori K, Takai Y, Mizoguchi A: Nectin-1 spots regulate the branching of olfactory mitral cell dendrites. *Mol Cell Neurosci*, 2015: 68: 143-150. (PMID: 26169026)
- § (7) Yamamoto H, Mandai K, Konno D, Maruo T, Matsuzaki F, Takai Y: Impairment of radial glial scaffold-dependent neuronal migration and formation of double cortex by genetic ablation of afadin. *Brain Res*, 2015: 1620: 139-152. (PMID: 25988834)
- § § (8) Kiuchi T, Higuchi M, Takamura A, Maruoka M, Watanabe N: Multitarget super-resolution microscopy with high-density labeling by exchangeable probes. *Nat Methods*, 2015: 12: 743-746. (PMID: 26147917)

- § § (9) Hanafusa H, Kedashiro S, Tezuka M, Funatsu M, Usami S, Toyoshima F, Matsumoto K: PLK1-dependent activation of LRRK1 regulates spindle orientation by phosphorylating CDK5RAP2. *Nat Cell Biol*, 2015; 17: 1024-1035. (PMID: 26192437)
- ※ § (10) Inoue T, Fujiwara T, Rikitake Y, Maruo T, Mandai K, Kimura K, Kayahara T, Wang S, Itoh Y, Sai K, Mori M, Mori K, Mizoguchi A, Takai Y: Nectin-1 spots as a novel adhesion apparatus that tethers mitral cell lateral dendrites in a dendritic meshwork structure of the developing mouse olfactory bulb. *J Comp Neurol*, 2015; 523: 1824-1839. (PMID: 25967681)
- ※ § (11) Nobutani K, Shimono Y, Mizutani K, Ueda Y, Suzuki T, Kitayama M, Minami A, Momose K, Miyawaki K, Akashi K, Azuma T, Takai Y: Downregulation of CXCR4 in Metastasized Breast Cancer Cells and Implication in Their Dormancy. *PLoS One*, 2015; 10: e0130032. (PMID: 26083776)
- ※(12) Yamana S, Tokiyama A, Mizutani K, Hirata K, Takai Y, Rikitake Y: The Cell Adhesion Molecule Necl-4/CADM4 Serves as a Novel Regulator for Contact Inhibition of Cell Movement and Proliferation. *PLoS One*, 2015; 10: e0124259. (PMID: 25893857)

総 説

- ※ ¶ (1) Mandai K, Rikitake Y, Mori M, Takai Y: Nectins and nectin-like molecules in development and disease. *Curr Top Dev Biol*, 2015; 112: 197-231. (PMID: 25733141)

病理診断学 病理ネットワーク学 Section of Pathology Network

英 文

書 籍

分担執筆

- (1) 全陽: 胆管の炎症性疾患 : PSC, IgG4 関連硬化性胆管炎. 鬼島宏, 福嶋敬宜 eds., 腫瘍病理鑑別診断アトラス 胆道癌・膵癌, 文光堂, 2015: 100-105.

論 文

原 著

- ※ § (1) Kuramitsu K, Fukumoto T, Kobayashi T, Fukushima K, Okimoto S, Iwasaki T, Tominaga M, Zen Y, Ohdan H, Ku Y: The Incidence of Posthepatectomy Liver Failure Defined by the International Study Group of Liver Surgery among Living Donors. *J Gastrointest Surg*, 2016. (PMID: 26791388)
- ※ § (2) Fujikura K, Yamasaki T, Otani K, Kanzawa M, Fukumoto T, Ku Y, Hirose T, Itoh T, Zen Y: BSEP and MDR3: Useful Immunohistochemical Markers to Discriminate Hepatocellular Carcinomas From Intrahepatic Cholangiocarcinomas and Hepatoid Carcinomas. *Am J Surg Pathol*, 2016; 00: 1-7. (PMID: 26735860)
- ※(3) Avincsal MO, Otani K, Kanzawa M, Fujikura K, Jimbo N, Morinaga Y, Hirose T, Itoh T, Zen Y: Sclerosing mesenteritis: A real manifestation or histological mimic of IgG4-related disease. *Pathol Int*, 2016. (PMID: 26811214)
- ※(4) Nakagawa T, Arisaka Y, Ajiki T, Fujikura K, Masuda A, Takenaka M, Shiomi H, Okabe Y, Fukumoto T, Ku Y, Azuma T, Zen Y: Intraductal tubulopapillary neoplasm of the bile duct: A case report and review of the published work. *Hepatol Res*, 2015. (PMID: 26459784)
- § (5) Schlitter AM, Jang KT, Kloppel G, Saka B, Hong SM, Choi H, Offerhaus GJ, Hruban RH, Zen Y, Konukiewitz B, Regel I, Allgauer M, Balci S, Basturk O, Reid MD, Esposito I, Adsay V: Intraductal tubulopapillary neoplasms of the bile ducts: clinicopathologic, immunohistochemical, and molecular analysis of 20 cases. *Mod Pathol*, 2015; 28: 1249-1264. (PMID: 26111977)
- § (6) Zen Y, Britton D, Mitra V, Pike I, Heaton N, Quaglia A: A global proteomic study identifies distinct pathological features of IgG4-related and primary sclerosing cholangitis. *Histopathology*, 2015. (PMID: 26308372)
- ※(7) Kuramitsu K, Fukumoto T, Yano Y, Hirano H, Misumi T, Katayama Y, Kawano H, Yakushijin K, Zen Y, Itoh T, Ku Y: A case of intravascular lymphoma diagnosed in an explanted liver after liver transplantation. *Transpl Int*, 2015. (PMID: 26010984)
- § (8) Inoue D, Yoshida K, Yoneda N, Ozaki K, Matsubara T, Nagai K, Okumura K, Toshima F, Toyama J, Minami T, Matsui O, Gabata T, Zen Y: IgG4-related disease: dataset of 235 consecutive patients. *Medicine (Baltimore)*, 2015; 94: e680. (PMID: 25881845)
- § (9) Kato K, Takeshita Y, Misu H, Zen Y, Kaneko S, Takamura T: Liver steatosis is associated with insulin resistance in skeletal muscle rather than in the liver in Japanese patients with non-alcoholic fatty liver disease. *J Diabetes Investig*, 2015; 6: 158-163. (PMID: 25802723)

- § § (10) Di Giorgio A, Bravi M, Bonanomi E, Alessio G, Sonzogni A, Zen Y, Colledan M, D'Antiga L: Fulminant hepatic failure of autoimmune aetiology in children. *J Pediatr Gastroenterol Nutr*, 2015; 60: 159-164. (PMID: 25304891)
- § § (11) Yamada K, Mizukoshi E, Sunagozaka H, Arai K, Yamashita T, Takeshita Y, Misu H, Takamura T, Kitamura S, Zen Y, Nakanuma Y, Honda M, Kaneko S: Characteristics of hepatic fatty acid compositions in patients with nonalcoholic steatohepatitis. *Liver Int*, 2015; 35: 582-590. (PMID: 25219574)
- § § (12) Chiba T, Saito T, Yuki K, Zen Y, Koide S, Kanogawa N, Motoyama T, Ogasawara S, Suzuki E, Ooka Y, Tawada A, Otsuka M, Miyazaki M, Iwama A, Yokosuka O: Histone lysine methyltransferase SUV39H1 is a potent target for epigenetic therapy of hepatocellular carcinoma. *Int J Cancer*, 2015; 136: 289-298. (PMID: 24844570)

総 説

- § (1) Zen Y, Kawakami H, Kim JH: IgG4-related sclerosing cholangitis: all we need to know. *J Gastroenterol*, 2016; 51: 295-312. (PMID: 26817943)
- § (2) Hart PA, Zen Y, Chari ST: Recent Advances in Autoimmune Pancreatitis. *Gastroenterology*, 2015; 149: 39-51. (PMID: 25770706)

邦 文

書 籍

編 集

- (1) 岡崎和一, 川茂幸, 神澤輝実, 川上純, 川野充弘, 全陽, 高橋裕樹, 中島衡: 最新 IgG4 関連疾患. 岡崎和一, 川茂幸, 神澤輝実, 川上純, 川野充弘, 全陽, 高橋裕樹, 中島衡 編, 最新 IgG4 関連疾患, 診断と治療社, 2015

分担執筆

- (1) 全陽: 硬化性胆管炎. 中沼安二 編, 胆道病理テキスト, 2015: 111-119 頁

論文

原著

- §(1) 宮澤正樹, 鷹取元, 荒井邦明, 川口和紀, 北村和哉, 加賀谷尚史, 山下太郎, 酒井佳夫, 全陽, 金子周一: 出血性十二指腸潰瘍をともなった自己免疫性膵炎の1例, 日本消化器病学会雑誌, 2015; 112 巻, 699-706 頁 (医中誌 ID: 2015210149)

総説

- (1) 全陽: 【自己免疫性膵炎 20 年の軌跡】 AIP の病因・病態 膵外病変の病理所見, 肝・胆・膵, 2015; 70 巻, 227-235 頁 (医中誌 ID: 2015141940)
- §(2) 森永友紀子, 寺田卓郎, 松清大, 田尻琢磨, 伊藤智雄, 全陽: 【肝胆膵イメージング:画像が映す分子病理】 膵疾患 pT1/pTis 膵管癌の Radio-Pathology Correlation, 肝・胆・膵, 2015; 70 巻, 585-591 頁 (医中誌 ID: 2015188055)
- (3) 全陽: 【膵癌・胆道癌-基礎と臨床の最新研究動向-】 胆道癌 腺癌 胆嚢癌 臨床病理学的分類と特徴, 日本臨床, 2015; 73 巻, 548-552 頁 (医中誌 ID: 2015203255)
- (4) 全陽: 【膵癌・胆道癌-基礎と臨床の最新研究動向-】 胆道癌 腺癌 胆管癌 臨床病理学的分類と特徴, 日本臨床, 2015; 73 巻, 622-626 頁 (医中誌 ID: 2015203271)
- (5) 全陽: 【膵癌・胆道癌-基礎と臨床の最新研究動向-】 胆道癌 腺癌 乳頭部癌 臨床病理学的分類と特徴, 日本臨床, 2015; 73 巻, 703-706 頁 (医中誌 ID: 2015203288)
- (6) 全陽: 【膵癌・胆道癌-基礎と臨床の最新研究動向-】 胆道癌 IPNB、BillIN の病理・病態, 日本臨床, 2015; 73 巻, 809-813 頁 (医中誌 ID: 2015203311)
- (7) 全陽: 【microbiome(腸内細菌)と肝胆膵領域の新世紀】 なぜ今腸内細菌か? 腸内細菌を病理でどう評価するか, 肝・胆・膵, 2015; 70 巻, 835-839 頁 (医中誌 ID: 2015271624)
- (8) 全陽, 河上洋, 桑谷将城, 三橋智子, 坂本直哉: 【難治な胆道良性疾患の対処法を考える】 良性胆道疾患別の診断と治療(各論) 虚血性胆管炎, 肝・胆・膵, 2015; 71 巻, 481-487 頁 (医中誌 ID: 2015399588)
- §(9) 山下享子, 榎本篤, 大島英揮, 安藤太三, 平敷安希博, 近藤隆久, 全陽, 中村栄男, 豊國伸哉: CPC 解説(第 75 回) 肺動脈血栓内膜摘除術後に体外循環から離脱できずに死亡した慢性血栓塞栓性肺高血圧症の一例, 病理と臨床, 2015; 33 巻, 1135-1140 頁 (医中誌 ID: 2015404893)
- (10) 全陽: IgG4 関連肝疾患, 肝臓, 2015; 56 巻, 497-506 頁 (医中誌 ID: PB09070001)

- (11) 全陽: 【コランギオパチー】 遺伝性コランギオパチー 遺伝子異常が原因の Cholangiopathy, 肝・胆・膵, 2015; 71 巻, 869-875 頁 (医中誌 ID: PB12120011)

医学教育学 地域医療支援学

Section of Community Medicine and Career Development

英 文

論 文

原 著

- § (1) Kenzaka T, Kusano S: Right upper lobe pulmonary edema. QJM, 2016. (PMID: 26976950)
- § (2) Kadoya Y, Kenzaka T: Prostatic abscess in a patient with ST-elevation myocardial infarction: a case report. BMC Cardiovasc Disord, 2016; 16: 48. (PMID: 26893167)
- § (3) Kensuke Minami, Ayako Kumabe, Yuka Sagara, Tsuneaki Kenzaka: Pancreatic Exocrine Insufficiency with Systemic Edema after Pancreaticoduodenectomy: A Case Report. JOP, 2016; 17: 102-105.
- § (4) Nakamura R, Kenzaka T: Magnetic resonance imaging of cardiac amyloidosis. QJM, 2016; 109: 63. (PMID: 26319706)
- § (5) Kenzaka T, Yamazaki Y: Electrocardiographic findings in left-sided pneumothorax. QJM, 2016. (PMID: 26792852)
- § (6) Sekine H, Okazaki K, Ota N, Shima H, Katoh Y, Suzuki N, Igarashi K, Ito M, Motohashi H, Yamamoto M: The Mediator Subunit MED16 Transduces NRF2-Activating Signals into Antioxidant Gene Expression. Mol Cell Biol, 2015; 36: 407-420. (PMID: 26572828)
- § (7) Adachi Y, Hino T, Ohsawa M, Ueki K, Murao T, Li M, Cui Y, Okigaki M, Ito M, Ikehara S: A case of CD10-negative angioimmunoblastic T cell lymphoma with leukemic change and increased plasma cells mimicking plasma cell leukemia: A case report. Oncol Lett, 2015; 10: 1555-1560. (PMID: 26622708)
- (8) Kenzaka T: Hepatic computed tomography changes caused by amiodarone. Korean J Intern Med, 2015; 30: 745-746. (PMID: 26354074)

- § (9) Ueda Y, Kenzaka T, Noda A, Yamamoto Y, Matsumura M: Adult-onset Kawasaki disease (mucocutaneous lymph node syndrome) and concurrent Coxsackievirus A4 infection: a case report. *Int Med Case Rep J*, 2015; 8: 225-230. (PMID: 26491373)
- ※ § (10) Kenzaka T, Kato K, Kitao A, Kosami K, Minami K, Yahata S, Fukui M, Okayama M: Hyperammonemia in Urinary Tract Infections. *PLoS One*, 2015; 10: e0136220. (PMID: 26292215)
- (11) Kenzaka T: Influenza follicles in the posterior pharyngeal wall. *Postgrad Med J*, 2015; 91: 472. (PMID: 26243881)
- § (12) Norizuki M, Sasahara T, Gomi H, Morisawa Y, Takamura N, Kenzaka T, Kobayashi T, Fujiya Y, Kato Y, Matsuoka H: A Case of Fascioliasis Treated Successfully Without Sequelae in a Japanese Expatriate Living in Jakarta. *Clin Med Insights Case Rep*, 2015; 8: 61-63. (PMID: 26309420)
- § (13) Yamamoto Y, Kenzaka T, Kuroki S, Kajii E: Spontaneous arteriovenous fistula of left internal iliac artery aneurysm. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2015; 16: 817. (PMID: 25851328)
- (14) Kenzaka T: Purple urine bag syndrome in a patient with a urethral balloon catheter and a history of ileal conduit urinary diversion. *Korean J Intern Med*, 2015; 30: 420. (PMID: 25995677)
- § (15) Kumabe A, Kenzaka T, Nishimura Y, Aikawa M, Mori M, Matsumura M: A rare case of anasarca caused by infiltration of the pituitary gland by diffuse large B-cell lymphoma. *BMC ENDOCR DISORD*, 2015; 15: 10. (PMID: 25887623)
- ※ § (16) Inui Y, Matsuoka H, Yakushijin K, Okamura A, Shimada T, Yano S, Takeuchi M, Ito M, Murayama T, Yamamoto K, Itoh T, Aiba K, Minami H: Methotrexate-associated lymphoproliferative disorders: management by watchful waiting and observation of early lymphocyte recovery after methotrexate withdrawal. *Leuk Lymphoma*, 2015; 26: 1-30. (PMID: 25721751)
- § (17) Kenzaka T, Onishi T: Top of the basilar syndrome with disturbed consciousness. *Mayo Clin Proc*, 2015; 90: 162. (PMID: 25572205)
- ※ § (18) Kakiuchi S, Yakushijin K, Yamamoto K, Tomioka H, Inui Y, Okamura A, Kawamoto S, Minami Y, Murayama T, Ito M, Matsuoka H, Minami H: Rhabdomyolysis Caused by *Candida parapsilosis* in a Patient with Acute Myeloid Leukemia after Bone Marrow Transplantation. *Intern Med*, 2015; 54: 2057-2060. (PMID: 26278302)

邦 文

書 籍

分担執筆

- § (1) 見坂恒明: 抗インフルエンザ薬. 藤村昭夫 編, 症状と患者背景に合わせた頻用薬の使い分け, 羊土社, 2015: 254-266 頁
- § (2) 見坂恒明: 医療面接. 徳田安春 編, 新・総合診療医学 病院総合診療医学編 第2版, カイ書林, 2015: 48-51 頁

論 文

総 説

- § (1) 小佐見光樹, 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(最終回) 患者がいつも真実を語るとは限らない, *Medicina*, 2015; 52 巻, 2448-2451 頁 (医中誌 ID: 2016045046)
- § (2) 八幡晋輔, 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第15回) 診断が難しい時こそ徹底討論による分析的推論を用いる, *Medicina*, 2015; 52 巻, 2002-2005 頁 (医中誌 ID: 2016037609)
- § (3) 隈部綾子, 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第16回) 病歴から想定される疾患を念頭に置き, 注意深く身体診察する, *Medicina*, 2015; 52 巻, 2252-2254 頁 (医中誌 ID: 2016024352)
- § (4) 山崎海成, 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第14回) 患者が自ら語らない症候を引き出す, *Medicina*, 2015; 52 巻, 1838-1841 頁 (医中誌 ID: 2015342109)
- § (5) 松岡保史, 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第11回) 海外渡航歴は直近だけでなく遡って聞く, *Medicina*, 2015; 52 巻, 1222-1224 頁 (医中誌 ID: 2015318201)
- § (6) 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第13回) 診断確定で満足せず, 合併症も検索する, *Medicina*, 2015; 52 巻, 1599-1603 頁 (医中誌 ID: 2015306927)

- § (7) 松岡保史, 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第 12 回) 薬剤性の疾患は,薬剤開始直後に起きるとは限らない, *Medicina*, 2015; 52 巻, 1376-1378 頁 (医中誌 ID: 2015290317)
- § (8) 隈部綾子, 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第 10 回) 「患者の訴える部位」を丁寧に診察する, *Medicina*, 2015; 52 巻, 984-985 頁 (医中誌 ID: 2015226493)
- (9) 見坂恒明: 【感染症診療 それ,ホント?】 入院編 菌血症がきっかけで悪性腫瘍が見つかることがあるってホント?, *Medicina*, 2015; 52 巻, 908-909 頁 (医中誌 ID: 2015226476)
- (10) 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第 9 回) 皮膚所見の陰に隠れた基礎疾患を見逃さない, *Medicina*, 2015; 52 巻, 771-773 頁 (医中誌 ID: 2015145035)
- (11) 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第 8 回) 尿道カテーテルを留置中の患者では尿色の変化に注意, *Medicina*, 2015; 52 巻, 571-573 頁 (医中誌 ID: 2015144200)
- (12) 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第 7 回) red flag sign を見逃さない, *Medicina*, 2015; 52 巻, 396-398 頁 (医中誌 ID: 2015141658)
- § (13) 鈴木紘史, 見坂恒明: 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける(第 6 回) 必要な情報は積極的に問い合わせる, *Medicina*, 2015; 52 巻, 172-175 頁 (医中誌 ID: 2015060642)

地域連携病理学 Division of Pathology for Regional Communication

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Minami N, Tanaka K, Kimura H, Hirose T, Mori T, Maeyama M, Sekiya H, Uenaka T, Nakamizo S, Nagashima H, Mizukawa K, Itoh T, Sasayama T, Kohmura E: Radiographic occult cerebellar germinoma presenting with progressive ataxia and cranial nerve palsy. *BMC Neurol*, 2016; 16: 4. (PMID: 26759273)

- ※ § (2) Fujikura K, Yamasaki T, Otani K, Kanzawa M, Fukumoto T, Ku Y, Hirose T, Itoh T, Zen Y: BSEP and MDR3: Useful Immunohistochemical Markers to Discriminate Hepatocellular Carcinomas From Intrahepatic Cholangiocarcinomas and Hepatoid Carcinomas. *Am J Surg Pathol*, 2016; 00: 1-7. (PMID: 26735860)
- ※ § (3) Fujimoto T, Andoh T, Sudo T, Fujita I, Fukase N, Takeuchi T, Sonobe H, Inoue M, Hirose T, Sakuma T, Moritake H, Sugimoto T, Kawamoto T, Fukumori Y, Yamamoto S, Atagi S, Sakurai Y, Kurosaka M, Ono K, Ichikawa H, Suzuki M: Potential of boron neutron capture therapy (BNCT) for malignant peripheral nerve sheath tumors (MPNST). *Appl Radiat Isot*, 2015; 106: 220-225. (PMID: 26278348)
- ※(4) Tanaka K, Sasayama T, Mizukawa K, Takata K, Sulaiman NS, Nishihara M, Kohta M, Sasaki R, Hirose T, Itoh T, Kohmura E: Combined IDH1 mutation and MGMT methylation status on long-term survival of patients with cerebral low-grade glioma. *Clin Neurol Neurosurg*, 2015; 138: 37-44. (PMID: 26276726)
- ※(5) Kawakami F, Mikami Y, Sudo T, Fujiwara K, Hirose T, Itoh T: Cytologic features of gastric-type adenocarcinoma of the uterine cervix. *Diagn Cytopathol*, 2015; 43: 791-796. (PMID: 26173165)
- § (6) Ikota H, Nobusawa S, Arai H, Kato Y, Ishizawa K, Hirose T, Yokoo H: Evaluation of IDH1 status in diffusely infiltrating gliomas by immunohistochemistry using anti-mutant and wild type IDH1 antibodies. *Brain Tumor Pathol*, 2015; 32: 237-244. (PMID: 26006098)
- ※(7) Mizowaki T, Sasayama T, Tanaka K, Mizukawa K, Takata K, Nakamizo S, Tanaka H, Nagashima H, Nishihara M, Hirose T, Itoh T, Kohmura E: STAT3 activation is associated with cerebrospinal fluid interleukin-10 (IL-10) in primary central nervous system diffuse large B cell lymphoma. *J Neurooncol*, 2015; 124: 165-174. (PMID: 26080800)
- ※ ¶ (8) Kawakami F, Nambu J, Hirose T, Sasayama T, Itoh T: Central neurocytoma with ependymoma-like glial component. *Brain Tumor Pathol*, 2015; 32: 119-123. (PMID: 25348672)
- § (9) Yamamoto Y, Nishisaki H, Koma YI, Sawai H, Sakai A, Mimura T, Kushida S, Tsumura H, Sakamoto T, Tobimatsu K, Miki I, Sakuma T, Tsuda M, Mano M, Hirose T, Inokuchi H: A case of polypoid leiomyosarcoma of the esophagus treated by endoscopic submucosal dissection. *Dig Endosc*, 2015. (PMID: 25597630)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 廣瀬隆則: 頭頸部の軟部腫瘍. 森永正二郎, 高田隆, 長尾俊孝 編, 腫瘍病理鑑別診断アトラス 頭頸部腫瘍Ⅱ 上気道・咽頭・口腔腫瘍と歯源性腫瘍, 文光堂, 2015: 180-189 頁
- (2) 廣瀬隆則: Minute pulmonary meningothelial-like nodule. 清水道生 編, 徹底攻略 病理解剖カラー図譜, 金芳堂, 2015: 213 頁
- (3) 廣瀬隆則: 成人型線維肉腫. 大塚隆信, 福田国彦, 小田義直 編, 骨・軟部腫瘍 臨床・画像・病理 改訂第2版, 診断と治療社, 2015: 226-227 頁

論 文

総 説

- § (1) 杉山一彦, 廣瀬隆則: Epithelioid/rhabdoid glioblastoma, Clinical Neuroscience, 2015; 33 卷, 1098-1099 頁
- (2) 廣瀬隆則: Langerhans cell histiocytosis (LCH), Clinical Neuroscience, 2015; 33 卷, 368-369 頁

英 文

論 文

原 著

- (1) Fu XJ, Nozu K, Kaito H, Ninchoji T, Morisada N, Nakanishi K, Yoshikawa N, Ohtsubo H, Matsunoshita N, Kamiyoshi N, Matsumura C, Takagi N, Maekawa K, Taniguchi-Ikeda M, Iijima K: Somatic mosaicism and variant frequency detected by next-generation sequencing in X-linked Alport syndrome. *Eur J Hum Genet*, 2016; 24: 387-391. (PMID: 26014433)
- (2) Toyoshima D, Morisada N, Takami Y, Kidokoro H, Nishiyama M, Nakagawa T, Ninchoji T, Nozu K, Takeshima Y, Takada S, Nishio H, Iijima K: Rituximab treatment for relapsed opsoclonus-myoclonus syndrome. *Brain Dev*, 2016; 38: 346-349. (PMID: 26375512)
- ※ § (3) Yamamura T, Morisada N, Nozu K, Minamikawa S, Ishimori S, Toyoshima D, Ninchoji T, Yasui M, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Nakanishi K, Nishio H, Iijima K: Rare renal ciliopathies in non-consanguineous families that were identified by targeted resequencing. *Clin Exp Nephrol*, 2016. (PMID: 26968886)
- ※ § (4) Nishiyama M, Nagase H, Tanaka T, Fujita K, Kusumoto M, Kajihara S, Yamaguchi Y, Maruyama A, Takeda H, Uetani Y, Tomioka K, Toyoshima D, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Takada S, Iijima K: Short and long-term outcomes in children with suspected acute encephalopathy. *Brain Dev*, 2016. (PMID: 26952815)
- ※ (5) Nagasaka M, Kikuma T, Iwatani S, Kurokawa D, Yamana K, Maeyama K, Koda T, Matsumoto H, Taniguchi-Ikeda M, Iijima K, Nakamura H, Morioka I: Transcutaneous bilirubin monitoring predicts unexplained late-onset hemolysis in a very low birthweight infant. *BMC Res Notes*, 2016; 9: 153. (PMID: 26965169)
- ※ § (6) Nishida K, Morioka I, Nakamachi Y, Kobayashi Y, Imanishi T, Kawano S, Iwatani S, Koda T, Deguchi M, Tanimura K, Yamashita D, Nibu K, Funakoshi T, Ohashi M, Inoue N, Iijima K, Yamada H: Neurological outcomes in symptomatic congenital cytomegalovirus-infected infants after introduction of newborn urine screening and antiviral treatment. *Brain Dev*, 2016; 38: 209-216. (PMID: 26282917)

- (7) Matsunoshita N, Nozu K, Shono A, Nozu Y, Fu XJ, Morisada N, Kamiyoshi N, Ohtsubo H, Ninchoji T, Minamikawa S, Yamamura T, Nakanishi K, Yoshikawa N, Shima Y, Kaito H, Iijima K: Differential diagnosis of Bartter syndrome, Gitelman syndrome, and pseudo-Bartter/Gitelman syndrome based on clinical characteristics. *Genet Med*, 2016; 18: 180-188. (PMID: 25880437)
- ※ § (8) Kato T, Mandai T, Iwatani S, Koda T, Nagasaka M, Fujita K, Kurokawa D, Yamana K, Nishida K, Taniguchi-Ikeda M, Tanimura K, Deguchi M, Yamada H, Iijima K, Morioka I: Extremely preterm infants small for gestational age are at risk for motor impairment at 3years corrected age. *Brain Dev*, 2016; 38: 188-195. (PMID: 26265090)
- ※ § (9) Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Murakami Y, Nakamura S, Motooka D, Emoto T, Satake W, Nishiyama M, Toyoshima D, Morisada N, Takada S, Tairaku S, Okamoto N, Morioka I, Kurahashi H, Toda T, Kinoshita T, Iijima K: A novel PIGN mutation and prenatal diagnosis of inherited glycosylphosphatidylinositol deficiency. *Am J Med Genet A*, 2016; 170: 183-188. (PMID: 26419326)
- § (10) Kurokawa D, Nakamura H, Yokota T, Iwatani S, Morisawa T, Katayama Y, Sakai H, Ioroi T, Iijima K, Morioka I: Screening for Hyperbilirubinemia in Japanese Very Low Birthweight Infants Using Transcutaneous Bilirubinometry. *J Pediatr*, 2016; 168: 77-81. (PMID: 26410797)
- ※ § (11) Taniguchi-Ikeda M, Takeshima Y, Lee T, Nishiyama M, Awano H, Yagi M, Unzaki A, Nozu K, Nishio H, Matsuo M, Kurahashi H, Toda T, Morioka I, Iijima K: Next-generation sequencing discloses a nonsense mutation in the dystrophin gene from long preserved dried umbilical cord and low-level somatic mosaicism in the proband mother. *J Hum Genet*, 2016. (PMID: 26740235)
- ※ § (12) Fujita K, Nagasaka M, Iwatani S, Koda T, Kurokawa D, Yamana K, Nishida K, Taniguchi-Ikeda M, Uchino E, Shirai C, Iijima K, Morioka I: Prevalence of small for gestational age (SGA) infants and short children born SGA who qualify for growth hormone treatment at 3 years of age: A population-based study. *Pediatr Int*, 2015. (PMID: 26617415)
- (13) Hisamatsu C, Maeda K, Aida Y, Yasufuku M, Ninchoji T, Kaito H, Nozu K, Iijima K, Nishijima E: A novel technique of catheter placement with fibrin glue to prevent pericatheter leakage and to enable no break-in period in peritoneal dialysis. *J Pediatr Urol*, 2015; 11: 299-300. (PMID: 26320395)
- § (14) Kato T, Morisada N, Nagase H, Nishiyama M, Toyoshima D, Nakagawa T, Maruyama A, Fu XJ, Nozu K, Wada H, Takada S, Iijima K: Somatic mosaicism of a CDKL5 mutation identified by next-generation sequencing. *Brain Dev*, 2015; 37: 911-915. (PMID: 25819767)
- (15) Morioka I, Yamana K, Kurokawa D, Nishida K, Nagasaka M, Fujita K, Fukushima S, Tokuda O, Iwatani S, Koda T: How long is transient tachypnea of the newborn dependent on oxygen supplementation. *Pediatr Int*, 2015; 57: 1054-1055. (PMID: 26508199)

- (16) Kamiyoshi N, Nozu K, Urahama Y, Matsunoshita N, Yamamura T, Minamikawa S, Ninchoji T, Morisada N, Nakanishi K, Kaito H, Iijima K: Pathogenesis of hypokalemia in autosomal dominant hypocalcemia type 1. *Clin Exp Nephrol*, 2015. (PMID: 26323216)
- ※ § (17) Tanimura K, Nishikawa A, Tairaku S, Shinozaki N, Deguchi M, Morizane M, Ebina Y, Morioka I, Yamada H: The IgG avidity value for the prediction of *Toxoplasma gondii* infection in the amniotic fluid. *J Infect Chemother*, 2015; 21: 668-671. (PMID: 26141811)
- § (18) Morioka I, Nakamura H, Koda T, Yokota T, Okada H, Katayama Y, Kunikata T, Kondo M, Nakamura M, Hosono S, Yasuda S, Yokoyama N, Wada H, Itoh S, Funato M, Yamauchi Y, Lee YK, Yonetani M: Current incidence of clinical kernicterus in preterm infants in Japan. *Pediatr Int*, 2015; 57: 494-497. (PMID: 26113317)
- ※ § (19) Taniguchi R, Koyano S, Suzutani T, Goishi K, Ito Y, Morioka I, Nakamura H, Yamada H, Oka A, Inoue N: A Thr72Ala polymorphism in the NKG2D gene is associated with early symptomatic congenital cytomegalovirus disease. *Infection*, 2015; 43: 353-359. (PMID: 25861030)
- ※(20) Ebina Y, Minematsu T, Morioka I, Deguchi M, Tairaku S, Tanimura K, Sonoyama A, Nagamata S, Morizane M, Yamada H: Rapid increase in the serum Cytomegalovirus IgG avidity index in women with a congenitally infected fetus. *J Clin Virol*, 2015; 66: 44-47. (PMID: 25866335)
- ※ ¶ (21) Nishiyama M, Nagase H, Tanaka T, Fujita K, Maruyama A, Toyoshima D, Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Morisada N, Takada S, Iijima K: Demographics and outcomes of patients with pediatric febrile convulsive status epilepticus. *Pediatr Neurol*, 2015; 52: 499-503. (PMID: 25769239)
- § § (22) Iwatani S, Uemura K, Mizobuchi M, Yoshimoto S, Kawasaki K, Kosaka Y, Hori M, Yasumi T, Nakao H: Familial Hemophagocytic Lymphohistiocytosis Presenting as Hydrops Fetalis. *AJP Rep*, 2015; 5: e22-e24. (PMID: 26199792)
- § (23) Nishiyama M, Tanaka T, Fujita K, Maruyama A, Nagase H: Targeted temperature management of acute encephalopathy without AST elevation. *Brain Dev*, 2015; 37: 328-333. (PMID: 24962726)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 森岡一朗: 新生児敗血症・髄膜炎. 福井次矢, 高木誠, 小室一成 編, 今日の治療指針 2015年版?私はこう治療している, 医学書院, 2015: 1267-1268 頁

- (2) 森岡一朗: 新生児のウイルス感染. 水口雅, 市橋光, 崎山弘 編, 今日の小児治療指針第 16 版, 医学書院, 2015: 168-169 頁
- (3) 森岡一朗: 先天性トキソプラズマ症. 水口雅, 市橋光, 崎山弘 編, 今日の小児治療指針第 16 版, 医学書院, 2015: 385-386 頁

論 文

原 著

- § § (1) 藤岡一路, 溝渕雅巳, 和田佳子, 岩谷壮太, 坂井仁美, 芳本誠司, 中尾秀人: 経管栄養間隔の変更が極低出生体重児の経腸栄養確立に及ぼす影響の検討, 日本未熟児新生児学会雑誌, 2015; 27 巻, 114-119 頁 (医中誌 ID: 2015217590)
- § (2) 久保川育子, 森岡一朗, 忍頂寺毅史, 池田真理子, 森貞直哉, 石橋和人, 梶山瑞隆, 石田明人, 竹島泰弘, 飯島一誠: 小児初期救急施設を受診した生後 3 ヶ月未満の発熱児の臨床疫学的検討, 日本小児救急医学会雑誌, 2015; 14 巻, 30-36 頁 (医中誌 ID: 2015205824)
- (3) 忍頂寺毅史, 南川将吾, 神吉直宙, 松野下夏樹, 大坪裕美, 貝藤裕史, 野津寛大, 飯島一誠: 初診時高血圧を呈さず特発性ネフローゼ症候群との鑑別を要した腎血管性高血圧の 1 例, 日本小児高血圧研究会誌, 2015; 12 巻, 31-35 頁 (医中誌 ID: 2015260088)

総 説

- ※(1) 蝦名康彦, 平久進也, 森岡一朗, 出口雅士, 山田秀人: パルボウイルス B19 母子感染全国産科施設を対象とした実態調査, 小児科, 2015; 56 巻, 191-198 頁 (医中誌 ID: 2015143541)
- (2) 岩谷壮太, 森岡一朗: 【正期産児の機能を知って早産児をもっと理解する!比べて"ガッテン"新生児の観察ポイント】 正期産児の機能を知って早産児の観察ポイントを押さえよう! 早産児の免疫機能の観察ポイント, Neonatal Care, 2015; 28 巻, 1065-1069 頁 (医中誌 ID: 2016024028)
- (3) 森岡一朗, 岩谷壮太: 【新生児医療-再評価されている話題・新しい話題】 早産児の臨床的核黄疸 黄疸管理の見直し, 小児科, 2015; 56 巻, 1611-1615 頁 (医中誌 ID: 2015359168)
- ※(4) 森岡一朗, 西田浩輔, 谷村憲司, 山田秀人: 注目の Topics サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染症の診断・治療と新生児尿スクリーニング, Fetal & Neonatal Medicine, 2015; 7 巻, 30-33 頁 (医中誌 ID: 2015159099)

- ※(5) 谷村憲司, 森岡一朗, 山田秀人: 注目の Topics サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染の予防と胎児治療, *Fetal & Neonatal Medicine*, 2015; 7 巻, 26-29 頁 (医中誌 ID: 2015159098)
- ※(6) 蝦名康彦, 平久進也, 森岡一朗, 出口雅士, 森實真由美, 山田秀人: 【伝染性紅斑を見直す】 母子感染の実態 全国産科施設を対象とした実態調査, *小児科*, 2015; 56 巻, 1867-1873 頁 (医中誌 ID: 2016024971)
- (7) 岩谷壮太, 森岡一朗: 【小児感染症 2015-小児感染症のマネージメント-】 小児感染症のマネージメント 先天性サイトメガロウイルス感染症, *小児科臨床*, 2015; 68 巻, 2542-2546 頁 (医中誌 ID: 2016073393)
- (8) 黒川大輔, 森岡一朗: 【新生児の疾患とその徴候-見逃してはいけない異常徴候】 注意すべき徴候, 疾患と, その対応 黄疸の強い新生児, *助産雑誌*, 2016; 70 巻, 102-107 頁 (医中誌 ID: Q215080006)
- (9) 岩谷壮太, 森岡一朗: 【小児疾患診療のための病態生理 2 改訂第 5 版】 新生児疾患 母子感染症 先天性サイトメガロウイルス感染症を中心に, *小児内科*, 2015; 47 巻, 177-181 頁 (医中誌 ID: 2016087378)
- (10) 森岡一朗: 【その特殊性、どう捉えて行う?NICU 感染制御の大原則】 NICU の MRSA 対応 NICU における MRSA 感染対策 近年の MRSA 動向を踏まえて, 感染対策 ICT ジャーナル, 2015; 10 巻, 146-149 頁 (医中誌 ID: 2015210902)
- (11) 森岡一朗: 【我々はこうしている-ガイドラインには対応が示されていない症例にどう対応するか?】 新生児編 出生体重 1,200g で出生した日齢 28 で総ビリルビン値 20mg/dL の治療をどうするか?, *周産期医学*, 2015; 45 巻, 371-374 頁 (医中誌 ID: 2015188602)
- (12) 森岡一朗: 【新生児医療の最前線】 ピンポイント小児医療 新しい疾患概念と管理の見直し 臨床的核黄疸の予防-早産児の黄疸管理の再評価, *小児内科*, 2015; 47 巻, 379-382 頁 (医中誌 ID: 2015173286)
- ※ §(13) 27. 藤井知行, 金山尚裕, 川名敬, 齋藤滋, 鮫島浩, 増崎英明, 山田秀人, 岡明, 古谷野伸, 森内浩幸, 森岡一朗, 吉川哲史, 井上直樹, 木村宏, 錫谷達夫, 峰松俊夫, 小林廉毅, 川名尚, 小島俊行, 鮫島浩二, 谷村憲司, 出口雅士, 永松健, 山口暁: サイトメガロウイルス妊娠管理マニュアル, *日本産科婦人科学会雑誌*, 2015; 66 巻, 1-15 頁

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Kato T, Mandai T, Iwatani S, Koda T, Nagasaka M, Fujita K, Kurokawa D, Yamana K, Nishida K, Taniguchi-Ikeda M, Tanimura K, Deguchi M, Yamada H, Iijima K, Morioka I: Extremely preterm infants small for gestational age are at risk for motor impairment at 3years corrected age. *Brain Dev*, 2016: 38: 188-195. (PMID: 26265090)
- ※ § (2) Yamamoto N, Kozaki A, Hartomo TB, Yanai T, Hasegawa D, Kawasaki K, Kosaka Y, Matsuo M, Hirase S, Mori T, Hayakawa A, Iijima K, Nishio H, Nishimura N: Differential expression of minimal residual disease markers in peripheral blood and bone marrow samples from high-risk neuroblastoma patients. *Oncol Lett*, 2015: 10: 3228-3232. (PMID: 26722317)
- ※ § (3) Hirase S, Hasegawa D, Takahashi H, Moriwaki K, Saito A, Kozaki A, Ishida T, Yanai T, Kawasaki K, Yamamoto N, Kubokawa I, Mori T, Hayakawa A, Nishimura N, Nishio H, Iijima K, Kosaka Y: Absolute lymphocyte count at the end of induction therapy is a prognostic factor in childhood acute lymphoblastic leukemia. *Int J Hematol*, 2015: 102: 594-601. (PMID: 26440971)
- (4) Fujita K, Nagasaka M, Iwatani S, Koda T, Kurokawa D, Yamana K, Nishida K, Taniguchi-Ikeda M, Uchino E, Shirai C, Iijima K, Morioka I: Prevalence of small for gestational age (SGA) infants and short children born SGA who qualify for growth hormone treatment at 3 years of age: A population-based study. *Pediatr Int*, 2015. (PMID: 26617415)
- § (5) Harahap NI, Takeuchi A, Yusoff S, Tominaga K, Okinaga T, Kitai Y, Takarada T, Kubo Y, Saito K, Sa'adah N, Nurputra DK, Nishimura N, Saito T, Nishio H: Trinucleotide insertion in the SMN2 promoter may not be related to the clinical phenotype of SMA. *Brain Dev*, 2015: 37: 669-676. (PMID: 25459970)
- ※ § (6) Sa'adah N, Harahap NI, Nurputra DK, Rochmah MA, Morikawa S, Nishimura N, Sadewa AH, Astuti I, Haryana SM, Saito T, Saito K, Nishio H: A Rapid, Accurate and Simple Screening Method for Spinal Muscular Atrophy: High-Resolution Melting Analysis Using Dried Blood Spots on Filter Paper. *Clin Lab*, 2015: 61: 575-580. (PMID: 26118191)

- ※ § (7) Thursina C, Rochmah MA, Nurputra DK, Harahap IS, Harahap NI, Sa'adah N, Wibowo S, Sutarni S, Sadewa AH, Nishimura N, Mandai T, Iijima K, Nishio H, Kitayama S: Attention Deficit/Hyperactivity Disorder (ADHD): age related change of completion time and error rates of Stroop test. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E19-E26. (PMID: 25868610)
- § (8) Nagasaka M, Morioka I, Yokota T, Fujita K, Kurokawa D, Koda T, Shibata A, Yamada H, Ito Y, Uchino E, Shirai C, Iijima K: Incidence of short stature at 3 years of age in late preterm infants: a population-based study. *Arch Dis Child*, 2015; 100: 250-254. (PMID: 25260516)
- ※ § (9) Hartomo TB, Pham TVH, Yamamoto N, Hirase S, Hasegawa D, Kosaka Y, Matsuo M, Hayakawa A, Takeshima Y, Iijima K, Nishio H, Nishimura N: Involvement of aldehyde dehydrogenase 1A2 in the regulation of cancer stem cell properties in neuroblastoma. *Int J Oncol*, 2015; 46: 1089-1098. (PMID: 25524880)
- § (10) Yamada H, Nishida Y, Maihara T, Sa'adah N, Harahap NI, Nurputra DK, Rochmah MA, Nishimura N, Saito T, Kubo Y, Saito K, Nishio H: Two Japanese Patients With SMA Type 1 Suggest that Axonal-SMN May Not Modify the Disease Severity. *Pediatr Neurol*, 2015; 52: 638-641. (PMID: 25838041)

邦 文

論 文

- ※ § (1) 伊地智昭浩, 今井雅尚, 河原啓二, 佐藤英之, 中西絵里奈, 西尾久英, 西村範行: 公衆衛生行政(保健所)医師の育成・確保とその役割に関する研究調査 公衆衛生行政の現状と課題をふまえて, *神緑会学術誌*, 2015; 31 巻, 7-11 頁 (医中誌 ID: 2015379301)
- (2) 西村範行: 神経芽腫の細胞分子遺伝学, *臨床細胞分子遺伝*, 2015; 20 巻, 6-8 頁

英 文

論 文

原 著

- § (1) Hamamura K, Matsunaga N, Ikeda E, Kondo H, Ikeyama H, Tokushige K, Itcho K, Furuichi Y, Yoshida Y, Matsuda M, Yasuda K, Doi A, Yokota Y, Amamoto T, Aramaki H, Irino Y, Koyanagi S, Ohdo S: Alterations of Hepatic Metabolism in Chronic Kidney Disease via D-box-binding Protein Aggravate the Renal Dysfunction. *J Biol Chem*, 2016; 291: 4913-4927. (PMID: 26728457)
- ※ § (2) Kageyama G, Saegusa J, Irino Y, Tanaka S, Tsuda K, Takahashi S, Sendo S, Morinobu A: Metabolomics analysis of saliva from patients with primary Sjogren's syndrome. *Clin Exp Immunol*, 2015; 182: 149-153. (PMID: 26201380)
- ※ § (3) Fujita T, Yamashita D, Irino Y, Kitamoto J, Fukuda Y, Inokuchi G, Hasegawa S, Otsuki N, Yoshida M, Nibu K: Metabolomic profiling in inner ear fluid by gas chromatography/mass spectrometry in guinea pig cochlea. *Neurosci Lett*, 2015; 606: 188-193. (PMID: 26343935)
- ※ § ¶ (4) Tanaka K, Sasayama T, Irino Y, Takata K, Nagashima H, Satoh N, Kyotani K, Mizowaki T, Imahori T, Ejima Y, Masui K, Gini B, Yang H, Hosoda K, Sasaki R, Mischel PS, Kohmura E: Compensatory glutamine metabolism promotes glioblastoma resistance to mTOR inhibitor treatment. *J Clin Invest*, 2015; 125: 1591-1602. (PMID: 25798620)
- ※ ¶ (5) Kondo K, Ishida T, Yasuda T, Nakajima H, Mori K, Tanaka N, Mori T, Monguchi T, Shinohara M, Irino Y, Toh R, Rikitake Y, Kiyomizu K, Tomiyama Y, Yamamoto J, Hirata K: Trans-fatty acid promotes thrombus formation in mice by aggravating antithrombogenic endothelial functions via Toll-like receptors. *Mol Nutr Food Res*, 2015; 59: 729-740. (PMID: 25546502)
- ※ § (6) Mori K, Ishida T, Yasuda T, Hasokawa M, Monguchi T, Sasaki M, Kondo K, Nakajima H, Shinohara M, Shinke T, Irino Y, Toh R, Nishimura K, Hirata K: Serum Trans-Fatty Acid Concentration Is Elevated in Young Patients With Coronary Artery Disease in Japan. *Circ J*, 2015; 79: 2017-2025. (PMID: 26166015)

- ※ § (7) Yokoi N, Beppu M, Yoshida E, Hoshikawa R, Hidaka S, Matsubara T, Shinohara M, Irino Y, Hatano N, Seino S: Identification of putative biomarkers for prediabetes by metabolome analysis of rat models of type 2 diabetes. *Metabolomics*, 2015; 11: 1277-1286. (PMID: 26366137)

邦 文

論 文

総 説

- ※(1) 入野康宏, 石田達郎, 杜隆嗣: 【LDL/HDL コレステロールを標的とした動脈硬化症の新しい治療戦略】 機能不全 HDL に対する治療戦略, *血管医学*, 2015; 16 卷, 53-60 頁 (医中誌 ID: 2015175539)

リハビリテーション機能回復学 Division of Rehabilitation Medicine

英 文

論 文

原 著

- § (1) Fujishiro T, Hiranaka T, Hashimoto S, Hayashi S, Kurosaka M, Kanno T, Masuda T: The effect of acetabular and femoral component version on dislocation in primary total hip arthroplasty. *Int Orthop*, 2016; 40(4): 697-702. (PMID: 26202021)
- ※(2) Iwata E, Hasegawa T, Takeda D, Ueha T, Kawamoto T, Akisue T, Sakai Y, Komori T: Transcutaneous carbon dioxide suppresses epithelial-mesenchymal transition in oral squamous cell carcinoma. *Int J Oncol*, 2016; 48: 1493-1498. (PMID: 26846904)
- § (3) Chinzei N, Hashimoto S, Fujishiro T, Hayashi S, Kanzaki N, Uchida S, Kuroda R, Kurosaka M: Inflammation and Degeneration in Cartilage Samples from Patients with Femoroacetabular Impingement. *J Bone Joint Surg Am*, 2016; 98: 135-141. (PMID: 26791034)

- § (4) Matsuno H, Okada M, Sakai Y, Abe C, Katayama K, Sagawa A, Yamasaki K, Kondo M, Funahashi K, Matsubara T: The usefulness of a new triple combination treatment utilizing methotrexate, salazosulfapyridine, and bucillamine in rheumatoid arthritis. *Mod Rheumatol*, 2016; 26: 51-56. (PMID: 26052803)
- ※(5) Ogawa M, Izawa KP, Kitamura A, Ono R, Satomi-Kobayashi S, Sakai Y, Okita Y: Preoperative physical activity in relation to postoperative delirium in elective cardiac surgery patients. *Int J Cardiol*, 2015; 201: 154-156. (PMID: 26298363)
- § (6) Hayashi S, Fujishiro T, Hashimoto S, Kanzaki N, Chinzei N, Kihara S, Takayama K, Matsumoto T, Nishida K, Kurosaka M, Kuroda R: p21 deficiency is susceptible to osteoarthritis through STAT3 phosphorylation. *Arthritis Res Ther*, 2015; 17: 314. (PMID: 26546411)
- ※ § (7) Chinzei N, Hiranaka T, Niikura T, Fujishiro T, Hayashi S, Kanzaki N, Hashimoto S, Sakai Y, Kuroda R, Kurosaka M: Accurate and Easy Measurement of Sliding Distance of Intramedullary Nail in Trochanteric Fracture. *Clin Orthop Surg*, 2015; 7: 152-157. (PMID: 26217459)
- ※(8) Niikura T, Lee SY, Sakai Y, Kuroda R, Kurosaka M: Rare non-traumatic periprosthetic femoral fracture with features of an atypical femoral fracture: a case report. *J Med Case Rep*, 2015; 9: 103. (PMID: 25943378)
- (9) Chinzei N, Hayashi S, Ueha T, Fujishiro T, Kanzaki N, Hashimoto S, Sakata S, Kihara S, Haneda M, Sakai Y, Kuroda R, Kurosaka M: P21 deficiency delays regeneration of skeletal muscular tissue. *PLoS One*, 2015; 10: e0125765. (PMID: 25942471)
- ※(10) Niikura T, Sakai Y, Lee SY, Iwakura T, Kuroda R, Kurosaka M: Rate of venous thromboembolism after complex lower-limb fracture surgery without pharmacological prophylaxis. *J Orthop Surg (Hong Kong)*, 2015; 23: 37-40. (PMID: 25920641)
- ※(11) Hayashi S, Fujishiro T, Hashimoto S, Kanzaki N, Kuroda R, Kurosaka M: The contributing factors of tapered wedge stem alignment during mini-invasive total hip arthroplasty. *J Orthop Surg Res*, 2015; 10: 52. (PMID: 25895960)
- ※(12) Chinzei N, Hayashi S, Hashimoto S, Kanzaki N, Iwasa K, Sakata S, Kihara S, Fujishiro T, Kuroda R, Kurosaka M: Cyclin-dependent kinase inhibitor p21 does not impact embryonic endochondral ossification in mice. *Mol Med Rep*, 2015; 11: 1601-1608. (PMID: 25376471)
- ※(13) Sakata S, Hayashi S, Fujishiro T, Kawakita K, Kanzaki N, Hashimoto S, Iwasa K, Chinzei N, Kihara S, Haneda M, Ueha T, Nishiyama T, Kuroda R, Kurosaka M: Oxidative stress-induced apoptosis and matrix loss of chondrocytes is inhibited by eicosapentaenoic acid. *J Orthop Res*, 2015; 33: 359-365. (PMID: 25469820)

邦 文

論 文

総 説

- §(1) 酒井良忠, 田中雅也: 【炭酸ガスの効果と化粧品への応用】 炭酸ガスの経皮吸収による効果について CO₂療法(二酸化炭素経皮吸収治療法)の現状と今後の展開, FRAGRANCE JOURNAL, 2015; 43 巻, 27-34 頁 (医中誌 ID: 2015322734)

腎泌尿器科学 泌尿器先端医療開発学

Section of Advanced Medical Technology and Development for Urology

英 文

論 文

原 著

- §(1) Ishikawa K, Hamasuna R, Uehara S, Yasuda M, Yamamoto S, Hayami H, Takahashi S, Matsumoto T, Minamitani S, Kadota J, Iwata S, Kaku M, Watanabe A, Sunakawa K, Sato J, Hanaki H, Tsukamoto T, Kiyota H, Egawa S, Deguchi T, Matsumoto M, Tanaka K, Arakawa S, Fujisawa M, Kumon H, Kobayashi K, Matsubara A, Wakeda H, Amemoto Y, Onodera S, Goto H, Komeda H, Yamashita M, Takenaka T, Fujimoto Y, Tsugawa M, Takahashi Y, Maeda H, Onishi H, Ishitoya S, Nishimura K, Mitsumori K, Ito T, Togo Y, Nakamura I, Ito N, Kanamaru S, Hirose T, Muranaka T, Yamada D, Ishihara S, Oka H, Inatomi H, Matsui T, Kobuke M, Kunishima Y, Kimura T, Ichikawa T, Kagara I, Matsukawa M, Takahashi K, Mita K, Kato M, Okumura K, Kawanishi H, Hashimura T, Aoyama T, Shigeta M, Koda S, Taguchi K, Matsuda Y: Japanese nationwide surveillance in 2011 of antibacterial susceptibility patterns of clinical isolates from complicated urinary tract infection cases. *J Infect Chemother*, 2015; 21: 623-633. (PMID: 26166322)
- ※(2) Shigemura K, Osawa K, Yamamichi F, Tanaka K, Tokimatsu I, Arakawa S, Fujisawa M: Optimal vancomycin doses for methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* infection in urological renal dysfunction patients. *Int Urol Nephrol*, 2015; 47: 887-891. (PMID: 25899764)

- ※(3) Shigemura K, Osawa K, Miura M, Tanaka K, Arakawa S, Shirakawa T, Fujisawa M: Azithromycin Resistance and Its Mechanism in Neisseria gonorrhoeae Strains in Hyogo, Japan. Antimicrob Agents Chemother, 2015; 59: 2695-2699. (PMID: 25712352)
- (4) Yamamichi F, Shigemura K, Arakawa S, Tanaka K, Fujisawa M: CD-163 correlated with symptoms (pain or discomfort) of prostatic inflammation. Int J Clin Exp Pathol, 2015; 8: 2408-2414. (PMID: 26045748)
- (5) Miyake H, Hinata N, Imai S, Furukawa J, Tanaka K, Fujisawa M: Partial nephrectomy for hilar tumors: comparison of conventional open and robot-assisted approaches. Int J Clin Oncol, 2015. (PMID: 25614490)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 田中一志, 藤澤正人: 前立腺感染予防にニューキノロン薬はまだ有効か?. 後藤百万, 小川修, 笥善行, 出口隆, 宮澤克人 編, EBM 泌尿器疾患の治療, 中外医学社, 2015: 582-587 頁

論 文

原 著

- ※(1) 石村武志, 横山直己, 小田晃廉, 小川悟史, 日向信之, 村蒔基次, 三宅秀明, 田中一志, 西慎一, 飯島一誠, 藤澤正人: 細菌性精巣上体炎に Epstein-Barr virus 感染を併発し、免疫抑制剤減量で自然軽快した腎移植症例, 日本小児腎不全学会雑誌, 2015; 35 巻, 220-223 頁 (医中誌 ID: 2016014348)
- (2) 田中一志, 藤澤正人: 【ロボット時代の泌尿器科手術(2)-新たな術式への挑戦】 腎癌に対するロボット支援腎部分切除術 手術成績, 臨床泌尿器科, 2015; 69 巻, 906-910 頁 (医中誌 ID: 2015404666)
- (3) 田中一志, 古川順也, 藤澤正人: 【腎部分切除術 technical update】 ロボット支援腎部分切除術 経腹膜到達法, 泌尿器外科, 2015; 28 巻, 1479-1484 頁 (医中誌 ID: 2015359404)

総 説

- (1) 田中一志: 【感染対策上手になるチェックリストつき! 泌尿器科の感染対策をきわめる】 カテーテルの感染管理, 泌尿器ケア, 2015; 20 巻, 960-963 頁 (医中誌 ID: 2015357938)
- (2) 田中一志, 藤澤正人: 【泌尿器科の手術看護パーフェクトマニュアル】 (第2章)実践編 術式別の術中看護マニュアル ロボット支援下前立腺摘除術, オペナーシング, 2015, 119-126 頁 (医中誌 ID: 2015256747)
- (3) 田中一志, 藤澤正人: ロボット手術リレー連載(第4回) 泌尿器・腎, 日本コンピュータ外科学会誌, 2015; 16 巻, 357-362 頁 (医中誌 ID: 2015249527)
- (4) 田中一志, 古川順也, 藤澤正人: 腎部分切除の現況と未来 ロボット腎部分切除術の現状と今後の可能性, 泌尿器外科, 2015; 28 巻, 669-671 頁 (医中誌 ID: 2015228387)

【医学研究科附属施設 *Affiliated Institutes*】

附属動物実験施設 *Institute for Experimental Animals*

英 文

論 文

原 著

- § (1) Haruta H, Hiro T, Mitsumata M, Takayama T, Sudo M, Li Y, Takahashi R, Taniguchi Y, Shiomi M, Hirayama A: Stabilization of atherosclerotic plaque by pitavastatin in Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits: A serial tissue-characterizing intravascular ultrasound study. *J Cardiol*, 2016; 67: 205-211. (PMID: 26194868)
- § (2) Takeda H, Koike T, Izumi Y, Yamada T, Yoshida M, Shiomi M, Fukusaki E, Bamba T: Lipidomic analysis of plasma lipoprotein fractions in myocardial infarction-prone rabbits. *J Biosci Bioeng*, 2015; 120: 476-482. (PMID: 26162515)

- § (3) Kaneko C, Nitta N, Tsuchiya K, Watanabe S, Nitta-Seko A, Ohta S, Otani H, Sonoda A, Murata K, Shiomi M: MRI study of atherosclerotic plaque progression using ultrasmall superparamagnetic iron oxide in Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits. *Br J Radiol*, 2015; 88: 20150167. (PMID: 26083261)
- § (4) Ning B, Wang X, Yu Y, Waqar AB, Yu Q, Koike T, Shiomi M, Liu E, Wang Y, Fan J: High-fructose and high-fat diet-induced insulin resistance enhances atherosclerosis in Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits. *Nutr Metab (Lond)*, 2015; 12: 30. (PMID: 26265929)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 塩見雅志, 小池智也: 第 7 章 ウサギを用いた脂質代謝異常モデル 第 1 節 WHHL MI ウサギ. 尾池雄一, 佐々木雄彦, 村上誠, 矢作直也 編, 疾患モデル動物の作製と利用、脂質代謝異常と関連疾患《下巻》, エル・アイ・シー, 2015: 389-400 頁
- (2) 塩見 雅志, 小池 智也: WHHLMI ウサギ. 尾池 雄一, 佐々木 雄彦, 村上 誠, 矢作 直也 編, 疾患モデル動物の作製と利用、脂質代謝異常と関連疾患, 株式会社エル・アイ・シー, 2015: 389-400 頁

附属感染症センター Center for Infectious Diseases

微生物学 Division of Microbiology

英 文

論 文

原 著

- (1) Hayashi M, Deng L, Chen M, Gan X, Shinozaki K, Shoji I, Hotta H: Interaction of the hepatitis B virus X protein with the lysine methyltransferase SET and MYND domain-containing 3 induces activator protein 1 activation. *Microbiol Immunol*, 2016; 60: 17-25. (PMID: 26616333)
- ※(2) Deng L, Chen M, Tanaka M, Ku Y, Itoh T, Shoji I, Hotta H: HCV upregulates Bim through the ROS/JNK signalling pathway, leading to Bax-mediated apoptosis. *J Gen Virol*, 2015; 96: 2670-2683. (PMID: 26296767)
- § (3) Sianipar IR, Matsui C, Minami N, Gan X, Deng L, Hotta H, Shoji I: Physical and functional interaction between hepatitis C virus NS5A protein and ovarian tumor protein deubiquitinase 7B. *Microbiol Immunol*, 2015; 59: 466-476. (PMID: 26112491)
- (4) Matsui C, Rosalyn Sianipar I, Minami N, Deng L, Hotta H, Shoji I: A single-amino-acid mutation in hepatitis C virus NS5A disrupts physical and functional interaction with the transcription factor HNF-1 α . *J Gen Virol*, 2015; 96: 2200-2205. (PMID: 25957097)
- (5) Chen M, Gan X, Deng L, Hotta H: The NS5A protein of hepatitis C virus transcriptionally upregulates the AGR3 gene expression. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E27-E35. (PMID: 25868611)
- § (6) El-Bitar AM, Sarhan MM, Aoki C, Takahara Y, Komoto M, Deng L, Moustafa MA, Hotta H: Virocidal activity of Egyptian scorpion venoms against hepatitis C virus. *Virol J*, 2015; 12: 47. (PMID: 25889296)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 堀田博: B型肝炎ウイルスタンパク質と相互作用する宿主タンパク質の構造と機能の解析. 厚生労働科学研究費補助金 B型肝炎創薬実用化等研究事業 B型肝炎ウイルスの感染複製機構の解明に関する研究 平成26年度総括・分担研究報告書, 2015: -頁
- (2) 堀田博: HCV NS5A と宿主因子の相互作用及び細胞癌化に及ぼす影響の解析. 厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服実用化研究事業 C型肝炎から発がんにいたる病態進展の解明とその制御に関する研究 平成26年度総括・分担研究報告書, 2015: -頁
- (3) 堀田博: 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)ウイルスの神経病原性規定因子の解明. 厚生労働科学研究委託事業 難治性疾患等克服研究事業 プリオン病及び遅発性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班 分担研究成果報告書, 2015: -頁

臨床ウイルス学 Division of Clinical Virology

英 文

論 文

原 著

- (1) Iwakiri D: Multifunctional non-coding Epstein-Barr virus encoded RNAs (EBERs) contribute to viral pathogenesis. *Virus Res*, 2016: 212: 30-38. (PMID: 26292159)
- § (2) Mahmoud NF, Kawabata A, Tang H, Wakata A, Wang B, Serada S, Naka T, Mori Y: Human herpesvirus 6 U11 protein is critical for virus infection. *Virology*, 2016: 489: 151-157. (PMID: 26761397)
- (3) Mahmoud NF, Jasirwan C, Kanemoto S, Wakata A, Wang B, Hata Y, Nagamata S, Kawabata A, Tang H, Mori Y: Cytoplasmic tail domain of glycoprotein B is essential for HHV-6 infection. *Virology*, 2016: 490: 1-5. (PMID: 26802210)

- § (4) Haginomori S, Ichihara T, Mori A, Kanazawa A, Kawata R, Tang H, Mori Y: Varicella-zoster virus-specific cell-mediated immunity in Ramsay Hunt syndrome. *Laryngoscope*, 2016: 126: E35-E39. (PMID: 26183571)
- § (5) Hata A, Inoue F, Hamamoto Y, Yamasaki M, Fujikawa J, Kawahara H, Kawasaki Y, Honjo S, Koshiyama H, Moriishi E, Mori Y, Ohkubo T: Efficacy and safety of live varicella zoster vaccine in diabetes: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial. *Diabet Med*, 2015. (PMID: 26605507)
- § (6) Mori J, Tang H, Kawabata A, Koike M, Mori Y: Human Herpesvirus 6A U14 Is Important for Virus Maturation. *J Virol*, 2015: 90: 1677-1681. (PMID: 26559847)
- (7) Tang H, Mori Y: Determinants of Human CD134 Essential for Entry of Human Herpesvirus 6B. *J Virol*, 2015: 89: 10125-10129. (PMID: 26202244)
- § (8) Mori J, Kawabata A, Tang H, Tadagaki K, Mizuguchi H, Kuroda K, Mori Y: Human Herpesvirus-6 U14 Induces Cell-Cycle Arrest in G2/M Phase by Associating with a Cellular Protein, EDD. *PLoS One*, 2015: 10: e0137420. (PMID: 26340541)
- § (9) Imoto K, Okazaki A, Onishi F, Miyazaki Y, Okeda M, Yano S, Takao Y, Gomi Y, Ishikawa T, Okuno Y, Mori Y, Iso H, Yamanishi K, Asada H; SHEZ study group: VZV skin-test reaction, but not antibody, is an important predictive factor for postherpetic neuralgia. *J Dermatol Sci*, 2015: 79: 235-240. (PMID: 26070505)
- § (10) Suenaga T, Matsumoto M, Arisawa F, Kohyama M, Hirayasu K, Mori Y, Arase H: Sialic Acids on Varicella-Zoster Virus Glycoprotein B Are Required for Cell-Cell Fusion. *J Biol Chem*, 2015: 290: 19833-19843. (PMID: 26105052)
- § (11) Sasahara K, Morigaki K, Mori Y: Uptake of raft components into amyloid β -peptide aggregates and membrane damage. *Anal Biochem*, 2015: 481: 18-26. (PMID: 25908557)
- ¶(12) Tang H, Mahmoud NF, Mori Y: Maturation of human herpesvirus 6A glycoprotein O requires coexpression of glycoprotein H and glycoprotein L. *J Virol*, 2015: 89: 5159-5163. (PMID: 25694589)
- § § (13) Dhalla F, Murray S, Sadler R, Chaigne-Delalande B, Sadaoka T, Soilleux E, Uzel G, Miller J, Collins GP, Hatton CS, Bhole M, Ferry B, Chapel HM, Cohen JI, Patel SY: Identification of a novel mutation in MAGT1 and progressive multifocal leucoencephalopathy in a 58-year-old man with XMEN disease. *J Clin Immunol*, 2015: 35: 112-118. (PMID: 25504528)

総 説

- § (1) Murakami K, Matsuura M, Ota M, Gomi Y, Yamanishi K, Mori Y: A recombinant varicella vaccine harboring a respiratory syncytial virus gene induces humoral immunity. *Vaccine*, 2015: 33: 6085-6092. (PMID: 26116253)

邦 文

論 文

原 著

- (1) 岩切大: EB ウイルスによる発癌機構, 癌と化学療法, 2015; 42 巻, 1133-1136 頁 (医中誌 ID: PA27380001)

総 説

- (1) 湯華民, 森康子: 【持続感染・潜伏感染の機序と病態】 水痘・帯状疱疹ウイルスの潜伏と再活性化の機構, 化学療法の領域, 2015; 31 巻, 1807-1815 頁 (医中誌 ID: 2015341989)
- (2) 森康子: 第 39 回ヘルペスウイルスワークショップ : IHW 史に刻まれたアジア初日本での開催(神戸市神戸国際展示場), 感染 炎症 免疫, 2015, 57-59 頁

ワクチン学 Division of Vaccine Development

英 文

論 文

原 著

- § (1) Nukuzuma S, Nakamichi K, Kameoka M, Sugiura S, Nukuzuma C, Tasaki T, Takegami T: Suppressive effect of topoisomerase inhibitors on JC polyomavirus propagation in human neuroblastoma cells. *Microbiol Immunol*, 2016. (PMID: 26935240)
- § (2) Chaitaveep N, Utachee P, Chuenchitra T, Karasavvan N, Takeda N, Kameoka M: Neutralization breadth and potency of serum derived from recently human immunodeficiency virus type 1-infected Thai individuals. *Microbes Infect*, 2016. (PMID: 26774333)

- § (3) Kotaki T, Yamanaka A, Mulyatno KC, Churrotin S, Sucipto TH, Labiqah A, Ahwanah NL, Soegijanto S, Kameoka M, Konishi E: Divergence of the dengue virus type 2 Cosmopolitan genotype associated with two predominant serotype shifts between 1 and 2 in Surabaya, Indonesia, 2008-2014. *Infect Genet Evol*, 2016: 37: 88-93. (PMID: 26553170)
- § (4) Yamanaka A, Oddgun D, Chantawat N, Okabayashi T, Ramasoota P, Churrotin S, Kotaki T, Kameoka M, Soegijanto S, Konishi E: Dengue virus infection-enhancing antibody activities against Indonesian strains in inhabitants of central Thailand. *Microbes Infect*, 2015. (PMID: 26645957)
- § (5) Verathamjamras C, Tian Y-S, Kawashita N, Okamoto K, Yasunaga T, Ikuta K, Motomura K, Takeda N, Takagi T, Kameoka M: Search for Low Molecular Weight Compounds That Inhibit Human Immunodeficiency Virus Type 1 Replication. *J Infect Dis Ther*, 2015: 3: 218. (PMID: ?)
- § (6) Kotaki T, Khairunisa SQ, Witaningrum AM, Yunifiar MMQ, Sukartiningrum SD, Noordiansyah M, Rahayu RP, Nasronudin, Kameoka M: HIV-1 Transmitted Drug Resistance Mutations among Antiretroviral Therapy-Naive Individuals in Surabaya, Indonesia. *AIDS RES THER*, 2015: 12: 5.

感染制御学 Division of Infectious Disease Control

英 文

論 文

原 著

- (1) Hayashi M, Deng L, Chen M, Gan X, Shinozaki K, Shoji I, Hotta H: Interaction of the hepatitis B virus X protein with the lysine methyltransferase SET and MYND domain-containing 3 induces activator protein 1 activation. *Microbiol Immunol*, 2016: 60: 17-25. (PMID: 26616333)
- ※(2) Deng L, Chen M, Tanaka M, Ku Y, Itoh T, Shoji I, Hotta H: HCV upregulates Bim through the ROS/JNK signalling pathway, leading to Bax-mediated apoptosis. *J Gen Virol*, 2015: 96: 2670-2683. (PMID: 26296767)
- § (3) Sianipar IR, Matsui C, Minami N, Gan X, Deng L, Hotta H, Shoji I: Physical and functional interaction between hepatitis C virus NS5A protein and ovarian tumor protein deubiquitinase 7B. *Microbiol Immunol*, 2015: 59: 466-476. (PMID: 26112491)

- (4) Matsui C, Rosalyn Sianipar I, Minami N, Deng L, Hotta H, Shoji I: A single-amino-acid mutation in hepatitis C virus NS5A disrupts physical and functional interaction with the transcription factor HNF-1 α . *J Gen Virol*, 2015; 96: 2200-2205. (PMID: 25957097)
- ※ § ¶ (5) Shigemura K, Osawa K, Miura M, Tanaka K, Arakawa S, Shirakawa T, Fujisawa M: Azithromycin Resistance and Its Mechanism in *Neisseria gonorrhoeae* Strains in Hyogo, Japan. *Antimicrob Agents Chemother*, 2015; 59: 2695-2699. (PMID: 25712352)
- ※ ¶ (6) Osawa K, Shigemura K, Shimizu R, Kato A, Kusuki M, Jikimoto T, Nakamura T, Yoshida H, Arakawa S, Fujisawa M, Shirakawa T: Molecular Characteristics of Extended-Spectrum β -Lactamase-Producing *Escherichia coli* in a University Teaching Hospital. *Microb Drug Resist*, 2015; 21: 130-139. (PMID: 25361040)
- (7) Chen M, Gan X, Deng L, Hotta H: The NS5A protein of hepatitis C virus transcriptionally upregulates the AGR3 gene expression. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E27-E35. (PMID: 25868611)
- § (8) El-Bitar AM, Sarhan MM, Aoki C, Takahara Y, Komoto M, Deng L, Moustafa MA, Hotta H: Virocidal activity of Egyptian scorpion venoms against hepatitis C virus. *Virol J*, 2015; 12: 47. (PMID: 25889296)

総 説

- § (1) Utsumi T, Lusida MI: Viral hepatitis and human immunodeficiency virus co-infections in Asia. *World J Virol*, 2015; 4: 96-104. (PMID: 25964874)

邦 文

書 籍

共同編集

- § (1) 勝二郁夫: HCV 感染による細胞内遺伝子の発現変化と病原性. 松浦善治 編, 厚生労働省科学研究費補助金 肝炎等克服緊急対策研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 C 型肝炎の病態の解明と肝癌発症制御法の確立に関する研究, 2015: 29-31 頁

論 文

総 説

- ※(1) 内海孝子, 清水一史, 小瀧将裕, 亀岡正典, 白川利朗, 堀田博, 林祥剛: 神戸大学インドネシア拠点のあゆみと実績, *最新医学*, 2015; 70 巻, 75-83 頁

- ※(2) 勝二郁夫, 鄧琳, 松井千絵子, 堀田博: C 型肝炎ウイルスによる糖代謝異常, ウイルス, 2015; 65 巻, 263-268 頁 (医中誌 ID: 0042-6857)

感染病理学 Division of Infectious Disease Pathology

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Tauchi S, Sakai Y, Fujimoto S, Ogawa H, Tane S, Hokka D, Tanaka Y, Nishio W, Yoshimura M, Yanagita E, Itoh T, Hayashi Y, Maniwa Y: Psf3 is a prognostic biomarker in lung adenocarcinoma: a larger trial using tissue microarrays of 864 consecutive resections. *Eur J Cardiothorac Surg*, 2016. (PMID: 27005977)
- ※ § (2) Hadikusumo AA, Utsumi T, Amin M, Khairunisa SQ, Istimagfirah A, Wahyuni RM, Lusida MI, Soetjipto, Rianto E, Juniastuti, Hayashi Y: High Rates of Hepatitis B, Hepatitis C and Human Immunodeficiency Virus (HBV, HCV, HIV) Infections and Their Uncommon HBV Genotype/Subtype and HCV Subtype Distributions among Transgender Individuals in Surabaya, Indonesia. *Jpn J Infect Dis*, 2016. (PMID: 27000450)
- (3) Saito M, Hirano H, Yano Y, Momose K, Yoshida M, Azuma T: Serum level of taurine would be associated with the amelioration of minimal hepatic encephalopathy in cirrhotic patients. *Hepatol Res*, 2016; 46: 215-224. (PMID: 26224109)
- ※(4) Saito M, Yano Y, Hirano H, Momose K, Mouri K, Hishimoto A, Yoshida M, Azuma T: The serum level of NX-DCP-R, but not DCP, is not increased in alcoholic liver disease without hepatocellular carcinoma. *Cancer Biomark*, 2016; 16: 171-180. (PMID: 26600398)
- ※ § (5) Sugimoto K, Kim SR, Kim SK, Imoto S, Tohyama M, Kim KI, Ohtani A, Hatae T, Yano Y, Kudo M, Hayashi Y: Comparison of Daclatasvir and Asunaprevir for Chronic HCV 1b Infection with Telaprevir and Simeprevir plus Peginterferon and Ribavirin, with a Focus on the Prevention of Occurrence and Recurrence of Hepatocellular Carcinoma. *Oncology*, 2015; 89: 42-46. (PMID: 26584035)

- ※ § (6) Yamani LN, Yano Y, Utsumi T, Juniastuti, Wandono H, Widjanarko D, Triantanoe A, Wasityastuti W, Liang Y, Okada R, Tanahashi T, Murakami Y, Azuma T, Soetjipto, Lusida MI, Hayashi Y: Ultradeep Sequencing for Detection of Quasispecies Variants in the Major Hydrophilic Region of Hepatitis B Virus in Indonesian Patients. *J Clin Microbiol*, 2015; 53: 3165-3175. (PMID: 26202119)
- ※ § (7) Sugimoto K, Kim SR, Imoto S, Tohyama M, Kim SK, Matsuoka T, Yano Y, Kudo M, Hayashi Y: Characteristics of Hypovascular versus Hypervascular Well-Differentiated Hepatocellular Carcinoma Smaller Than 2 cm - Focus on Tumor Size, Markers and Imaging Detectability. *Dig Dis*, 2015; 33: 721-727. (PMID: 26488580)
- ※ § (8) Hayakawa M, Umeyama H, Iwadate M, Tanahashi T, Yano Y, Enomoto M, Tamori A, Kawada N, Murakami Y: Development of novel hepatitis B virus capsid inhibitor using in silico screening. *Biochem Biophys Res Commun*, 2015; 463: 1165-1175. (PMID: 26095852)
- (9) Hirano H, Saito M, Yano Y, Momose K, Yoshida M, Tanaka A, Azuma T: Chronic liver disease questionnaire would be a primary screening tool of neuropsychiatric test detecting minimal hepatic encephalopathy of cirrhotic patients. *Hepatol Res*, 2015. (PMID: 26234673)
- ※(10) Kuramitsu K, Fukumoto T, Yano Y, Hirano H, Misumi T, Katayama Y, Kawano H, Yakushijin K, Zen Y, Itoh T, Ku Y: A case of intravascular lymphoma diagnosed in an explanted liver after liver transplantation. *Transpl Int*, 2015. (PMID: 26010984)

総 説

- ※ § (1) Yano Y, Utsumi T, Lusida MI, Hayashi Y: Hepatitis B virus infection in Indonesia. *World J Gastroenterol*, 2015; 21: 10714-10720. (PMID: 26478663)
- ※(2) Kawano Y, Nishiumi S, Saito M, Yano Y, Azuma T, Yoshida M: Identification of Lipid Species Linked to the Progression of Non-alcoholic Fatty Liver Disease. *Curr Drug Targets*, 2015. (PMID: 25850622)

邦 文

論 文

総 説

- ※ § (1) 内海孝子, 清水一史, 小瀧将裕, 亀岡正典, 白川利朗, 堀田博, 林祥剛: 【「感染症研究国際ネットワーク推進プログラム(J-GRID)」10年のあゆみ】 神戸大学インドネシア拠点のあゆみと実績, *最新医学*, 2015; 70 巻, 745-753 頁 (医中誌 ID: 2015210075)

感染治療学 Division of Infectious Disease Therapeutics

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Iwata K, Doi A: A qualitative study of infectious diseases fellowships in Japan. *Int J Med Educ*, 2016; 7: 62-68. (PMID: 26896873)
- ※ § (2) Iwata K, Mizuno Y: A case of polymyalgia rheumatica following influenza B infection. *Int J Gen Med*, 2015; 8: 345-347. (PMID: 26527896)
- ※ § (3) Iwata K, Doi A, Nakamura T, Yoshida H: The validity of three sputum smears taken in one day for discontinuing isolation of tuberculosis patients. *Int J Tuberc Lung Dis*, 2015; 19: 918-920. (PMID: 26162357)
- ※ § ¶ (4) Iwata K, Fukuchi T, Yoshimura K: Is the quality of sushi ruined by freezing raw fish and squid? A randomized double-blind trial with sensory evaluation using discrimination testing. *Clin Infect Dis*, 2015; 60: e43-e48. (PMID: 25697740)

邦 文

書 籍

単 著

- (1) 岩田健太郎: 編, テーブル回診 LIVE@神戸大学感染症内科: 問題の本質を探究するカンファレンス, 金原出版, 2015: 1-410 頁
- (2) 岩田健太郎: 薬のデギュスタシオン. 製薬メーカーに頼らずに薬を勉強するために, 金芳堂, 2015: 1-416 頁
- (3) 岩田健太郎: アレルギー 膠原病 感染症. 成人看護学「11」 (系統看護学講座専門分野), 医学書院, 2016: 1-400 頁

- (4) 岩田健太郎: 極論で語る感染症内科. 香坂俊 編, (極論で語る・シリーズ), 丸善出版, 2016: 1-176 頁

単 訳

- (1) Paul. E. Sax 訳: 岩田健太郎: 本質の HIV / HIV ESSENTIALS. Paul. E. Sax 編, 本質の HIV, メディカルサイエンスインターナショナル, 2015: 1-280 頁
- (2) リチャードウォーカー訳: 岩田健太郎: きみの体の中 (INSIDE YOU) . リチャードウォーカー 編, きみの体はどうやって病気とたたかうのかな?, 保育社, 2015: 1-72 頁

論 文

原 著

- ※(1) 松尾裕央, 小坂恭子, 岩田健太郎, 大路剛: トシリズマブ使用患者における *Serratia marcescens* による壊死性軟部組織感染症の 1 例, 感染症学雑誌, 2015; 89 巻, 53-55 頁 (医中誌 ID: 2015232971)

総 説

- (1) 大路剛: 【すべての内科医のための HIV 感染症-長期管理の時代に】 HIV 感染症の合併症 非 AIDS 指標疾患を中心に ウイルス性肝炎, 内科, 2015; 116 巻, 783-788 頁 (医中誌 ID: 2016024549)
- (2) 大路剛: 【老年医学からみた透析医療】 高齢透析患者の感染対策 早期発見とワクチン接種, 臨床透析, 2015; 31 巻, 1255-1262 頁 (医中誌 ID: 2015400654)
- (3) 大路剛: 【新・日常診療での薬の選び方・使い方 日頃の疑問をズバッと解決!】 (第 3 章) 消化器系 慢性ウイルス性肝炎の治療薬について、専門家の意見を教えてください, レジデントノート, 2015; 17 巻, 283-290 頁 (医中誌 ID: 2015174446)
- (4) 大路剛: 【感染症診療 それ, ホント?】 外来編 腸管出血性大腸菌感染症(血清型 O157 など)に抗菌薬は危険ってホント?, *Medicina*, 2015; 52 巻, 868-871 頁 (医中誌 ID: 2015226466)

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Ijuin T, Hatano N, Takenawa T: Glucose-regulated protein 78 (GRP78) binds directly to PIP3 phosphatase SKIP and determines its localization. *Genes Cells*, 2016: 21: 457-465. (PMID: 26940976)
- ※(2) Ijuin T, Hatano N, Hosooka T, Takenawa T: Regulation of insulin signaling in skeletal muscle by PIP3 phosphatase, SKIP, and endoplasmic reticulum molecular chaperone glucose-regulated protein 78. *Biochim Biophys Acta*, 2015: 1853: 3192-3201. (PMID: 26376412)
- ※(3) Nakamura A, Komatsu M, Kondo A, Ohno Y, Kohno H, Nakamura F, Matsuo S, Ohnuma K, Hatano N, Kawano S: Rapid detection of B2-ST131 clonal group of extended-spectrum β -lactamase-producing *Escherichia coli* by matrix-assisted laser desorption ionization-time-of-flight mass spectrometry: discovery of a peculiar amino acid substitution in B2-ST131 clonal group. *Diagn Microbiol Infect Dis*, 2015: 83: 237-244. (PMID: 26316404)
- § § (4) Dalli J, Kraft BD, Colas RA, Shinohara M, Fredenburgh LE, Hess DR, Chiang N, Welty-Wolf K, Choi AM, Piantadosi CA, Serhan CN: The Regulation of Proresolving Lipid Mediator Profiles in Baboon Pneumonia by Inhaled Carbon Monoxide. *Am J Respir Cell Mol Biol*, 2015: 53: 314-325. (PMID: 25568926)
- § ¶ (5) Yamashita K, Sasaki T, Itoh R, Kato D, Hatano N, Soejima T, Ishii K, Takenawa T, Hiromatsu K, Yamashita Y: Pancreatic fistulae secondary to trypsinogen activation by *Pseudomonas aeruginosa* infection after pancreatoduodenectomy. *J Hepatobiliary Pancreat Sci*, 2015: 22: 454-462. (PMID: 25678202)
- ※ § (6) Kondo K, Ishida T, Yasuda T, Nakajima H, Mori K, Tanaka N, Mori T, Monguchi T, Shinohara M, Irino Y, Toh R, Rikitake Y, Kiyomizu K, Tomiyama Y, Yamamoto J, Hirata K: Trans-fatty acid promotes thrombus formation in mice by aggravating antithrombogenic endothelial functions via Toll-like receptors. *Mol Nutr Food Res*, 2015: 59: 729-740. (PMID: 25546502)

§ (7) Katayama S, Kato S, Yamasaki A, Aitani K, Yamasaki T, Hatano N, Nariya H, Hitsumoto Y: Novel cell wall-associated fibronectin-binding proteins of *Chrostridium perfringens*. *International Journal of Analytical Bio-Science*, 2015; 3: 1-9.

※ § (8) Yokoi N, Beppu M, Yoshida E, Hoshikawa R, Hidaka S, Matsubara T, Shinohara M, Irino Y, Hatano N, Seino S: Identification of putative biomarkers for prediabetes by metabolome analysis of rat models of type 2 diabetes. *Metabolomics*, 2015; 11: 1277-1286. (PMID: 26366137)

邦 文

論 文

総 説

※(1) 篠原正和: 【LDL/HDL コレステロールを標的とした動脈硬化症の新しい治療ストラテジー】 炎症収束に着目した脂肪酸由来代謝産物の新展開, *血管医学*, 2015; 16 卷, 67-75 頁 (医中誌 ID: 2015175541)

先端生体医用画像研究センター

Advanced Biomedical Imaging Research Center

英 文

書 籍

分担執筆

※ § (1) Ohno Y, Yoshikawa T, Matsumoto S, Koyama H, Fujisawa Y, Sugihara N: Lung Perfusion Assessment on Area Detector CT. Katada K, Clouse ME eds., *Area Detector CT*, *Medical Tribune*, 2015: 202-212.

論文

原著

- ※ § (1) Ohno Y, Yui M, Koyama H, Yoshikawa T, Seki S, Ueno Y, Miyazaki M, Ouyang C, Sugimura K: Chemical Exchange Saturation Transfer MR Imaging: Preliminary Results for Differentiation of Malignant and Benign Thoracic Lesions. *Radiology*, 2016; 279: 578-589. (PMID: 26588021)
- ※ § (2) Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Seki S, Takenaka D, Yui M, Lu A, Miyazaki M, Sugimura K: Pulmonary high-resolution ultrashort TE MR imaging: Comparison with thin-section standard- and low-dose computed tomography for the assessment of pulmonary parenchyma diseases. *J Magn Reson Imaging*, 2016; 43: 512-532. (PMID: 26223818)
- ※ § (3) Koyama H, Ohno Y, Fujisawa Y, Seki S, Negi N, Murakami T, Yoshikawa T, Sugihara N, Nishimura Y, Sugimura K: 3D lung motion assessments on inspiratory/expiratory thin-section CT: Capability for pulmonary functional loss of smoking-related COPD in comparison with lung destruction and air trapping. *Eur J Radiol*, 2016; 85: 352-359. (PMID: 26781140)
- § (4) Ohno Y, Koyama H, Fujisawa Y, Yoshikawa T, Seki S, Sugihara N, Sugimura K: Dynamic contrast-enhanced perfusion area detector CT for non-small cell lung cancer patients: Influence of mathematical models on early prediction capabilities for treatment response and recurrence after chemoradiotherapy. *Eur J Radiol*, 2016; 85: 176-186. (PMID: 26724663)
- ※ § (5) Ohno Y, Koyama H, Fujisawa Y, Yoshikawa T, Inokawa H, Sugihara N, Seki S, Sugimura K: Hybrid Type iterative reconstruction method vs. filter back projection method: Capability for radiation dose reduction and perfusion assessment on dynamic first-pass contrast-enhanced perfusion chest area-detector CT. *Eur J Radiol*, 2016; 85: 164-175. (PMID: 26724662)
- ※ (6) Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Seki S: State-of-the-Art Imaging of the Lung for Connective Tissue Disease (CTD). *Curr Rheumatol Rep*, 2015; 17: 69. (PMID: 26483318)
- ※ § (7) Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Takenaka D, Kassai Y, Yui M, Matsumoto S, Sugimura K: Diffusion-weighted MR imaging using FASE sequence for 3T MR system: Preliminary comparison of capability for N-stage assessment by means of diffusion-weighted MR imaging using EPI sequence, STIR FASE imaging and FDG PET/CT for non-small cell lung cancer patients. *Eur J Radiol*, 2015; 84: 2321-2331. (PMID: 26231045)
- ※ § (8) Ohno Y, Seki S, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto S, Takenaka D, Kassai Y, Yui M, Sugimura K: 3D ECG- and respiratory-gated non-contrast-enhanced (CE) perfusion MRI for postoperative lung function prediction in non-small-cell lung cancer patients: A comparison with thin-section quantitative computed tomography, dynamic CE-perfusion MRI, and perfusion scan. *J Magn Reson Imaging*, 2015; 42: 340-353. (PMID: 26192552)

- § (9) Nagatani Y, Takahashi M, Murata K, Ikeda M, Yamashiro T, Miyara T, Koyama H, Koyama M, Sato Y, Moriya H, Noma S, Tomiyama N, Ohno Y, Murayama S; investigators of ACTIVE study group: Lung nodule detection performance in five observers on computed tomography (CT) with adaptive iterative dose reduction using three-dimensional processing (AIDR 3D) in a Japanese multicenter study: Comparison between ultra-low-dose CT and low-dose CT by receiver-operating characteristic analysis. *Eur J Radiol*, 2015; 84: 1401-1412. (PMID: 25892051)
- ※ ¶ (10) Koyama H, Ohno Y, Seki S, Nishio M, Yoshikawa T, Matsumoto S, Maniwa Y, Itoh T, Nishimura Y, Sugimura K: Value of diffusion-weighted MR imaging using various parameters for assessment and characterization of solitary pulmonary nodules. *Eur J Radiol*, 2015; 84: 509-515. (PMID: 25554007)
- ※ § (11) Iwasawa T, Matsumoto S, Aoki T, Okada F, Nishimura Y, Yamagata H, Ohno Y: A comparison of axial versus coronal image viewing in computer-aided detection of lung nodules on CT. *Jpn J Radiol*, 2015; 33: 76-83. (PMID: 25533196)

総 説

- (1) Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto S, Sugimura K: Lung Cancer Assessment Using MR Imaging: An Update. *Magn Reson Imaging Clin N Am*, 2015; 23: 231-244. (PMID: 25952517)

邦 文

論 文

総 説

- ※ § (1) 大野良治, 関紳一郎, 神山久信, 吉川武, 松本純明, 杉村和朗: 【気道疾患のすべて-基礎から up-to-date まで-】 気道疾患における胸部 MRI, *画像診断*, 2015; 35 巻, 400-409 頁 (医中誌 ID: 2015143817)
- ※ (2) 大野良治, 関紳一郎, 神山久信, 吉川武, 松本純明, 杉村和朗: 【画像診断の治療への貢献-CT/MRI を中心に-】 CT/MRI を用いた肺血管性疾患の最新画像診断 肺機能イメージングの現状と将来展望, *日独医報*, 2015; 60 巻, 46-53 頁 (医中誌 ID: 2015274270)
- (3) 大野良治: 疾患の病因と病態 CT/MRI を用いた呼吸機能イメージング, *Annual Review 呼吸器*, 2015; 2015 巻, 85-98 頁 (医中誌 ID: 2015249205)
- (4) 大野良治: 呼吸器領域における 320 列面検出器型 CT の臨床応用 Full IR・Perfusion 技術を用いた画像診断, *INNERVISION*, 2015; 30 巻, 88-90 頁 (医中誌 ID: 2015337582)

- (5) 大野良治: Vantage Titan 3Tにおける体幹部 MRI 形態診断、機能診断そして分子イメージングへ, INNERVISION, 2015; 30 巻, 100-103 頁 (医中誌 ID: 2015337586)
- (6) 大野良治: 【COPD の画像-画像と呼吸機能-】 COPD における呼吸機能 MR イメージング, 日本胸部臨床, 2015; 74 巻, 854-864 頁 (医中誌 ID: 2015340168)
- (7) 大野良治: 【肺高血圧症診断 update】 肺高血圧症における pulmonary functional MRI, 医学のあゆみ, 2015; 255 巻, 47-51 頁 (医中誌 ID: 2015380921)
- §(8) 大野良治, 片田和広, 高橋哲, 中浦猛, 林宏光, 辻岡勝美, 宮下宗治, 小林泰之, 陣崎雅弘: 【Multislice CT 2015 BOOK】 CT その現状と未来, 映像情報 Medical, 2015; 47 巻, 13-31 頁 (医中誌 ID: 2016022656)
- (9) 大野良治: 【Multislice CT 2015 BOOK】 臨床 面検出器 CT 胸部におけるサブトラクション CT 臨床的有用性と注意点, 映像情報 Medical, 2015; 47 巻, 79-82 頁 (医中誌 ID: 2016022662)

【医学部附属病院 University Hospital Clinical Facilities】

検査部 Department of Clinical Laboratory

英 文

論 文

原 著

- (1) Matsuzoe H, Tanaka H, Matsumoto K, Toki H, Shimoura H, Ooka J, Sano H, Sawa T, Motoji Y, Mochizuki Y, Ryo K, Fukuzawa K, Yoshida A, Hirata K: Left ventricular dyssynergy and dispersion as determinant factors of fatal ventricular arrhythmias in patients with mildly reduced ejection fraction. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2016; 17: 334-342. (PMID: 26160402)
- ※(2) Nishida K, Morioka I, Nakamachi Y, Kobayashi Y, Imanishi T, Kawano S, Iwatani S, Koda T, Deguchi M, Tanimura K, Yamashita D, Nibu K, Funakoshi T, Ohashi M, Inoue N, Iijima K, Yamada H: Neurological outcomes in symptomatic congenital cytomegalovirus-infected infants after introduction of newborn urine screening and antiviral treatment. *Brain Dev*, 2016; 38: 209-216. (PMID: 26282917)

- (3) Motoji Y, Tanaka H, Fukuda Y, Sano H, Ryo K, Sawa T, Miyoshi T, Imanishi J, Mochizuki Y, Tatsumi K, Matsumoto K, Emoto N, Hirata K: Association of Apical Longitudinal Rotation with Right Ventricular Performance in Patients with Pulmonary Hypertension: Insights into Overestimation of Tricuspid Annular Plane Systolic Excursion. *Echocardiography*, 2016: 33: 207-215. (PMID: 26710717)
- (4) Fukuda Y, Tanaka H, Ryo-Koriyama K, Motoji Y, Sano H, Shimoura H, Ooka J, Toki H, Sawa T, Mochizuki Y, Matsumoto K, Emoto N, Hirata KI: Comprehensive Functional Assessment of Right-Sided Heart Using Speckle Tracking Strain for Patients with Pulmonary Hypertension. *Echocardiography*, 2016. (PMID: 26920332)
- (5) Akashi K, Saegusa J, Morinobu A: Pneumocephalus in granulomatosis with polyangiitis. *Rheumatology (Oxford)*, 2016: 55: 108. (PMID: 26385371)
- (6) Sawa T, Tanaka H, Motoji Y, Hiraishi M, Mochizuki Y, Ryo K, Matsumoto K, Otake H, Shinke T, Hirata K: Utility of Isovolumic Contraction Peak Velocity for Evaluation of Adult Patient Status after Transcatheter Closure of Atrial Septal Defect. *Echocardiography*, 2016: 33: 23-29. (PMID: 26053342)
- ※ § (7) Kikuma T, Nakamachi Y, Noguchi Y, Okazaki Y, Shimomura D, Yakushijin K, Yamamoto K, Matsuoka H, Minami H, Itoh T, Kawano S: A new transcriptional variant and small azurophilic granules in an acute promyelocytic leukemia case with NPM1/RARA fusion gene. *Int J Hematol*, 2015: 102: 713-718. (PMID: 26342691)
- (8) Matsumoto K, Tanaka H, Ooka J, Motoji Y, Sawa T, Mochizuki Y, Ryo K, Tatsumi K, Hirata KI: Significant prognostic impact of improvement in ventriculo-arterial coupling induced by dobutamine stress on cardiovascular outcome for patients with dilated cardiomyopathy. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2015. (PMID: 26705483)
- (9) Dokuni K, Tanaka H, Mochizuki Y, Matsumoto K, Okita Y, Hirata K: Severe Aortic Regurgitation Caused by Unicuspid Aortic Valve Based on Quadricuspid Aortic Valve. *Echocardiography*, 2015: 32: 1889-1890. (PMID: 26239702)
- (10) Sawa T, Tanaka H, Motoji Y, Hiraishi M, Mochizuki Y, Ryo K, Matsumoto K, Otake H, Shinke T, Hirata K: Reply. *Echocardiography*, 2015: 32: 1743. (PMID: 26507811)
- (11) Kageyama G, Saegusa J, Irino Y, Tanaka S, Tsuda K, Takahashi S, Sendo S, Morinobu A: Metabolomics analysis of saliva from patients with primary Sjogren's syndrome. *Clin Exp Immunol*, 2015: 182: 149-153. (PMID: 26201380)
- (12) Kinugasa M, Mori S, Takaya T, Ito T, Tanaka H, Satomi-Kobayashi S, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Okita Y, Hirata KI: Serum phosphate is an independent predictor of the total aortic calcification volume in non-hemodialysis patients undergoing cardiovascular surgery. *J Cardiol*, 2015. (PMID: 26572956)

- (13) Matsumoto K, Tanaka H, Onishi A, Motoji Y, Tatsumi K, Sawa T, Miyoshi T, Imanishi J, Mochizuki Y, Hirata K: Bi-ventricular contractile reserve offers an incremental prognostic value for patients with dilated cardiomyopathy. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2015; 16: 1213-1223. (PMID: 25851330)
- § § (14) Zhang D, Tu E, Kasagi S, Zanvit P, Chen Q, Chen W: Manipulating regulatory T cells: a promising strategy to treat autoimmunity. *Immunotherapy*, 2015; 7: 1201-1211. (PMID: 26568117)
- ※(15) Yamamoto T, Tanaka H, Takeshima Y, Hayashi N, Hirata K, Kawano S: Combining passive leg-lifting with transmural myocardial strain profile for enhanced predictive capability for subclinical left ventricular dysfunction in Duchenne muscular dystrophy. *J Cardiol*, 2015; 66: 212-217. (PMID: 25896175)
- § § (16) Zanvit P, Konkel JE, Jiao X, Kasagi S, Zhang D, Wu R, Chia C, Ajami NJ, Smith DP, Petrosino JF, Abbatiello B, Nakatsukasa H, Chen Q, Belkaid Y, Chen ZJ, Chen W: Antibiotics in neonatal life increase murine susceptibility to experimental psoriasis. *Nat Commun*, 2015; 6: 8424. (PMID: 26416167)
- (17) Yamashita S, Fukuzawa K, Yoshida A, Itoh M, Imamura K, Fujiwara R, Suzuki A, Nakanishi T, Matsumoto A, Kanda G, Kiuchi K, Shimane A, Okajima K, Tanaka H, Hirata K: The effectiveness of cardiac resynchronization therapy for patients with New York Heart Association class IV non-ambulatory heart failure. *J Arrhythm*, 2015; 31: 221-225. (PMID: 26336563)
- ※(18) Nagai H, Oiso N, Tomida S, Sakai K, Fujiwara S, Nakamachi Y, Kawano S, Kawada A, Nishio K, Nishigori C: Epidermolysis bullosa simplex with mottled pigmentation with noncicatricial alopecia: Identification of a recurrent p.P25L mutation in KRT5 in four affected family members. *Br J Dermatol*, 2015. (PMID: 26286811)
- ※(19) Iwata K, Doi A, Nakamura T, Yoshida H: The validity of three sputum smears taken in one day for discontinuing isolation of tuberculosis patients. *Int J Tuberc Lung Dis*, 2015; 19: 918-920. (PMID: 26162357)
- (20) Mochizuki Y, Tanaka H, Matsumoto K, Sano H, Toki H, Shimoura H, Ooka J, Sawa T, Motoji Y, Ryo K, Hirota Y, Ogawa W, Hirata K: Association of peripheral nerve conduction in diabetic neuropathy with subclinical left ventricular systolic dysfunction. *Cardiovasc Diabetol*, 2015; 14: 47. (PMID: 25946999)
- ※(21) Osawa K, Shigemura K, Shimizu R, Kato A, Kusuki M, Jikimoto T, Nakamura T, Yoshida H, Arakawa S, Fujisawa M, Shirakawa T: Molecular Characteristics of Extended-Spectrum β -Lactamase-Producing *Escherichia coli* in a University Teaching Hospital. *Microb Drug Resist*, 2015; 21: 130-139. (PMID: 25361040)

- ¶(22) Sano H, Tanaka H, Motoji Y, Fukuda Y, Sawa T, Mochizuki Y, Ryo K, Matsumoto K, Emoto N, Hirata K: Right Ventricular Function and Right-Heart Echocardiographic Response to Therapy Predict Long-term Outcome in Patients With Pulmonary Hypertension. *Can J Cardiol*, 2015; 31: 529-536. (PMID: 25840102)
- (23) Mochizuki Y, Tanaka H, Matsumoto K, Sano H, Toki H, Shimoura H, Ooka J, Sawa T, Motoji Y, Ryo K, Hirota Y, Ogawa W, Hirata K: Clinical features of subclinical left ventricular systolic dysfunction in patients with diabetes mellitus. *Cardiovasc Diabetol*, 2015; 14: 37. (PMID: 25889250)
- ※ ¶ (24) Yamamoto K, Yakushijin K, Sanada Y, Kawamoto S, Nakamachi Y, Kawano S, Matsuoka H, Minami H: Conversion from nuclear bilobation to indentation in BCR/ABL1-positive acute myeloid leukemia lacking CD34 and HLA-DR expression. *Ann Hematol*, 2015; 94: 177-179. (PMID: 24923453)
- ※ ¶ (25) Nakamachi Y, Ohnuma K, Uto K, Noguchi Y, Saegusa J, Kawano S: MicroRNA-124 inhibits the progression of adjuvant-induced arthritis in rats. *Ann Rheum Dis*, 2015. (PMID: 25596157)
- (26) Hiraishi M, Tanaka H, Motoji Y, Sawa T, Tsuji T, Miyoshi T, Imanishi J, Kaneko A, Matsumoto K, Shinke T, Hirata K: Impact of Right Ventricular Geometry on Mitral Regurgitation After Transcatheter Closure of Atrial Septal Defect. *Int Heart J*, 2015; 56: 516-521. (PMID: 26370370)

総 説

- (1) Tanaka H, Hirata KI: Is speckle tracking actually helpful for cardiac resynchronization therapy. *J Echocardiogr*, 2016. (PMID: 26767529)
- § (2) Hsu DK, Yang RY, Saegusa J, Liu FT: Analysis of the intracellular role of galectins in cell growth and apoptosis. *Methods Mol Biol*, 2015; 1207: 451-463. (PMID: 25253158)

邦 文

論 文

原 著

- ※ § (1) 渡邊勇気, 佐藤伊都子, 林伸英, 藤岡由夫, 河野誠司: 選択的可溶化法を用いた改良 LDL コレステロール測定試薬の評価, *医学検査*, 2015; 64 巻, 210-215 頁 (医中誌 ID: 2015218270)
- ※(2) 石田奈美, 佐藤伊都子, 林伸英, 三枝淳, 河野誠司: 高速凝固採血管の検査値の評価 トロンビン添加による検査値への影響, *医学検査*, 2015; 64 巻, 236-241 頁 (医中誌 ID: 2015218274)

- ※(3) 北秋翔子, 林伸英, 佐藤伊都子, 渡辺勝紀, 三枝淳, 河野誠司: ラテックス凝集比濁法によるマトリックスメタロプロテイナーゼ-3 測定試薬における非特異反応の解析, 臨床病理, 2015; 63 巻, 427-434 頁 (医中誌 ID: 2015268087)
- § (4) 高坂仁美, 濱口浩敏, 福住典子, 沖都麦, 今西孝充, 林伸英, 河野誠司, 荻田典生: 血管炎症候群による椎骨動脈病変に対するエコーを用いた検討, Neurosonology, 2015; 28 巻, 41-44 頁 (医中誌 ID: 2016017602)
- § (5) 高坂仁美, 濱口浩敏, 福住典子, 沖都麦, 今西孝充, 林伸英, 野村佳克, 山口雅人, 河野誠司: 血管エコーが診断や病態把握に有用で、両側上肢動脈狭窄に対して血管内治療が行われた巨細胞性動脈炎の 1 症例, 脈管学, 2015; 55 巻, 95-99 頁 (医中誌 ID: 2015375203)
- ※(6) 楠木まり, 中村竜也, 小林沙織, 小林泰菜, 大沼健一郎, 矢野美由紀, 直本拓己, 中村正邦, 林伸英, 木村幸司, 荒川宜親, 吉田弘之, 荒川創一: *Streptococcus agalactiae* における β -ラクタム系薬剤低感受性化に関する検討, 日本臨床微生物学雑誌, 2015; 25 巻, 283-289 頁 (医中誌 ID: 2015406229)
- ※ § (7) 畑諒祐, 市村佳彦, 澤田有美, 山田美智子, 山崎真実, 遠山峰子, 達城行準, 小林泰菜, 中村竜也: 血液培養より *Campylobacter fetus subsp.fetus* を検出した 1 症例, 日赤検査, 2015; 48 巻, 33-36 頁 (医中誌 ID: 2015265160)
- ※(8) 城尾可奈, 荒川裕也, 野口依子, 岡崎葉子, 佐藤伊都子, 中町祐司, 林伸英, 河野誠司: コリンエステラーゼ活性が極低値だった 1 症例の遺伝子解析, 医学検査, 2016; 65 巻, 64-69 頁 (医中誌 ID: Q122420010)
- ※ § (9) 林伸英, 三枝淳, 生戸健一, 大藪智奈美, 齋藤敏晴, 佐藤伊都子, 河野誠司, 熊谷俊一: 間接蛍光抗体法による抗核抗体検査コンピューター支援型顕微鏡システムの評価, 臨床病理, 2016; 64 巻, 142-151 頁

総 説

- (1) 三枝淳, 河野誠司, 森信暁雄: 自己免疫疾患への多角的検査アプローチ 自己免疫疾患のメタボローム解析の未来 新規バイオマーカーの同定と病態解明を目指して, 臨床病理, 2015; 63 巻, 498-505 頁 (医中誌 ID: 2015241322)
- (2) 三枝淳, 蔭山豪一, 森信暁雄: メタボロームに着目した膠原病の新規治療法および診断法の開発, BIO Clinica, 2015; 30 巻, 1110-1115 頁 (医中誌 ID: 2015400217)
- ※(3) 明石健吾, 三枝淳, 森信暁雄: 膠原病および関連疾患のトピックスと臨床検査 膠原病における自己抗体の進歩, 臨床病理, 2015; 63 巻, 562-569 頁 (医中誌 ID: P618230004)

- (4) 中村竜也, 時松一成, 荒川創一: 【薬剤耐性菌感染症の早期診療-耐性菌はどう見分け、どう治療するか】 昨今の薬剤耐性菌の動向 国内・国外および院内・院外の現況, 感染と抗菌薬, 2015; 18 巻, 105-112 頁 (医中誌 ID: 2015259868)
- (5) 中村竜也: 【感染症診断の新たなツール】 新たな技術・機器 遺伝子診断 マルチターゲット, 化学療法の領域, 2015; 31 巻, 939-946 頁 (医中誌 ID: 2015239181)
- (6) 中村竜也, 吉田弘之: 【プラスミドによる薬剤耐性の菌種間伝播と施設内感染-そのサーベイランス・感染管理の在り方-】 プラスミド媒介性の薬剤耐性機構保有菌を想定した検査と解析, 化学療法の領域, 2015; 31 巻, 1520-1529 頁 (医中誌 ID: 2015290247)
- (7) 中村竜也: 【多剤耐性菌の検査と感染制御】 日常検査で報告すべき耐性菌の概要と検査法 ESBL 産生菌, 臨床と微生物, 2015; 42 巻, 541-547 頁 (医中誌 ID: 2016009569)
- (8) 中村竜也: 【多剤耐性菌の検査と感染制御】 日常検査で報告すべき耐性菌の概要と検査法 クラス C β -ラクタマーゼ産生菌, 臨床と微生物, 2015; 42 巻, 548-552 頁 (医中誌 ID: 2016009570)
- (9) 中村竜也: 【話題の感染症・微生物 2015】 (part 2)基質拡張型 β -ラクタマーゼ産生菌, INFECTION CONTROL, 2015; 24 巻, 1146-1148 頁 (医中誌 ID: 2016025460)
- (10) 中村竜也: 【必携 検査室の感染管理】 ICT メンバーとしての検査技師の業務 アウトブレイク発生時の検査技師の役割, Medical Technology, 2015; 43 巻, 1526-1531 頁 (医中誌 ID: 2016089978)

放射線部 Center for Radiology and Radiation Oncology

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Ueno Y, Maeda T, Tanaka U, Tanimura K, Kitajima K, Suenaga Y, Takahashi S, Yamada H, Sugimura K: Evaluation of interobserver variability and diagnostic performance of developed MRI-based radiological scoring system for invasive placenta previa. J Magn Reson Imaging, 2016. (PMID: 26898236)

- ※(2) Akashi M, Shibuya Y, Takahashi S, Hashikawa K, Hasegawa T, Kakei Y, Negi N, Sekitani T, Komori T: Four-dimensional computed tomography evaluation of jaw movement following mandibular reconstruction: A pilot study. *J Craniomaxillofac Surg*, 2016. (PMID: 26971400)
- (3) Nishii T, Kono AK, Tani W, Suehiro E, Negi N, Takahashi S, Sugimura K: Four-dimensional noise reduction using the time series of medical computed tomography datasets with short interval times: a static-phantom study. *PeerJ*, 2016; 4: e1680. (PMID: 26893966)
- ※ § (4) Kubota H, Takahashi S, Monzawa S, Yuasa N, Endo T, Miura T, Yuen K, Yamashita M: Pictorial review of orthotopic neobladder reconstruction: indication, normal postsurgical anatomy, and complications. *Abdom Imaging*, 2016; 41: 356-367. (PMID: 26867922)
- ※ § (5) Ueda Y, Takahashi S, Ohno N, Kyotani K, Kawamitsu H, Miyati T, Aoyama N, Ueno Y, Kitajima K, Kawakami F, Okuaki T, Tsukamoto R, Yanagita E, Sugimura K: Triexponential function analysis of diffusion-weighted MRI for diagnosing prostate cancer. *J Magn Reson Imaging*, 2016; 43: 138-148. (PMID: 26119033)
- § (6) Tsurusaki M, Sofue K, Isoda H, Okada M, Kitajima K, Murakami T: Comparison of gadoxetic acid-enhanced magnetic resonance imaging and contrast-enhanced computed tomography with histopathological examinations for the identification of hepatocellular carcinoma: a multicenter phase III study. *J Gastroenterol*, 2016; 51: 71-79. (PMID: 26130441)
- § (7) Sofue K, Mileto A, Dale BM, Zhong X, Bashir MR: Interexamination repeatability and spatial heterogeneity of liver iron and fat quantification using MRI-based multistep adaptive fitting algorithm. *J Magn Reson Imaging*, 2015; 42: 1281-1290. (PMID: 25920074)
- (8) Sofue K, Sirlin CB, Allen BC, Nelson RC, Berg CL, Bashir MR: How reader perception of capsule affects interpretation of washout in hypervascular liver nodules in patients at risk for hepatocellular carcinoma. *J Magn Reson Imaging*, 2015. (PMID: 26559157)
- § (9) Sofue K, Arai Y, Takeuchi Y, Tsurusaki M, Sakamoto N, Sugimura K: Ultrasonography-guided central venous port placement with subclavian vein access in pediatric oncology patients. *J Pediatr Surg*, 2015; 50: 1707-1710. (PMID: 26100692)
- § (10) Sofue K, Marin D, Jaffe TA, Nelson RC, Bashir MR: Can combining triple-arterial phase acquisition with fluoroscopic triggering provide both optimal early and late hepatic arterial phase images during gadoxetic acid-enhanced MRI. *J Magn Reson Imaging*, 2015. (PMID: 26469796)
- § (11) Sofue K, Vikraman DS, Jaffe TA, Chaubal GN, Bashir MR: Graft Kidney Torsion After Simultaneous Kidney-Pancreas Transplant: Report of 2 Cases and Literature Review. *J Comput Assist Tomogr*, 2015; 39: 506-509. (PMID: 25853775)
- ※ § ¶ (12) Ueno Y, Takahashi S, Ohno Y, Kitajima K, Yui M, Kassai Y, Kawakami F, Miyake H, Sugimura K: Computed diffusion-weighted MRI for prostate cancer detection: the influence of the combinations of b-values. *Br J Radiol*, 2015; 88: 20140738. (PMID: 25605347)

- ※(13) Kitajima K, Suenaga Y, Ueno Y, Maeda T, Ebina Y, Yamada H, Okunaga T, Kubo K, Sofue K, Kanda T, Tamaki Y, Sugimura K: Preoperative risk stratification using metabolic parameters of 18F-FDG PET/CT in patients with endometrial cancer. *Eur J Nucl Med Mol Imaging*, 2015; 42: 1268-1275. (PMID: 25833351)
- ※¶(14) Nishikawa M, Miyake H, Kitajima K, Takahashi S, Sugimura K, Fujisawa M: Preoperative differentiation between benign and malignant renal masses smaller than 4cm treated with partial nephrectomy. *Int J Clin Oncol*, 2015; 20: 150-155. (PMID: 24526391)

総 説

- § (1) Mileto A, Sofue K, Marin D: Imaging the renal lesion with dual-energy multidetector CT and multi-energy applications in clinical practice: what can it truly do for you. *Eur Radiol*, 2016. (PMID: 26801162)
- § (2) Yamashita Y, Murayama S, Okada M, Watanabe Y, Kataoka M, Kaji Y, Imamura K, Takehara Y, Hayashi H, Ohno K, Awai K, Hirai T, Kojima K, Sakai S, Matsunaga N, Murakami T, Yoshimitsu K, Gabata T, Matsuzaki K, Tohno E, Kawahara Y, Nakayama T, Monzawa S, Takahashi S: The essence of the Japan Radiological Society/Japanese College of Radiology Imaging Guideline. *Jpn J Radiol*, 2016; 34: 43-79. (PMID: 26627893)

邦 文

論 文

総 説

- ※(1) 岡田卓也, 山口雅人, 片山直人, MuradiAkhmadu, 上嶋英介, 小出裕, 祖父江慶太郎, 杉本幸司: 門脈圧亢進症 PTO、TIO など, *IVR: Interventional Radiology*, 2015; 30 巻, 166-171 頁 (医中誌 ID: 2015305928)
- ※§(2) 大野良治, 片田和広, 高橋哲, 中浦猛, 林宏光, 辻岡勝美, 宮下宗治, 小林泰之, 陣崎雅弘: 【Multislice CT 2015 BOOK】 CT その現状と未来, *映像情報 Medical*, 2015; 47 巻, 13-31 頁 (医中誌 ID: 2016022656)
- (3) 高橋哲: 腎臓の造影 CT に何パターンかのプロトコルを準備しておけばよいのか?, *臨床画像*, 2015; 31 巻, 257-262 頁 (医中誌 ID: 2015128967)
- (4) 高橋哲: 【Dual energy CT の現状と展望-次世代の標準的 CT に向けて-】 泌尿器, *臨床画像*, 2015; 31 巻, 490-497 頁 (医中誌 ID: 2015175038)

- (5) 高橋哲: 【後期研修医がおさえておきたい泌尿器疾患アトラス】 知っておくと役に立つとおきの画像集, 泌尿器外科, 2015; 28 巻, 251-265 頁 (医中誌 ID: 2015190029)
- (6) 高橋哲: 【最新画像の原理と臨床】 最新の CT によって CT urography は小児を対象とする検査となりうるのか?, 小児外科, 2015; 47 巻, 464-468 頁 (医中誌 ID: 2015257639)
- (7) 高橋哲: 【Multislice CT 2015 BOOK】 臨床 Low kV SOMATOM Force が示す今後の CT 検査の方向性, 映像情報 Medical, 2015; 47 巻, 122-125 頁 (医中誌 ID: 2016022667)
- (8) 高橋哲: 【救急画像診断のすべて】 内因性疾患 泌尿生殖器 泌尿器 尿路結石症, 臨床放射線, 2015; 60 巻, 1802-1808 頁 (医中誌 ID: 2016074441)
- ※(9) 上野嘉子, 田中宇多留, 高橋哲, 三宅秀明, 杉村和朗: 【骨盤部感染症の画像診断-迅速な診断と治療のストラテジー-】 泌尿器領域の骨盤内感染症, 画像診断, 2015; 36 巻, 51-58 頁 (医中誌 ID: 2016089650)

輸血・細胞治療部 Department of Transfusion Medicine and Cell Therapy

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Sanada Y, Yakushijin K, Nomura T, Chayahara N, Toyoda M, Minami Y, Kiyota N, Mukohara T, Kawamoto S, Ito M, Matsuoka H, Minami H: A prospective study on the efficacy of two-dose influenza vaccinations in cancer patients receiving chemotherapy. *Jpn J Clin Oncol*, 2016. (PMID: 26977053)
- § (2) Shinohara H, Kumazaki M, Minami Y, Ito Y, Sugito N, Kuranaga Y, Taniguchi K, Yamada N, Otsuki Y, Naoe T, Akao Y: Perturbation of energy metabolism by fatty-acid derivative AIC-47 and imatinib in BCR-ABL-harboring leukemic cells. *Cancer Lett*, 2016; 371: 1-11. (PMID: 26607903)
- § (3) Niwa Y, Minami Y, Abe A, Hayakawa F, Yamada K, Naoe T: Wnt signaling is associated with cell survival in the interaction between acute myeloid leukemia cells and stromal cells. *Leuk Lymphoma*, 2016. (PMID: 26727242)

- § (4) Imagawa J, Tanaka H, Okada M, Nakamae H, Hino M, Murai K, Ishida Y, Kumagai T, Sato S, Ohashi K, Sakamaki H, Wakita H, Uoshima N, Nakagawa Y, Minami Y, Ogasawara M, Takeoka T, Akasaka H, Utsumi T, Uike N, Sato T, Ando S, Usuki K, Morita S, Sakamoto J, Kimura S; DADI Trial Group: Discontinuation of dasatinib in patients with chronic myeloid leukaemia who have maintained deep molecular response for longer than 1 year (DADI trial): a multicentre phase 2 trial. *Lancet Haematol*, 2015; 2: e528-e535. (PMID: 26686407)
- § ¶(5) Shinohara H, Taniguchi K, Kumazaki M, Yamada N, Ito Y, Otsuki Y, Uno B, Hayakawa F, Minami Y, Naoe T, Akao Y: Anti-cancer fatty-acid derivative induces autophagic cell death through modulation of PKM isoform expression profile mediated by bcr-abl in chronic myeloid leukemia. *Cancer Lett*, 2015; 360: 28-38. (PMID: 25644089)
- ※(6) Kakiuchi S, Yakushijin K, Yamamoto K, Tomioka H, Inui Y, Okamura A, Kawamoto S, Minami Y, Murayama T, Ito M, Matsuoka H, Minami H: Rhabdomyolysis Caused by *Candida parapsilosis* in a Patient with Acute Myeloid Leukemia after Bone Marrow Transplantation. *Intern Med*, 2015; 54: 2057-2060. (PMID: 26278302)
- (7) Minami Y: Overview: Cancer Stem Cell and Tumor Environment. *Oncology*, 2015; 89: 22-24. (PMID: 26551001)

邦 文

論 文

原 著

- (1) 上田真弘, 早川郁代, 橋本誠, 南陽介, 南博信: 第 1 子新生児同種免疫性血小板減少症 (NAIT)であった妊婦の第 2 子妊娠管理, *日本輸血細胞治療学会誌*, 2015; 61 巻, 52-53 頁 (医中誌 ID: 2015234159)

総 説

- ※(1) 南陽介, 垣内誠司: 造血器腫瘍に対する Hedgehog シグナル標的療法の展望, *血液内科*, 2015; 71 巻, 656-659 頁 (医中誌 ID: 2016058906)
- (2) 南陽介: 【分子標的治療を含む併用療法】 造血器腫瘍における分子標的治療の耐性と併用療法による克服, *がん分子標的治療*, 2015; 13 巻, 346-351 頁 (医中誌 ID: 2015359459)

英 文

論 文

原 著

- § (1) Fu XJ, Nozu K, Kaito H, Ninchoji T, Morisada N, Nakanishi K, Yoshikawa N, Ohtsubo H, Matsunoshita N, Kamiyoshi N, Matsumura C, Takagi N, Maekawa K, Taniguchi-Ikeda M, Iijima K: Somatic mosaicism and variant frequency detected by next-generation sequencing in X-linked Alport syndrome. *Eur J Hum Genet*, 2016; 24: 387-391. (PMID: 26014433)
- ※(2) Toyoshima D, Morisada N, Takami Y, Kidokoro H, Nishiyama M, Nakagawa T, Ninchoji T, Nozu K, Takeshima Y, Takada S, Nishio H, Iijima K: Rituximab treatment for relapsed opsoclonus-myoclonus syndrome. *Brain Dev*, 2016; 38: 346-349. (PMID: 26375512)
- (3) Yamamura T, Morisada N, Nozu K, Minamikawa S, Ishimori S, Toyoshima D, Ninchoji T, Yasui M, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Nakanishi K, Nishio H, Iijima K: Rare renal ciliopathies in non-consanguineous families that were identified by targeted resequencing. *Clin Exp Nephrol*, 2016. (PMID: 26968886)
- (4) Shinozaki N, Ebina Y, Deguchi M, Tanimura K, Morizane M, Yamada H: Protein S deficiency complicated pregnancy in women with recurrent pregnancy loss. *Gynecol Endocrinol*, 2016. (PMID: 26941215)
- ※(5) Nishida K, Morioka I, Nakamachi Y, Kobayashi Y, Imanishi T, Kawano S, Iwatani S, Koda T, Deguchi M, Tanimura K, Yamashita D, Nibu K, Funakoshi T, Ohashi M, Inoue N, Iijima K, Yamada H: Neurological outcomes in symptomatic congenital cytomegalovirus-infected infants after introduction of newborn urine screening and antiviral treatment. *Brain Dev*, 2016; 38: 209-216. (PMID: 26282917)
- § (6) Matsunoshita N, Nozu K, Shono A, Nozu Y, Fu XJ, Morisada N, Kamiyoshi N, Ohtsubo H, Ninchoji T, Minamikawa S, Yamamura T, Nakanishi K, Yoshikawa N, Shima Y, Kaito H, Iijima K: Differential diagnosis of Bartter syndrome, Gitelman syndrome, and pseudo-Bartter/Gitelman syndrome based on clinical characteristics. *Genet Med*, 2016; 18: 180-188. (PMID: 25880437)
- § (7) Nishida M, Hashimoto F, Kaito H, Nozu K, Iijima K, Asada D, Hamaoka K: Combined Alport syndrome and Klinefelter syndrome. *Pediatr Int*, 2016; 58: 152-155. (PMID: 26554353)

- ※(8) Kato T, Mandai T, Iwatani S, Koda T, Nagasaka M, Fujita K, Kurokawa D, Yamana K, Nishida K, Taniguchi-Ikeda M, Tanimura K, Deguchi M, Yamada H, Iijima K, Morioka I: Extremely preterm infants small for gestational age are at risk for motor impairment at 3years corrected age. *Brain Dev*, 2016; 38: 188-195. (PMID: 26265090)
- ※(9) Ueno Y, Maeda T, Tanaka U, Tanimura K, Kitajima K, Suenaga Y, Takahashi S, Yamada H, Sugimura K: Evaluation of interobserver variability and diagnostic performance of developed MRI-based radiological scoring system for invasive placenta previa. *J Magn Reson Imaging*, 2016. (PMID: 26898236)
- ※(10) Taniguchi-Ikeda M, Takeshima Y, Lee T, Nishiyama M, Awano H, Yagi M, Unzaki A, Nozu K, Nishio H, Matsuo M, Kurahashi H, Toda T, Morioka I, Iijima K: Next-generation sequencing discloses a nonsense mutation in the dystrophin gene from long preserved dried umbilical cord and low-level somatic mosaicism in the proband mother. *J Hum Genet*, 2016. (PMID: 26740235)
- § (11) Higa A, Shima Y, Hama T, Sato M, Mukaiyama H, Togawa H, Tanaka R, Nozu K, Sako M, Iijima K, Nakanishi K, Yoshikawa N: Long-term outcome of childhood IgA nephropathy with minimal proteinuria. *Pediatr Nephrol*, 2015; 30: 2121-2127. (PMID: 26238276)
- § (12) Horinouchi T, Nozu K, Hamahira K, Inaguma Y, Abe J, Nakajima H, Kugo M, Iijima K: *Yersinia pseudotuberculosis* infection in Kawasaki disease and its clinical characteristics. *BMC Pediatr*, 2015; 15: 177. (PMID: 26561332)
- § (13) Fu XJ, Nozu K, Eguchi A, Nozu Y, Morisada N, Shono A, Taniguchi-Ikeda M, Shima Y, Nakanishi K, Vorechovsky I, Iijima K: X-linked Alport syndrome associated with a synonymous p.Gly292Gly mutation alters the splicing donor site of the type IV collagen alpha chain 5 gene. *Clin Exp Nephrol*, 2015. (PMID: 26581810)
- ※(14) Shirakawa T, Miyahara Y, Tanimura K, Morita H, Kawakami F, Itoh T, Yamada H: Expression of Epithelial-Mesenchymal Transition-related Factors in Adherent Placenta. *Int J Gynecol Pathol*, 2015; 34: 584-589. (PMID: 26447356)
- § (15) Miyake N, Tsukaguchi H, Koshimizu E, Shono A, Matsunaga S, Shiina M, Mimura Y, Imamura S, Hirose T, Okudela K, Nozu K, Akioka Y, Hattori M, Yoshikawa N, Kitamura A, Cheong HI, Kagami S, Yamashita M, Fujita A, Miyatake S, Tsurusaki Y, Nakashima M, Saitsu H, Ohashi K, Imamoto N, Ryo A, Ogata K, Iijima K, Matsumoto N: Biallelic Mutations in Nuclear Pore Complex Subunit NUP107 Cause Early-Childhood-Onset Steroid-Resistant Nephrotic Syndrome. *Am J Hum Genet*, 2015; 97: 555-566. (PMID: 26411495)
- § (16) Hisamatsu C, Maeda K, Aida Y, Yasufuku M, Ninchoji T, Kaito H, Nozu K, Iijima K, Nishijima E: A novel technique of catheter placement with fibrin glue to prevent pericatheter leakage and to enable no break-in period in peritoneal dialysis. *J Pediatr Urol*, 2015; 11: 299-300. (PMID: 26320395)

- § (17) Kato T, Morisada N, Nagase H, Nishiyama M, Toyoshima D, Nakagawa T, Maruyama A, Fu XJ, Nozu K, Wada H, Takada S, Iijima K: Somatic mosaicism of a CDKL5 mutation identified by next-generation sequencing. *Brain Dev*, 2015; 37: 911-915. (PMID: 25819767)
- § (18) Kamiyoshi N, Nozu K, Urahama Y, Matsunoshita N, Yamamura T, Minamikawa S, Ninchoji T, Morisada N, Nakanishi K, Kaito H, Iijima K: Pathogenesis of hypokalemia in autosomal dominant hypocalcemia type 1. *Clin Exp Nephrol*, 2015. (PMID: 26323216)
- ※(19) Tanimura K, Nishikawa A, Tairaku S, Shinozaki N, Deguchi M, Morizane M, Ebina Y, Morioka I, Yamada H: The IgG avidity value for the prediction of *Toxoplasma gondii* infection in the amniotic fluid. *J Infect Chemother*, 2015; 21: 668-671. (PMID: 26141811)
- ※(20) Ebina Y, Minematsu T, Morioka I, Deguchi M, Tairaku S, Tanimura K, Sonoyama A, Nagamata S, Morizane M, Yamada H: Rapid increase in the serum Cytomegalovirus IgG avidity index in women with a congenitally infected fetus. *J Clin Virol*, 2015; 66: 44-47. (PMID: 25866335)
- § (21) Ebina Y, Ieko M, Naito S, Kobashi G, Deguchi M, Minakami H, Atsumi T, Yamada H: Low levels of plasma protein S, protein C and coagulation factor XII during early pregnancy and adverse pregnancy outcome. *Thromb Haemost*, 2015; 114: 65-69. (PMID: 25879167)
- ※ § ¶ (22) Tanimura K, Jin H, Suenaga T, Morikami S, Arase N, Kishida K, Hirayasu K, Kohyama M, Ebina Y, Yasuda S, Horita T, Takasugi K, Ohmura K, Yamamoto K, Katayama I, Sasazuki T, Lanier LL, Atsumi T, Yamada H, Arase H: β 2-glycoprotein I / HLA class II complexes are novel autoantigens in antiphospholipid syndrome. *Blood*, 2015. (PMID: 25733579)
- (23) Astuti Y, Nakabayashi K, Deguchi M, Ebina Y, Yamada H: Human Recombinant H2 Relaxin Induces AKT and GSK3 β Phosphorylation and HTR-8/SVneo Cell Proliferation. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E1-E8. (PMID: 25868609)
- ※ ¶ (24) Tanimura K, Yamasaki Y, Ebina Y, Deguchi M, Ueno Y, Kitajima K, Yamada H: Prediction of adherent placenta in pregnancy with placenta previa using ultrasonography and magnetic resonance imaging. *Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol*, 2015; 187C: 41-44. (PMID: 25748486)
- § (25) Iijima K, Sako M, Nozu K: Rituximab Treatment for Nephrotic Syndrome in Children. *Curr Pediatr Rep*, 2015; 3: 71-77. (PMID: 25741456)
- § (26) Koh H, Tanimura K, Nakashima Y, Maruo M, Sakai K, Ueda Y, Yamada H: Changes in Gestational Weight Gain and Birth Weight in Women who Delivered at Hyogo Prefectural Kaibara Hospital in Tamba, Japan during 27 Years. *Kobe J Med Sci*, 2015; 61: E82-E88. (PMID: 27323787)

邦 文

書 籍

分担執筆

- (1) 出口雅士, 谷村憲司, 山田秀人: 抗リン脂質抗体症候群と妊娠・分娩. 鈴木重統, 金山尚裕 編, 止血・血栓ハンドブック, 西村書店, 2015: 332-339 頁
- (2) 谷村憲司, 山田秀人: 【病態生理・保健指導・分娩管理 事例で学ぶハイリスク妊娠 3 ステップ】 甲状腺疾患合併妊娠(解説/特集). 今中基晴 編, ペリネイタルケア, メディカ出版, 2015: 599-605 頁
- (3) 谷村憲司, 平久進也, 山田秀人: 【母子感染 Update】 トキソプラズマ(解説/特集). 山田秀人 編, 医学のあゆみ, 医歯薬出版株式会社, 2015: 1227-1231 頁
- ※(4) 谷村憲司, 森岡一朗, 山田秀人: 注目の Topics サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染の予防と胎児治療. 山田秀人 編, Fetal & Neonatal Medicine, メディカルレビュー社, 2015: 26-29 頁
- (5) 谷村憲司, 山田秀人: 産科感染症の管理と治療 STD. 吉川史隆, 倉智博久, 平松祐司 編, 産科婦人科疾患 最新の治療 2016-2018, 南江堂, 2016: 172-175 頁
- (6) 谷村憲司, 山田秀人: 寄生虫 抗トキソプラズマ抗体. 三橋知明 編, 臨床検査ガイド 2015 年改訂版 これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた, 文光堂, 2015: 945-948 頁
- ※ § (7) 谷村憲司, 山田秀人, 荒瀬尚: β 2-グリコプロテイン-I/HLA classII 複合体は抗リン脂質抗体症候群の標的抗原である. 臨床免疫・アレルギー科, 科学評論社, 2016: 112-118 頁
- (8) 谷村憲司, 山田秀人: 周産期感染症の管理と処置 HIV. 全国周産期医療 (MFICU) 連絡協議会 編, 改訂 3 版 MFICU マニュアル, メディカ出版, 2015: 575-579 頁

論 文

原 著

- ※(1) 野村晃子, 平久進也, 谷村憲司, 出口雅士, 山田秀人, 池田真理子, 戸田達史: 電撃性紫斑病(重症型先天性プロテイン C 欠損症)の出生前診断を行った 2 例, 兵庫県母性衛生学会雑誌, 2015, 39-42 頁 (医中誌 ID: 2016122718)

総 説

- ※(1) 谷村憲司, 森岡一朗, 山田秀人: サイトメガロウイルスの治療 先天性サイトメガロウイルス感染の予防と胎児治療, *Fetal & Neonatal Medicine*, 2015; 7 巻, 26-29 頁
- ※(2) 蝦名康彦, 平久進也, 森岡一朗, 出口雅士, 山田秀人: パルボウイルス B19 母子感染 全国産科施設を対象とした実態調査, *小児科*, 2015; 56 巻, 191-198 頁 (医中誌 ID: 2015143541)
- (3) 出口雅士, 山田秀人: 【母子感染 Update】 妊娠とサイトメガロウイルス CMV 母子感染対策の現状と問題点, *医学のあゆみ*, 2015; 253 巻, 1215-1219 頁 (医中誌 ID: 2015260034)
- §(4) 出口雅士, 前澤陽子, 武田真光, 山田秀人: 【Stop the 流産】 難治性不育症に対する高用量免疫グロブリン療法, *産婦人科の実際*, 2015; 64 巻, 797-803 頁 (医中誌 ID: 2015259820)
- ※(5) 蝦名康彦, 平久進也, 森岡一朗, 出口雅士, 森實真由美, 山田秀人: 【伝染性紅斑を見直す】 母子感染の実態 全国産科施設を対象とした実態調査, *小児科*, 2015; 56 巻, 1867-1873 頁 (医中誌 ID: 2016024971)
- (6) 出口雅士: 妊娠中のサイトメガロウイルス検査とその解釈, *産婦人科の進歩*, 2015; 67 巻, 140-144 頁 (医中誌 ID: 2015212885)

救急部 Department of Emergency Medicine

英 文

論 文

原 著

- (1) Saori Otsubo, Takashi Nishiyama, Naoki Okada, Yukihiro Ando, Katsumi Yamada, Yuji Maeda, and Yusuke Nishimura: Ventricular fibrillation by anaphylaxis following consumption of blue-skinned fish. *ACUTE MEDICINE SURGERY*, 2015: 1: 1.

集中治療部 Department of Critical Care

英 文

論 文

原 著

- (1) Okada T, Egi M, Sato H, Nomura Y, Okada M, Izuta S, Mizobuchi S: A case of delayed respiratory depression caused by accidental subcutaneous opioid infusion. *J Anesth*, 2016. (PMID: 26762999)

邦 文

論 文

原 著

- (1) 高岡悠子, 出田眞一郎, 三住拓誉, 黒田大介, 前川信博, 溝渕知司: 胸腔鏡下食道切除術時の術中体位が術後患者状態に与える影響に関する後ろ向き観察研究, *日本臨床麻酔学会誌*, 2015; 35 巻, 701-706 頁 (医中誌 ID: 2016057743)

総 説

- (1) 出田眞一郎, 中馬理一郎: 【院内急変】 内科病棟入院中の肝硬変・肝癌患者が大量吐血 主治医が来るまでになすべきこと, *LiSA*, 2015; 22 巻, 622-626 頁 (医中誌 ID: 2015243485)

手術部 Department of Surgical Care

英 文

論 文

原 著

- § (1) Sakamoto Y, Yanamoto S, Ota Y, Furudo S, Komori T, Umeda M: Magnitude of Myocutaneous Flaps and Factors Associated With Loss of Volume in Oral Cancer Reconstructive Surgery. *J Oral Maxillofac Surg*, 2015. (PMID: 26460885)
- ※(2) Sakakibara A, Furudo S, Sakakibara S, Kaji M, Shigeta T, Matsui T, Minamikawa T, Komori T: Tunnel Technique for the Closure of an Oroantral Fistula with a Pedicled Palatal Mucoperiosteal Flap. *J Maxillofac Oral Surg*, 2015: 14: 868-874. (PMID: 26225093)
- (3) Arimoto S, Hasegawa T, Okamoto N, Shioyasono A, Tateishi C, Akashi M, Suzuki H, Furudo S, Komori T: Determining the location of the internal maxillary artery on ultrasonography and unenhanced magnetic resonance imaging before orthognathic surgery. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015: 44: 977-983. (PMID: 25986293)
- (4) Sakakibara A, Suzuki H, Yamashita A, Hasegawa T, Minamikawa T, Furudo S, Komori T: Facial emphysema after sinus lift. *J Surg Case Rep*, 2015: 6: 1-4. (PMID: 26088054)
- ※(5) Sakakibara A, Minamikawa T, Hashikawa K, Sakakibara S, Hasegawa T, Akashi M, Furudo S, Komori T: Does Salivary Duct Repositioning Prevent Complications After Tumor Resection or Salivary Gland Surgery? *J Oral Maxillofac Surg*, 2015: 73: 1003-1007. (PMID: 25795185)
- ※(6) Akashi M, Furudo S, Hashikawa K, Sakakibara A, Hasegawa T, Shigeta T, Minamikawa T, Komori T: Postoperative abnormal response of C-reactive protein as an indicator for infectious complications after oral oncologic surgery with primary reconstruction. *J Otolaryngol Head Neck Surg*, 2015: 44: 13. (PMID: 25888882)
- (7) Hasegawa T, Tateishi C, Asai M, Imai Y, Okamoto N, Shioyasono A, Kimoto A, Akashi M, Suzuki H, Furudo S, Komori T: Retrospective study of changes in the sensitivity of the oral mucosa: sagittal split ramus osteotomy (SSRO) versus intraoral vertical ramus osteotomy (IVRO). *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015: 44: 349-355. (PMID: 25468631)

邦 文

論 文

原 著

- (1) 楠元順哉, 古土井春吾, 榊原晶子, 畑みどり, 明石昌也, 古森孝英: 頭頸部領域における壊死性筋膜炎に対する LRINEC score の有用性の検討, 日本口腔外科学会雑誌, 2015; 61 巻, 505-512 頁 (医中誌 ID: 2016042160)
- (2) 岩田英治, 明石昌也, 後藤育子, 古土井春吾, 古森孝英: 薬剤関連性顎骨壊死(MRONJ) の 1 例, 日本口腔診断学会雑誌, 2015; 28 巻, 208-212 頁 (医中誌 ID: 2016041788)
- (3) 岩田英治, 古土井春吾, 楠元順哉, 明石昌也, 後藤育子, 古森孝英: 頸部郭清術後に中毒性巨大結腸症を併発した偽膜性腸炎を発症した 1 例, 日本口腔感染症学会雑誌, 2015; 22 巻, 12-16 頁 (医中誌 ID: 2015288986)
- §(4) 首藤敦史, 岸本裕充, 野口一馬, 大西正信, 石田佳毅, 小林正樹, 藤原成祥, 橘進彰, 安田真也, 末松基生, 北村龍二, 河合峰雄, 網野かよ子, 薬師寺登, 赤澤登, 柳澤高道, 谷垣信吾, 古土井春吾, 古森孝英, 足立了平: 兵庫県病院歯科における薬剤関連顎骨壊死の多施設共同調査報告, 日本口腔感染症学会雑誌, 2015; 22 巻, 5-11 頁 (医中誌 ID: 2015288985)

総 説

- (1) 古土井春吾, 溝渕知司, 山原敦子: 手術室改築期間中の手術件数維持を目指した手術室運用, 日本手術医学会誌, 2015; 36 巻, 271-273 頁 (医中誌 ID: P925460023)
- (2) 古土井春吾, 古森孝英: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 BP 製剤投与患者の抜歯, 歯科医療, 2015; 29 巻, 53-61 頁 (医中誌 ID: 2015138848)
- (3) 古森孝英, 明石昌也, 鈴木泰明, 榊原晶子, 木本明, 南川勉, 長谷川巧実, 古土井春吾: 【全身疾患と抜歯-最新の知識による適切な対応-】 全身疾患を有する患者の抜歯の際に注意すべき基本的事項, 歯科医療, 2015; 29 巻, 4-10 頁 (医中誌 ID: 2015138841)
- (4) 古土井春吾: 手術室から学ぶ歯科医療現場の感染予防対策, 日本口腔感染症学会雑誌, 2015; 22 巻, 47-51 頁
- ※(5) 向山順子, 小幡典彦, 溝渕知司, 掛地吉弘: 【外科修練医必修 新外科専門医到達のための特別講義】 麻酔科学 硬膜外麻酔の原理, 外科, 2015; 77 巻, 1452-1455 頁 (医中誌 ID: 2016025841)

英 文

論 文

原 著

- § (1) Chinzei N, Hashimoto S, Fujishiro T, Hayashi S, Kanzaki N, Uchida S, Kuroda R, Kurosaka M: Inflammation and Degeneration in Cartilage Samples from Patients with Femoroacetabular Impingement. *J Bone Joint Surg Am*, 2016; 98: 135-141. (PMID: 26791034)
- ※ § (2) Miyazaki S, Kakutani K, Maeno K, Takada T, Yurube T, Kurosaka M, Nishida K: Surgical debridement with retention of spinal instrumentation and long-term antimicrobial therapy for multidrug-resistant surgical site infections after spinal surgery: a case series. *Int Orthop*, 2015. (PMID: 26686674)
- (3) Hayashi S, Fujishiro T, Hashimoto S, Kanzaki N, Chinzei N, Kihara S, Takayama K, Matsumoto T, Nishida K, Kurosaka M, Kuroda R: p21 deficiency is susceptible to osteoarthritis through STAT3 phosphorylation. *Arthritis Res Ther*, 2015; 17: 314. (PMID: 26546411)
- § (4) Miyazaki S, Kakutani K, Yurube T, Maeno K, Takada T, Zhang Z, Kurakawa T, Terashima Y, Ito M, Ueha T, Matsushita T, Kuroda R, Kurosaka M, Nishida K: Recombinant human SIRT1 protects against nutrient deprivation-induced mitochondrial apoptosis through autophagy induction in human intervertebral disc nucleus pulposus cells. *Arthritis Res Ther*, 2015; 17: 253. (PMID: 26373839)
- ※ § (5) Chinzei N, Hiranaka T, Niikura T, Fujishiro T, Hayashi S, Kanzaki N, Hashimoto S, Sakai Y, Kuroda R, Kurosaka M: Accurate and Easy Measurement of Sliding Distance of Intramedullary Nail in Trochanteric Fracture. *Clin Orthop Surg*, 2015; 7: 152-157. (PMID: 26217459)
- ※ (6) Chinzei N, Hayashi S, Ueha T, Fujishiro T, Kanzaki N, Hashimoto S, Sakata S, Kihara S, Haneda M, Sakai Y, Kuroda R, Kurosaka M: P21 deficiency delays regeneration of skeletal muscular tissue. *PLoS One*, 2015; 10: e0125765. (PMID: 25942471)
- (7) Hayashi S, Fujishiro T, Hashimoto S, Kanzaki N, Kuroda R, Kurosaka M: The contributing factors of tapered wedge stem alignment during mini-invasive total hip arthroplasty. *J Orthop Surg Res*, 2015; 10: 52. (PMID: 25895960)

邦 文

論 文

原 著

- § (1) 西田康太郎, 高田徹, 前野耕一郎, 角谷賢一郎, 由留部崇, 蔵川拓外, 宮崎真吾, 寺嶋良樹, 伊藤雅明, 黒坂昌弘: 重症骨粗鬆症に伴う多発脊椎椎体骨折に対する手術的治療の問題点と対策, *Journal of Spine Research*, 2015; 6 巻, 1535-1538 頁 (医中誌 ID: 2016042091)
- § (2) 西田康太郎, 角谷賢一郎, 前野耕一郎, 高田徹, 由留部崇, 山本潤哉, 平田裕亮, 蔵川拓外, 酒井大輔, 持田讓治, 舛田浩一, 森田有亮, 黒坂昌弘: 椎間板変性と臨床 未来への展望 椎間板変性の発生機序と臨床との関連について, *日本整形外科学会雑誌*, 2015; 89 巻, 579-584 頁 (医中誌 ID: 2015405823)
- § (3) 伊藤雅明, 武岡由樹, 鈴木哲平, 角谷賢一郎, 西田康太郎: ハイリスク小児脊椎疾患に対する脊椎手術の周術期合併症についての検討, *Journal of Spine Research*, 2015; 6 巻, 415 頁 (医中誌 ID: 2015347344)
- § (4) 角谷賢一郎, 西田康太郎, 前野耕一郎, 高田徹, 由留部崇, 蔵川拓外, 宮崎真吾, 寺嶋良樹, 伊藤雅明, MasudaKoichi, 森田有亮, 黒坂昌弘: 【整形外科基礎の最前線 2015】椎間板変性の機序と再生の可能性 基礎研究から臨床研究まで, *関節外科*, 2015; 34 巻, 27-39 頁 (医中誌 ID: 2015222235)
- (5) 羽田勝彦, 神崎至幸, 藤代高明, 鎮西伸顕, 木原伸介, 黒田良祐, 黒坂昌弘: 距骨外側突起骨折後の遺残変形に対する足部内視鏡下手術, *日本足の外科学会雑誌*, 2015; 36 巻, 374-377 頁 (医中誌 ID: 2016080197)
- ※ § (6) 神崎至幸, 高倉義典, 高倉義幸, 杜多昭彦, 鎮西伸顕, 黒田良祐, 黒坂昌弘: 人工足関節置換術において術前可動域は術後可動域に影響を与えるか?, *日本足の外科学会雑誌*, 2015; 36 巻, 70-72 頁 (医中誌 ID: 2016080121)

英 文

論 文

原 著

- § (1) Akizawa T, Tsubakihara Y, Hirakata H, Watanabe Y, Hase H, Nishi S, Babazono T, Kumagai M, Katakura S, Uemura Y, Ohashi Y; JET-STREAM Study Group: A prospective observational study of early intervention with erythropoietin therapy and renal survival in non-dialysis chronic kidney disease patients with anemia: JET-STREAM Study. *Clin Exp Nephrol*, 2016. (PMID: 26779906)
- § (2) Fujii H, Yonekura Y, Yamashita Y, Kono K, Nakai K, Goto S, Sugano M, Goto S, Fujieda A, Ito Y, Nishi S: Anti-oxidative effect of AST-120 on kidney injury after myocardial infarction. *Br J Pharmacol*, 2016. (PMID: 26750807)
- § (3) Fujii H, Nakai K, Yonekura Y, Kono K, Goto S, Hirata M, Shinohara M, Nishi S, Fukagawa M: The Vitamin D Receptor Activator Maxacalcitol Provides Cardioprotective Effects in Diabetes Mellitus. *Cardiovasc Drugs Ther*, 2015; 29: 499-507. (PMID: 26602563)
- ※ § (4) Yoshikawa M, Kitamura K, Ishimura T, Hara S, Fujisawa M, Nishi S: A suspected case of plasma cell-rich acute renal transplant rejection associated with de novo donor-specific antibody. *Nephrology (Carlton)*, 2015; 20: 66-69. (PMID: 26031590)
- ※ (5) Kitamura K, Nakai K, Fujii H, Ishimura T, Fujisawa M, Nishi S: Pre-Transplant Erythropoiesis-Stimulating Agent Hypo-Responsiveness and Post-Transplant Anemia. *Transplant Proc*, 2015; 47: 1820-1824. (PMID: 26293057)
- ※ § (6) Hoshino J, Yamagata K, Nishi S, Nakai S, Masakane I, Iseki K, Tsubakihara Y: Significance of the decreased risk of dialysis-related amyloidosis now proven by results from Japanese nationwide surveys in 1998 and 2010. *Nephrol Dial Transplant*, 2015. (PMID: 26206763)
- § (7) Yonekura Y, Fujii H, Nakai K, Kono K, Goto S, Shinohara M, Nishi S: Anti-oxidative Effect of the β -blocker Carvedilol on Diabetic Nephropathy in Non-obese Type 2 Diabetic Rats. *Clin Exp Pharmacol Physiol*, 2015. (PMID: 26173411)

- ¶(8) Nakai K, Fujii H, Yoshikawa M, Kono K, Yonekura Y, Goto S, Ishimura T, Takeda M, Fujisawa M, Nishi S: Effect of cinacalcet cessation on hyperparathyroidism in kidney transplant patients after long-term dialysis therapy. *Clin Exp Nephrol*, 2015. (PMID: 25782729)
- ※ § (9) Hara S, Goto S, Kamiura N, Yoshimoto A, Naito T, Imagawa N, Imai Y, Yanagita M, Nishi S, Itoh T: Reappraisal of PLA2R1 in membranous nephropathy: immunostaining method influence and association with IgG4-dominant phenotype. *Virchows Arch*, 2015. (PMID: 25820371)
- (10) Fujii H, Nakai K, Goto S, Nishi S: Clinical characteristics of very elderly patients at hemodialysis initiation. *Intern Med*, 2015; 54: 579-583. (PMID: 25786445)
- ※ § ¶ (11) Nishi S, Imai N, Yoshita K, Ito Y, Ueno M, Saeki T: Ultrastructural Studies of IgG4-related Kidney Disease. *Intern Med*, 2015; 54: 147-153. (PMID: 25743005)
- ※ § (12) Ishida R, Nakai K, Fujii H, Goto S, Hara S, Imai N, Nishi S: Elevated Expression of Pentraxin 3 in Anti-neutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Glomerulonephritis with Normal Serum C-reactive Protein. *Intern Med*, 2015; 54: 1369-1373. (PMID: 26027989)

邦 文

書 籍

共同編集

- (1) 西慎一: ネフローゼ症候群ガイド Q&A. 西慎一 編, ネフローゼ症候群, 診断と治療社, 2015: 3 頁
- (2) 西慎一: 急速進行性腎炎症候群.. 福井次矢, 高木誠, 小室一成 編, 今日の治療指針, 医学書院, 2015: 583-584 頁

分担執筆

- (1) 西慎一: 急速進行性腎炎症候群. 福井次矢, 高木誠, 小室一成 編, 今日の治療指針, 医学書院, 2015: 583-584 頁
- (2) 藤井秀毅: 高カリウム血症. 福井次矢, 高木誠, 小室一成 編, 今日の治療指針, 医学書院, 2015: 621-622 頁
- § (3) 藤井秀毅: 浮腫 (非循環器系) . 金澤一郎, 永井良三 編, 今日の診断指針, 医学書院, 2015: 38-40 頁

- ※(4) 中井健太郎, 藤井秀毅, 石原宗太郎, 藤澤正人, 西慎一. : 透析患者における腎癌治療～当院における分子標的薬を中心とした治療成績と予後因子の検討. 新田孝作 編, 最新透析医療, 医薬ジャーナル社, 2016: 753-758 頁
- (5) 藤井秀毅: 透析患者における心房細動. 新田孝作 編, 最新透析医療 先端技術との融合, 医薬ジャーナル社, 2016: 588-593 頁

論 文

原 著

- ※ § (1) 今井直史, 西慎一, 高橋香, 伊藤由美, 吉田一浩, 河野恵美子, 田崎正行, 中川由紀, 斎藤和英, 高橋公太, 成田一衛: Pentraxin 3 発現の、抗体関連型拒絶反応発症 ABO 血液型不適合移植腎における意義, 日本臨床腎移植学会雑誌, 2015; 3 巻, 62-67 頁 (医中誌 ID: 2015395442)
- (2) 吉川美喜子, 今村友紀, 吉永和正: Transplant Procurement Management (TPM) モデルの兵庫県への導入, 日本臨床腎移植学会誌, 2015; 3 巻, 55 頁

総 説

- ¶ (1) 西慎一: 先行的腎移植, 日本医師会雑誌, 2015; 143 巻, 2326 頁
- ¶ (2) 西慎一: ネフローゼ症候群の最新の知識, 成人病と生活習慣病, 2015; 45 巻, 37-41 頁
- ※ § (3) 吉川美喜子: メタボリックシンドローム, 腎と透析, 2015; 78 巻, 111-114 頁
- ¶ (4) 藤井秀毅: 透析患者の致死的不整脈 II 頻脈性不整脈(1)心房細動, 臨床透析, 2015; 31 巻, 15-21 頁
- (5) 藤井秀毅: 【透析患者の致死的不整脈-診断・治療・予防】 頻脈性不整脈 心房細動, 臨床透析, 2015; 31 巻, 381-387 頁 (医中誌 ID: 2015209941)
- (6) 藤井秀毅: 用語解説 CKD-MBD, 腎・高血圧の最新治療, 2015; 4 巻, 98 頁 (医中誌 ID: 2015189497)
- (7) 藤井秀毅: 【CKD-MBD 診療の進歩】 基礎 成因・病態解明の進歩 PTH の役割, 腎と透析, 2015; 79 巻, 405-409 頁 (医中誌 ID: 2015402404)
- (8) 渡邊健太郎, 西慎一: 【透析患者の疲労感】 透析患者と疲労 尿毒症・透析液と疲労感, 臨床透析, 2015; 31 巻, 1467-1473 頁 (医中誌 ID: 2016055923)

- (9) 中井健太郎, 西慎一: 【いま知っておきたい! 内科最新トピックス】(第11章)腎・尿路系 先行的腎移植は腎代替療法のオプション選択をどう変えるか, 内科, 2015; 116 巻, 1227-1230 頁 (医中誌 ID: 2016044873)
- (10) 西慎一: 腎臓内科医の視点からみた腎移植, 日本透析医学会雑誌, 2015; 30 巻, 225-231 頁 (医中誌 ID: 2015400585)
- (11) 西慎一: 【CKD の最新食事療法のなぜに答える 基礎編】 CKD の重症度と定義がどのように変わったのでしょうか?なぜ、そのように変わったのでしょうか?, 臨床栄養, 2015, 1-5 頁 (医中誌 ID: 2015378803)
- (12) 栗田梨愛, 西慎一: 【新しい腎性貧血治療ガイドラインへの期待】 CKD 患者の貧血の成因, 腎と透析, 2015; 79 巻, 37-41 頁 (医中誌 ID: 2015374727)
- (13) 渡邊健太郎, 西慎一: 【病態生理と症例から学ぶ輸液ガイド】(第3章)栄養輸液に必要な基礎知識と手技 高カロリー輸液製剤 特徴と選択, Medical Practice, 2015; 32 巻, 126-132 頁 (医中誌 ID: 2015224026)
- (14) 西慎一: IgG4 関連腎泌尿器科疾患の治療ポイント どのタイミングでどれだけの期間何をすべきか, 腎臓内科・泌尿器科, 2015; 2 巻, 330-334 頁
- (15) 河野圭志, 藤井秀毅: 弁膜症, 腎と透析, 2016; 80 巻, 47-52 頁
- (16) 後藤俊介: 【骨関節障害・CKD-MBD の概念を再考する】 治療介入の意義 CKD-MBD への治療介入 保存期からの介入の重要性, 臨床透析, 2015; 31 巻, 639-645 頁 (医中誌 ID: 2015272539)

冠動脈疾患治療部 Coronary Care Unit

英 文

論 文

原 著

- ※ § ¶ (1) Nakazato R, Otake H, Konishi A, Iwasaki M, Koo BK, Fukuya H, Shinke T, Hirata K, Leipsic J, Berman DS, Min JK: Atherosclerotic plaque characterization by CT angiography for identification of high-risk coronary artery lesions: a comparison to optical coherence tomography. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*, 2015; 16: 373-379. (PMID: 25246503)
- ※ ¶ (2) Mori S, Takaya T, Kinugasa M, Ito T, Takamine S, Fujiwara S, Nishii T, Kono AK, Inoue T, Satomi-Kobayashi S, Rikitake Y, Okita Y, Hirata K: Three-dimensional quantification and visualization of aortic calcification by multidetector-row computed tomography: A simple approach using a volume-rendering method. *Atherosclerosis*, 2015; 239: 622-628. (PMID: 25554696)

光学医療診療部 Department of Endoscopic Medicine

英 文

書 籍

分担執筆

- (1) Takashi Toyonaga: Prevention, Identification, and Treatment of Perforation in the Lower Gastrointestinal Tract. Norio Fukami ed., *Endoscopic Submucosal Dissection*, Springer, 2015: 185-194.

論文

原著

- ※ § (1) Ohara Y, Toyonaga T, Tanaka S, Ishida T, Hoshi N, Yoshizaki T, Kawara F, Lui KL, Tepmalai K, Damrongmanee A, Nagata M, Morita Y, Umegaki E, Azuma T: Risk of stricture after endoscopic submucosal dissection for large rectal neoplasms. *Endoscopy*, 2016; 48: 62-70. (PMID: 26220284)
- ※ § (2) Ohara Y, Toyonaga T, Tsubouchi E, Takihara H, Baba S, Tanaka S, Azuma T: Clinical course after endoscopic submucosal dissection in the rectum leaving a circumferential mucosal defect of 26 cm in length. *Endoscopy*, 2016; 48: E4-E5. (PMID: 26800198)
- ※ § (3) Toyonaga T, Tanaka S, Man-I M, East J, Ono W, Nishino E, Ishida T, Hoshi N, Morita Y, Azuma T: Clinical significance of the muscle-retracting sign during colorectal endoscopic submucosal dissection. *Endosc Int Open*, 2015; 3: E246-E251. (PMID: 26171438)
- ※ ¶ (4) Sakai A, Shiomi H, Okabe Y, Yagi Y, Kobayashi T, Shiomi Y, Takenaka M, Hoshi N, Arisaka Y, Kutsumi H, Azuma T: Effectiveness of endoscopic self-expandable metal stent placement for afferent loop obstruction caused by pancreatic cancer recurrence after pancreaticoduodenectomy. *Clin J Gastroenterol*, 2015; 8: 103-107. (PMID: 25708451)
- ※ ¶ (5) Tanaka S, Toyonaga T, Morita Y, Hoshi N, Ishida T, Ohara Y, Yoshizaki T, Kawara F, Azuma T: Feasibility and Safety of Endoscopic Submucosal Dissection for Large Colorectal Tumors. *Surg Laparosc Endosc Percutan Tech*, 2015. (PMID: 25738701)
- ※ (6) Ikeda A, Hoshi N, Yoshizaki T, Fujishima Y, Ishida T, Morita Y, Ejima Y, Toyonaga T, Kakechi Y, Yokosaki H, Azuma T: Endoscopic Submucosal Dissection (ESD) with Additional Therapy for Superficial Esophageal Cancer with Submucosal Invasion. *Intern Med*, 2015; 54: 2803-2813. (PMID: 26567992)
- ※ § (7) Tanaka S, Kawara F, Inoue H, Kurosawa M, Toyonaga T, Azuma T: Peroral endoscopic myotomy for achalasia after distal gastrectomy. *Endoscopy*, 2015; 47: E511-E512. (PMID: 26492300)

総説

- (1) Arisaka Y, Takenaka M, Shiomi H, Azuma T: Diagnosis and management for gallbladder polyps. *Nihon Shokakibyo Gakkai Zasshi*, 2015; 112: 444-455. (PMID: 25759219)

邦 文

書 籍

分担執筆

- ※(1) 豊永高史, 小原佳子, 吉崎哲也, 田中心和, 石田司, 東健: ESD 困難例に対する対応
肛門管、回盲弁にかかる病変に対する対応. 杉原健一, 五十嵐正広, 渡邊聡明, 大蔵康
男, 武藤徹一郎 編, 大腸疾患 NOW2016, 日本メディカルセンター, 2016: 89-98 頁

論 文

総 説

- ※ §(1) 渡邊大輔, 吉崎哲也, 池原伸直, 森田圭紀, 豊永高史: 画像診断との対比で学ぶ大腸疾
患アトラス 絨毛腫瘍(Villous tumor), 大腸がん perspective, 2015; 2 巻, 92-95 頁
- (2) 田中心和, 豊永高史: 【大腸 LST(側方発育型腫瘍)の新展開】 治療 5cm 以上の LST
に対する ESD と問題点, 臨床消化器内科, 2015; 30 巻, 1219-1225 頁 (医中誌 ID:
2015338898)

遺伝子診療部 Department of Clinical Genetics

英 文

論 文

原 著

- §(1) Noda Y, Sekiguchi K, Kohara N, Kanda F, Toda T: Ultrasonographic diaphragm thickness
correlates with compound muscle action potential amplitude and forced vital capacity. Muscle
Nerve, 2016; 53: 522-527. (PMID: 26357011)

- § (2) Kanagawa M, Kobayashi K, Tajiri M, Manya H, Kuga A, Yamaguchi Y, Akasaka-Manyu K, Furukawa J, Mizuno M, Kawakami H, Shinohara Y, Wada Y, Endo T, Toda T: Identification of a Post-translational Modification with Ribitol-Phosphate and Its Defect in Muscular Dystrophy. *Cell Rep*, 2016; 14: 2209-2223. (PMID: 26923585)
- ※(3) Washida K, Kowa H, Yamamoto Y, Kanda F, Toda T: Dopamine transporter imaging as a diagnostic modality for atypical Alzheimer's disease mimicking corticobasal degeneration. *Psychogeriatrics*, 2016. (PMID: 26781839)
- ※ § (4) Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Murakami Y, Nakamura S, Motooka D, Emoto T, Satake W, Nishiyama M, Toyoshima D, Morisada N, Takada S, Tairaku S, Okamoto N, Morioka I, Kurahashi H, Toda T, Kinoshita T, Iijima K: A novel PIGN mutation and prenatal diagnosis of inherited glycosylphosphatidylinositol deficiency. *Am J Med Genet A*, 2016; 170: 183-188. (PMID: 26419326)
- ※ § (5) Taniguchi-Ikeda M, Takeshima Y, Lee T, Nishiyama M, Awano H, Yagi M, Unzaki A, Nozu K, Nishio H, Matsuo M, Kurahashi H, Toda T, Morioka I, Iijima K: Next-generation sequencing discloses a nonsense mutation in the dystrophin gene from long preserved dried umbilical cord and low-level somatic mosaicism in the proband mother. *J Hum Genet*, 2016. (PMID: 26740235)
- § (6) Hirano M, Satake W, Ihara K, Tsuge I, Kondo S, Saida K, Betsui H, Okubo K, Sakamoto H, Ueno S, Ikuno Y, Ishihara R, Iwahashi H, Ohishi M, Mano T, Yamashita T, Suzuki Y, Nakamura Y, Kusunoki S, Toda T: The First Nationwide Survey and Genetic Analyses of Bardet-Biedl Syndrome in Japan. *PLoS One*, 2015; 10: e0136317. (PMID: 26325687)
- § (7) Higashi M, Hirano K, Kobayashi K, Ikeda Y, Issiki A, Otsuka T, Suzuki A, Yamaguchi S, Zaima N, Hamada S, Hanada H, Suzuki C, Nakamura H, Nagasaka H, Miyata T, Miyamoto Y, Kobayashi K, Naito H, Toda T: Distinct cardiac phenotype between two homozygotes born in a village with accumulation of a genetic deficiency of adipose triglyceride lipase. *Int J Cardiol*, 2015; 192: 30-32. (PMID: 25985012)
- § (8) Shigemizu D, Aiba T, Nakagawa H, Ozaki K, Miya F, Satake W, Toda T, Miyamoto Y, Fujimoto A, Suzuki Y, Kubo M, Tsunoda T, Shimizu W, Tanaka T: Exome Analyses of Long QT Syndrome Reveal Candidate Pathogenic Mutations in Calmodulin-Interacting Genes. *PLoS One*, 2015; 10: e0130329. (PMID: 26132555)
- § (9) Mitsui J, Matsukawa T, Sasaki H, Yabe I, Matsushima M, Durr A, Brice A, Takashima H, Kikuchi A, Aoki M, Ishiura H, Yasuda T, Date H, Ahsan B, Iwata A, Goto J, Ichikawa Y, Nakahara Y, Momose Y, Takahashi Y, Hara K, Kakita A, Yamada M, Takahashi H: Variants associated with Gaucher disease in multiple system atrophy. *Ann Clin Transl Neurol*, 2015; 2: 417-426. (PMID: 25909086)
- § (10) Rahman MS, Sarkar MA, Rahman MF, Paul SK, Nagai SY, Uddin MJ, Toda T: Genetic testing for spinocerebellar ataxias in patients diagnosed as Parkinson's disease in Bangladesh. *Mymensingh Med J*, 2015; 24: 44-51. (PMID: 25725667)

邦 文

論 文

原 著

- ※(1) 関口兼司, 齋藤貴徳, 横田一郎, 古和久朋, 苅田典生, 戸田達史: 異所性右鎖骨下動脈をともなった真の神経原性胸郭出口症候群の1例, 臨床神経学, 2015; 55 卷, 155-159 頁 (医中誌 ID: 2015386131)
- (2) 上中健, 濱口浩敏, 関口兼司, 古和久朋, 苅田典生, 戸田達史: Medial longitudinal fasciculus(MLF)症候群を呈した巨細胞性動脈炎の1例, 臨床神経学, 2015; 55 卷, 107-110 頁 (医中誌 ID: 2015238731)
- (3) 遠藤浩信, 千原典夫, 関口兼司, 古和久朋, 苅田典生, 戸田達史: Fingolimod 導入後早期に多数の再発病巣をみとめた多発性硬化症の1例, 臨床神経学, 2015; 55 卷, 417-420 頁 (医中誌 ID: 2015305395)
- ※(4) 野村晃子, 平久進也, 谷村憲司, 出口雅士, 山田秀人, 池田真理子, 戸田達史: 電撃性紫斑病(重症型先天性プロテイン C 欠損症)の出生前診断を行った2例, 兵庫県母性衛生学会雑誌, 2015, 39-42 頁 (医中誌 ID: 2016122718)

総 説

- (1) 佐竹涉, 戸田達史: 孤発性パーキンソン病の疾患遺伝子とその探索, BIO Clinica, 2015; 30 卷, 806-813 頁 (医中誌 ID: 2015291322)
- (2) 戸田達史: 【パーキンソン病の最新情報】 遺伝性パーキンソン病診断の最近の進歩, 日本医師会雑誌, 2015; 144 卷, 1585-1589 頁 (医中誌 ID: 2016102028)
- (3) 鷺田和夫, 古和久朋, 戸田達史: 【アルツハイマー病とその鑑別疾患-アルツハイマー病との鑑別が重要な疾患】 血管性認知症, 認知症の最新医療, 2015; 5 卷, 184-188 頁 (医中誌 ID: 2016023788)
- (4) 戸田達史: 福山型筋ジストロフィー研究の現状と展望, 日本臨床, 2015; 73 卷, 1425-1436 頁 (医中誌 ID: 2015338723)
- §(5) 戸田達史, 舩山学, 佐竹涉, 服部信孝: パーキンソン病の発症にかかわる遺伝子の解明はどこまで進んでいるのか, Frontiers in Parkinson Disease, 2015; 8 卷, 125-134 頁 (医中誌 ID: 2015324804)

- (6) 鷺田和夫, 古和久朋, 戸田達史: 【後期高齢・超高齢者に対する抗凝固療法】 認知症と抗凝固療法, *Cardio-Coagulation*, 2015; 2 巻, 121-126 頁 (医中誌 ID: 2015275987)
- (7) 戸田達史: 【骨格筋症候群(第2版)-その他の神経筋疾患を含めて-】 [上] 筋ジストロフィーおよび膜イオンチャネル異常症 先天性筋ジストロフィー(CMD) 福山型先天性筋ジストロフィー, *日本臨床*, 2015, 135-145 頁 (医中誌 ID: 2015256842)
- (8) 戸田達史: 神経難病 研究と治療の現状と展望, *日本遺伝カウンセリング学会誌*, 2015; 36 巻, 1-5 頁 (医中誌 ID: 2015239998)

感染制御部 Department of Infection Control and Prevention

英 文

論 文

原 著

- §(1) Kushima H, Ishii H, Tokimatsu I, Umeki K, Sato T, Kadota JI: Effects of sulfamethoxazole-trimethoprim on airway colonization with *Pneumocystis jirovecii*. *Jpn J Infect Dis*, 2015. (PMID: 26255727)
- ※ §(2) Shigemura K, Osawa K, Yamamichi F, Tanaka K, Tokimatsu I, Arakawa S, Fujisawa M: Optimal vancomycin doses for methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* infection in urological renal dysfunction patients. *Int Urol Nephrol*, 2015; 47: 887-891. (PMID: 25899764)
- ※(3) Shigemura K, Osawa K, Kato A, Tokimatsu I, Arakawa S, Shirakawa T, Fujisawa M: Association of overexpression of efflux pump genes with antibiotic resistance in *Pseudomonas aeruginosa* strains clinically isolated from urinary tract infection patients. *J Antibiot (Tokyo)*, 2015. (PMID: 25850341)

邦 文

書 籍

分担執筆

- § (1) 時松一成: トリコスポロン症. 河野茂 編, 深在性真菌症のマネージメント, 医薬ジャーナル, 2015: 158-170 頁
- § (2) 時松一成: 腎不全、透析患者の肺合併症. 杉山幸比古, 門田淳一, 弦間昭彦 編, 呼吸器疾患最新の治療 2016-2018, 南江堂, 2016: 361-364 頁

論 文

原 著

- § § (1) 林三千雄, 中井依砂子, 藤原広子, 幸福知己, 北尾善信, 時松一成, 荒川創一: 温水洗浄便座汚染が伝播の一因と考えられた metallo- β -lactamase 産生緑膿菌集団感染事例の検討, 日本環境感染学会誌, 2015; 30 巻, 317-324 頁 (医中誌 ID: 2016036960)

総 説

- (1) 中村竜也, 時松一成, 荒川創一: 【薬剤耐性菌感染症の早期診療-耐性菌はどう見分け、どう治療するか】 昨今の薬剤耐性菌の動向 国内・国外および院内・院外の現況, 感染と抗菌薬, 2015; 18 巻, 105-112 頁 (医中誌 ID: 2015259868)
- ※ § (2) 串間尚子, 時松一成, 石井寛, 門田淳一: トリコスポロンの抗真菌薬感受性と耐性機構, Medical Mycology Journal, 2015; 56 巻, J123-J128 頁 (医中誌 ID: PB24370004)

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Nishiyama M, Nagase H, Tanaka T, Fujita K, Kusumoto M, Kajihara S, Yamaguchi Y, Maruyama A, Takeda H, Uetani Y, Tomioka K, Toyoshima D, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Takada S, Iijima K: Short and long-term outcomes in children with suspected acute encephalopathy. *Brain Dev*, 2016. (PMID: 26952815)
- § (2) Kato T, Morisada N, Nagase H, Nishiyama M, Toyoshima D, Nakagawa T, Maruyama A, Fu XJ, Nozu K, Wada H, Takada S, Iijima K: Somatic mosaicism of a CDKL5 mutation identified by next-generation sequencing. *Brain Dev*, 2015; 37: 911-915. (PMID: 25819767)
- § (3) Fujita K, Nagase H, Nakagawa T, Saji Y, Maruyama A, Uetani Y: Non-convulsive seizures in children with infection-related altered mental status. *Pediatr Int*, 2015; 57: 659-664. (PMID: 25523443)
- § (4) Nishiyama M, Nagase H, Tanaka T, Fujita K, Maruyama A, Toyoshima D, Nakagawa T, Taniguchi-Ikeda M, Morioka I, Morisada N, Takada S, Iijima K: Demographics and outcomes of patients with pediatric febrile convulsive status epilepticus. *Pediatr Neurol*, 2015; 52: 499-503. (PMID: 25769239)
- § (5) Nishiyama M, Tanaka T, Fujita K, Maruyama A, Nagase H: Targeted temperature management of acute encephalopathy without AST elevation. *Brain Dev*, 2015; 37: 328-333. (PMID: 24962726)

邦 文

書 籍

分担執筆

- §(1) 井口敏之, 井上健, 内田創, 岡田あゆみ, 北山真次, 小柳憲司, 作田亮一, 鈴木雄一, 鈴木由紀, 須見よし乃, 高宮静男, 永光信一郎, 深井善光: 小児科医のための摂食障害診療ガイドライン. 日本小児心身医学会 編, 小児心身医学会ガイドライン集 (改訂第2版) ?日常診療に活かす5つのガイドライン, 南江堂, 2015: 117-214 頁
- (2) 北山真次: 不安障害 (強迫性障害・パニック障害・外傷後ストレス障害). 水口雅, 市橋光, 崎山弘 編, 今日の小児治療指針第16版, 医学書院, 2015: 725-727 頁

論 文

原 著

- §(1) 渡部泰弘, 北山真次, 星野崇啓, 福地成: 子どもを支える精神療法・心理療法, 小児の精神と神経, 2015; 55 巻, 107-114 頁 (医中誌 ID: 2015052232)

総 説

- (1) 北山真次: 災害から子どもたちをどう守るか 危機管理の観点から(第2回) 阪神・淡路大震災の経験からみた東日本大震災, チャイルドヘルス, 2015; 18 巻, 228-229 頁 (医中誌 ID: 2015171905)

腫瘍センター Cancer Center

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Funakoshi Y, Fujiwara Y, Kiyota N, Mukohara T, Shimada T, Toyoda M, Imamura Y, Chayahara N, Tomioka H, Umezu M, Otsuki N, Nibu K, Minami H: Validity of new methods to evaluate renal function in cancer patients treated with cisplatin. *Cancer Chemother Pharmacol*, 2016; 77: 281-288. (PMID: 26791871)

- § (2) Yamaguchi T, Morita T, Nitto A, Takahashi N, Miyamoto S, Nishie H, Matsuoka J, Sakurai H, Ishihara T, Tarumi Y, Ogawa A: Establishing Cutoff Points for Defining Symptom Severity Using the Edmonton Symptom Assessment System-Revised Japanese Version. *J Pain Symptom Manage*, 2016; 51: 292-297. (PMID: 26598039)

- § (3) Maeda I, Morita T, Yamaguchi T, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tatara R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y, Nagaoka H, Mori M, Tei Y, Kikuchi A, Baba M, Kinoshita H: Effect of continuous deep sedation on survival in patients with advanced cancer (J-Proval): a propensity score-weighted analysis of a prospective cohort study. *Lancet Oncol*, 2016; 17: 115-122. (PMID: 26610854)

- § (4) Amano K, Maeda I, Morita T, Miura T, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Baba M, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tatara R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y, Nagaoka H, Mori M, Kinoshita H: Clinical Implications of C-Reactive Protein as a Prognostic Marker in Advanced Cancer Patients in Palliative Care Settings. *J Pain Symptom Manage*, 2016. (PMID: 26826676)

- § § (5) Hashimoto N, Yotani N, Michihata N, Tang J, Sakai H, Ishiguro A: Efficacy of pediatric acute pancreatitis scores at a Japanese tertiary center. *Pediatr Int*, 2015. (PMID: 26252910)

- § (6) Baba M, Maeda I, Morita T, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tatara R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y, Nagaoka H, Mori M, Tei Y, Hiramoto S, Suga A, Kinoshita H: Survival prediction for advanced cancer patients in the real world: A comparison of the Palliative Prognostic Score, Delirium-Palliative Prognostic Score, Palliative Prognostic Index and modified Prognosis in Palliative Care Study predictor model. *Eur J Cancer*, 2015; 51: 1618-1629. (PMID: 26074396)

- § (7) Hamano J, Morita T, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tatara R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y, Nagaoka H, Mori M, Yamamoto N, Shimizu M, Sasara T, Kinoshita H: Surprise Questions for Survival Prediction in Patients With Advanced Cancer: A Multicenter Prospective Cohort Study. *Oncologist*, 2015; 20: 839-844. (PMID: 26054631)
- ※ § ¶ (8) Imamura Y, Mukohara T, Shimono Y, Funakoshi Y, Chayahara N, Toyoda M, Kiyota N, Takao S, Kono S, Nakatsura T, Minami H: Comparison of 2D- and 3D-culture models as drug-testing platforms in breast cancer. *Oncol Rep*, 2015; 33: 1837-1843. (PMID: 25634491)
- ¶(9) Sakashita A, Kishino M, Nakazawa Y, Yotani N, Yamaguchi T, Kizawa Y: How to Manage Hospital-Based Palliative Care Teams Without Full-Time Palliative Care Physicians in Designated Cancer Care Hospitals: A Qualitative Study. *Am J Hosp Palliat Care*, 2015. (PMID: 25635115)

総 説

- § (1) Makihara N, Fujita I, Soudaf H, Yamamoto T, Sashikata T, Mukohara T, Maeda T: A Case of Endometrioid Adenocarcinoma Originating from the Serous Surface of the Small Intestine. *Rare Tumors*, 2015; 7: 5932. (PMID: 26500733)
- ※(2) Takenaka K, Mukohara T, Hirai C, Funakoshi Y, Nakamura Y, Chayahara N, Toyoda M, Kiyota N, Itoh T, Yokozaki H, Minami H: Mediastinal Germ Cell Tumor Exhibiting a Discrepancy between Tumor Markers and Imaging: A Case Study. *Case Rep Oncol*, 2015; 8: 323-331. (PMID: 26351441)
- (3) Mukohara T: PI3K mutations in breast cancer: prognostic and therapeutic implications. *Breast Cancer (Dove Med Press)*, 2015; 7: 111-123. (PMID: 26028978)

邦 文

書 籍

分担執筆

- § (1) 山口崇: II-6 進行疾患の終末期に合併した呼吸不全（低酸素血症）への酸素投与をどうするか？. 森田達也 編, 緩和ケア増刊号緩和ケア臨床日々の悩む場面のコントラバナー, 青海社, 2015: 95-98 頁
- (2) 山口崇: 1. オピオイドとは; 3 章オピオイド. 木澤義之 編, 初めてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 48 頁

- (3) 山口崇: 2. オピオイド鎮痛薬の主な種類と違い; 3章オピオイド. 木澤義之 編, 初めてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 50 頁
- (4) 山口崇: 3. 投与経路による違い; 3章オピオイド. 木澤義之 編, 初めてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 56 頁
- (5) 山口崇: 4. どのように選択するか?; 3章オピオイド. 木澤義之 編, 初めてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 60 頁
- (6) 瓜生恭章, 向原徹: 軟部肉腫(非円形細胞)に対して分子標的薬は有効か?. 「朴成和」「大江裕一郎」「南博信」「直江知樹」 編, EBМ がん化学療法・分子標的治療法, 中外医学者, 2015: 639-647 頁
- (7) 余谷暢之: 非オピオイド鎮痛薬. 木澤義之 編, はじめてのがん疼痛ケア, メディカ出版, 2015: 35-46 頁

論 文

原 著

- § ¶ (1) 山本亮, 木澤義之, 坂下明大, 中澤葉宇子: PEACE 緩和ケア研修会を受講したことによる変化と今後の課題—フォーカスグループ・インタビューの結果から—, Palliative Care Research, 2015; 10 巻, 101-106 頁

総 説

- (1) 山口崇: がん突出痛とレスキュー薬?経粘膜吸収フェンタニル製剤の位置づけ, 薬局, 2015; 66 巻, 1939-45 頁
- (2) 山口崇: 痛みが増強した時に考えること -特に、痛みの原因がはっきりしないとき, レジデントノート, 2015; 17 巻, 727-32 頁
- (3) 山口崇: 悪性消化管閉塞に対する胃酸分泌抑制薬 -H2 ブロッカー?プロトンポンプ阻害薬?, 緩和ケア, 2015; 25 巻, 398-400 頁
- ※(4) 酒井良忠, 角谷賢一郎, 原仁美, 島田麻美, 山口崇, 江島泰生: 骨関連事象に対する集学的治療法, Journal of Clinical Rehabilitation, 2016; 25 巻, 131-9 頁
- ※(5) 西澤衡, 福岡秀規, 井口元三, 小武由紀子, 吉田健一, 松本隆作, 坂東弘教, 隅田健太郎, 向原徹, 小川渉, 高橋裕: 集学的治療によって長期生存している悪性褐色細胞腫の一例, 日本内分泌学会雑誌, 2015; 91 巻, 861 頁 (医中誌 ID: PB09480324)

- (6) 向原徹: 【抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして-】 系統別抗がん剤の副作用 分子標的薬 小分子化合物 mTOR 阻害薬, 日本臨床, 2015; 73 巻, 272-276 頁 (医中誌 ID: 2015154696)
- (7) 木澤義之, 山口崇, 余谷暢之: 【緩和医療の今】 包括的アセスメント これからのことを話し合う アドバンス・ケア・プランニング, ペインクリニック, 2015; 36 巻, S613-S618 頁 (医中誌 ID: 2016042138)
- (8) 山口崇, 木澤義之: 【悪性消化管閉塞にどう対応する? どうケアする?】 悪性消化管閉塞とオクトレオチド これからの議論のための背景知識, 緩和ケア, 2015; 25 巻, 366-370 頁 (医中誌 ID: 2016064701)

血管内治療センター Center for Endovascular Therapy

英 文

論 文

原 著

- ※ § (1) Asari S, Matsumoto I, Toyama H, Yamaguchi M, Okada T, Shinzeki M, Goto T, Ajiki T, Fukumoto T, Ku Y: Recommendation of treatment strategy for postpancreatectomy hemorrhage: Lessons from a single-center experience in 35 patients. *Pancreatology*, 2016. (PMID: 26935829)
- ※ § (2) Koyama H, Ohno Y, Fujisawa Y, Seki S, Negi N, Murakami T, Yoshikawa T, Sugihara N, Nishimura Y, Sugimura K: 3D lung motion assessments on inspiratory/expiratory thin-section CT: Capability for pulmonary functional loss of smoking-related COPD in comparison with lung destruction and air trapping. *Eur J Radiol*, 2016; 85: 352-359. (PMID: 26781140)
- § (3) Miyamoto N, Kawasaki R, Kinoshita M, Koda Y, Henmi S, Yoshida M, Mukohara N, Sugimoto K: Perigraft Injection of N-Butyl 2-Cyanoacrylate to Treat a Persistent Type I Endoleak Occurring after Covered Stent Implantation for a Mycotic Hepatic Artery Aneurysm: A Case Report. *J Vasc Interv Radiol*, 2016; 27: 286-289. (PMID: 26830944)
- § (4) Uotani K, Hamanaka A, Arase M, Kadoba T, Yamasaki Y, Kushima T, Sugimoto T, Sugimoto K: Endovascular Treatment of Inferior Mesenteric Artery Avulsion Caused by Blunt Abdominal Trauma. *J Vasc Interv Radiol*, 2016; 27: 150-152. (PMID: 26723928)

- ※(5) Nomura Y, Sugimoto K, Gotake Y, Yamanaka K, Sakamoto T, Muradi A, Okada T, Yamaguchi M, Okita Y: Comparison of Volumetric and Diametric Analysis in Endovascular Repair of Descending Thoracic Aortic Aneurysm. *Eur J Vasc Endovasc Surg*, 2015; 50: 53-59. (PMID: 25868606)
- ※(6) Seno S, Kitajima K, Inokuchi G, Nibu K, Itoh T, Ejima Y, Sasaki R, Sugimoto K, Sugimura K: FDG-PET findings of Ameloblastoma: a case report. *Springerplus*, 2015; 4: 250. (PMID: 26101729)
- § (7) Kawasaki R, Miyamoto N, Oki H, Okada T, Yamaguchi M, Gomi T, Higashino T, Washio T, Maruta T, Sugimura K, Sugimoto K: Flow-preserved coil embolization using a side-holed indwelling catheter for common hepatic artery pseudoaneurysm: report of three cases. *Surg Today*, 2015; 45: 772-776. (PMID: 25015311)

邦 文

論 文

原 著

- ※ § (1) 高坂仁美, 濱口浩敏, 福住典子, 沖都麦, 今西孝充, 林伸英, 野村佳克, 山口雅人, 河野誠司: 血管エコーが診断や病態把握に有用で、両側上肢動脈狭窄に対して血管内治療が行われた巨細胞性動脈炎の 1 症例, *脈管学*, 2015; 55 卷, 95-99 頁 (医中誌 ID: 2015375203)

総 説

- (1) 岡田卓也, 山口雅人, 片山直人, MuradiAkhmadu, 上嶋英介, 小出裕, 祖父江慶太郎, 杉本幸司: 門脈圧亢進症 PTO、TIO など, *IVR: Interventional Radiology*, 2015; 30 卷, 166-171 頁 (医中誌 ID: 2015305928)

英 文

論 文

原 著

- ※(1) Uemura M, Maeshige N, Koga Y, Ishikawa-Aoyama M, Miyoshi M, Sugimoto M, Terashi H, Usami M: Monophasic Pulsed 200- μ A Current Promotes Galvanotaxis With Polarization of Actin Filament and Integrin α 2 β 1 in Human Dermal Fibroblasts. *Eplasty*, 2016: 16: e6. (PMID: 26819649)
- (2) Fujiwara M, Miyoshi M, Sakai S, Nishiokada A, Aoyama-Ishikawa M, Maeshige N, Usami Y, Hamada Y, Takahashi M, Usami M: Lard-based high-fat diet increases secretory leukocyte protease inhibitor expression and attenuates the inflammatory response of acute lung injury in endotoxemic rats. *Clin Nutr*, 2015: 34: 997-1009. (PMID: 25466948)
- (3) Matsumoto R, Fukuoka H, Iguchi G, Odake Y, Yoshida K, Bando H, Suda K, Nishizawa H, Takahashi M, Yamada S, Ogawa W, Takahashi Y: Accelerated Telomere Shortening in Acromegaly; IGF-I Induces Telomere Shortening and Cellular Senescence. *PLoS One*, 2015: 10: e0140189. (PMID: 26448623)
- (4) Inoue T, Aoyama-Ishikawa M, Kamoshida S, Nishino S, Sasano M, Oka N, Yamashita H, Kai M, Nakao A, Kotani J, Usami M: Endogenous interleukin 18 regulates testicular germ cell apoptosis during endotoxemia. *Reproduction*, 2015: 150: 105-114. (PMID: 25934945)
- § (5) Nishiokada A, Miyoshi M, Fujiwara M, Aoyama-Ishikawa M, Maeshige N, Takahashi M, Hamada Y, Usami Y, Honda M, Arita M, Usami M: Changes of hepatic lipid mediators associated with intake of high-fat diet for 12 weeks in endotoxemic rats using LC-ESI-MS/MS. *Clin Nutr*, 2015: 34: 685-693. (PMID: 25131602)
- ※ § (6) Nakarai C, Osawa K, Akiyama M, Matsubara N, Ikeuchi H, Yamano T, Hirota S, Tomita N, Usami M, Kido Y: Expression of AKR1C3 and CNN3 as markers for detection of lymph node metastases in colorectal cancer. *Clin Exp Med*, 2015: 15: 333-341. (PMID: 24934327)
- § (7) Nishida H, Ikegami A, Kaneko C, Kakuma H, Nishi H, Tanaka N, Aoyama M, Usami M, Okimura Y: Dexamethasone and BCAA Failed to Modulate Muscle Mass and mTOR Signaling in GH-Deficient Rats. *PLoS One*, 2015: 10: e0128805. (PMID: 26086773)

- § (8) Yamashita H, Aoyama-Ishikawa M, Takahara M, Yamauchi C, Inoue T, Miyoshi M, Maeshige N, Usami M, Nakao A, Kotani J: Endogenous interleukin 18 suppresses hyperglycemia and hyperinsulinemia during the acute phase of endotoxemia in mice. *Surg Infect (Larchmt)*, 2015; 16: 90-96. (PMID: 25651466)

総 説

- (1) Usami M, Miyoshi M, Yamashita H: Gut microbiota and host metabolism in liver cirrhosis. *World J Gastroenterol*, 2015; 21: 11597-11608. (PMID: 26556989)

邦 文

書 籍

分担執筆

- ※(1) 高橋路子, 三好真琴, 宇佐美眞他: 脂肪乳剤投与の意義と投与方法の実際. 佐々木雅也編, *臨床栄養 増刊号 栄養療法のピットフォール*, 2015; 844-851 頁
- ※(2) 三好真琴, 宇佐美眞, 高橋路子: 免疫修飾栄養素: 食物繊維(可溶性と不溶性). 救急・集中治療別冊 重症病態の栄養治療—最新の知識とその実践—, 2015; 611-617 頁

論 文

原 著

- ※(1) 高橋美貴, 大高木淑恵, 藪口美樹, 古森孝英, 高橋路子, 宇佐美眞: 口腔癌治療後の摂食・嚥下カンファレンス介入効果, *言語聴覚研究*, 2015; 12 巻, 272-280 頁 (医中誌 ID: Q112280005)
- § (2) 山本将士, 奥野達哉, 今西達也, 金治新悟, 山下公大, 金光聖哲, 角泰雄, 中村哲, 鈴木知志, 掛地吉弘: 食道癌根治切除後再発に対して Salvage Chemoradiotherapy(CRT)により長期生存が得られた 1 例, *癌と化学療法*, 2015; 42 巻, 1457-1459 頁 (医中誌 ID: PC24470003)

総 説

- ※(1) 三好真琴, 宇佐美眞, 高橋路子: 【重症病態の栄養治療-最新の知識とその実践-】 栄養組成 免疫修飾栄養素 食物繊維(可溶性と不溶性), 救急・集中治療, 2015; 27 巻, 611-617 頁 (医中誌 ID: 2015375550)

- ※(2) 高橋路子, 三好真琴, 田淵聡子, 三ヶ尻礼子, 山本育子, 戸田明代, 山本将士, 宇佐美眞: 【栄養療法のピットフォール-よりよい栄養ケアのために】 (Part3.)静脈栄養 脂肪乳剤投与の意義と投与方法の実際, 臨床栄養, 2015; 126 巻, 844-851 頁 (医中誌 ID: 2015242850)
- ※(3) 高橋路子, 山下勇人, 山本将士, 宇佐美眞: Immuno-nutrition (免疫栄養療法) の理論と実際, 経腸栄養剤の選択とその根拠, 2015, 29-40 頁

認知症センター Center for Memory and Behavioral Disorders

英 文

論 文

原 著

- (1) Washida K, Kowa H, Yamamoto Y, Kanda F, Toda T: Dopamine transporter imaging as a diagnostic modality for atypical Alzheimer's disease mimicking corticobasal degeneration. Psychogeriatrics, 2016. (PMID: 26781839)

総 説

- (1) Washida K, Kowa H, Hamaguchi H, Tachibana H, Sekiguchi K, Kanda F, Toda T: Clinical features, diagnosis, and treatment of Poststroke Cognitive Impairment. Austin Journal of Clinical Neurology, 2015: .

邦 文

論 文

総 説

- ¶(1) 鷲田和夫, 古和久朋, 戸田達史: 認知症と抗凝固療法, 認知症と抗凝固療法, 2015

- (2) 鷺田和夫, 古和久朋, 戸田達史: 【アルツハイマー病とその鑑別疾患-アルツハイマー病との鑑別が重要な疾患】 血管性認知症, 認知症の最新医療, 2015; 5 巻, 184-188 頁 (医中誌 ID: 2016023788)
- (3) 鷺田和夫, 古和久朋, 戸田達史: 【後期高齢・超高齢者に対する抗凝固療法】 認知症と抗凝固療法, Cardio-Coagulation, 2015; 2 巻, 121-126 頁 (医中誌 ID: 2015275987)